

## 杉並区総合計画等改定案に対する区民等の意見

※ 提出された 325 件の意見のうち、307 件の意見について、個人情報などを除き、原則として全文を公表しています。

番号	意見
1	<p>荻窪駅周辺の利便性向上とマナー違反の改善を提案致します。以下、記載致しますのでご検討の程、宜しくお願ひ致します。(以下箇条書きにて文面敬略)</p> <p>荻窪駅西口南北出口との階段に上りエスカレーターを設置してもらいたい。</p> <p>荻窪駅周辺半径 1 キロ区内歩きタバコ多い。電柱や掲示物、歩道の掲示の刷新、目立つような掲示を新たに実施し、定期的な取り締まりをしてもらいたい。</p> <p>荻窪駅西口南側出口西荻窪方面線路沿いの歩道が 1 メートル位とベビーカー等が通りづらく狭いので歩道拡張をしてもらいたい。東口側バス停方面へ歩道で通過できなくバリケードで立ち入り禁止されており、不便なので解放してもらいたい。</p> <p>宜しくお願ひ致します。</p>
2	<p>富士見ヶ丘通りは本当に狭いので、早急に改善して欲しいと思っています。車が相互通行の際には歩行者の白線の中まで車の車輪が入らないと通らない箇所が常に常態化していて、その周囲を歩行者として通行するには毎日危ない、危険と感じながら過ごしています。歩行者用道路の整備が急務と思っています。なんとかしてください。</p>
3	<p>杉並区に住む 2 歳児と小学校 2 年生の父です。我が家は子供 2 人に年齢差があり、そのことが原因で杉並区の保育について思うところがあり、メールしました。</p> <p>①第二子の子育て応援券で第一子のインフルエンザワクチン接種が受けられない</p> <p>第一子と第二子の間に年齢差があり、第一子が小学生であるため、インフルエンザワクチン接種に子育て応援券を利用できませんでした。多子を育てている意味では、子育て応援の対象だと思えます。小学生に子育て応援券を配布して欲しいとは申しませんが、利用範囲の緩和を検討いただきたいです。我が家は母乳外来で子育て応援券を使わせてもらいましたが、一方で周りには余らせる人も多く、利用範囲の拡大はそうした利用者にもメリットがあると考えます。</p> <p>②第二子の育児休暇中に、夫が長期の育児休暇を取得しようとしたら、第一子の保育園を退園しなければならなかった</p> <p>これは資料の読み込み間違いでしたら恐縮ですが、夫である私が育児休暇を取得しようとして調べた時に知って休暇取得を断念した記憶があります。</p>
4	<p>区の広報をは拝見して意見を発信してみようと思いました。</p> <p>住みやすい杉並区に向けて、開放的な区政をありがとうございます。</p> <p>1. 自転車活用推進に合わせて、歩道幅の拡張</p> <p>…私は子供乗り自転車でいつも青梅街道を走っていますが、荻窪駅周辺や区役所あたりは何歩行者も多く、歩行者優先で走行していますが、急に方向転換されたりすると接触しそうになり怖い思いを何度もしたことがあります。</p> <p>車道に自転車走行のスペースを記した標識はありますが、子供を乗せて車道と区別されていない狭い幅のところを走行するのは怖くてできません。</p> <p>やはり、縁石などで、歩行・自転車・車スペースを区別した道路整備が出来ればとても安心して子供から年配の方も皆が利用できると思います。</p> <p>2. 犬(ペット)と一緒に利用できる施設の普及</p> <p>…海外の様に犬(ペット)といつでもどこへでも行ける。そんな事が当たり前になれば、コミュニティの場も増えると思います。</p> <p>動物は、アレルギーという心配もありますが、彼らから得られるセラピー効果は絶大だと思います。引きこもり気味の子供、孤立しがちな人たちも、ペットを介して交流の機会を得ることができると思います。</p> <p>昔は小学校に小動物がいて、お世話をしたり、会いに行って癒された記憶があります。不登校の子供が増えて</p>

	<p>いる今、杉並区の子供達に心の栄養をたっぷり与え心身ともに元気に成長していける環境を整えて欲しいです。</p> <p>行政側がリスクばかりを懸念して制限してしまうと、利用したいと思っている側は選択できる幅が狭まります。</p> <p>もちろんリスク管理が必要なことは承知ですが、幅広く・リスクよりベネフィットに意識を向けて地域が活性化して行くことを期待しております。</p>
5	<p>区報（杉並区の新聞）を読んで、はじめてご連絡します。いつもお世話になります。（区報、とても読みやすく、こちらも初めて目を通しました）</p> <p>意見提出です。</p> <p>・中学1年生の娘が、不登校になりました。4月第1週に数日登校したのち、本日まで休んでいます。それで、自宅でも授業を受けられるようにしていただけないのか、相談半分、意見半分メールをお送りしました。理路としては、学校で学ぶことは子どもの権利ですし、学校だけでなく、あるシステムの中でそのシステムに合わない人は出てくるものだと考えます。</p> <p>※数年前に京大のカウンセラーさんが、京大に通えない不登校者に対して、「京大は、毎年1パーセント程度の不登校者が出るシステムになっているだけだから、気にしなくていい」と新聞に登校したことが話題になりました。似た構造を当てはめて考えています。現在は、ネットを使えば学校に行けない子供が普通の授業の風景を自宅で見るとは難しくはないことだと考えます。例えば、休んでいる娘の机にウェブカメラとポケットWi-Fiを置けば、実現可能です。現在、塾に行くことで英語と数学は「60点」程度はとれていますが、娘にとって自学でできるのはそこまでのようで、他の科目を学ぶことができていません。学ぶ権利、学ばせる義務を考えると、本当は国が対応することなのかもしれないと思いますが、区でご対応いただけるとありがたいと思います、ご提案いたしました。</p> <p>・もうひとつ。こちらはとても難しいと思います。先ほど、「塾」には行っていると申しました。娘は1人の時間が好きで、友達ができません。学校に行っていた時も、先生とは話すけれど、友達とは全く話さず帰ってきたこともありました。（友達にいじめられたとか、無視されたということはありません。いい友達ばかりで、気にかけてくれていましたが、娘が、グループを作ること、グループに入ることが苦手でした）けれど学校では「1人」でいることは、本質的に許されません。道徳教育、情操教育として、「友達と一緒に」を学びます。その「道徳教育がない」お陰で、塾には行けています。大人の立場でも、自分と違う考え方の場所で、思想にまで踏み込まれるとしたら、その場所には行きたくありませんから、娘の気持ちはわかる気がします。あまりこういうことは、娘には言いませんが。ただ、大学を思い返すと、1人でいることも、友達といることも可能な場です。それは、クラスがあっても、自分で受講する講義を決めるので「クラス単位の行動が少ないから」だと考えます。複数の「グループに入らない人」がいるおかげで、1人で行動することが、構造的、システム的に許されています。大学が難しいことをやっているわけではないと思います。それで、大学のようにある程度、「クラス」という固定化した単位離れた授業の受け方を実現できないものかと思いました。きっと増えている不登校や、昔からあるいじめに、肯定的な変化があるのではと思います。副作用としては、一番は、それを考えなければいけないことや新たな取り組みにコストがかかること。ほかにも優先順位の高い施策はあると思います。それから、失敗がつきまとうこと、良くも悪くも、注目も浴びることでしょうか。また、京大にも不登校の方がいるとのことですので全ては解決しないと思います。（それでも、京大の不登校者の中には、自分で学ぶのが楽しくて授業に出ない人もいると思うので、義務教育中のような不登校者は、相対的に少ないのではと想像します。僕も、大学の講義をサボってましたが、本はよく読んでいました）プラスは大きいのでは。</p> <p>長く書きましたが、最後までお読みいただき、ありがとうございます。ああ、こういうことを実現したくて政治家になるのかと書きながら思いました。</p> <p>娘だけでなく、これで受益できる子供、家庭は多いと考えます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
6	<p>子育ての部分ですが、待機児童解消のための保育園の充実により、その後の学童クラブが逼迫しています。現状、3～4年で退所する空気が流れている為（3～4年になったら学童クラブに通うのはおかしいよね？恥ずか</p>

	しいな〜という空気)、1〜2年枠の確保はされているようですが、共働きで学童クラブを利用する世帯からすると6年生まで通わせたいところ。6年生までの枠の確保と当たり前のように6年生まで通える環境の整備をお願いしたいと思っています。
7	車椅子利用者の安全確保、耐震性能や景観も考慮し、重点項目にもあげられているが進捗が芳しくない無電柱化事業を早急に実現してほしい。
8	自転車活用の推進 自転車が歩道をスピードを上げて通過し、たびたび接触し危険な目にあっています。自転車については車道を走るように誘導して欲しい。また子育て世代以外は徒歩で移動するように制度設計をお願いします。区内であれば公共の交通網がありますので、自転車は不要かと思えます。
9	デジタル化推進計画について ①子供の予防接種の管理が全部紙になっている。ただでさえ子育てで書く暇もないのに手間がかかる。電子化してほしい。 ②渋谷区から転居してきたが、渋谷区と比べて区役所内が煩雑で書類だらけの印象を受けた。紙媒体の管理を減らして電子での保存等工夫するべきだと思う。 また、渋谷区はLINEで様々な申請ができたが杉並区は紙申請で手間なので工夫していただきたい。
10	・まちづくり 人と環境にやさしい交通DX・GXの推進において、区内の縦移動がともしづらいので、区営のバスなどのより一層の充実を検討してほしい。特に最北部の西武新宿線沿いの発展のため、西武新宿線駅〜中央線や井の頭線駅のアクセスの向上をお願いしたい。 ・まちづくり 人と環境にやさしい交通DX・GXの推進において、エイトライナーの早期実現に向けた具体的な計画の策定をお願いしたい。環八は車の渋滞が多いため、区内外の公共交通機関利用に大きく貢献すると考える。 ・デジタル化推進の中で、区内で利用できるデジタルペイ事業を実施してはどうか。(渋谷区はハチペイを実施し区民にポイント還元したり、現金以外の支払いが可能な施設が区内で増えたことで、区外から訪れる人や区民の利便性の向上にも寄与している)
11	自宅付近の狭い道路が本当に狭すぎて、電柱も飛び出ている大変危険です。救急車が角を曲がれないことが多く困っています。建て替えもしなさそうな戸建ての塀も地震や災害で倒れてきそうです。せめて電柱をなくしてほしい。
12	老朽化した施設を改築して介護予防のための運動施設を作りたいです。これから介護保険料も上がるし、介護を予防する事が大切だと思います。施設の中にトレーニングマシン入れて運動したりとか。そこが憩いの場となって顔見知りの高齢者が増えたら良いと思いました。
13	中小企業に関連する項目は協働推進計画と理解しています。商店街の活性化や杉並区の商業の活性化を行政に期待はしていません。長年、成果を見せていないです。この協働推進で雇用を予定している外部人材に大いに期待しています。しかし、中小企業などとの連携のほか、区政の中で教育を施し、文化、教育、食、空き家など多岐にわたる問題を解決し、さらに区外の主体までをつなげる人材は雇用できるのでしょうか。間違っても、元区議、元政治家、大学教授、元行政職員などは採用しないでいただきたい。彼らの偏った経験では、上記のような事業を遂行できないばかりか、区民としては税のムダになります。前区長は選挙に落ちたばかりの議員を拾い、区のポストにつけました。それは男気としては理解しますが、区政にも区民にも利益がなかったものです。せっきくの外部人材の登用であれば、有名無実な人物ではなく、実行できる人物を期待しています。ただのお雇い外国人助っ人のような立場ではなく、今の若い区長にも意見をできる立場も必要です。区政の滞りは日頃より耳にしています。せめて協働推進は実行頂き、2024年からの新しき一歩を願います。
14	40年以上在住しております、自宅で時折天体観測して参りましたが、ここ20年ほど外灯のLED化が進み、夜空がますます明るくなりました。防犯や省エネの観点で必要な措置であるとは理解しているものの、地面に向かって光を絞れば良いのに不必要に拡散しているため、上空の大气に拡散して観測に影響が出てます。(以前の水銀灯も眩しかったものの、光の波長が限られていたので、その光だけ特殊なフィルターでカットできたのですが、LED灯は、満遍なく輝くため対処が困難です)温暖化やエネルギーの高騰もありますので、ぜひ今後

	<p>の街灯の設置に関しては、より少ないエネルギーでスポットで街を明るくする街灯への切り替えをお願いします。</p>
15	<p>環境・みどり について</p> <p>マンションの管理人をしています。改定案の中に「区民のゴミ分別の徹底を目指す」といつ記述がありますが、これ以上分別ルールを細分化するのは反対です。マンション住民の中には高齢者も多数おり、そういった方達は新しいゴミ分別ルールを覚えることは困難です。清掃車に回収されず、取り残されたゴミを開き、分別し直す作業は仕方なく管理人である私が行っておりますが、これ以上ゴミ分別ルールが細分化・徹底化されたら、お手あげです。現状では可燃ゴミの中に多少のプラスチックが混入していても清掃車は持って行って但ていますが、今後は持って行って但てなくなるのですか？プラスチック使用製品廃棄物の分別回収に向けたモデル実施とはどの程度厳しいものなのでしょうか？どうかルールをこれ以上細分化しないでください。</p>
16	<p>この度、広報すぎなみ 11/2 臨時号を拝見し、意見申し上げます。</p> <p>岸本区長は、児童館の廃止問題について、当時の保護者の支持や協力が後押しになって当選されたと記憶していますが、当選したあかつきに、児童館や学童保育のサービスを以前より充実させ、子ども食堂や児童相談所などと連携して、地域に中心的な施設へと発展させるような取り組みをされるものと期待していましたが、具体的な言及がありません</p> <p>前田中区長が推進していた西荻、阿佐ヶ谷、高円寺などの再開発計画に関しても、岸本区長の当選当時は非常に問題視され、再開発に反対する人たちの熱意も当選に寄与したと私は考えていますが、どういふ方針に変わったのでしょうか。選挙の際、岸本区長はたびたび「再公営化」というキーワードを口にされていましたが、この基本計画に「再公営化」という文言は一言も見当たりません。これについてはどうなりましたか。</p> <p>まちづくり・地域産業の項目で「駅を中心とした周辺地域にまちの多様な魅力と交流・活力を創出するとともに…」との見出しがあります。なぜ、「駅を中心」ですか？私の住む本天沼は高齢者が多く私の母親も93歳で自転車に乗り駅への買い物余儀なくされています。目指すはシャッター通りの解消なのでは？</p> <p>世田谷区の保坂区長は、ふるさと納税に対する問題提起をされています。この問題に杉並区も無関係ではないはずですが、財政・財源に対する対策も併記すべきだと思います。</p> <p>最後に、岸本区長のコア政策は何ですか。ゼロカーボンでもデジタル ICT でもかまいませんが、この区の特徴、岸本区政の特徴を見せていただきたかったです。どこの自治体でも言われていることばかりならば、あえて計画として発表するほどのことではないような気がします。おっしゃっているように、岸本区長が就任して2年です。そろそろ変わった実感が欲しいと思いますし、これから変わるんだ、という期待感がほしいところ。期待が大きいだけに要求も厳しくなりがちですが、どうか、もっと岸本カラーを前面に出して杉並区を良き方向へ進めていただきたいです。</p>
17	<p>住みやすいまちづくりをご検討・ご推進いただきありがとうございます。自転車事故件数を減らす目標を拝見いたしました。まずは歩道を走っている自転車に対する注意喚起からお願いできないでしょうか？特に、阿佐ヶ谷駅から南阿佐ヶ谷駅までの大通りの歩道を走る自転車が多く、何度か軽く接触したこともあり、かなり危険な状態となっています。私個人の見解としまして、自転車で歩道を走ることが違法だと知らない人も意外といるのではないかと考えており、もしかしたら注意喚起・周知徹底だけでも改善するかもしれません。ご検討のほど、よろしくお願ひいたします。</p>
18	<p>婚活を支援する取り組みがあると嬉しいです。晩婚化が進み、少子高齢化が社会問題となっています。マッチングアプリや婚活パーティ等色々なものが世の中にはありますが、詐欺詐称なども横行しており、二の足を踏む人も多いと思います。そこで区などの行政が婚活を支援する取り組みを推進、支援して下さると安心して参加できます。杉並区は23区の中でも治安が良く、緑もあふれ、それでいて商業施設も充実しており、住環境としてとても優れた区だと思います。独身の方の中には親と同居されている方も多いと思いますので、そういった方々の婚活への需要も掘り起こせると良いと考えます。区民を対象とした簡単なティーパーティーのようなものを開いて頂くだけでもとてもありがたいです。御検討下さいますととても嬉しいです。どうぞ宜しくお願い致します。</p>
19	<p>出産を機に保育園の数が充実している杉並区に引っ越ししてきました。お陰様で無事に子供が入園できまし</p>

	<p>た。一方で幼児のため、風邪や体調を崩す事が多く、また預かり時間にも制約があるためベビーシッターをお願いするケースが増えています。高価なこともあり極力利用を避けているものの、仕事の都合をつけることも難しく、二児目を考える中で今の状況では住まいの広さも考慮して他への引越など考えようか迷っており、他の区同様（杉並区と世田谷区だけ利用できない）にベビーシッターの補助を施策に織り込んで頂けると大変助かります。公園や緑の多さなど住環境としては非常に満足しており、他の区の方に住まいの方にも自慢できる良い環境だと感じております。</p>
20	<p>お世話になっております。広報すぎなみ 11/2 臨時号 実行計画を拝見しました。中央高速高井戸 IC 下り線入口開設工事の推進について具体的な施策が載っておらず愕然としました。永福～調布間の混雑解消、利便性向上のため、地域交通環境整備の重要テーマとして1日も早い開設を期待しています。</p>
21	<p>今後、緑化に少し力を入れていく目標について、広報で見ました。今夏の酷暑で、更に一層、”緑化の重要性”を認識しています。つまり、真夏の間、買い物で外出するにもままならないのは、アスファルト化された道では、出歩けないからです。歩道に街路樹があれば、そこが自転車、又は徒歩出来る日陰を作る通路となって、少しは風通しもあり、出歩くことが可能です。私の意見としては、街にもっと多くの街路樹を増やして、アスファルト砂漠から、日陰と風遠しのいい町づくりをすることだと実感しました。街路樹が増えれば、それが散歩道にもなって、いい環境を作り出せます。一つのいい例は、阿佐ヶ谷の街路樹です。</p>
22	<p>京王井の頭線の浜田山駅に南口を作る必要があると思います。通勤時間帯に大変な混雑をするし十分以上待たされることもあります。頻繁に待たされるのは不便ですし、踏切は頻繁に閉じるので心理的な不安を感じます。健康上の理由で素早く渡れない人もいます。お金の問題なら、住民から寄付を募ってはどうか？住民が求めることに税金を使えないのかということも疑問ですが、仮に色々な問題があり税金を投入できないというなら、少なくとも南口を作ることに對して推進するような動きをしてほしいです。何が足りないのでしょうか？少なくともその点について説明が欲しいです。とにかく早く南口を作られる方向に動いて欲しいです。</p>
23	<p>いつも区民生活の向上にご尽力くださりましてありがとうございます。2年前に杉並区に転居して来たものです。これまで、江戸川区、江東区、板橋区に居住経験があります。杉並区はとても落ち着いていて穏やかに過ごせる印象があり、とても住みやすいと感じております。しかし、件名にもある通り、電柱が至る所にあることにより以下の点について問題があると考えております。今後の杉並区改善計画の推進におきましては、是非、無電柱化を優先的に進めていただきたく、意見をさせていただきました。</p> <p>1. 防犯面</p> <p>電柱のメンテナンスのしやすさを優先しているため（東京電力に確認しました）、各電柱には登るためのステップがつけたままになっているものがほとんどです。電柱が家の目の前に立っているお宅では、ここから2階などに侵入される危険性があり、生活をしていてとても不安に感じると思います。</p> <p>2. 鳥フン、犬のマーキング被害</p> <p>数値上は分かりませんが、杉並区は緑が多く、住みやすいためか、野生の鳥や犬を飼われている方が非常に多い印象です。</p> <p>電柱があることにより、鳥が足を休める場所が多いため鳥フンの被害が多く発生している印象です。また、鳥よりも犬のマーキングによる被害の方が甚大です。よく電柱にマーキング防止の看板を立てている方がいらっしゃいますが、犬は習性として行っているため、防ぐことは困難です。犬が外でおしっこをすることについて飼い主の方も気持ちが当たり前となり、他人に迷惑をかけているという意識がないと感じます。家の近くに電柱があるお宅は、おしっこの匂いにより非常に迷惑を被っていると思います。</p> <p>これらも電柱がなくなることにより、大幅に防げる問題と考えます。</p> <p>3. 景観</p> <p>これが1番大きいことだと思いますが、杉並区といたらこれ！という施策がなく、杉並区の魅力がいまいち伝わっていないと思います。「電柱がない街並み」は非常に洗練され綺麗な印象になることは皆さん周知の事実かと思えます。無電柱化を杉並区のメイン事業として位置付け、広く宣伝していくことにより、他区との差別化が進み、「杉並区はとてもおしゃれでいいところだ」という印象を強烈に与えることができると考え</p>

	<p>ます。これにより人口流入→税収増加→無電柱化にかかった費用の回収と、良いサイクルが生まれると思います。</p> <p>東京都も無電柱化に力を入れていると聞きます。東京都と強力に連携をしていただき、安全安心な杉並区、綺麗でオシャレな杉並区を実現する無電柱化の促進について、是非優先的に進めていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。</p>
24	<p>初めて意見させていただきます。学童についての要望です。杉並区在住で小学校2年生の子供がおります。子供が3年生になるにあたり17時まで学童にいる人でなければ3年生以上は学童に入ることができません。子供の将来のためにも習い事を続けさせたいと思っておりますが、習い事をするためには学童をやめなければならず、その場合はももにランドという放課後児童クラブで見てもらうこととなります。ただ、夏休みなどの長期休暇中は10時からしかやっていません。子供の預け先がないため、会社を辞めることも、また子供の将来のための習い事をあきらめることもしたくありません。長期休暇中の放課後児童クラブの開園時間を追加料金がかかってもいいので早めて頂くことはできないのでしょうか？8時開所もしくは8時半開所にして頂き、追加分については料金を追加する形でも結構ですのでお願いできれば仕事を続けることができると思っています。学童に相談したところ人数によっては夏休みのみ学童に入ることもできるとのことでしたが、定員状況によるため、状況によっては引き受け不可となるとのことでした。どの親も夏休みの子供の預け先に頭を悩ませている問題なのでぜひご検討頂ければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。</p>
25	<p>・岸本区政最初の総合計画改定なので、もう少し、区民や団体、民間事業者と協働してまちづくりをしていく意気込みが感じられるとよいです。</p> <p>パブリックコメントなので、大きな見直しができないことは承知していますが、以下、提案いたします。</p> <p>ア 区民が読みやすい工夫が必要</p> <p>杉並の現在の立ち位置（現状と課題）の記載がなく、将来に向けた計画内容の必要性などが理解できません。また、重点化されておらず、総花的な印象です。なぜ、このような施策が必要なのか、理解できるよう、もう少し丁寧な解説があるとよいです。（各計画事業ありきで、事業レベルの現状・課題の記載はありますが、総合計画として、視野に広がりを感じません。参加と協働を促進する前提としても、区民への分かりやすい説明が求められます）</p> <p>また、次の7年間で何に重点的に取り組んでいくか、特色を示してもらえるとよいです。（可能であれば、総合計画の改定に携わった区民や団体の声などを、施策展開のページで紹介するなど、区民等と策定する計画づくりをアピールしてはどうでしょうか）</p> <p>SDG s との対応関係については、施策単位で該当するゴールを掲げるのではなく、SDG s の目標ごとに、該当施策を提示したほうが分かりやすいです。また、目標1・2など、無理に施策を掲げる必要はないと思います（該当がなければ該当なしでよいです）。総合計画以外の取組みは多数あると思いますので、区政全体でSDG s をカバーできればよいです。</p> <p>イ 成果指標の拡充</p> <p>総合計画ですので、平たく言えば、区民や団体の満足度を高め、暮らしやすく、将来にわたって杉並に住み続けたいと感じてもらうための、指針・計画と認識しています。</p> <p>各施策が、区民の生活向上を実現するものとすれば、評価指標としてより多く、区民等の満足度や生活実感を指標化したほうが、親近感がわくと思います。また、指標数が全体的に少ないので、増やしたほうがよいです（生活実感とは、施策20の、「地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じる割合」など）</p> <p>以下、成果指標に関する意見です（全施策は分量が多くなるので便宜上、施策1～4まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策実現のための「手段」である事業進捗率が指標となっているものが散見されます。例えば、「施策1」の、「狭あい道路の拡幅整備率」は、「強くしなやかな防災・減災のまちづくり」を実現するための目標としては弱いです。</li> <li>・「施策2」では、「災害時に備えて家庭内での対策を行っている区民の割合」など、「自助」「共助」に加えて、「杉並区は防災・減災のとりくみが進んでいる」など「公助」の指標を入れてもよいと考えます。</li> <li>・「施策3」には、「自分のまちは治安がよい」といった生活実感、「地域の防犯パトロールに参加したことが</li> </ul>

	<p>ある」などの行動指標を加えることで、施策の現状や実態がより明瞭になると考えます。</p> <p>・「施策4」では、多心型まちづくりと記載がありますが、荻窪駅以外の拠点には何があり、各拠点の特色や役割分担・ネットワークなどの関係性の整理が必要ではないでしょうか。</p> <p>また、「自宅周辺のまちづくりに満足する区民の割合」は、「まちづくり」との用語が何を指すのか、区民に共通理解があるか疑問です。仮に区が担える基盤整備を指すとして、「自宅周辺」では、身近な生活道路や公園などの量的な整備しかイメージできず、計画としての発展可能性が感じられません。</p> <p>ウ 目標値の根拠が明確になるような説明が必要</p> <p>成果指標の目標値が、どのように設定されたのか、根拠がよく分かりません。</p> <p>本来、前の総合計画の評価があって、それに基づく、目標値の設定であるべきです。各施策の計画事業が、指標の目標値実現のための手段とすれば、目標値の設定次第で、将来の事業量（一般財源の使途）を決定することになります。その意味では、目標値の根拠に加え、総合計画のPDCAサイクルをどのように回していくのか、説明が必要ではないでしょうか。</p> <p>総合計画の評価作業の難しさは容易に想像できますが、例えば、区民や団体代表などを交えた評価機関を設置して中間評価を行い、次の実行計画の見直しにつなげるような取組みは今からでも可能ですし、PDCAサイクルが回れば、本総合計画が何をめざすべき計画なのかが明確になると考えます。</p> <p>また、総合計画をもとに、財源を含めた区政運営・まちづくりの方向性の全体像を共有することができれば、ひいては、街づくりの担い手として、区民の区政参画・協働が促進されると思います。</p>
26	セキュリティが穴だらけのデジタル推進
27	<p>毎日、新田縁通りを通る車の騒音に悩まされています</p> <p>新田縁通りは五日市街道など幹線道路からの抜け道としてもってこいの通りになっていますので朝晩は特に交通量が半端なく増えています</p> <p>また、角を回る際細心の注意を払っていますが、何度も危ない目に会っています</p> <p>いつかは重大事故が起こるのではないかと心配しています</p> <p>制限速度さえしっかり守って走行してもらえば騒音も危険な目にも合わずに少しは安心して生活できるのではないかと思います</p> <p>上記の状況を改善することは岸本区長が掲げる3つの基本理念の中の『安全・安心のまち つながりで築く』に匹敵するものと考えます</p> <p>そこで通りの各所に速度メーターを設置し自らの速度を確認できるようにしたら良いと思います</p> <p>また月に1~2度は人を配置して取り締まりをしていただきたいと思います</p> <p>上記につき早期実現を強く要望いたします</p> <p>ご返事をいただけますと幸いです</p>
28	旧若杉小学校跡地の活用について、荻窪駅北側は緑が少ないので、旧若杉小学校跡地には、公園を作り回りを囲むように老人施設、子供園などを建てて頂けたら嬉しいです。
29	学校の跡地利用・読書できるスペースを作って欲しい・太陽光発電設備を設置して欲しい・将来の税収増に寄付できるような産業を育成できる施設にして欲しい・アニメーターの育成・ITやバイオのスタートアップ企業のインキュベーション等
30	スギ丸を区の北側をお願いします。
31	杉並広報の表紙について、最近ステキなイラストが表紙になっていて親しみを感じます。しかしイラストだけではもったいない。良質紙を使っているのでその時のテーマに興味をもってもらうため・クイズイラストにする、間違い探し、迷路、ふしぎ絵（上下逆にすると異なる絵になる）クロスワードパズル・大人も小供も遊べるぬり絵にする・交通安全等のポスターを学校や区民から募ってその絵の展示場面にする・イラスト地域地図、区役所・図書館・公民館・公園など杉並の公共地を中心に置きアクセスやおすすめ店などが案内されている保存できる（保存したい）イラスト地図にする。イラストは区在住のイラストレーターやまんが家に活躍してもらおう。いかがでしょうか。
32	「自転車活用の推進」という項目を見ました。

	<p>私も自転車の利用者で日々使っていますが、日頃から何とかならないかとおもっていることがあります。</p> <p>一つは荻窪駅周辺の駐輪事情です。阿佐ヶ谷駅、西荻窪駅等には短時間なら無料で利用できる駐輪施設があります。荻窪駅にも北口には西友・ルミネ、銀行の駐輪場がありますが、南口には銀行の駐輪場のみです。銀行は休日には使用できません。南北が線路で分断されているため線路を跨ぐには自転車を降りて手で押して階段を昇降しなければなりません。これを解消し、駅周辺の放置自転車対策としても有効な、短時間無料利用できる区立駐輪場の設置を検討いただきたい。</p> <p>二つ目は、自転車の走行車線の確保です。歩行者からすると歩道を走る自転車はどちらが優先かわきまえずに歩行者を顧みずに走っています。車の運転者から見ると車道を走る自転車は危ない。</p> <p>これを解消には車道を区切って自転車専用レーンの設置が有効と思います。近隣の区市では見かけますので杉並区でもぜひ推進していただきたい。</p>
33	<p>改訂案に対する区民意見を募集している様ですが、案が漠然としていて例えば日々の困り事などに対してどうしたら良いのか全くわからず、いつまでも変わらないし形だけ…の様な気がします。</p> <p>杉並区に住んで24年になりますが、当初から道路の犬の糞に悩まされています。特に家は道路の角地で電柱もあり年中犬の糞と尿の被害があります。自分は犬を飼っていないのに、人の犬の落とし物を始末する事になっています。</p> <p>道路を歩いても糞を取らない飼い主がいるので、雨が降らない限り4.5日はあり、取らない飼い主は毎日道を変えるのであちこちにあるのです。役所に糞の条例を作って欲しいと言う事を電話しているのですが、条例を作るのは難しい…との事。(本当は罰金などの罰則を作って欲しい…。)</p> <p>何をすれば検討して貰えるのかと聞いたのですが、「難しいんです。」を繰り返すばかりでした。乾いて空気中にまえば鼻から口から吸い込んでしまうので、衛生面でも気になります。</p> <p>犬の糞ぐらい…と気にならない人はアパート、マンションにお住まいとか昼間は会社で仕事、あまり歩かない人かもしれませんが、道路で踏んでしまったら嫌ですよね。</p> <p>糞を取らない飼い主は日が暮れてから、あるいは早朝散歩させています。また自転車で散歩させている飼い主はほとんど落としましたままです。迷惑に感じない人はいないと思うので、犬の糞を持ち帰る条例を作って下さい。</p> <p>少数の迷惑をかける人に大勢が迷惑を感じているのはおかしいのでは？タバコのポイ捨てが迷惑条例なら、なぜ犬の糞は良いのでしょうか？ 人に迷惑をかけてもそれが許されるなら、持ち帰らない人が増えるだけなのでは。</p> <p>検討をお願いします。もしかしたら犬の糞持ち帰り条例の初めての区になるかも知れませんが、杉並区は道路がきれいだと言われたいです。</p>
34	<p>こんにちは。</p> <p>阿佐谷にしはら公園の向かいのマンションに住んでいる者です。マンションの入り口の横にある小さい出入口から外に出ると、まず目に付くのが、公園の男性用トイレです。公園前の道路が広いので、配達途中の人、タクシー運転手、散歩中の人など結構使用されています。そのトイレにドアは無く、用を足しているのが丸見えです。マンション居住者はもちろん、公園を利用するお子さんや大人達にとっても見栄えの良いものではありません。せめて、外から見えないようなドアやつい立てを設置して頂けないでしょうか？</p> <p>ご検討の程、どうぞよろしくお願い致します。</p>
35	<p>・天沼ゆうゆう館は、機能移転したと思われません。さまざまな問題がありました。検証下さい。高令者の基本方針も討議して下さい。・財政問題はまたまた、将来少子化税収不足と変わらず言いたたえています。過度の人口減少は発生せず人口増加と。共産党議員さんが述べられています。「将来」「将来」といいますけどいかに過しやすい杉並区にするか、人口を増やすか、理想目指していく視点を区民に示し、(金ないないと言いたてると人は集まりませんよ。)今までさんざんぶっ壊し無駄使いしてきたのですから、区民もなかなか期待出来ないのです。今回“給食の無償化”、“補聴器支援”、さまざまな事が叶いました。“税収は減少どころか増加している”と証明する政党もありますよ!“働らく人も増えています。”・子どもの基本方針を考えていく、とはよい事です。(1) 科学館は夜空を見る事や岩石、妙正寺公園池の生物(アメーバを望遠鏡で観察する - この</p>



	<p>小さな生物が命を燃やし生きている) プラネタリウム、これからの科学の発展等知るのは子どもが生きる上で自殺やいじめから生きる力に変換出来る可能性、あります。科学は生きる力ですし先代のさまざまな活躍を知る事も夢を育てます。科学館もある意味“子どもの居場所です。”(2) 子どもの包括的性教育を取りくむべきです。(憲法9条→暴力をなくす、24条家庭の民主化) 憲法を知る機会もなんらか必要かと存じます。</p>
36	<p>杉並区立施設マネジメント計画に対する『意見・要望』を提出します。設立して五年目の後期高齢者団体の代表を運営しています。時代のニーズと共に変わる流れは、大変な速さでもあり、これらに対応していく応用力に日々努力を致しています。ゆうゆう荻窪東館、内で後期高齢者団体の活動をしていることについて、施設運営、管理者側とのトラブルについて現地点まで、明白、に言語や書面で納得したものは、交わされていません。表面上は、言葉使い、必要な要望等に対して以前に変わり優しさと柔軟度は違いますが、これではこれから先の事柄が理解できません。管理者が置くサロンの運営と高齢者の活動の温度差は余りにも違います。この現場の現状を把握するのは、困難なことかもしれないと思っておりますが、いちど、にど、さんど、現場を探して下さい。辺の者、人が表でだててきても何も落ちていません。契約が九年と聞いています。今年が書きかえ時点とか、これでは、素顔なんて、みることは不可能です。(九年の契約の変更を願います。) 今年になり、物置の中や廊下に置いてあった、シニア側の機具を整理して広くしていく行動をしています。今年の3月高齢者施設整備担当の課長係長さまと、4階の議会棟の一室で話し合う時を作ってもらい、ましたが、その時の伝達申し送り等が、届いているのでしょうか？新しい基本方針や、取り急ぐワークショップの方向を迅速に具体化して下さい。</p>
37	<p>要望書、子育て支援も大切ですがそれ以前に人口減少問題に取り組んでほしい。若い人が結婚を早々にあきらめ、昨今一人身を楽しむ傾向にあるように思える。若い人達が結婚して子供を生み育てる事があたりまえのような、そんな環境作りを切にお願いします。まずは、男女が卒先して参加できる、参加したくなるようなイベントを数多く増やしてはどうでしょうか。(たとえば、昔の田舎の青年団のような)</p>
38	<p>岸本様 先日3日はありがとうございました 西荻窪の北銀座通り道路拡張工事について、この件については、区長の解答で、一応、理解しました。 私個人としては、感傷的には、桃井第四小学校 荻窪中学在学中によく利用していただけに、懐かしさもあるし、中学時代の同級生が、この沿道で歯科医院を運営していて そこに半年に一度、通っているだけに、工事実行となると立ち退き間違いないので、反対です。 とはいえ、防災・交通安全に鑑み道路拡張工事が必要なら、やむを得ないのかと、思います。それだけに、撤回を求めているのに立ち退かなければならない人には、今現在 住んだり、借り受けている土地建物と、価値的に全く変わらない別の場所の土地建物を買い与える形の立ち退き補償をしてください 見直しといった以上は、立ち退き補償も完璧にすべきであり、これこそ、大岡越前的三方一両損ではないでしょう。 他にも、質問、要望ありますが、今回は、この質問だけにさせていただきます。 日を改めて、いろいろ、メールで、質問させていただきます</p>
39	<p>岸本区長 11/3の説明会での、区長の締めくくりの言葉は、「道路、高齢者の単身世帯の増加、医療、農園、学童クラブの区立小学校内の設置等、区民の要望について、一人一人・一人だけに関わることは出来ないが、最後には、パズルのようにきれいになる形で、区民全員が最大限、納得してもらえよう、杉並区民から払ってもらった税金を適正に支出するべく、慎重な対話しつつ、行政執行するようこころがけます」という意味でよろしいでしょうか。この言葉をもとに、いくつか質問させていただきます 1. 給食費について、 区立小中学校の給食を無料にするとの公約をしていますが、今年の区議会選挙直前に、財源確保出来ず、断念したはずが、最近、杉並区給食費無償化条例を区議会で可決したのは、どういうことでしょうか 自民党杉並区議の渡辺友貴様の話では、「杉並区は、無料にするほどの低所得者は少なく、一定の低所得者に</p>

	<p>対しての給食費減免制度があり、しかも、無料にしたら、良質な美味しい給食が保てないので反対」とのことです。給食費こそ、管(すが)前首相がいう「自助 共助 公助」で財源をまかなうべきです。給食費を無料にするより、異次元の少子化対策が話題になっていますので、学童クラブ・児童館の存続についての方が、相对比较でより大切だと思います。</p> <p>2, 区内の外国人への住民投票権の付与</p> <p>岸本区長は、産経新聞等のマスコミの噂レベルの話だと思いますが、区内在住の日本人区民と同様に、日本国籍に帰化していない区内在住の外国人にも住民投票権を与えるとの話がありますが、本気で考えているのでしょうか。隣の松下武蔵野市長や、吉田はるみ衆議院議員と連携して、住民投票条例を改正させるとの話があるらしいです。本当なら、暴論です、その条例が原因で、住民投票権目当ての在日外人が、杉並区に大挙移住したらどうなりますか？そういう外人に日本の道義道徳・生活習慣を厳守せられますか。やるならば、当該外人の母国との間に、住民投票相互主義条約を結ぶべきです。</p> <p>3, 高齢者の独身単身世帯の増加について</p> <p>このことについて、11/3 の会でも、方南町で増加しており、治安悪化を懸念するような質問があったような気がします。これについて、会の司会者で、政策経営企画課長の藤山様より、「自助 共助 公助」で対応すべきとの答えがあったようなら覚えていた</p> <p>私も、56 歳の独身で両親・姉が亡くなり次第、そうなるので、それに備え、厚生年金だけでなく将来の生活防衛策として生命保険の個人年金等金融商品を買う形の貯蓄に励んでいます。自助努力ですから、そのような所得に対しては、杉並区の住民税全額免助してほしいです。なぜ、可処分所得のなかからの所得にまで、課税するのですか、理不尽です。</p> <p>4, 杉並区内の農産物について</p> <p>清水 今川 宮前 高井戸は、農業が盛んで、畑を見かけますが、そこから収穫した農産物は、よくないと聞きます。しかも、区内の大手スーパー等には、大々的に販売されていません。もし、税金を投入するなら、かつての竹中平蔵・小泉純一郎的な市場原理・構造改革的政策を前提にすべきです。同情的保護で行うなら、言語道断です。</p> <p>5, ふるさと納税</p> <p>杉並区が本来 得られるはずの住民税が他市区町村に流失していて、財政上、心配とのこと。総務省に、廃止する等、交渉すべきではないでしょうか。</p>
40	<p>実行計画には、これまで「共生」という言葉がありましたが、今回「多文化共生」という言葉が入ったことが画期的なことと思っています。今後数年の外国人人口の増加を見越した先見性のある計画だと思います。</p>
41	<p>1, 医療について</p> <p>私は、心筋梗塞持ちの 56 歳で、定期通院しています。コロナワクチンも、基礎疾患枠の扱いです。杉並区の医療行政は、癌については、補助制度はあるようですが、心筋梗塞についても、杉並区独自の医療補助制度を考えていただけないですか</p> <p>2, 太陽光発電設備設置についての補助</p> <p>太陽光発電は、パネルを設置するために森林・山を切り倒しているそうです。これでは、CO2 削減以前に、自然破壊を助長し、矛盾しています。このパネルの製造過程で CO2 を排出しています。パネルも 10 年後には、廃棄するので、新たなゴミ等の環境問題となるそうです。</p> <p>以上の理由からこんなものに税金を使うのは反対です。</p> <p>3, 杉並区内の大学生以下幼児についての道徳道義教育</p> <p>11/3 の区長との懇談会で、実質 70 分の時間制限で、30 人の区民が主席して、一人一人が要望等発言する形で、司会の藤山様から、「区長は 4 時 15 分から公務があるので。言葉を簡潔簡潔にするよう、時間配分に協力してください」とお願いがあったのに、私以外、簡潔簡潔に欠け、長々と 5 分以上話して、全員に発言機会があたえられなくなりかけました。私は、そういうことに関係なく、買わない心がけ心がけ、簡潔に、長くても 3 分か 4 分だと思います。そういう意味で、他の出席者は、私より、良識があつて人生・職業経験あるはずだと思いましたが、節度がない人たちだと、思いました。それだけに、今の大学生以下幼児の方々は、最低</p>

	<p>限、このような懇談会では、他の出席者に配慮等気遣いできるような協調性を自覚させる教育をしてください。区の教育計画には、こういった道徳教育は、盛り込まれていないように思います。</p> <p>4,岸本聡子区長への要望</p> <p>対話重視ということで、いろんなフレーズを発信しているようです。その是非はともかく、対話というなら、道路拡張工事が防災上必要だとしたら、防災に力を入れている早坂自民党都議会議員から防災等について、教えを頼むような謙虚さを持ってください。</p> <p>高円寺の純情通り商店街についても、工事するかどうかが問題となっているようですが、そうであるなら、高円寺を地盤にしている、大和田自民党杉並区議から、高円寺について相談するのも、高円寺の発展に、寄与するのではないのでしょうか。</p>
42	<p>広報誌や各種 SNS で新たな取り組みを発信するのはとても良いことだと考えます。一方でその発信の仕方に疑問を感じています。杉並区の現区長の写真付きで、キャッチコピーが付いているものが多すぎませんか。区長はアイドルではないと思います。区役所の職員の士気を上げる為か、区民に知名度を広める為かは定かではありませんが、一定数以上の PR はやり過ぎと感じます。品のある杉並区長を求めています。</p>
43	<p>1,商店街 駅周辺での自転車・キックボード・自動車の通行について</p> <p>私は、荻窪の天沼協会通りを通勤・散歩等で通ります。協会通り等商店街は、歩行者 自転車、自動車の順で、通行優先権があると思います。しかるに、日中、自動車が入ってきて、歩行者・自転車の通行が妨げられ、不愉快です。また、夜の通勤帰りの歩行中に、女性が、自転車から転倒して、歩行している私の背中にぶつかって、もたれるように倒れ、ぶつかられた私に謝らず「べるをならしたのに」と悪態つかれました。何故、ぶつかられた私は、被害者なのに、文句言われないのでしょくか。逆に、私も、日中、教会どおりを右折するときに、減速する等注意不足で、右から左折しかかった通行人と、正面衝突しかかりました。そういう意味で、お互い、被害者・加害者になりうるので、大惨事にならないうちに、商店街、住宅街、通学路等の自転車・キックボード・自動車の通行について、杉並区としての規制を作ってください。</p> <p>2,多様性、女性の政治参加、男女平等について</p> <p>区長は、何をもって多様性というのですか。人間いろんな思想信条宗教等いろんな考えがあるはずです。決して、女性を軽蔑するするつもりはありませんし、いろんな政治・職業に女性が参加することを否定するつもりはありませんが、選挙 競争がある以上、その結果、男性より、女性が少ないのであれば、それも、多様性であり、クオオ一制度反対というのも、多様性ではないのでしょうか。</p>
44	<p>施策 2 地域の防災対応力の強化について</p> <p>=&gt;D 級ポンプは、今後利用できなくなること、水利の確保も含めて発災時の対応が難しいことから、スタンドパイプの配置を、区内の全消火栓数の一定割合に進めていくことを計画に盛り込むと良いと思います。</p> <p>施策 14 人権を尊重する地域社会の醸成</p> <p>=&gt;憲法で基本的人権の尊重が定められており、いまさらこのようなことを区として積極的に取り組まなければならないのか疑問です。諸外国では、性自認者による、女性や子供への性暴力の事案も出ており、「みんなで作る、災害に強く、犯罪を生まないまち」に反する</p> <p>施策にならないか注意しながら進める必要があると思います。</p> <p>施策 27 多様な文化・芸術の振興と多文化共生・国内外交流の推進</p> <p>=&gt;多くの区民がお互いを尊重し合い、違いを認め合う、多文化共生社会への理解を深めることには、異議はありませんが、外国人に対しても同じことを守らせる取り組みも必要だと思います。外国人は、長年信じてきた宗教の壁があり、中には我々が守ってきた文化のルールや場合によっては、日本国の法律を侵すことが当然の権利と考える人もいる可能性があります。その様な者の違いも認めるようなことにならない様注意が必要だと思います。</p> <p>その他</p> <p>P94</p> <p>3. 地域の見守り体制の充実</p> <p>3 か年計</p>

	<p>たすけあいネットワーク（地域の目） 見守りを希望する登録者数《100人》 =&gt;300人の誤りではないでしょうか</p>
45	<p>施策9 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進 =&gt;再生可能エネルギーの利用についても個人的にいち早く太陽光発電を自宅に導入し、温室効果ガス排出量の削減に自ら貢献している事に自己満足をしていました。設置後、14年を経過しましたが、いまは失敗したと思うようになりました。</p> <p>なぜならば、太陽光パネルの製造工程も含めれば、温室効果ガス排出量の削減にはつながらない事、今後のメンテナンス費用や、撤去する場合の費用が非常に高額である事、再エネ賦課金の総額は年間5兆円にもなっており国民の負担増になっている事を知ったからです。</p> <p>したがって区内の太陽光発電導入容量を目標に定める事には反対します。</p>
46	<p>「新たな取り組み」の一つ プラスチック使用製品廃棄物の分別回収↓↓↓↓↓ 大いに期待します。地球温暖化防止の一人一人が身近な挑戦できる事です🌱</p> <p>現行の「プラゴミ回収」は生ゴミ的な物との区別状態に近く 大手スーパー等でも「コープみらい」のようにトレーも透明トレー迄を回収しているところは少なく、区民でもトレーについてはプラゴミに入れている方が多い。</p> <p>再生化をはかり強く推進して頂きたい!!です。</p>
47	<p>1 防災・防犯 主要事業の一つに備蓄物資の充実とありますが、それよりも、住民各自が1週間分の飲料、食料を備蓄するような実効性のある政策をとった方が区の財源を節約できるのでは。あまり区のお金を当てたくないのですが、区で備蓄するより事業費、人件費がかなり節約できるようなら、備蓄をした人にポイントを付与し、災害時には物資の支給を後順位にするまたは支給しないこととするなどはどうでしょうか。</p> <p>2 健康・医療 主要事業に、認知症予防対策を加えてください。今年3月28日にもメールで区長への意見投稿をしており、その中で兵庫県神戸市の先進的な施策をやや詳しく紹介し、同市から情報入手し杉並区としても認知症予防に本格的に取り組んでほしいとお願いしています。もし、神戸市のようなことはできないのであれば、横浜市、名古屋市でも神戸市ほどではないものの効果的な取り組みがなされているようなのでそちらも参考にしてください。</p>
48	<p>小学生が遊べる施設を充実させてください。 以前は子育てプラザなどでお世話になりました。しかし小学生になると途端にあのような施設がなくなります。大人の見守りもあって多様な遊び方ができるものを作ってください。 ちなみに私は渋谷区出身ですが渋谷にはそのような施設があり小学生の時は大変お世話になった思い出があります</p>
49	<p>土曜日は、ありがとうございました 岸本区長の協調型対話の姿勢は、理解しました。</p> <p>でも、いろんな意味で、疑問があり、私自身も、いろんな矛盾があります。</p> <p>私も、道路、伝統的な町並みについての希望はともかく、藤山様にも話した、私個人の可処分所得の中から買った金融商品の金融所得からの区民税についての免除については、区民財政からのバラマキ的で厚かましいのかなと思いました。</p> <p>従って、バラマキ的にならないよう、現実的意味での杉並区の税込・支出からして、給食費・児童館・学童クラブについての希望が多く、 優先事項に感じますが、実現可能でしょうか。</p> <p>現実には、岸田内閣の物価対策の減税・低所得者への現金給付と、異次元の少子化対策・対中国・ロシアの脅威に備えるための防衛費増額に伴う財源確保に伴う増税との整合性・矛盾が問われていて、内閣支持率も30%以下です。</p>

	<p>そう意味からしても、岸田杉並区行政は、大丈夫でしょうか。</p> <p>給食費・杉並区の農業対策についても、費用対効果、杉並区農業の市場原理的価値から、私は、反対したのです。</p> <p>同じ、杉並区の子供対策なら、給食費よりは、夫婦とも働きながら、適正な子育てが出来るよう、保育園・学童クラブ・児童館について配慮すべきです。</p> <p>受益負担の原則、給付と負担の原則にも配慮すべきです。北欧諸国のように高福祉・高負担でいくべきでしょう。もちろん、負担にふさわしい、区民全員が最大限、すべての福祉サービスが受けられ、なおかつ、自助にふさわしい税金優遇が受けられるようないい意味での報いが受けられるかどうかも大切です。</p> <p>そういう意味では、将来、私も、身寄りなく、高齢者の独身単身世帯になるので、自助・共助・公助を前提に、そういう人たちへの福祉サービスは、住環境保護の意味でも賛成です。</p> <p>如何せん、国家財政は、日本銀行という、国際手的信用度のある、通貨発行権があり、通貨発行したお金で、日本国債を買い受けて通貨発行益を得ることが出来ますので、積極財政的支出が可能です。</p> <p>逆に、都道府県市区町村は、そういった信用力もないので、大きな政府なぬ大きな杉並区か、小さな政府ならぬ小さな杉並区なのかの、瀬戸際だと思います。</p>
50	<p>西田小に通っています。</p> <p>午後に来て荻窪児童館の内部の現状を見てください。</p> <p>足の踏み場もないほど学童の子や小学生が漫画を読み廊下に寝転んでます。体育ホールも15分刻みで学年ごとに使ったりキャパオーバーです。</p> <p>職員の先生方はほんとにほんとにほんとによくやってくさっています。古い狭い施設でこどもがいきがりません。</p> <p>安心して大人の目があるのびのび放課後遊べる施設を近隣につくったり整備してください。</p>
51	<p>10. 循環型社会の実現の中のゴミ排出に対する意見。世田谷の保坂区長の元ではすでに実施されていることなのですが、各家庭の不用品（家具や、家庭用品）などを、区の決められた施設まで運ぶ（又は引き取り？）ことにより、それらを集めて区が販売し、区の売上げとする、というものです。メリットとしては（1）少しでも節約したい家庭に非常に喜ばれる。（2）粗大ゴミが減ってゴミ排出に役立つ。（3）区の財政もアップする。というすばらしい政策で、杉並区も始めれば良いと、テレビを見ていて思いました。昔、高井戸のゴミ処理場のまつりイベントで、「ゴミの中からこんな物・展」というのがありました。いらない人もあれば、欲しい人もいるわけで、買わないで済んだ！と皆、喜んでおりました。抽選でそれが当たるともらえるので、大変人気がありました。現実には使えるのに粗大ゴミとして捨てられる物がたくさんある。しかも活かされていない、ということは何ともしないことではありませんか？杉並区のリサイクルの拠点となっている、リサイクルひろば高井戸で、以前は1階で家具を展示販売していましたが、家具の引き取りをやめたのはどうしてでしょうか？・職員の方々の高齢化で、重い物は危険となった・人手不足・大きな家具は時代の移りかわりで売れなくなったなどあるかと存じますが、中年以上の男性2人がかりなら運べそうな家具限定でも、活かせる物は活かしていくのが、これからの環境にとっても、必要なことだと思います。それから、リサイクルひろばなどで3ヶ月に1回フリーマーケットをやられています、回数が少なすぎて、出店ハードルが高すぎます。以前は荻窪のタウンセブンや、あちこちで開催されていましたが、今は、公報を見る限り、ここのみしかやっておりません。コロナもふつうのインフルエンザより、ずっと下火になった今、しっかり税金を使って活動して頂くことを望みます。出店料500円位取ってもかまわないと思います。第2・第4の土、日（月に4回）10時～14時、という程度の回数にして下されば、まだ使える、服や雑貨、オモチャなど、ずいぶんゴミが減るでしょう。リサイクルひろばは、以前はもっと活用されていた場所ですが、荻窪駅近くのビルを杉並の税ム署と交換してから、事ム所が4階に移ってきたりして、その分、区民の利用スペースがなくなったようです。事務所のような場所は、どこでも作れますが、区民が利用できる広いスペースは、なかなかないのが現状だと思います。あってもなくてもいいような場所ではなく、区はもっとリサイクルという名に恥じない、しっかりした場所として施設をフル活用して頂きたいと存じます。</p>
52	<p>【環境・みどり】について</p>

	<p>道路沿いの緑被率は上がっていると感じます。</p> <p>ただその中で車を運転する方にはよく感じとれていると思いますが 側道から井の頭通りもしくは方南通りに出るとき 植木及び植木の葉がじゃまで見通しが悪く事故になる寸前の光景を たびたび見かけます。</p> <p>運転する者から見て枝葉のない木の高さは1mまで 枝葉のある木は2m上から枝葉が生えるような木に植え 替えていただければと節に思います。</p> <p>名前は伏せますが、街道に面したとあるレストランの車の出入り口は 見通しが悪く木を一部伐採しています。</p> <p>また木が成長しすぎて電線に架かっているものも多く見受けられます。</p> <p>これは大変見苦しく汚い。</p> <p>最後に少子高齢化により区民税増は見込めない中、木のメンテナンス費用があまりかからない木の選定もす べきだと思います。</p> <p>(木の選定をする方のセンスを疑います)</p>
53	<p>共働き世帯の増加で学童保育の需要が高まっており、子どもの放課後の居場所も限られる中で児童館の役割 が大きいと思います。建物が老朽化していますが、毎年学童に入れない子が大量おり、希望者が皆入れるよう に地域の施設などをうまく活用していただきたいです。また小学校ごとに利用できるサービスの選択肢や質 に大きな差があるようなので、公平にどの学校に通う子にも機会をいただけたら嬉しいです。</p>
54	<p>「環境みどり」について</p> <p>杉並区は緑被率を目標 24.70%に目指していて、「施策を構成する実行計画事業」では「みどりを守る」を「重 点」事業として掲げ、「みどりを創る」「みどりを育てる」「みどりの質を高める」などと、いかにも表向きの 施策はよく写り映えますが、実態はどうでしょうか？！</p> <p>事業内容の如何にも“やっています”的な計画ですが・・・。</p> <p>新たな取り組みとして、「いこいの森」など新規の計画に積極的に見えますが、果たして「みどりを創る」「み どりを育てる」と掲げる姿勢は現在も生きながらえる「みどり」に対してはどうでしょうか。</p> <p>ご存知のように、妙正寺公園河川をめぐる“枝垂れさくら”の老木化、衰退に対する保全・育成に対する姿勢 はすこぶる消極的です。</p> <p>10年余り前から、全盛期の枝垂れ桜並木から衰退が始まりましたが、区の姿勢は、「倒木」の危険性を指摘し、 「伐採」にはとても熱心で優先的に進めるばかりで20数本が伐採されています。</p> <p>若木の“枝垂れさくら”を植えたのは妙正寺公園から早稲田通りまでの距離に僅か2本に過ぎません。さまざ まな困難はあるとしても、この姿勢には緑被率を高める保全・育成は全く見えません。</p> <p>改訂案に示す、みどりを守る「事業量」には、妙正寺公園河川敷をめぐる“枝垂れさくら”の「みどりを創る」 「みどりを育てる」「みどりの質を高める」は入っているのでしょうか？</p> <p>妙正寺公園河川をめぐる“枝垂れさくら”復活への積極的な取り組みは「みどり豊かな 住まいのみやこ」に 値する取り組みとなると考えます。</p> <p>また、街路樹に関して区の姿勢は緑被率を高めるには消極的です。早稲田通りの街路樹にしても、区は伐採に は積極的です。伐採後は、街路樹ではなく「躑躅」などの低木を植えてお茶を濁しています。部分的には若木 を植樹していますが、多くは低木の植樹で処理していると思います。</p> <p>ここにも「みどりを創る」「みどりを育てる」「みどりの質を高める」などの姿勢は微塵にも感じられません。 「身近な公園の整備」について</p> <p>まず、本天沼・下井草地域に大規模な災害避難地を兼ねた大規模な公園がない事です。確かに大規模公園を設 置することは難しいとは思いますが、学校などの利用には制限があり、利用には困難さがあると思われま す。親子が、子どもたちが安心して遊べる大規模公園を確保してください。</p> <p>公園の遊具について、脱プラスチックの時代にあって、なぜ更新される遊具がプラスチック製なものでし ょうか？！この夏はさらに暑く、プラスチック性は熱を持ち子どもには不的確な遊具です。</p>

	<p>今は、木製が推奨され補助金も出るはずですので、安易なコスト削減はやめて持続可能な計画で進めるべきです。</p> <p>さらに、安全性ばかりが優先され、いかにも事故が起きた時の「責任を取らない姿勢」ばかりの“冒険心・好奇心を誘わない”“年齢制限”の遊具が多用され、我が家の近くの公園ではブランコさえも廃止になりました。これらの遊具で子供たちが集うとお思いですか・・・、まるで実態をつかんでいません。子供たちの逞しさを引き出す努力も推し進めて欲しいと求めます。</p> <p>「公園トイレ」について</p> <p>公園トイレの改修を早急にしてほしい！</p> <p>「誰でもが利用しやすい公園改修」の事業量の中では触れていないが、杉並区の公園トイレは“古くて、臭くて、汚い”のが実態です。区は週何回かの掃除をしていると回答しているようですが、時代に即していません。</p> <p>私の娘は西荻に住居していますが、公園は、隣の武蔵野市を使うと言います、それはトイレが整備され、洋式でもあり使い勝手がいいと言います。</p> <p>小さな子ども連れでも使えるスペースと広さを持ち安心・安全なトイレを急いで整備してください。</p> <p>「図書館」について</p> <p>図書館の蔵書について、毎年どれほどの本を購入しているのか実態はわかりませんが、杉並区の図書館はネットワークで結んで活用していると聞いています。それでも借り出す実態は酷いもので人気の本などは30人待ちなど当たり前予約します。一人2週間借りるとすると、およそ15ヶ月先になるわけですが、それでは借りる意味合いが全くなりません。</p> <p>どのような政策で図書館は実施されているのでしょうか。利用者の実態に即した図書館運営を期待します。</p> <p>さらに、読書スペース（閲覧）が狭まり、図書館では読むなどと言わんばかりの実態です。</p> <p>「職員」について</p> <p>区のおさまさま施設・部署の職員が、外部委託され、非正規の方々によって置き換えられ運営されていますがその姿勢は、岸本区政の施策に合致しているのでしょうか？！</p> <p>人をモノ扱いでは区長の姿勢にも関わることではないでしょうか</p> <p>コストパフォーマンスとして施策だとしたら、岸本区政は信じるに値しないと考えます。</p> <p>格差を生み、施設の継続運営・継承・育成など様々に今後悪影響があるのではないかと懸念いたします。</p> <p>改善方針と見解を伺いたい。</p>
55	<p>2児を育てる母親です。</p> <p>児童館には平日、土曜日ともお世話になっております。</p> <p>真夏、真冬、雨の日など、公園で遊べない日は大活躍です。</p> <p>また、まだ歩けない時期の子にも最適です。</p> <p>現状の改善は避けてください。</p> <p>子供、親子の居場所が今以上に少しでも多くなれば幸いです。よろしく申し上げます。</p>
56	<p>(1) 杉並区は一番商店が多いと聞いておりますが荻窪の町は七十年在住しておりますが今だ活気がない様に思います。高円寺の阿波踊り、阿佐ヶ谷の七夕まつり等外からの経済効果を得るための、町全体が楽しめるイベントがほしいと思います。(2) 空き屋対策、不用心である(3) 太田黒公園は足元が悪く高齢者は歩けない。(4) 高齢者に取って元気であるために皆んなが気楽にたのしめる施設を作してほしいと思います。</p>
57	<p>「ほっと一息」を利用させていただいている者です。主人が脳梗塞で、私もだんだん変形性膝関節症で体が思うように動かせなくなりましたので、利用させて頂き、月二回きれいに掃除して頂き、助かっております。それで月二回の利用料六百円の請求書と領収証を別々に発送なさり、送料がもったいないと思います。他の事業所では一緒に発送してしますので、それで良いのではないのでしょうか。わずかばかりと思われるかも知れませんが御一考下さいませ。かしこ</p>
58	<p>移民・難民の支援 大反対！！移民・難民のために杉並区の財産を使うのは大反対！！</p>
59	<p>「ごみ減量」について</p>

	<p>「ごみ減量」、特にプラスチックごみ減量についてはまず事業者（メーカー、小売り店等）に協力を求めるべきではないでしょうか。</p> <p>私自身はなるべく包装の簡易なものを買うようにしていますが、それでもプラごみがかかり出てしまいます。それはそもそもメーカーが商品を立派に見せようとして、または内容の貧弱さを見抜かれないように、包装材料を多量に使うことからきていると思います（そんなのは消費者には見抜かれているのに）。そして小売店も、包装材料を多量に使った見栄えのよい商品を疑問もたず仕入れています（メーカーによれば、立派なプラ容器に入ったものの方がバイヤーに好まれることもあるとのことです）。</p> <p>大量のプラごみは誰もうれしくない（メーカーは容器にお金がかかる、消費者は保管と廃棄に手間がかかる、行政は処理に手間とお金がかかる）のに発生し続けるこの現状を根本から変える必要があるのではないかと思います。そしてその第一歩はメーカーがプラの大量使用を止め、小売店が包装の簡易化を求めることではないかと思います。</p> <p>というわけで、事業者への働きかけも含めていただければと思います。</p>
60	<p>施策 14「人権を尊重する地域社会の醸成」について</p> <p>当該施策の見出し分には「人権とは、誰もが生まれながらに等しく持っている、(中略) 啓発事業と相談事業等を実施し、年齢、性別、国籍、人種等による差別や偏見のない多様性を認め合う意識の醸成に努めます」との記載があります。</p> <p>上記の、人権が尊重される地域社会をめざし、啓発事業・相談事業を通じて多様性を認め合う意識の醸成には、「外国籍住民に対する地方参政権の付与」の実現は含まれないのでしょうか。</p> <p>周知の通り、いわゆる外国人参政権については内政干渉・外国籍住民に偏った政策判断などのデメリットが指摘されており、当該議論においても慎重な判断を要します。</p> <p>一方で、杉並区が施行する杉並区自治基本条例では、「永住外国人を含む」住民投票の権利を認めており、一部参政権に近い権利を認めています。</p> <p>人権は、個々人が生まれ持って等しく持つ権利であることは、判断をまちませんが、人権が侵されうる状況も現実の問題として発生しています。</p> <p>人権は、生まれ持って付されるのみだけでなく、地域社会あつては構成員である住民相互の信頼や理解の促進を通じて、守られるべきものであると思います。</p> <p>今回発表された総合計画では、人権が守られるもの、性別・国籍など所与の条件によって阻害されるべきものではないことが示されましたが、その実現に「啓蒙・相談事業」のみを当てたことは、実現の方法として弱さを感じました。</p> <p>話を冒頭に戻します。</p> <p>私自身は、「この年齢・性別・国籍・人種を超えて守られるべき人権」を守るための権利として位置づけられるものが参政権と理解しています。</p> <p>すべての住民において守られるべき人権に対して、一部の住民（外国籍住民）に対し人権を守る手段としての参政権を付さないのは、日本国籍をもつ私として、自身が特権的な身分に置かれていること自覚せずにはいられません。</p> <p>外国籍住民に対して、杉並区議会／杉並区長の選挙権・非選挙権をといった大きなゴールを目指すことから始めなくとも、何かしら啓蒙・相談を通じた「意識の変化」ととどまらず、具体的な行動に直結する計画を企図することはできないでしょうか？</p>
61	<p>前回の実行計画と比べれば、都市計画道路の項目のしたに、補助 227 号線が取り消されたと気づきました。高円寺での再開発をやめる公約が今こそ実現しましたかな？</p> <p>高円寺こそで人間として生きれる、</p> <p>高円寺こそで人間として見られる私は、心を込めて感謝をお伝えしたいです。</p> <p>地元で前政権の行為などのせいで不信がまだまだあると思い、東京都の計画からもこの事業を取り消そうと努め、既にそうしていれば、できる限りその方針を公表、そして広報することが私のお勧めでございます。</p> <p>そして、西荻窪の友達がまだ困っていて、生憎どの政権も「区民に聞こえる」など主張をする世の中にいるた</p>



	<p>め、計画の判断水準が変わったりした際、寄り添う努力に応じる価値があると思う区民が増えるようにその変化もきちんと伝えると助かると私は思っております。</p> <p>再度、高円寺で方針を変え、政治の価値への信頼を取り戻してくださり、誠にありがとうございます。</p> <p>私は実際、支配できない原因で、書いた住所から移住せざるを得なかったが、居場所が無くならないと今日聞いたので、さらに早く戻りたいと感じ始めました！</p>
62	<p>小学生の子をもつ親の立場から、下記についてとくに強くお願いをしたいと思います。</p> <p>計画に入っているものもありますが、現場の危機感が伝わっていないように見受けられるものもありました。計画において議論の俎上にのせ、ぜひ実現に向けての動き出しをお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校の教諭に向けた、子どもの人権教育</li> <li>・区立中学における人権抑圧的な校則の抜本的見直し</li> <li>・教諭の負担を減らし子どもひとりひとりへ心を配れるようになるための、少人数制のクラスや1クラス2担任制、事務員増員などの実現</li> <li>・小学校で配られているタブレットが非常に性能がわるく（立ち上げに5分かかり動作も非常に遅い）、子どもたちがデジタルデバイスに親しむ機会としてまったく機能していないため、全機器の早急な入れ替え</li> <li>・小学校の子ども全員に、防犯のためのGPSの配布</li> <li>・小中学校のトイレや水道などの整備</li> </ul> <p>どうかぜひ、よろしくをお願いいたします。</p>
63	<p>総合計画、実行計画などの改定案の説明会（荻窪地域区民センター）にて土木課の方とグリーンインフラについてお話をいただいた者です。計画案の選択が間違っていたら申し訳ありませんが、防災、防犯についてのところで、水害対策として、是非、今、杉並区でもグリーンインフラを進めて欲しいと切に願います。区有地から随時始めてほしいと願っております。今、私が住んでいる所も区営アパートなのですが、グリーンインフラを行う事で自治会費を捻出することはとても難しい話ですが、善福寺川の近くなのでぜひ、ご検討よろしくをお願いいたします。</p> <p>それから防犯カメラは今、条例で区の建物に設置が難しいとのことですが、昨今の治安から考えますと、防犯カメラは必須アイテムであると考えます。是非、防犯カメラ設置の補助金などもお考えくださいますよう、よろしく願い申し上げます。</p>
64	<p>体を壊して働けない、生活が苦しい 高円寺に都営くえいのやすいところをつくって 今つらい、結局何にもしてくれないするきがきがないから デジタルなんてどつでもいい。今の生活どうにかして 10ねんごなんてしらない 今どうにかして</p>
65	<p>何度も、お忙しいなか、失礼します</p> <p>岸本区長が、おっしゃった「区民の税金ということに鑑み、完璧に区民全員に納得できるようにできないにしても、最大限、全員が納得できるような、政策実現・区民の希望をかなえたい」であるなら、費用対効果、現実問題にそくした重要度・危険度等を考えながら、税金の使い方を考えてください。道路拡張・緑地を潰しての洪水対策に伴う貯水池新設・身寄りのない高齢者の単身世帯の終活・学童クラブ・成人病等難病の医療費補助などは、目前にせまった危険等重要問題なので、給食費無料にするなら、これら重要問題にこそ、今すぐ、杉並区民税を投入すべきです。税の適正・横断的世代間公平の意味でも、このような発想は、我ながら、堅実・至極全うだと思います。</p> <p>また、話は、変わりますが、税金ということに鑑み、杉並区長・杉並区議会議員以下、杉並区職員は、我々区民に対し、行政官・公務員とう、自覚をもって、区民＝お客様という意味での、接客対応ならぬ言動・態度等、区民が不快にならないように配慮して、区役所内での対面での会話等対応してください。最近、自民党の議員もさることながら、区役所職員・図書館職員にも、何か根拠を持って文句を言っても、事なかれ主義的な、木で鼻をくくるような言動・対応が見受けられます。</p> <p>ここで、具体的に言っても、切りがないので・・・そのうち直にはなせたら、言いたいと思います。</p>
66	<p>お疲れ様です。</p> <p>久我山保育園跡地にできる富士見ヶ丘北公園内に久我山保育園小学校に対応する児童館および学童保育を作</p>

	っていただきたいと考えます。
67	前区政で杉並区内の廃止された児童館は全て復活させて、質的にも充実させてほしい。 また、公設公営で、職員も正規職員で担っていただけるようお願いしたい。
68	子育てプラザおよび児童館に関する意見です。 まず、プラザは残していただきたいです。 児童館を必要とされる方もいますので、プラザを減らして児童館を増やすこと、児童館を減らしてプラザを増やすこともせずにしていただきたいです。 私は現在1歳1ヶ月の子どもがいます。 プラザ善福寺ができた1ヶ月後に生まれ、生後2ヶ月から平日はほぼ毎日利用させていただいています。 プラザに行く前は毎日がしんどく、産後の検診で産後うつと診断されたほどでしたが、プラザに行くようになり、同じ月齢のお子さんやママ、プラザのスタッフの方々にお会いするたびに元気をもらいました。 先日、善福寺にて行われた利用者による意見会に参加しました。 たしかに児童館時代から利用されてた方には、あったものがなくなった。という現状のため反対意見が多いかもしれません。 私自身、小中学校のときは自身や友人の家、公園で放課後を過ごしてましたので、杉並区のお子さんが放課後に児童館で遊ぶことを初めて知りました。 ただ、乳幼児、特にちゃんとともに歩けるようになるまでは公園で遊べるわけにもいかず、プラザのような場所はこれからの世代にも必要になるかと思えます。 なのでプラザの数は減らしてほしくないです。 実際に初めてプラザに行った時、なんてきれいなところなんだろう、温かいとこなんだろうと思いましたが、児童館に行った際は、なんだが逆にさみしくなるような感じがしました。 なので一度児童館に行きましたがそれ以来行っていません。 また先日の意見会に参加したときに、プラザはルールがあるため子どもの自由な発想には繋がらないという意見がありましたが、施設内のルールがないと子どもの安全を守れなかったりみんなが快適に利用することができなくなります。 またルールを守ることは子どもがこれから学校や会社等、世の中で生きる際に必要なことです。 先日の意見会ではプラザ反対派の方々はとても強い口調で、乳幼児の利用者や職員の方々に少し失礼な言い方をされており、少し不快でした。 反対意見のみを聞き入れずに次世代のためにもプラザの存続をご検討ください。 また12月19日の意見会は参加人数が限られるため傍聴席を設けていただけますと幸いです。
69	給付と負担、受益者負担とは、別に、 話はかわりますが、 岸本区長は、武蔵野市の松下市長が提案したような、杉並区内に住む在日外国人に対して、住民投票権を与えることを考えているというような噂もありますが、 本当にやるつもりなのでしょうか。 給食費の無料化も、武蔵野市の松下市長が実行したそうです。 そのうち、一度、そちらさまに伺ってもよろしいでしょうか
70	〔生ごみ処理機、補聴器の補助金について〕7月に生ごみ処理機を購入し、2万円の補助金を受け取りました。7月に申請する時、「補助金のワクがあと1人分しかない」とのことで申請を急がされました。調べてみると、80万円(40人分)の予算でした。生ごみ処理機を推奨するための施策であるならば年度途中で終まいにするのではなく、希望者すべてに行きわたるよう十分な予算を組むべきだと思います。補聴器については、生ごみ処理機よりずっと高額なのに補助金額が少ないことが問題です。補聴器は請求した区民すべてに補助金がゆきわたったのでしょうか。〔若杉小跡地利用について〕若杉小が廃校になってから十何年も十分な跡地利用がなされなかった、検討もされなかったことが、もったいなくなっておりません。利便性のいい広い場所ですから、なるべく有効な使い方をしてほしい。文化的な施設、教育的な施設、福祉的な施設しかも防災の拠点と

	<p>もなる複合的な施設、杉並のランドマークになるような施設を作りたいです。〔区立施設の利用料について〕集会や習いごとでよく区立施設を使いますが、利用料が高すぎます。利用料を下げるというのは岸本区長の公約だったと思いますので、今すぐ利用料を下げてください。〔公園について〕杉並には大きな公園といえば善福寺公園くらいしかありません。杉並は名前のおお、緑と自然が豊かなイメージがありますが、実際は、近隣の自治体に比べ公園や緑地は少ないのではないのでしょうか。公園や緑地を増やす政策をぜひとってください。その管理・清掃についても現状ではゆきとどいていとは言えません。公園の管理・清掃にも人手をかけて下さい。〔介護士の労働条件の改善について〕介護士、保育士といえば、低賃金など労働条件の悪さで双壁でしたが、近年、保育士については改善された面もあります。しかし、介護士については、近所の特養ホームはりっぱな建物なのに介護士が確保できず、部屋が空いていたり、入居者の散歩も家族まかせになっていると聞きます。せっかくたくさん特養ホームをつくった（田中時代のハコ物行政の結果だとしても）のですから、ぜひ介護士の労働条件を改善して、充実した施設にしてください。</p>
71	<p>杉並区立施設マネジメント計画についての意見。テーマ題：防災、災害時の備蓄物物資の充実確保は平常の取り組みです。各、中小の企業や各家庭でも計画的に責任とゆうことから取り組みたいことです。中央線の高架がなされないまゝの弊害は大きく南北の通行が止まっているのにひとしい現実、商店の連鎖もうすく、魅力のない荻窪の商店街です。JRの改札、地下鉄の改札、タウンセブン、ルミネへの入口、出口は、災害の発生を考えた時、ほとんどの人々の殺到を考えれば、想定外のことが起きることは、間違いありません。これらの問題点のとり組みに対しての考えを是非、お聞かせ下さい。至急に手をつけてほしい。</p>
72	<p>駅前道路拡張計画は取りやめになったのでしょうか？生活が便利になるとは到底思えません。ぜひ中止してください。 児童館、中高生が利用できる場所も少ないです。増やしてください。 よろしく願います！</p>
73	<p>やりたいことの羅列に終始し、それを為すための予算についての具体的な言及のないものは実行計画とは呼ばない。民間では戦略を実現するために削るものから考える。それができない経営は稚拙と判定される。区政に於いては最終的な負担は納税者に及ぶことになるため、このような水準に満たない役所の仕事は許しがたい。納税者負担の軽減を旨とし、全てにおいて再考を求めたい。</p>
74	<p>生成 AI については、1. 個人情報を入力しない 2. 出力結果は必ずファクトチェックする一を条件に積極活用し、事務作業量を削減、生まれたりリソースを行政サービスの拡充、コスト削減に充てるべきである。</p>
75	<p>人口減、賃金上昇を超える物価高という経済状況を考慮し、財政規律を更に厳格にして欲しい。 区債の発行に関して、赤字区債を発行しない点は評価できるが、建設区債の発行も凍結すべきだと思います。また、新たに施設を建設する場合は予め積立を行い、初期費用のみならず、その後の維持費を賄える見込み明確な財源見通しがある場合のみ、建設等に着手するようにして欲しい。</p>
76	<p>2点あります。 1、子育てプラザをなくさないでください。 子育てプラザを無くして児童館にする動きがあると聞きました。 今0歳の子供がいます。とてもとても助かっています。 『孤』育てにならないようにと言われますが、自分の親は同居していないあるいは遠方に住んでいたら、結局母親は常にワンオペです。また遠方でなくても親との関係が良好でない場合もたくさんあります。 どんなにかわいい我が子でも息が詰まります。大人と話したくなります。でも今まで付き合っていた友人は仕事していたりして、平日の昼間は会えません。そんな母親を救うのが子育てプラザです。 動けないねんねの時から行けて、同じように頑張るお母さんとたくさん出会い、情報交換し、グチったり共感したり、支え合って過ごすことができます。 第一子の場合、同じ月齢や少し大きい月齢の子と触れ合うのは子供にとってもとても刺激になります。 プラザがなかったら、私はどうなっていたかわかりません。これから子を持つお母さんのためにも、どうかプラザをなくさないでください。 2、小1の壁を解消してください</p>

	<p>学童に入れない子がいると聞きました。</p> <p>保育園の待機児童を0にできた杉並区です。学童の待機児童もきっと0にできるはずです。</p> <p>これからも子育てしやすい杉並区、子供に優しい杉並区を突き進んでください。期待しています。</p> <p>よろしく願います。</p>
77	<p>日頃、杉並区民のためにご活動頂き、深くお礼申し上げます。</p> <p>10年前、私達は長女の誕生を機に、長年住んでいました新宿区から杉並区に引っ越して来ました。</p> <p>杉並区を選んだ理由はデベロッパーから、学力が高く環境に恵まれた荻窪小学校の学区であると薦められたマンションと巡り合い、それが夫婦の意見の違いをまとめてくれたからです。</p> <p>しかし、実際には当時の荻窪小学校は授業中に校庭に出ていく様な落ち着きのない児童もいる様な荒れた学校だった様です。今は、</p> <p>先生が教室に入る前には朝の準備を終え、席に着いて先生を待っている様な児童ばかりの模範的な学校になった様ですが。</p> <p>荻窪小学校は元々、一学年3クラスを想定して建てられた校舎だそうですが、今は2学年のみ3クラスで、1学年と3学年は5クラス、4、5、6年生は4クラスという状態です。</p> <p>来年度の新一年生も5クラスになるようで、新しい教室設置の工事が行われました。</p> <p>この様に、学校側は児童増加に伴って、とりあえず教室の数の確保をしてくださっていますが、その為に音楽室やPTA室が潰されたりしています。今後、</p> <p>全学年5クラスが標準になってしまうと、子供達の教育環境の質の低下が免れないと危惧しています。</p> <p>荻窪小学校の学区には今も不動産会社が好き勝手に、住宅を建てています。</p> <p>子供達の教育環境を維持する対策案を2つ考えました。</p> <p>①荻窪小学校の学区であることを売りにするのならば、不動産会社にも教育環境の維持をするための金銭的な負担を取って</p> <p>もらい、荻窪小学校の敷地に新校舎を建てる。</p> <p>②学区の見直しをして、近くの高井戸第四小学校のエリアを拡げる。</p> <p>そもそも、荻窪小学校が緊急避難所となっていますが、この様な不動産会社任せの人口増加で、万が一の緊急事態に対応出来るのでしょうか？</p> <p>杉並区の人口が増えれば、杉並区の財源も潤うと思いますが、もう少し不動産会社の営利至上主義を規制して欲しいです。</p> <p>もう1件、給食費無償化が実行されていますが、そのための財源は本来なんの予算を削られて捻出されたものなんでしょうか？</p> <p>低所得の家庭の児童は元々給食費が免除されていると聞いています。我が家にとってはありがたい事ですが、一方で、本当に困っている人達にとってはなんのメリットもないのではないのでしょうか。。。</p>
78	<p>今日は、お忙しい中、ありがとうございます</p> <p>一応、杉並区総合計画に沿って、いろいろ、要望・意見等パブリックコメントとして、述べたつもりですが・・・岸本区長の政治姿勢について、質問に終始したように感じられましたか</p> <p>11/2 11/11の時の区民の質問や、街頭であった区議・都議の話を参考にコメントしました。</p> <p>何回か、質問したり、意見等コメントしたことと、重複するかもしれませんが、いくつか質問・意見等させていただきます</p> <p>1, 杉並区総合計画 資料1にある14ページの中の施策1の防災 まちづくり</p> <p>「耐震化の促進」「木造住宅密集等地域の解消に向けた不燃化促進」については、荻窪の教会通りは、以前から、地震・火事があったら、危険との話があるので、必要なはず。この地域に古くから住んでおられる地元住民の賛同を得られるのか、半信半疑です。</p> <p>2, 杉並区総合計画 資料1にある18ページの中の水害対策についても、善福寺川の洪水が、過去にあったこ</p>

	<p>とに鑑み、善福寺川緑地に子随対策の溜池・貯水池新設も、必要だと思います。</p> <p>3, 杉並区総合計画 資料1にある68ページの中のみどりを守るについて、杉並区は、緑が多く、保全活動は大切ですが、緑に比例して、野鳥や、獣等が増えて、糞害や獣による、家屋の破損等の住環境悪化もあるかもしれません。そういうことにも配慮して自然保護を図ってください</p>
79	<p>家の近くに公園がありません。</p> <p>和田堀公園まで1300mくらいあります。</p> <p>赤ちゃんや保育園の子向けの遊具しかないから、小学生が楽しんで遊べる場所がありません。</p> <p>学校の校庭開放日が水曜日しかないから遊べません。</p> <p>バスケットゴールは梅里中央公園しかありません。</p> <p>大人が使っているから遊べません。</p> <p>高円寺体育館の予定表をもっと見やすくしてくれないといつ何がやってるか分からないから遊びに行けません。</p> <p>図書館の本が古くて、最近の本がありません。</p> <p>絵本ばかりで小説はほとんどありません。</p> <p>サイエンスラボはお金がないと遊べないからつまらないです。</p> <p>杉並区は小学生以上の子供がのびのびと遊べる場所が足りません。もっと作ってほしいです。</p>
80	<p>幼稚園での預かり保育の推進、</p> <p>一時預かり保育施設、病児保育施設の増設、</p> <p>ベビーシッター利用支援を希望いたします。</p> <p>いままで保育園に通っており満足しておりましたが、</p> <p>4月より幼稚園に転園し、預かり保育を利用予定です。</p> <p>ただ、預かり保育実施日が少ない為、一時預かりやベビーシッターを活用予定ですが、費用や人手不足の関係で利用しづらいと感じており、保育園との差を大きく感じます。</p> <p>幼稚園に通園する際にも、安心してフルタイムで仕事ができる環境整備をお願いしたいです。</p> <p>また、病児保育は現在も利用させていただいており、</p> <p>大変助かっております。ありがとうございます。</p> <p>ただ、もっと多くのご家族にご利用いただけるように施設数の増設をされると良いと思っております。</p> <p>最後に、一時預かりにしる、病児保育にしる、</p> <p>すべて紙資料の提出で、毎回同じような内容を記載しております。</p> <p>WEBでの申請に変更をいただきたいです。</p> <p>こちらの要望を一方的にお伝えさせていただき恐縮ですが、ご検討いただけると幸いです。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
81	<p>子ども当事者を尊重するのは当然なのですが、子どもをケアする人間の支援への言及が薄いです。ケア労働の当事者として過去も今も様々な権利が守られているとは思えない状態にあるので、しっかり盛り込んで下さい。</p> <p>母子手帳を貰いに行った時保健師の方に「近くに育児を手伝ってくれる方はいますか」と聞かれました。質問の意図がわかりませんでした。役所が別世帯の人間を当てにさせるのは何故か、本当に1世帯でできないなら支えるシステムが当然存在すると思っていました。新生児育児が始まり初めて過酷さを知りました。出産のダメージの回復もできないまま24時間労働を強いられたからです。夫は生活のために仕事を休めず近くに住む両親はフルタイムで働いており頼れる人間は居ません。保健師さんから案内もなく当時産後ケア施設の利用もできなかったようです。後に一時保育利用しましたがすぐ予約が取れず面談をし予約日の1ヶ月前の朝に電話をかけ続けやっと預けられました。改善されましたか？休みたい時に休めず、心身を病み追い詰められるのは生存権が脅かされた状態です。</p>

	<p>現在産後ケア施設の利用はいつでもできますか。一晩でも休みたい時に休めるシステムはありますか。令和5年7月28日受付の区長への手紙でも、第二子を考える方の産後ケア事業の充実への要望と不安がありました。杉並区では子を持つ権利が守られていますか。</p> <p>近い将来子供が小学校に上がりますが俗に小1の壁と言われるように、夫婦共にフルタイムで働き子供を支えきれぬか非常に不安を持っています。学校に無事に行ってくれるのか？学童へ行ってくれるのか？ということ。子供が居る「場所」があってもきめ細やかに子供をケアしてくれる存在がなければ心身の健康も安全も保てません。子供のケアのために保護者が働くのを諦めるのは勤労する権利が守られないという事です。今まで子どものケアは家庭内ケア労働者—多くは女性に頼りその労働を透明化し、公共の予算を割いてきませんでしたね。だから母子手帳を貰いに行き先ず「手伝ってくれる人はいますか」と質問されたのでしょうか。</p> <p>今、国は既婚女性にも高齢者にもフルタイムで働く事を推奨しています。家庭内に専属の無償ケア労働者はいないのが普通になり、子育てに益々公共の支援が必要です。子ども当事者だけでなくケアする人間の権利も守り、尊重する事をしっかり宣言して頂きたいです。</p>
82	<p>毎年プランに関わる計画の一部修正を行うのは良いのではないかと。</p> <p>ただ、単に修正ではなく、毎年住民の意見を聞くなどして、ちゃんとPDCAサイクルを回して欲しい。</p> <p>地域意見交流会については、そこに、以下に関係する人を呼ぶかが大事だと思う。新聞を取っていない人も最近も多く、広報すぎなみを見ていない人も多数いるかと思う。コストはかかるが、対象と思われる人にダイレクトに案内を出したり、学校/保育園経由でのパスも考えてみてはどうか。</p> <p>また、意見交流会については、実会場だけではなく、オンライン配信も考えて欲しい。</p> <p>案の修正については、まとめて提示するのではなく、細かな単位で修正点を提示すると、修正の経過や、それに対するコメントが早く得られるので良いのではないかと。githubのような版管理システムを使うのも良いのではないかと。</p> <p>高齢者向け単身住宅については、高齢者の生活支援等を考えると、高サ住などに誘導してあげるのが良いのではないかと。施設再編の一環として、余剰になった施設跡地に作るのも手ではないかと。</p>
83	<p>浜田山駅の南口の整備を速やかに進めていただきたくお願いいたします。スペースの関係もありなかなか難しいとは思いますが、浜田山駅南側の住民としては意外と重要な項目です。</p> <p>朝、踏切をスムーズにわたるために2本以上前の電車に乗れるように早めに家を出ています。保育園の送りも遅刻しないかハラハラしながら向かっています。大学まで浜田山で過ごし、9月に再転居してまいりましたが、昔から何も変わっていないことも併せてじわじわとしたストレスが溜まっている感覚があります。</p> <p>あそこまで建物を作るとん挫したという点に正直不信感や不安感がぬぐえませんが、ぜひ強く推進していただきたくお願いいたします。</p>
84	<p>「杉並区総合計画」の作成をありがとうございます。障害児・医療的ケア児支援を計画に組み込んでいただきとてもありがたいです。</p> <p>「施策21の3 地域における医療的ケア児の支援体制の整備」において、「併行通園等の実施を推進する」とあり、その実施例として「区立保育園での受け入れ実施」と記載いただいておりますが、区立以外の保育園や幼稚園への入園支援や経済的な支援も加えていただきたいです。</p> <p>子どもの成長・発達、その子どもたちが大人になった時の共生社会の実現にとって、障害のあるなしに関係なく幼少期から共に過ごし学ぶことはとても重要なことであると考えます。そのために、共に過ごし学ぶ場、その選択肢は多に越したことはありません。</p> <p>区内には、cocoon parents squareという保育施設があり、ここでは看護師や作業療法士の方がおり、専門的な支援を受けながら障害のあるなし関係なく子ども達みんなと一緒に活動をしています。しかし、インクルー</p>

	<p>シブ保育に対する区の補助がないとのことで、障害のある子どもの預かりに関しては障害のない子どもの預かりに比べて費用負担が大きくなっています。福祉タクシーでの送迎費用もかかるため、月に何度も通うのは難しいのが現状です。積極的にインクルーシブ保育を実施している施設に対する支援がなされることを願います。</p> <p>よろしく願います。</p>
85	<p>表題、広報すぎなみ 11 月 2 日号記載の「区民意見募集」の記事に基づいて提言案を作成しましたので添付「提案書」を送付させていただきます。</p> <p>ご査収の程お願い致します。</p> <p>尚、この様な企画に対し過去にも意見をお送りした事も有りますが、区役所当該部門から「受領」の返事を頂いた事が無く、念の為郵送でも再度お送りした事が有ります。</p> <p>情報公開をうたい、意見を求めている杉並区におかれましては、せめて区民からの提案に対し受領の連絡（メール返信等）は頂きたいとお願い致します。</p> <p><b>【杉並区総合計画等改定に対する提言】</b></p> <p>杉並区交通整備と成長戦略両立についての提案</p> <p>1、 提案背景</p> <p>今回改定された「杉並区総合計画」等に関しては区民の希望に沿った詳細な検討が行われており世界的な環境保護やSDG s 志向に配慮されたものだと思います。但し「良い事は何でもやる」と言った総花的な印象で、それを支える財政基盤を確保する成長戦略について示されておらず、今後の税負担の増加や都からの支援依存による独自性の減少が懸念されます。</p> <p>杉並区の構造的な弱点は道路の狭さによる南北方向の交通手段が乏しく人の移動が制約され区内の活性化・人口の増加・産業の発展等が難しいと言った課題が有ります。それもあって自転車の活用が検討されておりますが、事故多発の自転車の活用は街の安全を脅かす物であり限界があると思われまます。</p> <p>今回安全な交通整備と成長戦略を両立する案をまとめ提案させていただきます。</p> <p>2、 道路整備・交通整備の課題と解決策</p> <p>2-1 危険自転車の実態</p> <p>自動車事故における自転車関与比率推移右図は都内の交通事項における自転車関与比率の推移を示します。既に交通事故の 40%以上に自転車が関与しております。自転車の関与がどのように行われたかについては詳細不明です。何時・何処で・誰にと行った分析が必要であり自転車に関わる事故比率低下に対する対策はそれらの分析に基づいて行われるべきだと思います。また今後は電動スクーター等の新たな乗り物の増加も見込まれ歩行者の安全は一層危ういものになると予想されます。</p> <p>2-2 私達を取り巻く危険自転車の状況</p> <p>(1) 働くママ、パパが電動アシスト付自転車に子供を載せて爆走</p> <p>保育園・幼稚園への搬送としてよく見かける風景です。電動アシスト付自転車にヘルメット装備の子供を 2 人乗せれば、車重はおそらく 100Kg を超えます。それが 20Km/h 以上の高速で走る場合、原付バイクと変わりません。それが歩道を爆走しているのが日常です。</p> <p>(2) マナーの悪い自転車の横行</p> <p>①本来の車道を走る自転車は殆どいない②信仰無視、一時停止無視はあたりまえ③横断歩道、踏切でも歩行者の列に突っ込む④川沿いの遊歩道は自転車の高速道路⑤町中を駆け抜ける UberEat 自転車⑥夜間の無灯火自転車多数⑦駅前道路の駐輪違反により歩道が狭まりそこに高速自転車が走る</p>

2-3

それに対する区の対策

杉並区の交通整備方針の中で自転車のマナー向上に対する対策として以下が示されておりますが形式的な内容で状況を改善する十分な対策とはなっていないと思われま

す。  
①自転車利用者への啓発活動などにより、放置自転車ゼロを目指す ②自転車利用者に対して駐車や走行に関するルールやマナーを積極的にPR ③自転車利用に関する教室の開催

\*今回の今回の改定案の中に「自転車自転車関与事故件数」の大巾低減目標が示されておりますが、具体的な分析・対策等が示されておらず実現性に疑問が有ります。

2-4

危険自転車による事故の削減策

(1)

検討の方向性

①

自転車運転に関する規制の検討

原付バイク並みの性能を持った最近の自転車と高速走行が可能な競技用自転車・マウンテンバイク等が歩行者と同じ場所を走行する場合自転車側に何らかの規制を検討すべきだと思われま

す。

②  
歩行者・自転車走行レーンの分離の強化

これについては右図で示すように、自転車活用方式に関わる為、道路整備方針・交通整備方針を定める杉並区まちづくり基本方針にさかのぼった検討が必要だと思われま

す。  
各基本方針の位置付け

2-5

自転車運転に関する規制の具体案

(1)

高性能自転車保有者への働きかけ

前述した電動アシスト付自転車・高速走行可能な自転車（競技用・マウンテンバイク）に関しては購入者、保有者に交通規則の講習会の参加と保険加入を義務化、交通違反に関しては罰金を徴収。

\*具体的な運用方法については更なる検討が必要（首都圏全体での取り組み等）

(2)

必要装備の義務化

夜間用前後灯及び呼び鈴の装着はすべての自転車に義務付け、それら装備のない自転車の販売が出来ないように販売店との仕組みづくりを行う。

\*具体的な運用方法については更なる検討が必要（首都圏全体での取り組み等）

2-6

歩行者・自転車走行レーンの分離の強化

(1)

一般道

自転車は原則車道通行であるが、現実的には危険性と利便性で多くの課題があり実際に車道を走る自転車は非常に少ない。従って歩道においても出来る限り自転車レーンと歩行者レーンを視覚化し共存できる環境造りが必要となる。

(2)

遊歩道

川沿いの遊歩道などが近道になる事が多く自転車の高速レーン化している場所もある。

ここにおいても自転車レーンを明確に設け、速度制限も課して歩行者の安全を確保する。道幅が狭く自転車レーンが設置できない遊歩道は「自転車進入禁止」とする。



(3)

#### 事故の分析と対策

色々な対策も事故の分析が成されてはじめて有効性が担保されます、その取り組みを更に進めて頂きたい。

3,

#### 更なる活性化に向けた成長戦略と交通整備の両立提案

3-1

##### 主旨

より良い街造りの為には沢山の投資が必要となります。それを増税無しで確保する為には成長戦略の策定が必要です。これまで述べた交通整備に関しては色々な対策を打ったとしても杉並区の構造により限界もあります。従って自転車等に大きく頼らないで良い街造りとそれぞれの街が独自の役割で発展する成長戦略が両立できる案をご提案します。具体的には以下となります。

『地下鉄（丸の内線）の延伸による中部地区の再開発・交通整備と新成長拠点の開発』

～これによって自転車を多用しなくても暮らしやすい街造りを実現する～

3-2

##### 現状の「街造りの目標」

(1)

##### 多心型拠点の設定

「都市活性化拠点（荻窪など）」「地域生活拠点（中央線の各駅等）」「身近な生活拠点（私鉄駅周辺）」の区分けと発展方向性の設定。北部が商業中心、南部にみどりの拠点を配置。

(2)

##### 交通網

鉄道・バス・自転車利用の連絡機能の向上

(3)

##### 活動軸

補助幹線道路の沿道を地域活動軸とし、都市型住宅の誘導を図る。杉並区の弱点である南北交通網等の都市計画道路については見直しの方向。

3-3

##### 「街造りの目標」強化課題

(1)

##### 人口を増やす工夫（地域経済の活性化）

ビジネス拡大の都市活性化・地域の特性を生かしたユニークな地域生活拠点強化の為にはそれら拠点近傍での人口増が産業発展のキーとなります。その為には都市型住宅の拡大が必要となると考えます。

(2)

##### 交通網の見直し

南北地区では都心に向かう利便性の高い交通網が整備されておりますが、南北の交通網が小型バス主体であり中部地区（松の木・方南町・堀之内等）に人口が集まりにくい構造となっております。

(3)

##### 新たな強みの発見

中央線沿線駅周辺は地域活動の発展によりユニークな街づくりが始まっております、又井の頭線沿線の浜田山地区は高級住宅街として都内でもユニークな発展が始まっています。

3-4

##### 「街造りの目標」強化策の提案（課題の解決案）

(1)

##### 新たな交通網の整備による人口増加策

	<p>・方南町～浜田山に地下鉄延長（丸の内線）</p> <p>中部地区（松の木・方南町・堀之内等）を再開発し都市型住宅を拡大し地域生活拠点の発展を図ると共に南北間の交通網整備に貢献させる為に現状方南町で中途半端に留まっている地下鉄丸の内線の方南町から井の頭線浜田山駅まで延長し、浜田山駅を井の頭線急行停車駅にする。</p> <p>これにより「街の発展」と「交通整備の課題解決」を両立して実現する。</p> <p>(2)</p> <p>新たな魅力ある地域生活拠点の開発</p> <p>・日本で一番ポルシェの売れる街浜田山の更なるグレードアップ</p> <p>浜田山を高級感のある地域発展拠点として発展させおしゃれでユニークなまちづくりを進める。</p> <p>これにより下北沢（世田谷区）吉祥寺（武蔵野市）に向かっている人の流れを杉並に留め、地域経済の発展を促進する。</p> <p>*ポルシェディーラーの近くの路地を「ポルシェ通り」と名づけ高級感を持たせる等</p> <p>3-5</p> <p>道路整備方針・交通整備方針への提案（安全かつ利便な道路網の整備）</p> <p>(1)</p> <p>南北交通整備の方針</p> <p>①井の頭線急行停車駅（永福町・浜田山）と中央線主要駅（高円寺・阿佐ヶ谷）及び②環状8号線を利用した高井戸・荻窪間を杉並区の南北幹線道路として、その整備（すぎ丸等）と安全性の確保（自転車レーン等）を重点的に進める。</p> <p>(2)</p> <p>東西方向は従来の鉄道主体の移動手段を更に発展</p> <p>井の頭線の新たな急行停車駅について検討しその利便性をさらに高める</p> <p>(3)</p> <p>新たに延伸する方南町からの地下鉄は現在交通不便な中部地区（松の木・方南町・堀之内等）を広く経由し南北移動の新たな動脈とする。</p>
86	<p>精神障害当事者です。</p> <p>手帳一級はタクシー券を支給出来るようになりましたが、二級、三級でも電車、バスなど、体調によって、また障害の程度によって困難を抱えてる方がいらっしゃいます。</p> <p>私は二級ですが、二次障害としてパニック症に広場恐怖を抱えており、タクシー券、一級の方よりも少なくても良いので支給してほしいです。</p> <p>移動支援も認定されましたが、身体及び知的の重度障害の様に割引がなく、ヘルパー分と自分の分の運賃は正直キツイです。通所にしても工賃が低すぎるので。また、障害年金もハードル高く支給されないと本当に難しいです。長時間でヘルパーさんが入れ替わるときは往復×2プラス自分の往復運賃です。移動支援の支給がなされても、貧乏人にはとても使えず、電車に乗ることが出来ません。</p> <p>どうか、お願いいたします。精神障害も交通機関の助成、補助をどうぞよろしくお願い申し上げます</p>
87	<p>公営住宅の拡大を望みます。私は今、民間借家住宅に住む78才で1人暮らしです。今も週1～2回働いています。家賃が高く先が心配なため公営住宅（高令者住宅）に住みたいと思い、必死で探しました。住宅戸数が少ないのに驚きました。応募は殺到しています。申込みしましたが落選でした。先の事を考えると住いがないと気持ちも落ちつかず、やり切れない思いです。是非、公営住宅（高令者住宅）を増やして下さい。杉並区に住み続けたいのです。</p>
88	<p>旧上荻窪ゆうゆう館建て替え再開発にあたり下記要望いたします。記、1. 建て替え施設周辺のグリーンインフラの拡充。旧上荻窪ゆうゆう館建て替え再開発地は、区が指定している“水とみどりの景観形成重点地区”に含まれていることでもあり、施設再開発にあたっては十分な緑地スペースを確保し、区が目標として掲げている緑被率の向上に資するようにして頂きたい。敷地の南東部分に緑地を設け、隣接する上荻窪第二児童公園との相乗効果を図ることも一案である。現在、上荻窪第二児童公園は、近隣を散歩する人たちが休息するスぺ</p>

	<p>ースとして多く利用されているが、こうしたスペースがより快適に利用できるよう設備の充実も図って頂きたい。2. 建て替え施設の近隣住宅の居住環境への配慮。建て替え予定の施設は、第一種低層住居専用地域内にあるので、建て替え施設はできるだけコンパクトなものとし、近隣住居の居住環境への影響を最小限にとどめるようにしていただきたい。旧上荻窪ゆうゆう館の場合は、建物の配置を全体的に道路側に寄せて、隣接住宅との間をできるだけ空け、日照、騒音、景観など周辺住居への影響が最小限になるように配慮されていた。新しい施設の建設にあたってこうした配慮を是非継続していただきたい</p>
89	<p>荻窪駅の南北スロープ状の地下道「自転車、車椅子、ベビーカー」の早期建設依頼、標記依頼につきまして私平成25年、29年杉並区モニターを拝命させていただいていた時期の各1回、その後、R2年3月（R2年4月1日回答）、R4年7月（R4年7月20日回答）、R4年12月（R4年12月8日回答）、R5年10月（R5年10月20日回答）と合計6回「杉並区長への手紙」を提出いたしました。「杉並区総合計画・杉並区実効計画」の中の荻窪駅周辺都市総合交通戦略（案）の「らくらく南北策定プログラムの中の荻窪地下道のバイアフリー化に向けた調査・検討」で工程表がありますが短期でも5年では遅すぎると思い今回の意見募集に応募いたしました。内容を見ると実施時期が短期で概ね5年、長期で10年から20年となっており、これでは遅すぎます。老人は亡くなってから完成、となります。中央線荻窪駅高架線断念から現在で約60年もかかっているのです。常識的な考えとして「南北自転車等貫通スロープ地下道」は30年前ぐらいに出来ていておかしくないのです。また北口バス停広場の拡張時点で同時平行的に実施すべきだったと思うのです。今更どうしようもないので区民の一人として私執拗に6回も区長への依頼を提出している次第です。来年早々にも今の南北地下道（阿佐ヶ谷寄りの地下道とか改札口地下道を活用し、幅を広くするなりして、自転車・車椅子等用のスロープ状の地上への道を作るなど、踏み込んだ建設着工を望んでいるのです。約60年も進まなかったのは荻窪南口商店街の反対（南口住民の多くが西友に客をとられてしまうから）で区議会議員がこれを支援していたからと聞いておりますが、過去の話です。平成29年の私が区長への意見で「環8阿智側道を活用する南北地下道」の案を提出したあと、東京都建設局の支部（環8と中央線が立体交差する近くにあった支部事務所）から私あて電話があり「杉並区の担当者は消極的」との内容の話をもらい区はやる気が有るのか疑いました。当時「検討します」との内容の回答でしたがむしろ「検討しましたが止めました」という回答の方がかえって納得したと思います。北口側にいるとき車椅子の方から「南口に行く道路は有りますか？」と何回も聞かれ、西荻窪方面に行ってやっと中央線をくぐるところがある旨答えるとがっかりされたこと、また、北口には杉並公会堂、3大病院（東京衛生病院、城西病院、荻窪病院）と西友、ルミネ、杉並区民事務所等があり南口には荻外荘、大田黒公園、角川庭園、中央図書館、荻窪体育館、大宮前体育館、荻窪税務署等があり南北に地下のスロープ状の自転車道があれば随分便利になり荻窪の発展に繋がると思うからです。私と同様な考えの持ち主が数千人、数万人いると確信しております。昨年就任された岸本区長に早期実行をしていただきたくこの意見を提出いたします。この件は「待った無し」の案件だと思います。予算を何とか捻出して来年早々にも工事着工して欲しく思っております。この件につきましては今年10月16の週にアポ無しで私の自宅にわざわざご足労され説明に来られましたが回答内容は「検討中」とのことで、私は出かけるところでしたので郵送で回答文を依頼し拝見いたしました。確かに調査・検討されているようでしたがいくら早くても5年程度かかるようなので思い切ってこの依頼文を提出いたしました。区長が直接読まれるようにご手配のほどよろしく願いいたします。以上</p>
90	<p>岸本区長は素晴らしい方なので区長の判断におまかせしたいと思います。区民の方との大勢の意向をもとに区長がすぐれた判断をされると思います。</p>
91	<p>杉並区は公共施設等遠方の方は買い物いく人が不便だという。今度新青梅街道沿いに薬局（ウェルシア）と来春スーパーコープ井草店出来上ったので地域の方がうれしいとの意見でした。また八成橋付近にはま寿し、むさしのコーヒー店出来上ったので人気絶頂でした。防災については井草寺公園に水そう設置していますがもし地域の近くで火事があった場合あまりにも遠いので付近の近くにも水そうを作ってほしい。環境も道路もでこぼこになっている所があるのでどんどん直してほしい。1. ファミレスが少ない、2. 図書館、介護施設、自転車とめる駐輪場等少いので作ってほしい（例）イベント祭りの時とめる場所がない</p>
92	<p>いつも高円寺南ゆうゆう館を利用させていただいて、ありがとうございます。本日ゆうゆう館で区役所の方に</p>

	<p>しばらく、使用できること伺い、会員皆、大喜びでした。十年余りストレッチ教室、水墨画とハガキ絵の教室を利用させていただき私共の健康と、体力も維持できたこと、感謝申し上げます。七十三才～百才迄の会員がいつまでもつながっていることとても幸せに思います。今後共どうぞよろしくおねがい申し上げます。</p>
93	<p>老い先短い高齢者より、今あるゆうゆう館という既得権（近くて、無料で利用できる場所がある）を、代替え案（同じように近く、無料）をきちんと示さないで奪うのは酷です。</p>
94	<p>「環境について」日々、家事の一部（家族の夕食）を担当している私にとって、今一番気がかりなことは、プラスチック製品の包装のあまりの多さです。指標にとり上げられているゴミ排出量の内、プラスチック製品はどの位であろうか。食品に限らず、生活全般で使うものは、ほぼこうした製品に包装されており、ものによっては過剰な程、大袋の中の個包装に、冷凍品では個分けに便利な皿状にと、便利さと衛生を保っています。こうした製品は使用後の処理いかんで、再生から外れたいわゆるプラゴミが海岸や海洋にあふれて出しています。海中に漂っているプラゴミのみならず、目に見えない程のマイクロプラスチックは現在生きている我々世代のもたらしたもので、現在の快適な生活は無自覚に続けるかぎりその量はますます増えていくでしょう。これは将来世代への嫌われる贈物と、なります。どう歯止めをしたらいいか。まずは、区の新たな取り組みとされている「分別回収」に、区民として本気で取り組みたい。早急に始めて下さい。「文化について」ここで指標に上げられている「過去1年間に1回以上云々」の期待値をもっと高めよう。大人にとっては、荻窪と阿佐ヶ谷において、区民が自由に楽しめる音楽祭があり、杉並公会堂、座高円寺における鑑賞の機会も多い。一方、成長期の子どもにとって、日常内にテレビやゲームに偏りがちな生活の楽しみ方では勿体ない。ゆたかな感受性を育むこの時期、生の芸術に触れる機会は、生きていくことの心のゆたかさを、体感する機会となり、人生に与える影響は大きい。今回、各地区で催された説明会に参加、この分野の担当者と話す機会を逸して、残念ながら現状を聞くことができなかつたが、義ム教育期の児童・生徒に生の音楽・演劇・絵画等に触れる機会を今以上に積極的にとり入れて欲しい。区との協力関係にある日フィルの出前の演奏に加えて、本格的な劇場でのオーケストラの演奏を鑑賞する機会も、今以上に要望します。</p>
95	<p>「杉並区総合計画」について、以下に意見を書く。なお、番号は各項目に振られた番号に従う。</p> <p><b>【防災・防犯】</b></p> <p>施策1</p> <p>2, 木造住宅密集地域等の解消に向けた不燃化促進</p> <p>区は①空地の確保 ②建物の不燃化建替え支援の促進 ③道路拡幅整備の強化 を上げる。ここに、「まちづくり」の視点が見られない。</p> <p>これに対しては、まず「まちづくり」の視点をいれて、地域住民と共に単なる空地の確保はでは無く、延焼を防ぐ機能を持つ高木を植え、その上で地域のコミュニティの拠点としても使える公園としての空地を確保すべきである。都市工学が専門の埼玉大学名誉教授のによると、阪神淡路大震災後の調査では、数本の庭木がある場合でも延焼が食い止められた例をいくつも目にしたそう。さらに、名誉教授のシュミレーションによると、緑化された公園空地・植込みや建物の改装や建替えによる不燃化を合わせ、地域の不燃化率が70%を超すと、道路拡幅整備をしなくとも延焼が起こらないそう。道路の拡幅はまちの形を変え、ともすると道の両側が疎遠となりまちが分断される。そのような例を私は各地で見してきた。</p> <p>したがって、防災の地震などによる火災、取分け木造住宅密集地域等を考える場合でも、地域住民と共に「まちづくり」の視点からの検討をぜひやって欲しい。ちなみに、木造住宅密集地域で、緑化された公園空地・植込みを地元の人々が長い年月をかけて不燃化率を高めていった世田谷区太子堂の事例を一つの参考例として挙げておく。担当部課の杉並区職員は見に行き、太子堂の人々の声を実際に聞いて欲しい。</p> <p>結論としては 住民との「まちづくり」に基づき a) 高木のある緑化された公園空地・植込みを増やし、 b) 建物の改装や建替えによる不燃化をすすめ、むしろ区の進めようとする③道路拡幅整備の強化は効果があるのか検証すべきであると考え。</p> <p>4, 総合的な水害対策の推進</p> <p>区は、①公共施設の雨水浸透・貯留施設の整備 ②民間住宅を対象とした雨水浸透施設の設置助成 ③民間の協力要請して雨水の下水道流入抑制に取り組むと書く。</p>

	<p>しかし、雨水浸透について書けば a) 公道への浸透性舗装の積極的な採用がその面積の広さから考えても有効である。現に練馬区は浸透性舗装に杉並区に比べ多くの予算を使い、石神井川の溢水に効果を得ているようだ。公共施設の雨水浸透はもちろんの事、ぜひ公道の浸透性舗装を積極的に進めて欲しい。</p> <p>さらに、東京都とも協力して b) 貯留施設の促進を、区立や都立公園、グラウンド、小中高校に進めて欲しい。これらの対策は次に挙げる現在進行中の東京都の水害対策に比し、歳出の大幅削減が見込まれるうえ、年々効果が上がり、環境負荷も低く、多数の大木を伐らずに済む。</p> <p>現在、東京都が進めようとしている「東京都市計画河川第8号善福寺川の変更素案」は、田中前区長が2年前の令和3年度に東京都から連絡を受け進めていたようであるが、地元の一部の方々によりやく今年8月に知らされ、急ピッチで手続きが進んでいる。これは、まず、民主的な手続き上問題があり、かつ貴重な湧水や緑地1haがなくなるうえ、児童館がなくなった地域で唯一の子どもの居場所を10年間奪う。その上、外環道の陥没事故で安全性が疑問視されるシールドマシンで地下40mにトンネル調節池を掘る予定だ。完成に10年以上掛かる事が予想されるが、その間、別途水害対策を要する。そして、完成の暁には、善福寺川の緑地の環境は悪化し、陥没事故が起きかねない。</p> <p>杉並区としても、上記の都の計画を区民の立場に立って、立ち止まって再考するように東京都に進言して欲しい。</p>
96	<p>東京都市計画河川8号善福寺について、とても心を痛めております。</p> <p>私は約3年前に23区とは思えない自然が残る杉並区の緑に惚れて目黒区から引っ越してきました。住まいは善福寺緑地の近くです。もしこの都市計画が遂行されると、大規模な環境破壊および相当の住民への負担が生じることは明らかです。前区長が許可を出した計画とも聞いていますが、こちらは環境アセスメントや、住民への十分なヒアリングをされての許可だったのでしょうか？杉並区総合計画などをくまなく読みましても、杉並区が打ち出す環境政策とこの工事の整合性が見られず、また、治水対策の必要性は理解しながらも、グリーンインフラなどの対策を取らずしてのこの規模の環境破壊と住民負荷は簡単に許容できるものではないと思います。東京都の計画、そして東京都の土地の上と言われればそれまでですが、私たちは杉並の住民です。どうか住民を無視することなく、最大限の調整をお願いします。</p>
97	<p>区立施設再編整備計画について</p> <p>児童館、ゆうゆう館、集会施設など様々な施設の廃止、削減されたがあくまで一方通行の意見であり実際の使用者の声がどこにも反映されていないと思います。</p> <p>女性が子育てしながら働くうえで子供を安全に預けられる場所をなくして、何が男女平等女性の進出が実現できるのか。</p> <p>危険が潜む時間帯に既存の場所がなくなり遠くなるのがどんなに危険なことか分かっていないし、安心して子育て出来る杉並区がどんどん壊れていくとしか思えません。</p> <p>区ができなければ直ぐ民営化としますが民間は利益追求しか考えず問題を埋めるのが行政ではないでしょうか。</p> <p>この先区の人口推移も私が勉強会で頂いた資料とかなりかけ離れており、子供人口を減らさない増やすためにも押し付け行政は反対です。</p>
98	<p>「がんの早期発見啓発」</p> <p>大学院に22歳で進学したときから51歳の今まで杉並区在住する会社員です。今週、子宮体がんが見つかりました。</p> <p>団塊ジュニア、就職氷河期を経験し同じく独身のとくに女性の同い年や同世代ご多数住んでいると言われたこの地域で、同じ危機がせまっている人は少なくないと感じています。実際、スーパー、ドラッグストアの生理用品売り場に、過多出血に対応出来るタイプの棚が拡大されています。</p> <p>子育てと仕事を両立する若齢を含めた女性たちの乳がんや大腸がんを初めとする各種がんもあります。</p> <p>男性についても同世代のがんが増える年代です。</p> <p>今回自分が罹患して感じたのは、健診と再検査のあとの動きの取りにくさです。</p> <p>ひとつは仕事。</p>

	<p>責任あるポジションでなかなか休みが取りにくい。 もうひとつは意識。 まだがんになる年齢ではない。自分は大丈夫だろうと言う思い込み。女性なら、これは更年期障害の一部ではないかという誤解。 そしておそらく、子供やパートナーといった家族。介護が必要な親を優先して自分が後回しになること。 これらを調整するのに、自治体が積極的に「まずは認識させる」「何度も見たり聞いたりする機会を与える」「仕事や家事の手を半日とか1日空ける協力をする」といった取り組みを今すぐして欲しい。救われる命、将来の健康な市民・労働人口確保のために今が大事です。 また、がん経験者や家族、まだがんでなくてもがんを知りがんと共生して生きることを目指す人が集い情報交換や交流もできるコミュニティ、サロン、場所（オンラインのバーチャルと実際の場所と両方）の設置など。 既に杉並区では各種がん検診を毎年実施されていますが、啓発しともがんと共生していく取り組みを期待します。</p>
99	<p>1. P22 防災・防犯みんなで作る、災害に強く、犯罪を生まないまち「施策2地域の防災対応力の強化」における施策を構成する実行計画事業の「1 災害時拠点施設の整備・機能拡充」について 災害時拠点施設の整備・機能拡充は重要な事業であり、その中で発災時の電源確保策の充実は差し迫った重要な課題と考えます。 杉並区まちづくり基本方針においても、「4 事前復興まちづくりの推進（3）災害に備えたエネルギーの確保」（P.67）の中で、発災後も都市機能を維持できるよう多様な発電手段を用いた電力供給の安定化に向けた取組を促進するとされており、災害時拠点施設となる区立施設において、発災時の停電に備えて、太陽光発電や蓄電池、コージェネレーションシステム、非常用発電設備等の自立分散型電源による電源の多重化を図る必要があることから、以下のとおり赤字の部分を追記することを提案します。 （改定案） 区立施設の改修等に合わせて、防災機能の強化を図るとともに、発災時の電源確保として、燃料による発電機に加え、太陽光発電による非常用電源が設置されていない震災救援所へポータブル型蓄電池の配備を進めます。 （変更案） 区立施設の改修等に合わせて、防災機能の強化を図るとともに、発災時の電源確保として、太陽光発電や蓄電池、コージェネレーションシステム、非常用発電設備等の自立分散型電源による電源の多重化を図ります。また並行して、それらの自立分散型電源が設置されていない震災救援所へポータブル型蓄電池の配備を進めます。</p>
100	<p>井の頭線富士見ヶ丘駅から北への商店街通りの交通を改善して下さい。84才女です。足が弱くなり、近くのスーパーに行くための通りの交通量が多く困っています。私と同様にショッピングカートを押す高令者は車とすれ違うたびに怖い思いをしています。杖をついて歩く高令者も同様です。小学生も停車中の車があると前へ進めません。とまっている車左側はたてもものぎりぎり、右側は反対側から車が来ます。車より人を大切にする方法を考えて下さい。・児童館を作して下さい・図書館を作して下さい・近くにスーパーが一軒しかありません。少しはなれたスーパーに高令者が買物に行けるようミニバスを整備して下さい。夕食の食材、少しは変化をつけたいです</p>
101	<p>〔旧若杉小学校跡地について〕1、大きな建物は建設しないで下さい。2、広々とした広場、原っぱにして下さい。3、子供からお年よりまで自由に跳んだり走ったり、近くの保育園児が遊びに来たり…。お年寄りがのんびり陽なたぼっこをしたり…。4、いざ、という大災害時の避難場所として使えるようにして下さい。</p>
102	<p>・杉並区実行計画（第2次）資料2（1）P19無電柱化、無電柱化はそうあってほしいと思いますが、住民合意のない計画道路拡張とセットには市内でください。近年では、巾6以下の道路でも無電柱化は可能とも聞きます。（2）P30・31「地域の魅力あふれる多心型まちづくり」は“地域ごとの商業・歴史・文化・自然環境等…”とうたっていること、大賛成です。杉並はそれぞれの駅周辺ごとに街の文化があり歴史を持っています。どこに行っても同じの杉並にしないでください。阿佐ヶ谷もそうです。中央線からも見え、駅の前の</p>

屋敷林という杉並の歴史・文化遺産が失われたこと、残念でなりません。河北病院の移転改築工事が進行している今、戻せというのは不可能ですが、杉一小学校があつた場所にあるという、防災上はもちろんです、歴史的意味は杉並区にとっても大切なことです。小学校の現地建て替え計画が突然病院跡地移転になったのか、近隣住民にとっても学校関係者にとっても分からないことだらけでした。意見交換会でもパブコメでも公聴会の意見でもそういうことではありませんでしたから。この間、振り返る会などで意見交換が出来ていることはうれしいことです。どうぞこの計画の再検討をお願いします。(3) P108 子ども「すべての子どもが自分らしく生きていくことが出来るまち」そんな杉並区をみんなで作りたいたいです!!…だから、そのために…[施策18]を全庁の課題として取り組んでほしいです。私たちもできることはやります。・以前杉並区では「子ども議会」というのがあって、中学生が生徒会を通して、様々な願いや意見を代表者が持ち寄り、あの議場で意見交換をする場面がありました。子どもたちの意見表明権のひとつの場ともなるでしょう。・杉並児童相談所開設に大いに期待します。今の子どもたちが置かれている状況は対応する職員の力量が問われる時代だと思えます。職員の方々がバーンアウトしないように、なんて余計なお世話でしょうか。阿佐谷南児童館の移転地を確保してください。もともとあそこは杉並区の児童館のセンター的役割をしていました。[施策19]子どもの居場所…子どもの権利保障の最前線・杉並が誇りにしてきた、子どもたちが自らの力を発揮して学び合い、育ちあふ場所「児童館」を失ってどれほど多くの子どもたちが落胆しているか、大人の想像以上でしょう。そういう子どもたちにとってより必要とされる場所だからです。一度立ち止まって再検討を始めた区長を先頭に子ども家庭部の頑張り期待するところ大です。当事者の声を聞いて、更に中高生の居場所の拡充を含め検討してほしいです。子どもたちはきっと頑張ります。[施策23]・不登校の児童・生徒の激増に心痛みます。さざんかステップアップ教室に通ったり、教育相談に通えたり出来ずに、どこにも繋がれずにいる児童・生徒、保護者がいるのだと思えます。担任の教師も近來の激務状況を考えると、しばしば家庭訪問もままならないでしょう。やっとな学校に行けても、保健室は体調不良の児童・生徒の出入りが激しく落ち着かないし、校内にスクールカウンセラー常駐の「誰でもちょっとクールダウンできる部屋」が出来たらいいと思うのです。・杉並区総合計画(区政経営改革推進基本方針)資料2(1)方針1-P10学童クラブ運営委託の実施について…子どもの居場所づくり基本方針の検討が来年度に行われるのですが、学校の空き教室での学童クラブでは学校にいけない子どもたちが通えません。大変ですが、今までと同じように学童クラブを児童館に併設されることで、学校にいけない子どもたちが、朝から児童館の学童クラブに通えるような施策が必要です。不登校児童の増加に心が痛みます。子どもの多様な居場所を専門職を配置して直営で保障してください。・杉並区総合計画(協働推進基本方針)資料3(1)方針2-P11学校給食に地域農産物を!…給食室の前に近所の農家から来た冬瓜が並べられて、「どれが一番重いですか?」という栄養士さんのメッセージと投票箱が置かれていたことがありました。宮前のキウイフルーツが出たこともありました。学ぶということはこういうことだと思います。・杉並区総合計画(デジタル化基本計画)資料4(1)方針1デジタル技術を活用した区民サービスの向上(4)デジタルデバイドの解消に向けた取り組みP9…「だれ一人取り残されない、人にやさしいデジタル化」私の友人の何人もの人が電話は家電だけ、パソコンもやらない、それでさしたる不自由を感じることもなく、元気に体操や音楽を楽しんでいます。これからスマホやパソコンもやろうという気になっていません。そういう方々がまだしばらくはおられる時代だと思います。そういう方々が困らないように、周りの私たちも気遣いますが、広報などもそういう方の存在を無視しないで、気遣ってほしいです。「教えてあげますよ」ではなく、デジタルでなくても大丈夫という発信をお願いします。・杉並区区立施設マネジメント計画(第一期)資料5(1)第1章「新たな計画の策定に当たって」P1、R5年(2023年)9月の検証結果の評価について…一定の成果を上げていて、施設整備、児童館再編整備についても、課題や改善点がありながらも、…機能・役割が継承できていることが確認できました。…という表現にはいささかの異議ありと感じますが、その後続く“加えて高齢者の居場所や地域共生社会の実現に向けた取り組み、子どもたちの多様な居場所の重要性など、今後の取り組みに活かしていくべき視点も…。この視点を大事にしてください。施設再編整備の進め方において、施設利用者や地域住民の意見を十分に反映できていなかったことの反省の上に立って今回の計画策定がされていることがとてもうれしいです。住民自治の基本です、と宣言されていることに共感します。住民と行政と一緒に作る杉並の街づくり、そうなれば、みんなが愛する杉並の街、になるで

	<p>しょう。(2) 第3章3つの基本方針と、取り組みを進める上での7つの視点…これまでの計画の基本方針を見直して、計画の理念を明確にしたことを大切にしたいです。(3) 第4章検討や取り組みの進め方…ここが今まで一番おろそかにされてきた点だと思います。「施設利用者や地域の実情を一番理解している地域のみなさんとともに…考えていきます…」第5章施設の課題(1) 施設の課題と今後の方向性(4) 1. 小・中・特別支援学校…課題と今後の方向性について、「学びのプラットフォーム」との位置づけを理解できますが、児童・生徒の減少によって学校の統廃合、小中一貫校という方向で学校の数を減らすことをしないで下さい。当からずやってくるでしょう震災の避難所としての機能を持つのも学校です。トイレや給食調理場を持つ学校の機能は欠かせません。児童・生徒の数だけで統廃合することで避難場所までの距離が遠くなったら高齢者が避難できません。学校施設の有効活用を考えながら、安易に学校をつぶさないで下さい。まさに地域コミュニティの核としての位置づけを。(5) 2. 児童館、学童クラブ、子ども・子育てプラザ…来年度、子どもの居場所づくりの基本方針を策定するという方針に大きな期待をします。子どもの権利条例の策定目指していることでありますから、子どもの声を聴き、児童館職員も交えての検討会にしてください。これが出来るのが杉並です。学校の空き教室や施設利用の放課後居場所や学童クラブを否定するものではありませんが、本来学校は児童・生徒の学びの場であり、単なる居場所ではありません。子どもたちにとって大切なのはまさに居場所なんです。だからそこに子どもたちの知恵と工夫が自由に闊達の行き交って、子ども文化が生まれるのです。学校はあくまでも学校です。学校になじめない児童が放課後なら行ける、という場所にはならないのです。だから、学校にある学童クラブは否定しませんが、児童館に学童クラブは必要なのです。朝から言ってもいい、そしてそこには専門の職員が必要なのです。管理する大人がいればいいものではありません。子どもと一緒に子ども文化を育める専門職が必要です。そういう検討会になることを期待しています。(6) 3. 保育園…待機児童解消のためのこの間の施策を否定はしませんが、取り敢えずの保育需要に対する数合わせとなつてはいなかったのかと、実は撤退を余儀なくされた園長の苦悩を聞きました。人件費比率が4割を切るような園もあると聞きます。私の子どもがお世話になった保育園は人件費比率が8割です、と聞いていました。なんといっても保育は「人」です。これからの保育園の方向性は保育の「質」の確保だと思います。杉並の保育の質は全国に誇るものでした。公立保育園が中核園となって保育の質の向上に寄与してほしいです。それには、27園でいいのか、200を超える認可園を持つ杉並の保育ですから、自治体の責任として必要な数の確保をしてほしいです。第5章施設の課題(2) 地域ごとの施設の課題3. 荻窪地域P64. P112(7) 旧若杉小学校の跡地の本格活用を時間をかけて区民と共に検討してください。その検討のひとつにしてほしいのは、荻窪のはずれにある「男女平等推進センター」を旧若杉小本格活用の施設に入れて下さい。児童青少年センターを拡張する必要もあると思います。女性団体の活動、相談活動など今の場所の不便さは、建設計画の始まった時から問題になっていたのです。この機会にぜひ検討してください。P131の区立施設一覧に男女平等推進センターが入っていないのはなぜですか。</p>
103	<p>前後に子供の乗せられる大型自転車を所有しています</p> <p>文章中にも触れられていますが、上下2段式のラックだと前のチャイルドシートが上段のラックにぶつかり平面の段差式ラックだと隣との自転車にぶつかってしまい入庫することができません</p> <p>収容台数は減ってしましますが、一部分だけでも平面スライド式に改修していただくと助かります</p> <p>買い物圏は荻窪、阿佐ヶ谷、高円寺の3駅、自転車放置禁止区域に指定されていることもあり路上に駐輪するのはためらわれますが、かといって区営の駐輪場で一時利用の100円を払って</p> <p>買い物をしたいかと言われると、それなら路上駐輪を選択してしまいます</p> <p>(阿佐ヶ谷東や高円寺北にある1時間無料の区画はあつという間に埋まってしまいます)</p> <p>「窪」やら「谷」やら、あまり地面を掘ってはいけないような土地のようなので</p> <p>錦糸町駅南口にあるような大量の自転車を省スペースに保管できる地下式駐輪場の導入は難しいのでしょうか</p> <p>「安全で快適な自転車利用環境の整備・充実」で自転車利用の人を増やすようですが</p> <p>駐輪場に止められずにやむなく徒歩移動や路上駐輪をしている人のことも考えて頂いて</p> <p>駐輪場の整備を進めて頂ければと思います</p>



	<p>整備に当たって、機械式ゲートにして混雑状況が Web で一目でわかるような仕組み作りも合わせて検討して頂きたいなと思います（吉祥寺駅周辺などで導入）</p>
104	<p>杉並区総合計画 改定案についての意見を書きます。</p> <p>【子ども】</p> <p>施策 19 子どもの居場所づくりと育成支援の充実</p> <p>ここで書かれている「子どもたちがその成長段階と一人ひとりの個性に応じて、安心して自由に自分らしく過ごすことができる居場所を確保していきます。」は理念としてその通りだと思う。</p> <p>体験活動や多世代との交流ができる機会を設けるのも区の施策としては妥当である。</p> <p>そして、施策の現状と課題も方向は問題はないが、杉並区が他の自治体に先駆け、かつては多くの自治体から視察に訪れていた「児童館」を子どもが「身近な地域の中で気兼ねなく過ごし、仲間づくりを進めることができる」「多様な場所」のうちの重要な場所の一つとして挙げていないのは問題であると思う。</p> <p>なぜならば、児童福祉法第 40 条に基づく児童館は整った施設と専門職のいる、保護者でも学校の教員等でもない大人の目が届く場であるからだ。児童館の目的は、児童厚生施設の一つとして「地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊にすること目的とし」、児童の遊びを指導する専門職「児童厚生員」を常駐させるため、子ども相互間の調整や通ってくる子どもを 0～18 歳の間見守り、時に導きもする。これだけの機能を有する居場所はかつての区の方針のように、各小学校区に一つ作るのを再度検討すべきではないか。</p> <p>あるいは、異年齢が交流できる児童館ばかりでなく、ゆう杉並のような中高生を中心とする施設を区内 7 地域に最低一つ作るのも良いと思う。</p> <p>さらに、近代に向かう中で亡くなってしまった「若者宿」つまり若者（ヤングアダルト）が、集って情報交換したり、バンドや創作活動を行う場も作って欲しい。もちろん、かつてのように男性だけ集まるのではなく、あらゆるジェンダーに開かれたものでなくてはならない。これは世田谷区の施策が参考になると思う。</p> <p>世田谷区 若者支援</p> <p><a href="https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kodomo/006/007/index.html">https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kodomo/006/007/index.html</a></p>
105	<p>「杉並区区立施設マネジメント計画（第 1 期）第 1 次実施プラン」について基本的に今回の資料は解り易く、今後の区政を理解するのに役立ちました。何より住民合意を基礎として施設再編を進める姿勢を評価します。また、築 80 年を基準とする点も使い捨ての姿勢からの脱却として評価します。資料 5 の p. 10⑦財産の有効活用の記載で、民間業者への貸し出し、売却などが記されています。この文言が安易に運用されて、これを根拠に区民の共有財産の逸失に繋がることのないように釘を差しておきます。このような事態が想定される場合には必ず区民及び区議会に周知し、検討されるよう要請します。高円寺地区では杉三小、馬橋小の再編統合などが計画されています。資料 5 の p. 125 によれば区内の児童生徒数は今後 30 年間は現水準を維持すると見込まれるのですから、貴重な学校用地を維持することが肝心です。高層化・都市化の進む当区内では、公園緑地として有効に利用できる広い敷地はいったん失われると後日に回復は極めて困難です。たかはら公園については、計画中の 221 号道路の拡幅によって狭くなり、球技スペースが道路に接するなど危険が想定されます。公園を削るのであれば住民の安全にも繋がりません。</p>
106	<p>杉並区総合計画等の改定等案についてのパブリックコメント</p> <p>「杉並区総合計画 P19」の「無電柱化の推進」について</p> <p>19 ページの冒頭に「（無電柱化は）都市計画道路事業に合わせて整備する」と書かれています。</p> <p>無電柱化と 221 号線拡幅は結びついている、ということです。</p> <p>しかし、区は 2 2 1 号線拡幅については、2 2 1 号線脇に看板を出し、そこには</p> <p>「まず、地域の皆様から様々なご意見を伺った上で、事業をスタートさせたいと考え」と書かれています。</p> <p>住民には根強い拡幅反対の声があり、沿道には「拡幅反対」のプレートが貼ってある家々が軒を連ねています。話し合いは少しも進んでいません。</p> <p>この事業に着手するにあたっては、「地域住民の意見をきいた上で行う」と区自身が公言しているにもかかわらず</p>

	<p>らず、拡幅工事を前提とした無電柱化を推進、整備するとはどういうことでしょうか。</p> <p>221号線無電柱化は、看板で公言していることに反することであり、住民を欺くことです。</p> <p>さらに、今回の改定案では、前より一歩進めた表現になっています。</p> <p>221号線の無電柱化については、改定前では「設計」とのみ書かれていましたが、改定案では「設計 調整」とあり、「調整」が加わりましたのに、無電柱化をより積極的に進める方針になっており、看過できません。</p> <p>拡幅が前提になっている以上、無電柱化推進の項目から221号線の無電柱化を取り下げてください。</p> <p>もし取り下げないなら、冒頭の「都市計画道路事業に合わせて整備するとともに」の文言を削除してください。</p>
107	<p>杉並区立施設マネジメント計画（第1期）の、「杉並第三小学校」と「馬橋小学校」の記述について（P19）二つの小学校の「【課題】」の記述が全く同じ文章ですので、一緒に述べます。</p> <p>【課題】の中で気がかりな文言があります。「用地の有効活用」と「周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても検討する」という文言です。</p> <p>今ある小学校の「用地の有効活用」とは一体何でしょうか。廃校になった杉八小学校の用地は他の用途に活用されました。「周辺施設等との複合化」とは何でしょうか。高円寺中学校は周辺施設である杉四小と杉八小と合併（複合化）されました。</p> <p>杉三小は大部分の学区が高円寺学園へも通学可となったため、児童数が減っています。この文言が杉三小の廃校への方向性を示唆しているのではないかと危惧します。</p> <p>老朽化への対応は必要ですが、それを機に廃校にしてはなりません。</p> <p>馬橋小は生徒数が減少はしていませんが、杉三小と全く同じ文章です。</p> <p>「用地の有効活用」や「複合化多機能化」を検討する、とはどういうことでしょうか。</p> <p>今後廃校にしたり、あるいは合併吸収する側になったりする可能性を含んでいるのでしょうか。</p> <p>いずれにしても、この文言は今後の学校の存続を危うくします。</p> <p>以下の文章を削除してください。</p> <p>「用地の有効活用や」「周辺施設等との複合化、多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。」</p>
108	<p>「さとことブレストと2023年3月26日に行われた道路問題を考えるシンポジウム」について</p> <p>標記の集会は高円寺と西荻の都市計画道路に関する事なので、意見を述べます。</p> <p>高円寺西荻の道路問題については、2022年秋から2022年12月までに、「さとことブレスト」が8回行われ、その集大成として(?)2023年3月26日に道路問題のシンポジウムが行われました。</p> <p>これらは区主催ですが、これが外部団体に業務委託されて行われたものであることを知りました。</p> <p>ところで、標記の集会を委託された外部団体は委託契約書によれば「杉並建築会、代表 村上美奈子」となっていました。契約期間は「令和4年10月7日～令和5年3月31日」です。</p> <p>杉並建築会は2013年に区内の3つの建築士団体が統合されてできた建築士の団体ですが、大会テーマに「中杉通りの南伸」を掲げるなど、積極的に道路をつくることに賛成している立場であります。また仕事上、土建業者との結びつきがある団体です。</p> <p>「さとことブレスト」や「シンポジウム」は区が「区民の意見を聞きたい」という主旨で公正な立場で行われるものと思っていました。しかし、会の管理運営進行をすべてまかされているのが、道路政策について特定の立場（推進）を持ち、利害関係者に連なる団体であったのですから、「公正な立場で区民の意見をきく」ということではなかったわけです。</p> <p>これで、3月26日のシンポジウムが「道路拡幅推進一辺倒」であり、講師が荒唐無稽なたとえ話をするなど区民を愚弄した内容であったことの原因がわかりました。</p> <p>このような団体になぜ業務委託したのでしょうか。利害関係者に連なる団体に業務委託したことは、問題だと思います。</p> <p>委託契約書には、契約金は「3,810,048円」とあります。この金額が8回のさとことブレストと1回のシンポジウムであることにも疑問があります。</p>

	<p>今度「高円寺デザイン会議」「西荻デザイン会議」をつくるとのことですが、また杉並建築会のような外部団体に丸投げするのでしょうか。利害関係者や特定の主張をもった団体に委託することがないようにしてください。また、区自身が内容に十分関わってください。主催者なのですから。</p>
109	<p>次年度成田西ふれあい農業公園管理運営者の選定に関して、現にそのサービスを受けている利用者、地域住民と区が、話し合うアンケートをとるなどして、その意見を反映した上で管理運営者を選考して下さるようお願いいたします。</p> <p>杉並区が地域住民と対話をし課題を共有すると宣言しているのですから、ぜひその様に実行してください。</p>
110	<p>221号線に確かに支障移設工事、設備工事がなくなったことは評価出来ますが 無電柱化推進方針推進は2025年から運用となっております 矛盾しているのではないかと 221号線土地収用は現段階8割以上の地権者が反対しているのは事実。 道幅を拡げて要件を満たした上で 無電柱化計画を進めるのが普通に考えて 当たり前である。 但し、6m以下の道路での無電柱化は可能。 是非確認して頂きたい。 地権者との合意形成を前提に事業を進めたいという 杉並区の姿勢は疑心暗鬼を持たざるを得ない。 地権者は長年にわたり杉並区の良さに惹かれ引っ越してきた住民も多い。 世界中で異常気象を観測しており、 Co2削減が命題となった今、緑豊かな環境こそが 区民の幸せになるし、利益に繋がると感じる。 将来の日本を背負ってたつ子供たちに緑豊かな環境で 育って欲しいと願うのは当然。 再開発は大人の事情だけで進めてはいけません。 子供たちや古き良き時代を創造してきた シニアの事情を十二分に考慮しなくては ならない。 子供たちの人格形成に大切なことと感じる。 決して大人の事情だけで進めてはいけません!</p>
111	<p>阿佐ヶ谷コミュニティふらっとの着付け教室に参加しています。和室には姿見が一つしかなく、5人～10人くらいのメンバーは交代で使っています。毎回、「せめてあと一つ置いてくれればいいのに」と声がでます。区に意見を言える場ではこれまで何度も要望してきましたが、職員は聞置くだけという態度でした。高価なものではないので自前で買って来てもかまいません。その場合、毎回持参するには大きすぎるので「置かせてほしい」という要望も出しましたが、個人のを置かせることはできないとのこと。それならぜひ、あと一つ姿見を置いてください。収納場所には十分な余裕があります。切実な要望です。ぜひ実現してください。</p>
112	<p>杉並区の事業者(cocoon parents square)に通った事のある当事者としての意見です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブ保育を実践されている民間の施設にも補助金をお願いしたい。</li> </ul> <p>障害のある子供たちは選択肢が限られ、また健常と言われる子供たちとの接点がありません。多くの子供に様々なチャンスと親御さんの負担を軽くしたいと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性あるスタッフには民間であっても加点し、補助金をお願いしたいです。</li> <li>・インクルーシブ保育には違いを認め、違いを考える機会が自然と養われます。その必要性を区としても提言の一つとして捉えてほしい。</li> </ul>
113	<p>2.都市計画道路132号線の誘致買収が進められていますが、住民の意志を尊重するようにしてほしい。すでに買収されているところはベンチを設置する、お花を植えるなどの工夫をしてほしい。</p>

	<p>阿佐ヶ谷東北地区の書うつ学校を移転する計画は病院跡地にするというのは無謀なものでやめてほしい。</p> <p>5. 「福祉・地域共生」ではゆうゆう館は非常に多くのサークルが活用して高齢者の居場所、元気の源となっている。廃止しないで家から歩いて行かれる場所にあることが大事で減らさないでほしい。</p> <p>6. こどもの居場所である児童館そして学童クラブは50年前に私たちが子どもたちのために要求し、作ってきた財産です。それを潰してきた前区長は許せません。元に戻して、子どもたちがのびのび遊べる居場所にしてほしい。学校区に一カ所必要です。</p> <p>学童クラブは民間委託でなく、区の正規の職員で見守るだけでなく子どもの発達に必要な教育の一環としての指導員の配置を位置づけてほしい。</p>
114	<p>今日、「ゆうゆう高円寺南館」が暫定的に残ることを伺い安堵しました。高円寺南館で体操とストレッチでお世話になっています。昨年1月と12月自転車で転倒し2ヶ所骨折しました。痛みを感じながらもバスの利用で「ゆうゆう館に」通うことが出来現在は完治しました。メンバーさんの励げましの言葉が何よりの薬になり感謝しています。70才後半から80才台の者にはこの位置だから通えると云う方が殆んどです。仮に杉八へ移ることになればバスはなく(杉並車庫か福祉事ム所)無理だと考えられます。年を取っていても夫々にキャリアがあり区を支えてきた方が大半です。出来ることなら今のまゝの状態が続くことを願っています</p>
115	<p>区長が区民の意見を聞くという事が当たり前なのに今まででされてこなかった。今回、本当に区の姿勢が変わった事、すばらしい事と思いますし、区の職員の方々には宝ですという区長の発言にこたえて職員の方々もいい仕事をして下さると思いますし、私達もしっかり見守っていきたくて期待しています。1. 環境・みどりについて。あさがや駅前の屋敷林が殆んど抜栽されてしまい、電車の中から「あの森があさがやよ」といつていたのががっかりです。すごく、損失だと思います。大きな家の移転等に伴う緑の減少はけっこうあると思いますので区でもチェックしてほしいし、できるだけ残せるよう行政として考えてほしいです。2. 健康・医療について。(1) 私達の願いはできるだけ今住んでいるところで最期まで自分の足で歩き生活し、ご近所さんや、まわりの方々と助け合って生きていけたらと願っています。寝たきりにならないため西部保健生協では区内8ヶ所でころばん体操、セラバンド体操、を実施していますが、コロナ下より会場の制約もあり、(広さが必要)都営団地の集会所等は冷暖房がない等苦勞しています。続けている方々は80代90代もお元気です。荒川区等では歩いて10分位の所20ヶ所に体操のできる体育館等あり、介護費用も少なく成果をあげています。寝たきりになって長生きよりできるだけ元気に動ける様予防のための施策をしてほしいです。具体的には定期的に使える週1～2回体育館など徒歩10分位でいける距離で安く使えるところを数ヶ所つくってほしい。又はコミュニティバスでいける等区民センター等もけっこう不便なところにありますので、できるといいと思います。(2) 人と一緒にたべる事も大事です。体操の後はそういう食堂もそこにあるといいです。雇用も生まれるし、1人ぐらしの多い中では必要なと思います。</p>
116	<p>拝啓、私は、視覚障害1級ですので活字は全く読めませんが、現在就労継続支援B型「チャレンジ」に通所しております。障害者施策課・障害者生活支援課の職員には、大変お世話になっております。皆様のおかげで毎日安心して通所させてもらえることに関して、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。先月31日、西荻地域区民センターで開催されました同改定案に関する説明会・意見交換会に出席させていただきました。終了後ホームページにも掲載されている改定案の資料1～5を一式いただきました。とても分厚くて全文を対面朗読してもらうことはできませんでしたが、資料1総合計画の一部、及び資料5マネジメント計画の一部を抜粋して読んでいただきました。改定案に記載されている内容と多少異なる点があるかもしれませんが、実行計画作成にあたり意見を述べさせていただきます。参考にしていただけましたら幸いに存じます。(1) 防災、防災課に対し、福祉事業所の利用者・職員を対象としたセミナーや区の考え方に関する学習会を開催して欲しい旨を何度か要望させていただきましたが、はかばかしい返事は貰えませんでした。災害が発生しますと全員が被災者ですので、障害者・高齢者などの弱者まで区の職員だけでは対応できないことは重々理解しております。私たち当事者もこのような状況になった場合皆様にご迷惑をお掛けしないよう、日頃から準備をしてまいりたいと考えております。そこで、震災救援所の見学や、福祉事業所を対象とした防災セミナーを是非開催していただきたいです。また、区で保管している備蓄品類等について教えていただけますと共に、私たちは何をどのように準備しておいた方がよろしいのかについて、アドバイスをいただけましたら有難いです。個人的に</p>

	<p>は、昨年度『地域防災コーディネーター養成講座』を受講し終了しました。(2) 街づくり、補助132号線をはじめ、今後区内の道路拡幅工事が数か所で計画されているとありました。特に、同線は事業所のそばを通っていますので、予告なく道路工事をされますと、視覚障害者は歩行の際非常に支障をきたします。仮に、バス停が50cmずれただけでも晴眼者はすぐわかりますが、私たちは迷ってしまいます。同線に限らず、事業所が所在する桃井4丁目周辺で道路工事等を行う際には必ず日時・場所・日程を連絡していただきたいです。また、誘導員が不在にならないようにも配慮して欲しいです。その点は工事業者に必ず周知徹底してください。(3) 施設の建て替えについて、老朽化に伴い、今後多くの施設の建て替えが検討されているようです。3年前にリニューアルオープンした西荻地域区民センターには、誘導ブロック・点字ブロックをはじめ各フロアのエレベーターの横に点字案内図が整備されておりましたが、間違いだらけでした。特に「集会室」と表示すべきところが「じゅうきいしつ」となっていました。2年前にこれらのミスについて地域課に対し点字の修正を含め速やかに改善するよう要望書を出しましたが、今日もまだ直っておりません。去る8月1日にリニューアルオープンした「セッション杉並」にも点字案内図が設置されているのだらうと思いますが、ミスがあるのではと気になっております。今後、点字案内図や誘導ブロック等を整備する際は、設置前に私たち当事者の意見を聴いていただきたいです。ミスを放置しておきますと、区としても恥ずかしいと思います。(4) 広報すぎなみの点字・テープ・デジ版の発行について、総合計画とは直接関係ないと思いますが、広報すぎなみを全文点訳・音訳していただき、有難うございます。同広報は毎月1日・15日に発行されていますが、点字版は発行日の翌日から土日祝日を除き4日以内に発送すればよいと昔から定められている様です。例えば、2023年11月1日号の場合、8日に発送となりますので、区民センター等で拝読できるのは10日以降になります。そのため、活字版とのタイムラグが生じ、受講したい講座の申し込みがすでに締め切られていたり、定員いっぱいとのことで断られてしまったという経験を何度かしました。抜粋点訳をしている区市町村が多い中、貴区におかれましては長年全文点訳くださっていただいていることに関し、在勤者として厚くお礼申し上げます。このタイムラグをできましたら今後半分程度に縮めて欲しいです(可能でしたら活字版と同時発行が望ましいです)。広報課に対し、ご検討を依頼いただけましたら幸いに存じます。以上4点につきましてご検討のほどよろしくお願ひ申し上げます。敬具。追伸、私が通所しておりますチャレンジの事業案内を同封させていただきます。宜しくご査収ください。</p>
117	<p>(1) 児童館ゆうゆう館等は全部廃止にしないで下さい。ぜひ在続させて下さい(2) 杉並区は福祉関係ももう少し良くして住みやすくして下さい。まだまだだめだと思います。福祉分野に力を入れて下さい。お願いします</p>
118	<p>高円寺南の住宅密集地の一軒家に住む30代男です。 私の住む番地で、2ヶ月連続で火災が起きました。 2回目は5件が延焼しニュースでも大きく取り上げられました。 また、狭あい道路であることから、緊急車両が入れず、環七沿いに消防車が列をなす様子もSNSで話題となりました。 率直にこの事実に命の危機を感じています。 何年後を見通すのではなく、いち早く、高円寺南5丁目の狭あい道路の拡張を推し進めて下さい。また、補助221号線の拡張も進めることで緊急車両の経路を増やして下さい。 立ち退きで引越すことになっても良いと思っています。それほど命の危機を感じております。 何卒よろしくお願ひいたします。</p>
119	<p>「人権を尊重する地域社会の醸成」のために「広報紙や?権啓発冊?等」を発行する際に性役割の押し付けが潜んでいないかチェックする必要があると思います。例えば、現状では、ラインのトップ画面の6つのアイコンのうち5つがナミスケで、子育てだけがナミーになっています。「あらゆる分野での差別、偏見を解消していくための正しい知識・情報の伝達や啓発」の中のジェンダーチェックにぜひ取り組んでください。</p>
120	<p>成田西ふれあい農業公園について 2023年度より、成田西ふれあい農業公園にて、「農にふれあう講座」を受講させていただいております。 農業に携わる機会のない都会者にとって、ここは実に理想的な場所です。季節ごとの野菜の種をまき、苗を植</p>

	<p>え、成長を見守り、収穫を迎え、新鮮な野菜が食卓に並ぶ喜び。こんな贅沢はありません。このような場所を与えていただき、本当に杉並区民でよかったと感謝せずにおれません。これはまたNPO「武蔵野農業ふれあい村」スタッフによるきめ細かな指導のおかげでもあります。ほかにも子ども向け、高齢者向け、ハーブ教室など幅広いジャンルのプログラム。先日の地域住民を交えての収穫祭は大盛況に終わりました。</p> <p>また、次年度は2年生として講座に残って学べるというシステム。他地域には見られない素晴らしい取り組みばかりです。</p> <p>ところが10月末に来年度から運営事業者が変更になることを知らされ、NPO「武蔵野農業ふれあい村」に代わり、JAになるとのこと。突然の変更に驚きと戸惑い、そして私たちの全く知らないところでそんな決定がされている。大きな衝撃でした。</p> <p>広報すぎなみには「区民の皆さんの声を聴かせてください」との岸本区長のうれしいお言葉があります。事業者選定にあたり、なぜ利用者の声を聴いてもらえなかったのだろうか。とても残念でなりません。選定基準等があることは理解しますが、いちばん大切なことはこの農業公園を実際に利用する区民の意見ではないでしょうか。</p> <p>これからも「武蔵野農業ふれあい村」スタッフとともに農業を学んでいきたいと切に願います。どうかもう一度、住民の声を聴くという杉並区のコンセプトのもとに再考願いたくお願い申し上げます。</p>
121	<p>気候変動対策、対話の重視、多文化共生等々、新たな計画に期待する。</p> <p>1、子ども関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利条例 <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの意見を充分聞き、権利尊重に立った施策をすること。</li> </ul> </li> <li>・区立園が民営化されていくのを危惧していたが、「区立園の維持」とあり大賛成。学童クラブ等の民営化もストップすること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>また、急速に増えた「保育園」の質の問題が触れられていたが、子どもたちの未来がかかる重要な問題と考える。子どもたちの権利が損なわれていないかをしっかり見て、適切な対応をすること。</li> <li>・保育園は国の貧しい配置基準により、豊かに育てる場所とするには足りないものが多い。杉並区の独自配置で、少しはいい状況が作れているが、保護者の多様な要求にこたえ、子どもたちの成長発達を保障していくには、多様な職種の配置や十分な環境も必要である。</li> <li>・民間委託を進める中で区職員が減り、そのため民営化中止の選択が不可能になった例もあると伺った。正規の区職員をきちんと確保すること。</li> <li>・保育園も学童クラブもあればいいというものではない。多様な経験が保障できるような施設・人員配置をのぞむ。特に学童期は地域の子もたちとのかかわりも重要で、放課後、家庭から外へ行く子どもたちと同様、学童クラブからも行くことを保障し、子どもたちが通いたくなる学童クラブにすること。</li> </ul> </li> </ul> <p>学び、文化、スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高円寺駅に図書サービスセンターがあることで、在勤者も手軽に利用できる。各駅に配置すること。利用に関して、在住者と在勤者とで差が作られたが、(未蔵書のリクエスト等)多大な財政支出を伴うものではないので、直接・間接的に区の事業を支えている在勤者にも同様なシステムとすること。</li> <li>・廃止された科学館や阿佐ヶ谷のプール等については代替施設について触れられていないが「不要」という判断か。区内に、こういった施設があることが、子どもの成長にとっても不可欠であり、おとなにも豊かなものを提供してくれていたと思う。再考すること。</li> </ul> <p>2、区政経営改革推進基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料、手数料等の見直しの項目に「24年度：使用料の必要に応じた改定」「26年度：決算数値により使用料の検証・見直しを検討」とあったが、検証や見直しは必要だが、区民が利用しやすいという視点で検討を重ねること。</li> </ul>
122	<p>(情報不足で広報11/2 No.2365を見ての意見)</p> <p>浜田山会館の整備見直しは良い意味で意外だったが、そもそも反対意見が多いのか？</p>

	<p>個人的には期日前投票所として使い続けることは譲れない。</p> <p>年齢的にケア 24 浜田山が高井戸の方に移転すると遠くなるので現地に残して欲しい。</p> <p>ステージ付き施設が地元にあるのは、ある意味自慢だが、ステージを潰してしまうのかどうかずっと気になっている。</p> <p>パブコメの方法について</p> <p>6 計画纏めてのパブコメでは敬遠する人が多いと思う。</p>
123	<p>「いこいの森」(市民緑地) 設置に興味がある。</p> <p>これは公園とどう違うのか?</p> <p>自然保護派としては民間保有の緑地を可能な限り取得して残すことは急務である。</p>
124	<p>『すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち 施策 18』</p> <p>少数派の子どもたち、不登校や障害を持つ子どもたちに必要な居場所への経済的負担は全て親が背負うことになり、教育格差や差別を作り出す深刻な現状があります。</p> <p>障害を持つ子どもたちが障害児のみの集団ではなく、その子がこの先生きていく地域のみならず同じ場で学び、地域の一員として交流すること、参加することが保障されていない現状があります。国は子どもの権利・インクルーシブな地域社会の構築を推進しているのにも関わらず「障害児は障害児のための場へ」という分断教育が主です。地域の保育園や学校でみんなと一緒に過ごす機会やそれを実現するためのサポートが保障されることを願います。</p> <p>また、何らかの原因により学校に行けない子ども、発達に課題がある子ども、繊細 (HSC) で集団に馴染めない子どもなど、個々の発達特性が理解されずに集団の場が苦痛に感じている子どもたちの数も増えていきます (不登校児数 29 万人という数字が表している)。不登校児も、障害を持つ子どもも、第三の居場所を求めています。しかしながら現状は制度そのものがないため親の経済的・身体的・精神的負担が大きく、子どもたちが十分な体験ができないまま見過ごされています。どの子どもも皆、自分の暮らす地域の住民として参加する権利、一緒に学ぶ権利、学ぶ場を選ぶ権利が保障されなければならないと考えます。</p> <p>誰もが生きやすいインクルーシブ地域社会への実現と分断しない保育・教育の重要性について、子どもの権利条約や子ども基本法にもある「子どもの最善の利益」は現在全ての子どもに保障されておらず、で子どもの数が減少しているにも関わらず、不登校、引きこもり、虐待、自殺など、子どもに関する深刻な社会問題は年々増加していて、子ども家庭庁が掲げる「子ども真ん中社会」の実現は早急に対処しなければなりません。</p> <p>子どもを取り巻く現場 (保育園・幼稚園・学校・学童・療育など) では、個々の発達段階を無視した一律の関わりが子どもたちを苦しめ、また親も苦しむ。子どもの育ちを支える保護者への経済的・身体的・心理的支援は子どもの健全な発達には極めて重要で、その土台の上にインクルーシブ教育の実現「子どもの最善の利益」が初めて意味をなすと考えています。</p>
125	<p>区内にはプラザという乳幼児向けの施設がありますが、南荻窪はどこのプラザも徒歩 25 分程度がかかります。</p> <p>低月齢の乳幼児を連れて行くには基本は徒歩しか選択肢はありませんが、片道徒歩 25 分は気軽に行ける距離ではありません。</p> <p>プラザの新設を切望しますが、それが難しい場合には大宮前体育館で乳幼児向けのイベントを定期的で開催して頂きたいです。</p> <p>また、荻窪区民センターの催し物の大半は高齢者向けで、かつ、ウェブ上からはイベント情報がわかりません。せっかく近くにある公共施設なのに子育て世代が魅力的に感じるイベントが非常に少ないです。</p> <p>高井戸区民センターはリトミック等の乳幼児向けのイベントが行われ、かつウェブ上からもその情報が発信されています。荻窪区民センターも高井戸区民センターのように子育て世代も利用しやすい施設になってほしいです。</p>
126	<p>1. 環境と健康の両方に跨るかもしれませんが、問題が顕在化した PFAS について、対応方針を定めることを約束するような文言を総合計画に盛り込めないでしょうか。個人的には具体的な行動として区に健康調査を行ってほしいと考えています。</p>

	<p>2. 健康・医療の4. 感染症対策の推進について、”新型コロナウイルス感染症への対応を教訓に、今後も起こり得る新興感染症の流行に適切に対処するため”とありますが、新型コロナウイルスは終息したわけではなく、5類移行により実態が見えにくくなっているだけです。例えば、”今までの新型コロナウイルス感染症への対応を教訓に、今後も起こり得る新型コロナウイルス感染症や新興感染症の流行に適切に対処するため”のように修正したほうが良いと思います。</p>
127	<p>旧若杉小学校跡地について、緑豊かな自然とともに人の集まる体験型のエンターテイメントや飲食店等の複合施設にするとより街が活性化すると思います。</p> <p>渋谷区の MIYASHITA PARK のようなものがイメージです(ファッション関係の店舗は既に PARCO があるので必要性は低いと思います)。</p> <p>杉並区、特に荻窪は隣接する同じ中央線沿線の中でも若者に魅力的な施設が少ないため、これまでになかった施設が新設されると非常に嬉しいですし今まで以上に荻窪に住んでいることを誇れると思います。</p>
128	<p>子供子育てプラザ善福寺のヘビーユーザーです。</p> <p>プラザと児童館、両方利用しましたが、やはりプラザの方が安心して0歳を連れて遊びに行けました。</p> <p>プラザは児童館に安心して連れて行けない乳幼児の保護者の受け皿となっていると感じるので、今あるプラザを児童館へ戻す事はしないで欲しいです。</p> <p>私自身、ずっと杉並区で生まれ育っており、小学生低学年の時は児童館、高学年～中学生くらいには中央中央図書館やゆう杉並を利用と、年齢によって利用する施設をかえてきていたので、区の施設再編計画について賛成しており、これから杉並区で赤ちゃんを生んで育てる方々のためにも、子供子育てプラザを増やしてもらいたいと思っています。</p> <p>これは完全に私見ですが、第一子を生んで慣れない育児の中、孤独感を埋めてくれたのは世代間交流ではなく、同じように月齢の近い乳幼児を抱えるママさん達との交流でした。</p> <p>児童館ではなかなか同じ月齢のママさんと会ってゆっくり話す機会がありませんでしたが、プラザで同じ境遇のママさん達と愚痴を言い合い励まし合い、今ちゃんと育児に向き合える精神状態まで回復しました。</p> <p>これからもプラザはそういう場所として、新米ママさん達の心の支えに残して、増やして頂きたいです。よろしくお願ひ致します。</p>
129	<p>★P117 に、杉一小学校は移転改築との記載について</p> <p>杉並区立再編計画 令和5年以前に検討してきたことでも再検討の要望が、あるように思います。</p> <p>令和6年ではもう検討は終了したとしてしまわず、再検討してください</p> <p>★P118②【杉並第一小学校の移転改築】</p> <p>○移転改築に向けて、令和6年度(2024年度)から設計に着手～※この事業・・・区民の理解と納得が得られるように取り組んでいきます。という記載について</p> <p>阿佐ヶ谷駅前杉一小学校の施設再編整備計画はもう出来ていて、変更の余地なく終わっているのでしょうか。</p> <p>これでは区民の理解と納得を得られるように取り組むだけで、その意見をもって区が計画を見直すことは行わないというに等しいです。</p> <p>これまで地域の大震災時の震災救援所としての機能について「施設や地域などの現状・課題を施設利用者や地域住民の皆さんなどと共有」してきたようには感じられません。</p> <p>震災救援所としての役割を果たすことのできる現地での再編計画を令和6年度の区民の皆さんと共に取り組む検討課題としてください。</p>
130	<p>★P347 図書館</p> <p>施設数を減らさないでください。</p> <p>図書館は、小さい子からお年寄り、障害者を含めて、多くの人が電子媒体を使わずに、身近にあって気軽に立ち寄り、様々な資料を手にとることのできる貴重な場所です。図書館は静かに書物などと向き合う空間であることを第一にしてください、にぎやかな交流空間ではありません。</p>



	<p>他施設と複合化・多機能化をするために、現在の場所を変更したり、また施設数13を減らすことはしないでください。</p> <p>★P47 P48 13公園</p> <p>公園を、都市における貴重な緑化スペース、発災時のオープンスペースとして設置という記載について中央線沿線や、環七周辺北の地域は、区民一人当たり5㎡とする条例の目標に及んでいないばかりでなく、防災の観点から必要とされる発災時のオープンスペースとなる公園の整備が出来ていないことの記載がありません。</p> <p>これでは、この計画は必要な要件を満たしていないと思います。</p> <p>中央線沿線や、環七周辺北の地域の現状を記載し、発災時のオープンスペースの必要性とその対策の記載が必要です。</p> <p>乳幼児から高齢者まで幅広い世代が利用できる魅力のある公園は、発災時に命を守ることでできる公園であることが必須条件です。</p> <p>この地域に公園として整備可能な国有地はあります。それを認識し「発災時に住民の命を守る公園設置」を計画に記載してください。</p>
131	<p>P16 耐震化の促進について</p> <p>1981年6月から2000年5月までの新耐震基準木造住宅(グレーゾーン木造住宅)は耐震性に問題があると言われていました。熊本地震で一部倒壊が見られた新耐震基準※2木造住宅についても耐震改修に係る費用助成を実施することとしているのは、素晴らしいことと評価いたします。旧耐震基準住宅だけでなく、グレーゾーン木造住宅の持ち主への働きかけを積極的に行ってくださいを期待します。</p> <p>P17 木造住宅密集地域等の解消に向けた不燃化促進</p> <p>不燃化特区は、方南一丁目地区のほかにもあります。</p> <p>阿佐谷南・高円寺南地区の防災まちづくり計画の記載がありません。一度やったから同じ対策をやらないというのではなく必要な対策であればここに記載し、何回でも計画し実施してください。また出来ない対策だからあきらめるのではなく、地域の現状・課題を地域住民と共有し解決策を探り、見つけ、それを「阿佐谷南・高円寺南地区の防災まちづくり計画」に繋げてください。</p> <p>P18 5 狭あい道路の拡幅整備事業と電柱セットバックの推進</p> <p>木密地域では、積極的に進めてほしい計画です。ただ「セットバックを」というばかりでは、この計画は絵に描いた餅です。狭あい道路の拡幅事業で建て替えが出来ない宅地が発生することに対する対策の記載が抜けています。再建築不可の土地に対する解決策の一つが、区がタネ地を所有しておいて地域を良好な住環境となるように誘導することです。タネ地となる土地の確保を区の計画に記載してください。</p> <p>P25 3 発災時に備えた体制づくりと自治体間連携の推進</p> <p>防災訓練の実施・充実が事業量に記載されていますが、地域での防災訓練の参加者は高齢の町会関係者がその多くを占めているのが実態です。それを解消する計画が記載されていません。発災時に実際に動くことができる人材に焦点を当てるとい項目が欠けています。記載してください。</p> <p>P24 4 ICT活用による災害情報等の収集・発信</p> <p>ICT活用は、電源が落ちた時どうなるのでしょうか。区内全域停電発生時のことを想定した実行計画はあるのでしょうか。無いのであれば、区内全域停電発生時の記載をしてください。</p>
132	<p>P35 3 都市計画道路の整備</p> <p>都市計画道路の整備は防災面からも必要な地域があると思います。その整備のため物件調査・用地折衝という項目は記載があるがそれにより損害を被る住民に対する施策の記載が無いのは片手落ちと考えられます。用地折衝には移転せざるを得ない所有者等へのタネ地への移転提案も必要だと考えます。タネ地を持っていて用地折衝している自治体は多くあります。そういった実行計画にしてください。</p> <p>P33 3 地区計画等によるまちづくりの推進</p> <p>地区計画は、「作ったら最後変更のできないもの」ではないはず。地域住民の意見が反映されていないなど大</p>

	<p>きな問題が発生した場合には、批判を恐れず計画の再検討をしてほしいです。その一つが「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画」、区民の理解と納得を得るためには、区民の意見に真摯に耳を傾け必要な計画修正を行ってのまちづくり推進が出来るような記載としてください。</p> <p>P34 施策5 人々の暮らしを支える都市基盤の整備      施策の現状と課題</p> <p>○まちづくりは、行政だけ・・・の協働により実現していくものです。      を、以下のように、記載変更してください。      まちづくりは、行政だけで実現できるものではなく、区、区民及び事業者の理解と協働により実現していくものです。</p> <p>○区民の財産を守るとともに、・・・などの情報を整備する必要があります。という記載      そこに整備した情報をどう活用するかの記載がありません。記載してください。</p> <p>P34 まちづくり・地域産業 施策5他</p> <p>○都市基盤は、防災であれ、魅力あふれるまちづくりであれ、一方的な整備であってはならぬと考えます。区民相互および各区民の理解と協力が欠かせません。理解と協力を得るためには、区が代替地を提示するなどの施策を持っていることが不可欠です。そういった方向性がどこにも記載されていません。そういった施策を持って整備を行っている自治体はあります。</p> <p>これでは円滑な都市整備とならないのではと危惧します。それを考えて記載してください。</p> <p>P4 1 2 自転車活用の推進</p> <p>自転車活用の為には、自転車専用道や、道路・歩道の拡幅が必須条件です。事業量の記載に道路整備の項目を記載してください。(再掲であっても)</p>
133	<p>P44 施策7 暮らしやすい住環境の形成</p> <p>地域ごとの地域らしさ、地域の特徴が残るまちが、誰もが暮らしやすく住み続けられる快適なまちです。ユニバーサルデザインやバリアフリー化は必要ですが、良好な景観づくりで同じような顔のまちとならないという文言を計画に記載し、魅力あるまちとなるようにしてください。</p> <p>P44      目標に向けた施策指標（成果指標）の設定      この指標に      地域らしさ、地域の特徴が残るまちと思う区民の割合 を追記してください</p> <p>P48 5 総合的な空家等対策の推進</p> <p>空き家を区が買い取る際の優遇制度を創設し、その土地を狭あい道路や、行き止まり道路の解消に活用する、まちづくり整備の際のタネ地として活用する 再生可能エネルギー発電施設として活用するなどの施策を記載して欲しいと思います。</p> <p>P50 施策8 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興</p> <p>P51 6 都市農業の支援・保全と地産地消の推進</p> <p>これを重点項目としたことは、様々な観点から素晴らしいと思います。      都市農地の保全の取り組みをさらに充実、活発化して、区内営農者が安心して農業を継続できるようにしてください。</p> <p>P56 施策9 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進</p> <p>ここに緑被率の記載を入れてください（再掲でも）      農地保全に関することも記載して下さい（再掲でも）</p> <p>P59 4 環境学習・環境意識の醸成</p> <p>この項目での事業なのだから「自然観察会等講座」という記載は適当ではなく、「環境学習の機会としての自然観察会等講座」という記載が適当と思われます。修正を希望します。</p> <p>P70 7 地域の核となる公園の整備</p>

	<p>天沼 阿佐ヶ谷 高円寺には、地域の核となる公園がとて最少なく 地域住民数に対しての公園面積、数も貧弱です。その現状と発災時避難者が避難できるだけの十分な避難場所となる広場が無いことも記載されていません。それらの記載を行い、必要な施策（国有地の取得などで整備）の記載をしてください。</p>
134	<p>職員の職場環境の充実のために個人のパソコンを使用しているテレワークは絶対やめてください。 情報漏洩が日々ニュースになる昨今、一般企業もテレワークの際はセキュリティー対策の為にテレワーク専用のパソコンを支給するなど慎重に進めています。行政の情報は漏れてからでは取り返しがつきません。</p>
135	<p>①駅周辺の区営自転車置場に関して 西荻窪駅周辺の自転車置場を利用しているが、自転車利用の推進を積極的に行っているが、圧倒的に子乗せ電動自転車に対応出来る自転車置場スペースが足りないと感じる。子育て世帯の子乗せ電動自転車の必要性は今後も増加するため、自転車置き場が利用しやすい環境整備は絶対に必要だと思います。平日は自転車置場に空きがなく、自転車利用を諦めることもしばしばです。また子供を乗せた状態で2階駐輪エリアまで手押しする、駐輪スペースの上段に乗り上げる等は、女性の力では非常に重く安全性の面でも不安に感じ、そちらも諦めざるえません。</p> <p>②つい先日、東京都の管轄にて行われる貯水施設に関する工事についての情報を知り、善福寺公園の一部や関根文化公園で大規模な工事を実施する方針だということですが、杉並区の貴重な自然、公園、多くの子供達の遊ぶ場を破壊する、杉並区の目標とは逆行するような印象を持ちました。この計画が実施されるのであれば、杉並区としても住民への情報周知や、必要性があるのであれば周辺住民への理解を促す必要性があると感じます。</p> <p>保育園を増やし、杉並区の保育園に入りやすくなったのはとても良いと思いますが、園庭が狭いまたは園庭のない保育園も多く、園児が歩いて行ける距離にある保育園にとって、ある程度の広さのある開放的な公園は大変に貴重です。</p> <p>東京都主催の地域住民に関する説明会など、実施お知らせはすぐ付近に暮らす住民にも届いておらず、工事が必要であっても不信感しか感じられません。</p>
136	<p>成田地域には児童館が無くなりました。南阿佐ヶ谷児童館も無くなります。成田西プラザは広い体育館があるのに小学生が使えるのは1週間に一日1時間だけです。</p> <p>子ども達が遊びに行ける場所がありません。放課後居場所事業は児童館とは違います。子どもの認識も違う物です。学校なので休みの日は行きたくないと言います。</p> <p>我が家は行き場の無い子ども達に解放しているので溜まり場のようになっていますが、共働きで放課後見ていられない為、トラブルがあった時の対処が出来ません。真夏、外で遊べない子ども達の居場所がありません。</p> <p>成田地域に児童館を復活させてください！どんなときも気軽に遊べる児童館は杉並区の宝だと思います。子ども達の声聞いてあげてください。</p>
137	<p>私は、のんびりとした雰囲気の西荻窪のまちが好きで引っ越してきて20年余になります。</p> <p>都市計画道路 132 号線の沿道に暮らしていますが、この道路は年々車の数も減ってスピードを出す車も少なく通常は穏やかな道路です。夏にはプラタナスの街路樹が歩道に木陰をつくってくれます。この生活道路を、11m から 16m に拡張する必要性を全く感じていません。</p> <p>歩道のバリアフリーや電柱の地中化は必要と思いますが、今の道路幅のままでもできます。</p> <p>道路を拡張するという事は、今ある沿道の家々を取り壊し人々を立ち退かせ、多くの住民の人生を変え、さらには街を変えてしまうことでもあるのです。容易に認めることはできません。</p> <p>今は「防災」が道路拡張の一番の理由になっていますが、本当に本気で防災のことを考えるなら、道路を5メートル広げることに膨大な税金を使うのではなく、もっと緊急に真剣に行政と区民が一緒になって取り組む大切なことが身近にあるはず（例えば、方針にも出されている家の耐震化、不燃化、耐震ブレーカの普及・援助、地域のつながりの強化、地域ごとのきめ細かい防災訓練の取組へのもっと積極的な啓発と支援。安全な避難所や空地・公園の積極的な確保等々）。</p>

	<p>この20年間で132号線の街並みはどんどん変わっています。市場が無くなり、靴屋さん、金物屋さん、魚屋さん、骨董店など個人商店が次々に廃業してマンションが建ち並び、コンビニが増え、大きなスーパーも出来ました。利便性は増したかもしれませんが、西荻のレトロな魅力は少しずつ失われています。この上、道路を広げればさらに魅力的な個人商店は少なくなり、画一化されて街はつまらなくなっていくと思います。</p> <p>来年度から「デザイン会議」を設置してまちづくりを考えていこうという方針が出されていますが、「すでに事業認可をとってしまっている都市計画道路は拡幅が前提」ということにはしないでください。</p> <p>そもそも都市計画道路は「決まっているからやる」という位置づけで進められた事業です。今は住民とともにまちづくりを考えていこうとしている新しい区政なのですから、今一度住民と行政と一緒に杉並区の都市計画道路の全面的な見直しに、真摯に向き合っていくべきではないでしょうか。</p>
138	<p>阿佐谷北東開発で杉一小を現在の河北病院あとに移転する計画を中止して、杉一は現地建て替えにしてほしい。そもそも現河北病院は低地にあり、ハザードマップをみても、大水害時において1mの水害が想定されている。学校は子どもたちの学びの場所と同時に住民の避難場所でもある。現杉一の場所は阿佐谷地域で見れば高台にあり、それをわざわざ低地に移転するなど、メリットはどこにあるのか。リスクしかないと思う。</p> <p>現杉一小は区の所有地であり、駅にも近く一等地、区民の大切な財産であるはず。前区长(田中良氏)は区議会での審議も経ず田中氏の一存で決めた計画である。</p> <p>岸本区長に変わったのだから、前区長の行ってきた計画を中止して、岸本区政の下で再考するべきだと思う。岸本区長誕生には、前田中区长は区民の願いに背を向けて道路拡幅での街壊し、施設再編成の名の下で児童館、ゆうゆう館廃止など数々の悪行(と言っても過言ではない)を行ってきた。それらに審判をくだされたから岸本区長誕生になったのだと思う。田中区长の下で区職員のみなさんも、それらの計画を実行していくために、多大な時間を費やして取り組んできたご苦労は重々承知しているが、今ここで計画を見直す勇気を持たなければ、将来に大きな禍根を残すと思う。</p> <p>憲法に明記されている住民自治、「私たちの街は私たちが決める」の精神を現実のものにしてほしい。</p> <p>杉一小移転に戻ると、移転賛成の声もたくさんあるというけれど、賛成の声はある一部の声のはず。大地主が決めたことに反対が言えない。商店会長が賛成だから反対の声が出せない。無関心も賛成とみなされるのでしょう。また、杉一小が移転で利権も絡んでいるのだと思う。住民の多くは利権、無関心、損得、村度とはまったく無縁の立場で、阿佐谷の街、子どもたちの学ぶ場、住民の安全を考えて移転反対の声をあげている。再度、杉一小は現在建て替えて再考してほしい。</p>
139	<p>防災、防犯</p> <p>地域の防災対応力の強化を考えています。</p> <p>杉並区の南側居住者にとって「すぎフェス」は遠くて行くことが出来ません。</p> <p>そこへ大きな出費、区職員の負担をかけるのは、不平等だと思います。</p> <p>「すぎフェス」の予算を杉並区の全体的な防災対応の対策に回して欲しいです。</p>
140	<p>阿佐谷地域区民センター内に児童館が併設されているが、利用している子どもたちが夕方帰るときに、住宅地を通過して帰るしかすべはなく、地域区民センターのすぐ横はJRの高架下、人通りも少なく、街路灯が薄暗く、何度か帰宅する子どもたちを見かけたが、児童館は果たしてこの場所で良いのだろうかと思った。緊急の措置として、昨今の世の中の状況を考えると子どもたちの安全のために街路灯を明るくし、見守る体制が必要かと思う。</p> <p>ゆうゆう館は今後順次廃止していくことに対して</p> <p>ゆうゆう館はますます増えていく高齢化の中で大切な役割がある。高齢のみなさんはフラダンス、健康体操、コーラス、囲碁将棋とさまざまな自主サークルを作り活動している。現ゆうゆう館は前期後期と抽選会で活動日時を決め安心して安定した活動、しかも無料で、会場も比較的自宅から近い場所にあるから歩いて行くことができる。その場所が遠くなり、利用の仕方も変わってしまえば、外出が困難になってしまう。ゆうゆう館を廃止する方向でなく、それぞれの地域にゆうゆう館を作っていく方向に計画を見直してほしい。元気に生きが</p>

	<p>いを持って高齢者のみなさんが暮らしていくたにも。今は若くてもいずれはみんなが高齢者になります。区民の理解は得られるはずです。</p>
141	<p>施設利用料について</p> <p>利用する人利用しない人のバランスを考えると、利用料値上げの時に説明されたが、個人では区民集会所など作れるはずはなく、それを行政が支えていくのか公共施設の役割のはず。利用している人も税金を支払っている。税金の二重取りではないか。今は利用していない人たちも、いつかは利用するかもしれない。利用料を近隣の区のように見直してほしい。杉並区は高すぎる。区民が安心して利用できる値段設定にしてほしい。利用料は夏の冷房費、冬の暖房費くらいでいい。</p>
142	<p>環境・みどり</p> <p>「緑被率」アップの目標値が書かれていますが、むしろ高木の「樹冠被覆率」を割り出し、あげていくことを目指していただきたいです。</p> <p>地球沸騰化時代の都会では、ヒートアイランド現象緩和の効果がある緑陰を積極的に増やしていく必要があると思います。</p> <p>ゼロカーボンシティの名に相応しい施策を期待いたします。</p>
143	<p>農業ふれあい公園の事業者交代について。</p> <p>年間を通して野菜作りについて座学、体験(土を耕すことから収穫)を通して一から学んでいます。個々に育てるだけでなく同じ作業を通しての仲間作りもできました。</p> <p>スタッフの方たちは無農薬の素晴らしさを教えて下さり何年もかけて肥沃な土地を作りあげ、私たちの些細な質問にも丁寧に教えて下さいました。四季折々の花や野菜を眺められるような公園にもなっています。交代意思もなく、クレームもないのに交代とは何がどのようにいけなかったのでしょうか。私たちも継続できなくなり残念でなりません。</p>
144	<p>&lt;防災・防犯&gt;</p> <p>① 「善福寺川上流調節池」工事計画について</p> <p>このことについて、関根文化公園の近隣住民を中心とした説明会を開いてください。東京都の所管ということであれば、東京都の担当部署に申し入れをしてください。</p> <p>② 歩きたばこ・吸い殻のポイ捨て</p> <p>「杉並区生活安全及び環境美化に関する条例」によって上記が禁じられていますが、実効性の強いものと思えません。区のHPには「啓発活動や環境美化パトロールを実施することで、喫煙者のマナー向上に努めてきました」とありますが、罰則付きでない以上、区民の善意に頼る形に思えます。公園、商店街、駅前など人通りの多いところでは、吸い殻を自発的に掃除する方の姿がありますが、このような方の善意に頼らないよう、パトロールを増やしたり罰則を設けたりするなどの改正が必要と考えます。</p> <p>&lt;まちづくり・地域産業&gt;</p> <p>① 道路を歩行者・自転車中心に</p> <p>主に2車線道路などに自転車道、自転車専用通行帯を増やしてください。それによる渋滞発生なども懸念されるかもしれませんが、ラジカルな方法を取らなければ「車優先社会」を脱していけないと思います。</p> <p>② 地下外環道工事</p> <p>あと約1年半で大泉側からの地下工事が杉並区に到達するなか、区主導の説明会が足りないと思います。国や都の事業であったとしても、杉並区から可能な説明や援助はあるのではないのでしょうか。善福寺をはじめとする西荻地域は陥没、酸欠空気などのリスクを負っています。これらの危険性を回避するため、NEXCOにシールド工法自体の見直しを申し入れるなど業者への働きかけをしてください。</p> <p>&lt;環境・みどり&gt;</p> <p>① 樹幹被覆率</p> <p>緑被率に加えて樹幹被覆率も緑化の指標に取り入れてください。都市部で樹幹被覆率が40%になると熱中症死亡者数が半減するという研究もあるそうです。</p>

	<p>② マイ容器 マイ容器対応の飲食店に助成金をつけてください。消費者と店舗の努力だけでは「ごみ発生抑制の推進」は叶わないと思います。</p> <p>③ 区役所ZEB化 福岡県久留米庁舎にならって杉並区役所もフルZEB化を目指してください。久留米庁舎は2年間で費用を回収したと聞きます。</p>
145	<p>&lt;福祉・地域共生&gt;</p> <p>① 罰則付きの包括的差別禁止条例 上記①に関連しまして、川崎市や相模原市のような罰則付き包括的差別禁止条例の制定を強く望みます。これは委員会、議会採決などたいへんハードルが高い問題ではありますが、条例がないことによる差別やヘイトが本邦外出身者、トランスジェンダー、その方たちの支援者に至るまでを襲っています。何が差別かを判断し、それをなくしていくアクションなくして福祉や地域共生はありえないと考えます。差別禁止の啓発のみならず、区役所内での機運を高めてほしいと願います。</p> <p>② パートナーシップ条例 パートナーシップ条例が可決されたことを大変嬉しく思うとともに、区民生活部の皆さまに心から敬意を表します。しかしながら、ご存じの通り事実婚が含まれないなど、都のパートナーシップ条例よりも下がったものと言わざるを得ません。可決させるための「政治」により内容を妥協せざるを得なかった経緯があったかと思いますが、今後に向けてブラッシュアップの検討を一層進めてください。</p> <p>&lt;子ども&gt;</p> <p>① 小・中学校校舎の断熱化を積極的に進めてください。</p> <p>② 給食費無償化を私立・国立にも対象を広げてください。</p> <p>③ 児童館の減少が大変遺憾です。阿佐ヶ谷南児童館がなくなることも決まり、子どもたちの居場所や遊び場の確保は急務です。区役所内の空き部屋を子どもたちの遊び場として開放してください。中棟5階の和室や委員会室など、会期中以外は使用されないのであればそれが可能だと思います。椅子や机を動かす手間はありますが、部屋の使用料は発生しません。</p> <p>&lt;学び&gt;</p> <p>平和資料館（室）を開設してください。区役所1階で原爆の恐ろしさを展示する催しがあり、大変素晴らしかったと感じています。しかしシーズンイベントとしてではなく、通年で見学可能な場所があってほしいと思います。図書館に「はだしのゲン」を置きにくい事態が杉並区にも起きているのかどうかは存じ上げませんが、子どもたちに戦争の恐ろしさを伝える施設を公によって整えてほしいと強く希望します。</p>
146	<p>◆下高井戸児童館について◆</p> <p>私は幼少期に杉並に移り、杉並で育ち、そして今家庭を持ち子育てをしています。子供は小学生と中学生です。</p> <p>今まで行政のことはたまに区報を読む程度でした。でも児童館をなくし、小学校の中に居場所を作るという決定を伝えられてから、それが子供たちにとって本当に良いことなのか疑問を持ちました。</p> <p>親はみな子育て初心者で素人です。自分の子しか子育て経験もないし、自分の子ほど見えないこともあります。だから子供たちの施設は専門家などの意見を取り入れ、よく吟味した上で本当に子供たちの成長に役立つものにしてほしいです。時代とともに変えていかなくてはいけない部分もあるはずですが。将来の区民を育てるには今何が必要なのか、再編された施設は十分に役割を担っているのか、現状と目的を示してほしいです。</p>
147	<p>杉並区に住んで50年になりますが、緑豊かで文化度が高く、安心して暮らせる街であること、その住民であることを誇りに思っております。</p> <p>特に近くに図書館があり、豊富な蔵書の中からいつでも読みたい本を借りて読むことができる幸せを感じています。</p> <p>図書館は住民の知的好奇心を通じて向上心を育み、精神的に豊かな暮らしをもたらしてくれる大事な場所です。しかしそこで働く司書資格を持った職員の方たちが、自分の意思に関係なく異動させられてしまうという</p>

	<p>現実を知り、なんともったいないことかと思っています。</p> <p>図書館司書という仕事は、個人が研鑽を積み豊富な経験を生かしてこそ充実した仕事に結実できるものだと考えます。本人が継続を希望する限り図書館業務に携わり続けられる専門職としての制度を強く提案いたします。今後杉並区の図書館がさらに充実し、区民が学ぶ意識を引っ張ってってくれる頼もしい知性の宝庫であり続けてほしいと切に願っています。</p>
148	<p>児童館の必要を痛感します。</p> <p>コミュニティふらっと東原で土曜日と水曜日に行われている「みんなの居場所」に、ごくたまにはありますが、ボランティアで参加します。そのたびに、子どもたちがそういう場所を切実に求めているのがわかります。かつて東原児童館のときはあの建物の各部屋で遊べたのですが、「みんなの居場所」は多目的室だけなので、活発にボール遊びをしたい子も、工作やゲームをしたい子も、制約されたスペースになってしまいます。それでも夢中で遊んでいます。工作を教えてくれたり一緒に遊んでくれる大人もとても大事な要素になっています。児童館であれば毎日あそべたのに、今は週2回の限られた時間しか遊べない、それが子どもたちに申し訳ないような気持ちになります。その2回だけでも「居場所」を作っていच्छる運営者の方々に頭が下がります。しかしボランティアで出来ることは限られています。公共の児童館が必要です。</p> <p>仕事で、放課後の時間に子どもたちと公園に行くことがありますが、気候の良い時間帯の公園は、子どもたちに大人気で過密状態になっています。この子どもたちは、雨で公園が使えないとき、こうやって集まって遊ぶ場所としてやっぱり児童館が必要なはずで。まして、近年の気候の極端化で、暑すぎたり寒すぎて公園で遊べない季節がうんと長くなっています。外遊びに適した時期はあつという間に過ぎてしまいます。だからますます、室内で子どもたちが自由に遊べる児童館が不可欠です。</p>
149	<p>杉並区に住んで50年になります。公共施設が多く、文化の豊かな暮らしやすい街です。住んでいる住民の方たちも意識が高く、多くの人が様々な趣味やボランティア活動に勤しんでおられます。</p> <p>その拠り所である公共施設の利用料が高額であることに驚いています。</p> <p>住民が自主的に学び成長し豊かな人生を送ることができるよすがとしての場所が大変高価になってしまっています。物価が上昇し、人件費も高く経営が難しいのかもしれませんが、現状では区の公共施設としての使命を果たしているとはとても思えません。</p> <p>誰でもいつでももっと気軽に利用できるように、利用料値下げを再検討して下さるようお願いいたします。</p>
150	<p>「都市計画道路整備」は「ゼロカーボンシティ宣言」に反します。</p> <p>杉並区では「ゼロカーボンシティ」を宣言しています。</p> <p>しかし、一方で都市計画道路を拡幅したり伸長したりと、大きな幹線道路を縦横に走らせようとしています。大きな幹線道路がいくつも増えれば、自動車交通量は飛躍的に増え炭酸ガスは増加します。自動車社会促進です。</p> <p>確実に炭酸ガス増加の政策を推し進める政策をとりながら「ゼロカーボンシティ宣言」をすることは、ある意味、区民都民を欺くことになるのではないのでしょうか。</p> <p>来年3月からは「杉並区気候区民会議」も開催されます。地球温暖化を食い止めるために画期的な会議をしようとしていると、区民だけでなく全都からも注目されています。しかし同時に区は、「都市計画道路整備」を掲げ、自動車社会促進＝炭酸ガス増加政策をとっているのですから、これも区民都民を欺くものと言わざるを得ません。</p> <p>以上の様な観点から、「都市計画道路の整備」に反対します。</p>
151	<p>38 ページ まちづくり・地域産業</p> <p>多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち</p> <p>施策6 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備</p> <p>本項目に関して2件意見があります。</p> <p>意見①</p> <p>3 安全で快適な自転車利用環境の整理・充実</p> <p>の項目において、「小規模点在型自転車駐車スペースの確保」とありますが、駅周辺に置ける整備をぜひお願</p>

	<p>いたします。これにあたり特に以下の二点を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型自転車への対応</li> </ul> <p>現在よく使用されている段違い駐輪スペースは子どもを乗せる電動自転車では重すぎて上段を使用することがかなりつらいです。また方南町などの3階建て駐輪場なども、押して上の階に行くことが重さからも自転車の長さからも非常につらいです。大型自転車でも止められるようなかたちの駐輪スペースの検討をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用可否状況の可視化</li> </ul> <p>技術的な可否は分かりませんが、空き状況がわかると非常に助かります。行ってはみたものの満車で他を探すとということが多々ありますが、小規模分散となればなおさら、何か状況把握の手立てがあると非常に助かります。</p> <p>意見②</p> <p>本項目に「街路樹の育成」を含めてはどうでしょうか。他項目で言及されていますが、この先の超高温社会において木陰の確保は歩ける街づくりの必須条件になると思います。この移動のためのインフラとして街路樹を評価することでその多面的価値を示すことになりまし、どの道にどのような街路樹が必要なのか、検討のための意味ある視点になると思います。</p>
152	<p>55ページ</p> <p>まちづくり・地域産業 多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち</p> <p>施策8 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興</p> <p>実行計画事業 6 都市農業の支援・保全と地産地消の推進</p> <p>本項目の推進に非常に期待します！！</p> <p>良い目標設定をありがとうございます。</p> <p>農福連携農園も、地産地消給食も、エコ農産物支援も援農ボランティア活用も、体験農園助成もすべて良いと思います。</p> <p>市民農園需要はすごく高いと思いますし、私自身も近くに市民農園があればぜひ利用したいです。小規模分散で市民農園地の確保ができるととても良いと思います。また学校給食の地産地消は生産地をあまり持たない杉並における難しさはもちろんあると思いますが、ぜひ進めていただきたいです。需要があれば生産できるものもあるのではないのでしょうか。</p> <p>なお、本件の意義として、農業者の支援や農地保全という生産サイドのニーズだけでなく、将来訪れかねない食糧危機（担い手不足による国内生産量の減少、国際物流の停滞や気候悪化による世界生産量の低下、世界人口の増加や通貨価値低下による輸入困難）に対応するものとして消費側のニーズがあるものと位置付ければその重要度を上げるこの意味が明確になるのではないのでしょうか。</p>
153	<p>56ページ 環境・みどり</p> <p>施策9 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進</p> <p>本項目に関連して何点か意見いたします。</p> <p>意見①</p> <p>まず本項目のタイトルですが、「質の高い環境を将来につなぐため」という位置づけが悠長すぎる気がします。ここ数年の取り組みが日本を含む世界中の大半の人間とほぼすべての動植物の生存可能性に圧倒的な影響力を持っており、対策が必須なのであって「質の高さ」などといった余裕はもはやありません。悪化をどの程度に食い止めるかの瀬戸際です。「地球沸騰」の「気候危機」において、世界や将来世代に対する「気候正義」を達成しなければならない先進国の義務として対応が必要なのであって、「よいことをする」という感覚ではおかしい。その危機感を表現すべきだと思います。</p> <p>意見②</p> <p>数値目標と施策の対応関係を明確にするとともに、計画よりも進捗が遅れた際の手段を想定すべきではないのでしょうか。</p> <p>別で対応関係の整理があるのかもしれませんが、今回の記載内容ではどの目標がどの程度数値達成に寄与す</p>



	<p>る計画なのか読み取れません。その対応関係設定がなければ目標の妥当性の判断ができません。不確かでも対応関係を示すべきではないでしょうか。</p> <p>また、対応関係の整理がなければ、目標数値に対し未達が発覚した際に計画の途中見直しもできません。進捗が遅れたらどのような方法で挽回するのか、無理矢理にでもそれを考えることがこの項目で計画を立てることの意味ではないでしょうか。その結果、区内ではどうしようもない、という結論になるかもしれませんが、その場合は国や他自治体とどう協力すべきなのかに視野を広げる必要があるということが明確になるという意味で、より本質的な議論につながるものだと思います。</p>
154	<p>56ページ 環境・みどり</p> <p>施策9 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進</p> <p>本項目に関連して何点か意見いたします。</p> <p>意見③</p> <p>2030年目標の2013年度比の明示があるべきではないでしょうか。2050年のカーボンニュートラルはもちろんですが、より重要なのは2030年のカーボンハーフ（さらには60%削減。日本の国の目標としては2013年比で言及）なのであって、その点を明記する必要があります。今回の記載範囲では2030年目標の妥当性を判断できません。</p> <p>意見④</p> <p>区として推奨の断熱基準を明示すべきではないでしょうか。日本のZEB・ZEHは求める性能が不十分であることはすでに指摘されていることです。是非国より高い断熱等級6以上を推奨するなど、区としての姿勢を明示してください。また区内新築の事業者に対し義務化かそれに準ずるような要望、検討指示、検討の推奨など何かしらの区からの要請をできないでしょうか。本気で削減目標を達成しようとした際にできることは多くないので、このようなできることがある分野でなるべく踏み込んだ施策を期待します。</p> <p>意見⑤</p> <p>区施設で利用の電気について、再エネへの一部切り替えという表現ですが、いつの時点で全量切り替えを行うか期限の明示をお願いします。2050年カーボンニュートラル、2030年カーボンハーフのためには当然必要な施策だと思いますし、唯一区が事業主体として明確に目標設定できる項目だと思います。またZEB化の言及もありますが、国基準の中途半端なZEBではなく、本当の意味でのゼロエネルギービルであることを明言していただきたいです。</p>
155	<p>62ページ 環境・みどり</p> <p>施策10 快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現</p> <p>本項目に関連して何点か意見いたします。</p> <p>意見①</p> <p>ごみの発生抑制に関連する施策として、量り売りの推進などはできないでしょうか。量り売り参加店舗を募り区で周知・支援する、容器持参での持ち帰りを推奨し対象店舗にステッカーを配るなど、やれることはいろいろあると思います。持参容器で購入できるならしたいという人は一定数いると思います。普及啓発というふわっとした目標設定からもう一回り踏み込んだ、発生抑制の地域づくりを目指してほしいです。</p> <p>意見②</p> <p>生ごみの分別回収、もしくは生ごみ処理機や地域共通コンポストなど生ごみ対策の強化はできないでしょうか。生ごみは資源でもあるので、処理方法の有効な選択肢を示すことでできることは多いのではないのでしょうか。</p>
156	<p>「杉並区総合計画」ほか5項目を改訂するのは3年ごとに実施することになっているのに、なぜ前倒して改訂するのか、また、その必要性は何なのか、杉並区と岸本聡子杉並区長には合理的理由を述べて区民に説明する義務と責任がある。しかしながら、これらは全く示されておらず、岸本聡子区長においてはその立場を勘違いしないでほしい。この段階で不適切・不適任だと申さざるを得ない。</p> <p>全般に、活動家である岸本聡子区長が自らの思想を実現するために杉並区行政を利用しているのが明確であり、「気候区民会議」などにみられるように、根拠なく区民を愚民扱いして自らの思想を具現化するための思</p>

	<p>想教育を区民に押し付けるのは恥知らずな暴挙としか言いようがない。およそ我が国のような民主主義社会において起こってはならないことが現在進行形で杉並区において行われている。</p> <p>我国を含む民主主義社会において、我々有権者は選挙を通じて代表を選んでいるのであって、代理人を選んでいるのではない。今般のように闇雲に住民に判断を求めるのは政治の死を意味する。今の杉並に求められているのは活動家ではなくプロの政治家なのである。</p> <p>岸本聡子杉並区長には、速やかに杉並区の行政から去っていただきたい。</p>
157	<p>「環境・みどり」</p> <p>大前提として、杉並区や杉並区民には環境問題への関心や配慮が欠如している事実があるのか。そう考えるのであればその根拠を示してもらいたい。私たち杉並区民に対して、環境問題に関心がない愚民であると決めつける誹謗中傷を今すぐやめるよう強く抗議する。これは私たち杉並区民の尊厳を踏み躪る人権侵害に他ならないからである。さらには公費を用いて「気候区民会議」などの機関を設置し、思想教育を行う事は我が国においては不適合であり、断固反対し、拒否する。杉並区には中国や北朝鮮のような思想教育機関は不要である。</p> <p>岸本区政は「世界的な課題である環境危機」と決めつけているが、本件は科学者の間でも合理的な議論と結論が出ておらず、あたかもそのような科学的論考の後に結論された事象があるかのように主張し、それを自治体の行動指標とするのは非科学的なばかりか、それが公費で行われる以上、暴挙である。仮に岸本区長がそのような相関関係の事実を知っているのであれば、広く学会などで速やかに発表し、世界と人類社会の未来のために貢献すべきではないのか。また、それが公人の務めである。</p> <p>よしんば、その「世界的な課題」とやらが存在したとしても、それを東京特別区の1自治体が解決できるのか、その関係や根拠はどこにあるのか全く不明である。また、再生可能エネルギーは、それをを使う側には局地的に有害物質を出さない効果があるが、その機器を作る環境においては甚大な有害物質と環境負荷とされる物質を出しており、さらには人権侵害までも懸念されている。そのため区長が掲げる「世界的な課題」とやらの解決とは全く相容れない。本案は杉並区のためには他の地域や国は犠牲になれと示唆する発想に他ならず、理性ある杉並区民には全く不適切な提案である。</p>
158	<p>「プラスチック使用製品廃棄物の分別回収」</p> <p>現在、東京都は可燃ごみとプラスチックごみを一緒に燃やしている。そもそも分別して回収するようになったのはプラスチックを燃やすと高熱となって焼却炉に負担がかかるからであり、新型焼却炉に置き換えた今では分別の意味がない。実際、すでに自治体によっては新型焼却炉であるため分別を求めない地域もある。(例：兵庫県尼崎市) それでも更なる負担を杉並区民に求めるのは何故なのか。区民の利便と生活の質、そして合理的区政を考えれば、むしろプラスチックごみの分別の廃止となるのが自然であり、ここにも岸本区長による、区民の生活と利便性よりも自身の信条を優先する姿勢が見られる。また、「杉並区区政経営改革推進計画」がいう「区民サービスの質」の向上とも相容れないばかりか、分別することによる公費負担も全く考慮されていない。</p> <p>以上のことを鑑み、岸本聡子杉並区長は不適任であり、速やかに退陣してもらいたい。</p>
159	<p>「人権を尊重する地域社会の造成」</p> <p>まず、大前提として、我々の住む杉並区で人権侵害や迫害が行われているのか。杉並区民が人権意識に疎いとする根拠は何なのか。それらを明らかにするべきであって、その上で、大変な人権侵害が行われているのであれば、その対策として組織を作るなり、人権教育を行うなりをするのが当然の流れであって、何を根拠にしているのか全く不明である。杉並区に住む就学中の児童・生徒や義務教育を修了した区民に人権教育や情操教育が足りず、その結果、共同社会において問題となっている事実があるのか。また、その根拠は何なのか。これでは、杉並区と杉並区民に対する誹謗中傷であって、あたかもそのような事実があるように吹聴するのは区民の名誉を毀損する暴挙であるとしか言いようがない。繰り返すが、私たちの杉並区において人権侵害行われているのであれば、それを明らかにするのが先である。岸本区長の想像と妄想の上に杉並区の行政を行う事は直ちにやめてもらいたい。</p> <p>以上を鑑み、岸本聡子杉並区長は不適任であり、速やかに退陣してもらいたい。</p>

160	<p>家賃補助について：</p> <p>本件のような政策は最小でも都のレベルで行うべき施策であって、区のレベルで行うと杉並区への貧困層の流入を促すだけであり、区の財政負担となるばかりか国民健康保険料の増額にもつながる。ひいては流入してきた貧困層と従来からの住民との間で軋轢となり地域の分断に繋がりがかねない。海外で起こっている移民と当該国国民との間の軋轢問題と同じ構造が杉並区で起こり得ることを意味する。</p> <p>家賃に困る世代は自分の所得で住める地域に住むし、子育て家庭には子育て支援として策をとれば良いだけである。しかるに本件は若年層を支援するものでも、子育て世代を支援するものでもなく、単に岸本区長の支持基盤である年金受給世代となった左翼活動家の生活費を税金で支援するものであり、さらには自身の支持基盤を増やすために外部からの流入を促すのが目的であるのは明らかである。納税者として強く反対する。</p> <p>区の財政を考えれば、貧しい者は豊かに、豊かな者はさらに豊かになれる地域を目指すのがあるべき姿であり、高額納税が期待できる富裕層や企業が拠点を置きたいと思うような施策を取らない自治体の財政が悪化するのとは当然の帰結である。岸本区政の下では、富める者は貧しく、貧しい者はさらに貧しくなる暗黒の未来しかない。将来に希望を持つ若者は杉並区に魅力を感じなくなるだろう。</p> <p>岸本聡子杉並区長には、速やかに杉並区の行政から去っていただきたい。</p>
161	<p>広報すぎなみを見て驚きました。</p> <p>区の文書でありながらカタカナ言葉ばかりで、「デジタルデバインド」のように別の項にわざわざ日本語での解説を載せるのであれば、なぜ最初から日本語を使って表現しないのか。日本語で表現できないのであれば、岸本区長こそがまず外国人区民とともに日本語の取得学習をするべきである。</p> <p>岸本聡子杉並区長には、速やかに杉並区の行政から去っていただきたい。</p>
162	<p>計画の進捗状況は、定期的に確認できると良いですね。これ自体が、官民協働の作業だと思います。それは、説明会というよりは、日常の中でお互いに共有できると良いと思います。改めてその場を作るというよりは、既存の仕組みの中で活用できると良いと思います。正に、施設再編計画がマネジメント計画に変更されたように、既存の協議体等の整理もされると良いと思います。制度は、縦割りで作られていますが、人の暮らしには横串が必要です。区民センター協議会には、地域のイベントだけではなく、「地域懇談会」も位置付けられていると思います。施設の使い方だけでなく、地域の暮らしを考える場が定期的に設けられれば、その中で、区の計画の進捗も共有できると良いと思います。また住民も一緒に考えて行くという意識も生まれてくると思います。区民センター協議会の在り方も再検討できると良いと思います。今後も対話を続けて行きたいです。</p>
163	<p>(1) 宮前から区役所に行くには交通機関を2つ使わなければならないので、直通のバスを走らせてほしい</p> <p>(2) 近所に図書館がないので、図書館を作って欲しい</p> <p>(3) 公共施設の、使用料金を安くしてほしい</p> <p>(4) 富士見ヶ丘商店街の交通量が多くて、高齢者は歩きづらいため、夕方歩行者天国にしてほしい</p>
164	<p>施策 4-3 地区計画等によるまちづくりの推進について</p> <p>「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画取組の推進、地区計画」については、改定もなく、本年度から3か年にわたって計画されていますが、これについては改定をしてください。</p> <p>旧区政において進められてきた計画の問題が次々と明らかになっている中で、区自身がこれまでのプロセスに問題があったことを認め、区民との話し合いは継続されています。今現在も情報開示が十分にされていません。まずは区民に情報を開示して、換地の公平性など不可解なことについて、明らかにする必要があります。杉一小改築問題が「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり」の話に変わっていること自体が異常です。杉一小改築は杉一小にとって最適な改築をするべきです。小学校の土地を単なる不動産として扱わないでください。</p> <p>既定方針通りで計画を推進するのではなく、まずは計画を見直すことから初め、杉一小にとって最適な改築(現在地での建て替え)をするように、計画を改定してください。</p>
165	<p>お疲れ様です。</p> <p>日頃からお世話になっており、</p> <p>こども子育てプラザの存続を希望します。</p> <p>また今後も拡大していくことを希望します。</p>

166	<p>2 児童館、学童クラブ、子ども・子育てプラザについて</p> <p>児童館再編以降のアンケートの結果「児童館の基本的な機能・役割は、……放課後等居場所事業や子ども・子育てプラザといった居場所で概ね継承されていることが確認できました。」となっていますが、1 学区に児童館 1 館があった時代の児童館を知らない人たち(児童も保護者も)にアンケートをとったところで、その時代の充実した児童館活動との比較ができるわけではありません。そのため「概ね継承」は安易な決めつけです。子どもにとって、歩いていけるところにある児童館、遊びのプロである専門家のいる児童館、現在必要とされているサードスペースとして安心して利用できる児童館を、なぜ縮小してしまうのか、理解ができません。杉並の誇りであった 1 学区に 1 館の児童館を取り戻してください。これ以上児童館閉鎖をせず、閉鎖してしまった児童館も復活させてください。</p> <p>5 ゆうゆう館、高齢者活動支援センターについて</p> <p>高齢社会において、一つの大きな課題は、健康年齢を高めることです。歩いて行けるところにあるゆうゆう館は、そのために寄与します。統廃合を止めてください。</p>
167	<p>1 歳のこどもを育てている杉並区民です。</p> <p>週 5 回、こども子育てプラザ善福寺を利用しています。</p> <p>乳幼児に特化した施設のおかげで</p> <p>異年齢が同室にいることで起こる心配事がなく、安心して低月齢から利用することが出来ました。</p> <p>他の児童館を低月齢のときに利用した際に感じた心配事は下記事項です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢が混在することで ねんねの赤ちゃんのすぐ横を走りまわる子供がいたり、おもちゃが飛んできて安心できない。</li> <li>・近い月齢の赤ちゃんがいないので いま抱えている悩みを共有・共感しづらい。</li> </ul> <p>一歳をこえた今となっては異年齢の方との交流はとて有難い機会ですが</p> <p>低月齢で周りを気にする余裕のない環境にいた頃に 同じ気持ち、環境を抱えた方と交流が出来るこども子育てプラザに非常に救われました。</p> <p>職員の方も 常に気にかけて下さり、</p> <p>2 回目に行ったときに たくさんの方から</p> <p>こどもの名前を呼んで頂いたり、率先して相談に乗ってくださったり</p> <p>一緒に育児をして頂いているような気持ちで</p> <p>とても励みになりました。</p> <p>このような施設があることで</p> <p>今後、こどもを育ていくこと・また出産することなどのハードルが下がります。</p> <p>特に低月齢の頃は 外出をすることも困難なので 施設が普及し、身近にあることで</p> <p>育児の孤独感や不安感から救われる方は多いと思います。</p> <p>乳幼児に特化したこども子育てプラザが</p> <p>たくさん場所に展開して欲しいと強く希望致します。</p> <p>またこども子育てプラザ運営のうえで</p> <p>既存の児童館をなくすというような二者択一は避けて頂きたいです。</p> <p>広い施設の確保は 費用的にも難しいかと</p> <p>おもいますが 空き家の活用事業などと連携して頂き、小規模でも広く展開して頂けたらと思います。</p> <p>児童館をこども子育てプラザに変えることであったものがなくなるという</p> <p>精神的負担は利用者にとって 計り知れません。元あった施設に戻して欲しいという声が上がってしまうことは避けられないことだとも思います。</p> <p>既存施設へ 現状の方針に対する不平不満が</p> <p>現場で働く方に向かないよう 問い合わせ先を明確に周知してほしいと強く望みます。</p>

	<p>活動方針を話し合う場に、意見受け入れ先のご担当の区の職員のかたにもご同席頂き利用者の温度感を知って頂きたいです。</p>
168	<p>住みやすい住環境の形成に、良好な景観は大切。 ありがとうございます。まさにその通りですね。</p> <p>住民として、具体的に気になっている点が二点ありますので提言させてください。</p> <p>一点は、杉並区の名前で出している犬の糞尿に対する張り紙です。「大迷惑」「飼い主の責任です!」と、あちこちに汚く設置されていますが、あれこそ美観を損ねますし、言葉選びは本当に大切です。</p> <p>言霊というように、あれは犬の飼い主へのただのメッセージではなく、無意識のうちに、困ったことがあつたら誰かを非難すればよい。というメッセージが区民に植え付けられます。子供たちにも、そういったメッセージが伝わります。</p> <p>「わんちゃんのおしっこ、うんちきれいにしてくれてありがとう。」など優しく、心穏やかになるメッセージに変えていただきたいです。</p> <p>犬の飼い主がきれいにしなくてはいけないのはもちろんのことですが、雑草やゴミのないきれいな町であれば、なかなかそこを放置しにくいものです。意識が高まっていきます。</p> <p>非難する心こそが、ひいては戦争を引き起こしていきます。そういった小さな優しい気持ちを育む町でいてほしいです。</p> <p>二点目は、国が管理している共同住宅の管理がひどいこと。掲示板などボロボロのまま、まるでスラム街のようです。草もぼうぼうで夏など蚊やノミ、ダニなどの宝庫となっています。杉並区から、提言していただいた方がよいと思います。</p> <p>岸本区長をリーダーにみなさまのお仕事に感謝しております。</p> <p>どうぞよろしくお願ひします。</p>
169	<p>杉並区総合計画案内の、「自転車駐輪場の管理・運営見直し」の項目についての意見です。阿佐谷駅前の区立自転車駐輪場(阿佐ヶ谷西自転車駐輪場、阿佐ヶ谷東自転車駐輪場)が令和6年7月1日よりJR東日本都市開発の民営駐輪場が変わることを先日知りました。</p> <p>現在、自転車と電車通勤のため区立駐輪場を月極めで契約しており、週に5~6日と頻繁に使用しています。</p> <p>また、月極め駐輪場の契約をするため1年半以上も待機をしてようやく申し込むことができました。現在の生活になくはならない月極め駐輪場であり、今後民営化するにあたって金額や利用方法がどう変わるのか、来年3月まで未定とのことで、とても不安です。</p> <p>現在の利用方法と変わらず使用できるようにしてほしいです。</p>
170	<p>【パブリックコメントする計画案】杉並区総合計画 「福祉・地域共生」</p> <p>【パブリックコメント】「福祉・地域共生 すべての人が認め合い、支え・支えられながら共生するまち～施策15 地域の支え合いと安心して暮らせる体制づくり～」について</p> <p>改定案に記載されています通り、令和7年度からひきこもり支援事業が実施されることを知り、家族会に参加している家族の方々は、ようやく杉並区でもひきこもり支援事業に着手してくれたことに対して喜び、安堵し、期待しております。 いただきました改定案について家族会として、(1)ひきこもり専門相談窓口開設について(2)居場所事業について(3)ひきこもりに関する知識の普及啓発について(4)他のひきこもり支援についての4点に関して意見を書かせていただきます。</p> <p>(1) ひきこもり専門相談窓口開設について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援相談員が、当事者・家族に寄り添った伴走支援をしてくれる窓口。</li> <li>・たらいまわしされない、同じ内容を何度も話さなくていいひきこもり専門相談窓口の設置は当事者及び家族にとっても必要な支援です。当事者や家族は、相談窓口がくらサポか保健センターかわからず利用されない人も多く、とにかくまず初めに相談できる専門の場所が出来たことは、勇気を出して相談してみようかなという気持ちを持った当事者、家族の背中を押してくれると思います。ただ、そこで相談員が、以前のように「親が悪い、本人の甘え」等の勇気をくじいたり、「説教された、説得された」と受け取られるような発言をしないよう、これ以上当事者や家族が傷つくことがないような適切な対応を望みます。そのため窓口には、専門家</li> </ul>

と共にひきこもり経験者やその家族などのピアサポーターがいると安心して相談できる場になるのではないかと思います。

- ・不登校状態の当事者やその家族、若年層や中高年のひきこもり状態の人や高齢者の家族など、誰もが相談できる、幅広い年代が相談できるように年齢制限を設けないひきこもり専門窓口の設置。

- ・相談窓口が開設しましたら、ひきこもり専用のリーフレットなどを作り、「ここなら相談してみたい」「ここなら聞いてもらえるかもしれない」と思えるようなツールで多くの当事者、家族に知ってもらえるように広く告知をしてほしい。

- ・たらいまわし予防として、相談窓口が関連部署との横の連携がとれるつながる拠点であってほしい。

- ・人と話すことが苦手な人に対して、メール、LINE、チャットポット等での対応を可能にしてほしい。

- ・相談とは違う同じ経験をしている家族が集うひきこもり家族会（当会）や当事者会などの居場所を杉並公式サイトで紹介してほしい。

#### （２） 居場所事業について

- ・誰もが気軽に参加できる安心安全な居場所、何もしなくても、何も話さなくてもいい場所と同時に、自分が住んでいる地域に貢献できるようなボランティアなどができる機会を見つけられる居場所。

- ・ピアサポーターの常駐と共に何でも相談できる相談コーナーがあるとより充実した居場所になるのでは思っております。

- ・社会復帰、就労、自立ありきでない、生きづらさの改善、自己肯定感の回復ができる安心安全な場と人の出会いができる居場所。

- ・居場所と言っても、家族の居場所、当事者の居場所、家族＋当事者の居場所などがありますので、当事者が参加したくなるような杉並区らしい居場所ができますことを願っております。

#### （３） ひきこもりに関する知識の普及啓発について

- ・「ひきこもり」の理解促進、適切な対応の為、これは大変必要な事業だと思います。ひきこもり状態の人が家族にいない方にとっては、理解に苦しむ状況だと思います。なかなか理解してもらえないことが、当事者・家族にとってさらに傷つき、苦しむ状態に追い込まれています。

杉並区の将来像である「すべての人が認め合い、支え・支えられながら共生するまち」というスローガンに書いてあるように、ひきこもり状態の人を理解し認めることで、当事者たちにとっても生きやすい社会になるのではと思います。

- ・職員をはじめ、杉並区民の方にとっても「ひきこもり」を知って理解してもらえる機会として、私は、すぎなみ地域大学で、「ひきこもりピアサポーター養成講座」の開設を提案します。一般の方への理解もすすみ、さらにピアサポーターとして認定されれば、これから孤立、孤独問題も進む中で、ニーズが高くなる知識ではないかと思います。これは、私がすぎなみ地域大学でいろいろな講座を受講させていただいた経験から提案させていただきました。

- ・当事者不在で「ひきこもり」を語らずに、ひきこもり当事者や経験者の声を聴くことで、当事者と支援者の温度差、支援イメージの違いを埋めていただき、ひきこもり＝犯罪者予備軍等の誤解や偏見などのネガティブイメージを払拭してほしい。

- ・以下の項目は当会会員の意見です。

➡「ひきこもり」の捉え直し：『問題を抱えた個人への福祉という観点ではなく、社会構造の変化に伴い必然的に発生した一つの立ち位置に対し正面から向き合い、捉え直す観点が求められると考えます。ひきこもり問題への本質的な取り組みは、未定義の社会的弱者あるいはモラトリアム状態にある方々すべてを包摂する、あるべき社会に導く可能性があります。定義自体があいまいなひきこもりに対する知識は、与えられるだけのものではなく、自ら考え、理解を深めて行くことが正しいアプローチと思います。』

#### （４） 他の要望するひきこもり支援について

- ・当事者が望んだ場合のアウトリーチ（当事者が望まない場合は、最も受けたくない支援のひとつになる）

- ・地域の協力者の開拓：外出できないひきこもり状態の人が自宅で診察などを受けられるように、歯科医、皮膚科医、精神科医、理美容師等が訪問できるような地域での協力連携システムの構築。

	<p>・年代によって求められる社会的支援：</p> <p>10代は不登校問題・進学問題・就労問題、20代・30代・40代はひきこもり問題・就労問題、50代以降は親亡き後どのように地域で生きのびていけるか問題のように年代別に支援が違う場合もあります。8050問題をふまえて、高齢化・長期化した当事者には行政の支援と地域の中に協力者、理解者と共にゆるやかなつながりを持ちながら生活していける支援があればと思います。(地域福祉コーディネーターの活用)</p> <p>・当事者目線での支援：当事者にとって本当に必要な支援にするために、ひきこもり当事者、経験者の意見を聞きながら、支援者や家族と共に構築していく支援。</p> <p>・家族支援：家族も誰にも話せず孤立してしまうことも多いので、家族が支えられ安心して暮らせるようになる支援があると、必ず子である当事者にも良い影響がでる(親が変われば子も変わる)と思います。なんでも話せる家族会の存在が大きいので、家族会を支援していただくことでも家族支援につながっていると思います。</p> <p>・兄弟姉妹支援：最近では親だけでなく、当事者の兄弟姉妹への支援を希望する方も増えていますので、親亡き後を見据えた兄弟姉妹に対する支援も要望致します。</p> <p>・以下の項目は当会会員からの意見です。</p> <p>➡『埼玉県戸田市の教育DXのように、適切なデータ活用による支援の検討をお願いします。』</p> <p>最後に上記の3つの支援だけでなく、(4)のようにアウトリーチや長期ひきこもり問題に対しての支援対策も今後ご検討いただけましたら幸いに存じます。長期の場合は、家族では手に負えない状態で、もうこのままでいいと放置した結果、親が亡くなってから社会にご迷惑をおかけすることがないよう、親亡き後の支援対策も出来ますこと、そして、是非杉並区らしい支援対策事業となりますことを願っております。</p> <p>長い文章となり失礼いたしました。</p> <p>以上よろしくご意見申し上げます。</p>
171	<p>都による善福寺川の治水対策巨大大事業が進行中ですが、杉並区として、該当地域住民への計画通知や意見聴取、工事の可否の検討討議などほとんどなく、知らされないうちに一方的に計画が進められ業者が決まり、いつのまにか公園が囲われ、既成事実のように景色が帰られていてびっくりしています。杉並は区長さん主導でSDGsを考えています。区行政として温暖化防止のためにも「排気ガス大排出・ガソリン大消費・大樹の伐採などがさげられない巨大建設工事の推進に待ったをかけていただきたいです。地底30～40mに直径9mものコンクリートトンネルを何kmもおす、その巨大トンネルを入れるための巨大な大地掘削、その振動で家々に日々が入ったり地盤沈下したり、最悪は大陥没の恐ろしい事故が他工事で現に起きています。この兄弟工事には10年以上かかる、その間、振動や埃や交通障害に耐え、子どもたちは公園を奪われるのです。</p> <p>現在、善福寺川の神通橋—西田橋の間はあちこち鉄板で覆われ通行止めになり大重機がいくつも入った状態がすでに10年以上続いていて、今はセンター広場も資材置き場になりつつあることをご存じですか。子供の遊び場を十年以上封じる…子供は10年待ってられません。</p> <p>100年以上かかって聳えている大樹の軽々しい伐採なども、取り返しのつかないことです。住民が本当にのぞんでいることかどうか、環境保護に適した工事か、時間をかけて見直して下さい。拙速に巨大工事を主眼に土建屋や不動産価値や車社会の便宜でなく、住宅街を住民の暮らしを壊さない行政を考えて下さい。杉並は山岳地帯ではないので、洪水で家が流されたり死者が出る危険は少ないはず。それよりも何十年も見えない地下に向けて大工事を進めることで家や道路の破壊、生活の不便のほうがずっと危険です。</p>
172	<p>環境、健康</p> <p>受動喫煙の害が認められ、区内も歩行喫煙禁止の貼紙等がされているにも関わらず、路上・歩行喫煙、ポイ捨てがまだまだ沢山あります。</p> <p>区内全域で路上喫煙禁止とすると共に厳しくチェックし、違反者に対しては罰則を課するようにしなければ改善されるとは思えないので対策を施してください。</p> <p>タバコ店の店先などに灰皿が設置されていると一見ポイ捨て抑制になるように思われるが、多くの人がそこで喫煙するため、その周囲の環境は著しく悪化しています。多くの吸い殻が投げ込まれた灰皿では無人であってもモクモクと煙を立てている事もあります。</p>

	<p>こうした屋外設置灰皿を無くし、適切に管理された喫煙室でなければ吸えない(吸わない)という街にして欲しいものです。</p> <p>まちづくり、子供</p> <p>和泉 3 丁目の東京電力和田堀変電所正門から堀沿いに方南通りまでのびる道路は、大宮小学校へ向かう通学路ですが道幅が狭いため歩行者専用道路となっています。しかし実態としては、永福町駅から方南通りへ繋がる北口商店街通りが一方通行のためか、多くの無許可車両が行き交っています。違反なのを自覚していて見つかる前に通り抜けようという心理か、とんでもない速度で走り抜ける車も少なくありません。また大型トラックなどの工事車両も行き来しており、このままではいつ事故が起きるか分からない状況です。</p> <p>区内には、この道路と同じような細い道路が多く、その中にはこの道路と同様に交通規制があるにも関わらず名目化していて危険な状態が放置されているところが多数あるのではないのでしょうか。住民への聞き込みや実態調査を行った上で、有効な対策を施して頂きたいと切に願います。</p> <p>和田堀変電所沿の道路に関しては警察に何度か対策や取締をお願いしたり、違反車が問題の道路内にいるうちに来てもらったりしてきますが、この道路は無許可車両が規制道路の入口から進入して一定以上走行している状況を警察官が確認しないと違反キップを切る事ができないと言って、運転手には口頭注意するだけなので全く抑止力が働いていません。規制のかけ方を変える事で違反に対する罰則を課する事が容易になるなら、それも併せて検討して貰いたいものです。</p>
173	<p>「杉並区総合計画」についての意見</p> <p>総合計画の改訂案を区民の意見を集めて、取り組んでいることに賛同します。</p> <p>施策 14「人権を尊重する地域社会の醸成」83～85 頁について</p> <p>1、 施策の中心とするべきテーマですので先行的位置づけとしてください。</p> <p>憲法では基本人権の永久の権利と定め、現在及び将来の国民に保障すると 11 条定め、12 条、13 条、97 条で定めており、地方自治体はこれを遵守し、職員、公務員は区長を始め特別公務員たる区議会議員は尊重しさらに擁護する義務を負っています。また、国民は自由及び権利の保持義務を、不断の努力ですと定めています(12 条)。</p> <p>2. 基本的人権の保障は国際人権規約で人種、国籍、出生などでの差別を禁じ、女性差別撤廃条約子どもの権利条約、障がい者差別禁止条約などの国連人権理事会は規約人権委員会などからは、日本に対し繰り返し条約違反の現行諸制度の改正するよう勧告がだされています。しかし、是正されず、人権侵害が放置されている現状が続き、法的な差別撤廃は立ち後れています。</p> <p>3、 国の政策、立法の改正を待たずとも、自治体の方針で人権尊重施策の実現を図ることが、今日強く求められています。例えば現在優性思想によって立法化された優生保護法によって不妊手術をされた被害者を原告とする裁判が全国各地で行われており、立法憲法違反であったとの判断が出されていますが、自治体が流布してきた優生思想の払拭はされていません。民法・戸籍法による婚姻をしていない母から生まれた子どもを「嫡出でない子」と届けさせる出生届けを自治体が国からの委任事業として行い、母と子どもの人権侵害を自治体が役割としてになっています。このような、基本的人権侵害を自治体我になっている実態をきちんと検証する必要があります。</p> <p>4、 そのためには、従来から立法及び施策で定着してしまっている業務にたいする職員の憲法や国際条約にのっとり、国際法規における人権尊重の意識を醸成することがまず、必要です。従来の人権研修では果たされてこなかったことです。</p> <p>5、 人権の尊重を区政に行き渡らせるためには、人権侵害の是正を担う、権限のある第 3 機関の設置が不可欠です。日本は未だに諸外国に比べ、包括的差別禁止法が立法化されておらず、行政、立法府の政策決定機関に女性割合が少なく、司法においてもジェンダー平等の後進国です。その課題に取り組むために、杉並区ではまず、ジェンダーバイアスの払拭を区政を挙げて取り組む必要があります。</p> <p>6、 外国籍の住民には、地方参政権が未だに付与されていない不平等状態を是正し、定住、永住外国人からの政策提言機関を設けるなどの施策が必要です。</p> <p>7、 職委員定員の制約が広がり、民営化があらゆる分野で進められ、区政に従事する職員、民間委託先社員な</p>



	<p>どの身分、労働条件が著しい格差が生じています。これは将来にわたり保障されている基本的人権の侵害に該当する大きな課題です。これを人権尊重の視点から、平等な労働権の保障として取り組む必要があります。</p> <p>8. 人権が尊重される地域社会の確立にむけた目標数値が低すぎます。親権に誠実にだれ一人取り残さないとの姿勢で目標を立て、人権侵害を撤廃する覚悟を示す、計画をしてください。</p> <p>*公表に同意します。</p> <p>以上</p>
174	<p>「杉並区実行計画（第2次）改定案／施策13 地域医療体制の充実：目標に向けた施策指標（成果指標）の設定／指標3 かかりつけ医療機関がある区民の割合」についての質問と提案です。</p> <p>「指標3 かかりつけ医療機関がある区民の割合」を判断する材料として、区民が「かかりつけ医療機関があるか？」と問われた場合、どのような状態の時に「かかりつけ医療機関がある」と回答できるのでしょうか？</p> <p>杉並区医師会と杉並保健所が連名で作成している「かかりつけ医をもちましよう」という説明用チラシでは、「1. かかりつけ医とは？」の答えに「健康に関することを何でも相談でき、日常的な診療や健康管理をする身近な医師のことです。」と書かれています。</p> <p>この「説明内容」にあるように、身近なところにある医療機関を、平日頃、受診している区民（患者）の側が、勝手に（医師への相談なしに）「かかりつけ医と判断しても良いのでしょうか？</p> <p>医療機関と区民（患者）の間で「かかりつけ医」の合意は必要ないのでしょうか？</p> <p>また、区民（患者）が、自分の健康状態に最適な医療機関を「かかりつけ医」として選択したいと考えた場合に、その疑問について相談できる窓口は区内に設置されているのでしょうか？</p> <p>杉並区において、「かかりつけ医」に相応しいという医療機関の推薦はあるのでしょうか？</p> <p>など、ちょっと考えただけでもいくつかの疑問がわいてきます。</p> <p>ぜひ、この様に、区民（患者）が「かかりつけ医」をもちたいと考えた場合に、その疑問について、分かり易く答えてもらえる仕組み（広報活動、周知パンフレット、問い合わせ窓口など）を、杉並区や、杉並区医師会・歯科医師会で用意していただけないでしょうか？</p> <p>一般的な区民（患者）の方々は、出来れば、前述した「説明用チラシ」に書かれているように、「健康に関することを何でも相談でき、日常的な診療や健康管理をする身近な医師」を自分の「かかりつけ医」としてもち、安心して健康的な生活を送りたいと願っていると思います。</p> <p>区民（患者）のこの様な望みをかなえられる具体的な施策を検討していただきたいと考えます。</p>
175	<p>○杉並区総合計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうゆう館は高齢者が歩いていける範囲にあって欲しい。</li> <li>・児童館も存続を。小・中・高校生の放課後の居場所づくりに欠かせません。</li> </ul> <p>学童クラブも小学校併設でなく、児童館で。児童館にあることで多様な環境で過ごすことになる。登校拒否児童に学校以外の居場所を確保する。</p> <p>民営化せず、正規職員で子どもたちを見守ってほしい。</p>
176	<p>西宮中学校と宮前図書館を同じ建物内に併設する案に反対です。</p> <p>図書館は地域に開かれた場所ですが、学校がそうであるか、といえば、現状は違います。</p> <p>そもそも機能が違うのに、なぜ一箇所に統合するのかわかりません。</p> <p>その上、防犯面からいっても、学校の門はほぼ閉ざされていて（仕方ないですね）、あの門を開けて入ることに抵抗感があるし、授業中であれば、それなりに気を使います。</p> <p>土・日など学校の休校日に出入りするの、図書館だけ開いているのは異様だし、学校の警備も必要になってくるのでは？</p> <p>また、登校拒否している学生や児童にしてみれば、学校の敷地内に入るのには抵抗があると思います。</p> <p>静かに読書したい人に、体育の時間や放課後のクラブ活動の声など、うるさく思う人も多いと思います。</p> <p>図書館は独立した建物としてあるべきではないでしょうか。</p>
177	<p>パブコメ募集中、ということを知りませんがほとんどの区民は知りません。今回のパブコメも知人に教えてもらって知りました。</p>

	<p>区報だけでなく目につく場所にポスターなどで周知して欲しいです。</p> <p>例えば、施設を廃止、改修、再編する際に、その施設に「老朽化しましたので、廃止、改修、再編する案があります。パブコメ募集中」とかの張り紙をして欲しいです。壊されて初めてわかるのが実情です。</p> <p>パブコメ。せめてその施設の利用者に「パブコメ募集中」、とわかるような手段を考えてください。区政に私たちの意見を直接届ける手段を有効に使いたいです。</p>
178	<p>「総合計画・実行計画などの改定案」についての意見</p> <p>*これまで、杉並区から計画が提示され、区民への説明会がもたれましたが、意見が出てもほとんど反映されることはありませんでした。今回このように区民の意見を募集するという方法が取り上げられたことは大いに歓迎したいと思います。</p> <p>*区民側もこの新しい方法に対しては、杉並区任せにしては、前と変わらないので、区の提案に対して真剣に考え、一緒に作り上げていく努力が必要だと思います。</p> <p>*計画案にそって考えていきたいと思っています。</p> <p>(防災・防犯) いつあっても不思議はないといわれる地震国です。耐震化・不燃化の促進をはじめとした主要事業は賛同できます。地域のたすけあいネットワークも大切です。近隣の人とのコミュニケーションが十分とりにくい都会生活です。学区単位でもケア24地域単位でも情報を発信し、地域のネットワークを強める手立てを考えられるとよいです。</p> <p>善福寺川流域の雨水対策について、住民に知らされないまま都市計画が進んでいると聞きます。何のためのどのような工事なのか一旦計画の進行をとめ、区民への説明会を求めたいと思います。また井荻小学校のすぐ横の道路の雨水が溢れだし、下校時の児童にとって危険な状況がこれまでありました。ポンプ設置などの応急対策の他、根本的な解決を望みます。</p> <p>(まちづくり・地域産業) 地域特性を生かすためには住民の声や要望をしっかり受け止め、時間をかけて納得のいくまちづくりを進めてほしいと考えます。</p> <p>掲げられた主要事業には賛同します。新たな取り組みとしての自転車活用の推進や家賃低廉化補助の実施に加え、コミュニティバスの増便と運行範囲の拡大を求めます。高齢化社会になり、移動手段として、身近なところから利用できるコミュニティバスがあると助かります。また駐輪所をもっと増やしてほしいと思います。</p> <p>(環境・みどり) 気候危機が問題になっている近年、杉並区の取り組みに期待します。気候危機に対してのひとりひとりの意識改革も重要。気候区民会議の開催は参加しやすい方法でより多く開催してほしいと考えます。</p> <p>阿佐ヶ谷の樹木が切り倒される心配。善福寺の屋敷林の木々が切り倒され、更地になっていく現状を憂えています。保護樹林や保護樹木が機能しているのかも知りたい。各地に小さな公園をつくり、積極的に緑を残す対応をして欲しいです。</p> <p>プラスチックごみなどごみ処理の問題も大きいと考えます。これも個々の意識を高めることが重要。気候区民会議と同様、ごみ処理場の見学や映画上映など学ぶ場がもたれるとよいと考えます。</p> <p>外郭環状道路の問題にも向き合ってほしいと思います。地下40メートルは地上の所有権は及ばないとされる大深度法により、反対を押し切って工事が進められています。不要不急の工事であるばかりでなく、1メートル1億円をはるかに超す税金の無駄使いは明らかです。調布の陥没事故で一時中断されていましたが、大泉からシールドマシンが動き出し杉並に迫っています。善福寺・久我山など該当する地域住民の不安は大きく、また善福寺池の枯渇などの環境破壊も考えられます。杉並区民の安全安心のため国・都に対して工事中止を求めてほしいと考えます。</p> <p>(健康・医療) 生活習慣病予防の推進として区民健診は重要です。さらに区民健診の項目に聴力検査を加えてほしいと思います。長年の要望の結果、補聴器助成が実現したことは良かったです。予算の上乗せを望みます。</p> <p>国保料の負担軽減を望みます。杉並区独自での対応は難しいと思いますが、区民の暮らしの安心のため、積極的に都や国への働きかけを継続してほしいと願っています。</p> <p>この間保健所が減らされてきていて心配です。新たな取り組みとして「感染症に関する予防計画の推進」が打</p>

ち出され、保健所の体制整備も挙げられてきたことは評価したいです。

(福祉・地域共生) 主要事業の4項目や新たな取り組みは期待できます。

「住み続けられる杉並」を多くの人が望んでいます。さらに要望として家賃補助制度や空き家対策など、杉並区としての住環境の支援を求めます。高額な入居金、月々の高額な支払いが求められる高齢者入所施設の案内チラシが届きますが、大半の人には無理な施設です。公的な在宅サービス、施設サービスの充実を希望します。ゆうゆう館の存続、充実も大切なことと思います。一人暮らしの高齢者も増加しています。日々の生活を豊かにし、安心して触れ合える場としてゆうゆう館は身近にあつてこそ利用できます。削減の方向を見直して存続させ、更に小さな規模でもよいので増やしてほしいと思います。隣の武蔵野市では、コミュニティセンターが各地にあり、運営も市民が関わっていると聞きます。

(子ども) 全国に比べ杉並はまだ極端な少子化にはなっていないと思いますが、子どもを産めない、子どもを育てにくい、子どもが生きにくい、日本の状況は深刻です。

「親ガチャ」などの言葉が生まれるほど、子どもにとっての環境は重大。子ども施策を中心的な課題として取り組んでいきたい内容だと感じます。

主要事業として

- \*子どもの権利擁護の推進
- \*子どもの命と安全を守る児童相談体制の構築
- \*多様なニーズに対応した保育サービスの推進
- \*学齢期の障害児支援の充実
- \* (新たな取り組み) 子どもの意見表明・参画の推進

があげられていて賛同できますが、具体的には何をどうしていくのか見えてきません。例えば 児童館の廃止・機能移転の問題です。前区政の問題ですが、十分区民の意見が反映されない中で善福寺児童館が子ども子ども子育てプラザに代わりました。長年杉並の児童館、学童保育は、他区から見学に来るほどの充実した取り組みでした。学区ごとに作られた児童館は学童クラブと共に放課後だけでなく、夏休みや冬休みなども子どもの遊び場として地域の子どもが安心して集える場所になっていました。お兄さんお姉さんと遊ぶという縦割りの関係もでき、もちろん親も安心して子どもを送り出せました。学童クラブでは子どもを中心に母親、そして父親も巻き込んで、夏祭りやキャンプなども計画できました。地域のコミュニティとして、子育てを地域社会で支える取組みができていました。善福寺児童館の場合、中学生や高校生の居場所としても機能していました。機能移転の名で、居場所が元のように使えなくなることに對しての中高生の意見は尊重されず、十分納得のいく説明もないまま進められました。これらの反省の上に立って、区民参画の取り組みができてきたとは言え失ったものを元に戻すのは大変です。「善福寺子ども子育てプラザ」を見学しましたが、十分に施設が活用されているとは見えず、機能移転として成功した事例とは思えませんでした。児童館を残して、数か所に「子ども子育てプラザ」をつくる方法も考えてほしいと願います。限られた財源の中で何を重視するのか真剣に考えられなければならないと思いますが、様々な知恵を出し合い、子ども環境を守っていけたらよいと思います。

保育サービスの推進についてですが、近年、保育士の不足や非正規雇用の保育士の問題などが取り上げられています。身近な例でもパート保育士さんが増えているように思います。また、これまで区立の保育園が民営化されていることに驚いています。杉並区だけで解決できる問題ではありませんが、実態を多くの区民に知ってもらう必要があるように思います。民営化によって失われるものも多いと思います。どのような環境でどのような触れ合いの中で子ども時代を過ごすかは後々の人生に大きく影響します。杉並で育って良かったといえる環境を作るのは大人たちです。区の重点的な支援を期待します。

(学び) 新しく加わった内容かと思います。「区民一人一人が共に認め合い、希望を実現することの楽しさを実感しながら、学び合い、教え合うことのできるまちを目指します」と掲げられていました。かなり崇高な理念です。「教えるとは希望を語ること。学ぶとは誠実を胸に刻むこと」といったフランスの詩人の言葉を思い出しました。

コロナ以降不登校が増え、子どもの自死も増加していると報じられています。日本の教育現場の現実はその

	<p>理想にほど遠い状況かと思えます。学校での教師不足、教師の過労状態等々、これも杉並区だけで解決できる問題ではありませんが、</p> <p>個々の学校の実態を把握し、区として対応できる問題は解決に力を注いでほしいと願います。子どもを育てる立場からすると背景に家庭環境や経済的な問題が大きく影響していると考えます。杉並区が実施した「学校給食の無償化」は大きな前進です。さらに就学援助など対策を進めてほしいと願います。開かれた学校として、地域の応援体制も重要かと思えます。我が子が卒業すると学校とは縁が切れてしまうので、実態がよくわからない人も多いかと思えます。何をどうしたらよいか、具体的な方法が示されたら、応援可能なシニア世代も多いのではないかと考えます。</p> <p>(文化・スポーツ) 主要事業と新たな取り組みに賛同します。杉並には著名な文化人が多いと聞きます。郷土資料館などで時々企画展などがあるようですが、あまり周知されてなく残念です。もっと身近な場所、例えば杉並区役所や杉並公会堂の一室にそのようなコーナーがあるともっと区民の目に触れるのではないのでしょうか。</p> <p>区立美術館、区立体育館を望む声もあります。税金の使い方の問題ですが、長期的に区民のニーズに応えられるとよいです。</p> <p>今各地に「平和資料館」ができてきています。また「平和資料館」を求める署名活動などが取り組まれています。杉並区でも署名活動が始まっています。</p> <p>杉並区は「原水爆禁止署名発祥の地」として知られています。歴史を振り返る展示や企画展など、多くの人に「平和こそ」を伝える場があるとよいと考えます。特に戦争体験のない若い人に見てほしい内容を展示できるとよいと願っています。</p> <p>(その他) 公的な施設が不十分です。特に西荻地域は西荻南集会所が区民事務所になり、それに代わる施設が遠方になったりして集う場所がほとんどありません。西荻区民センター一つに集中する状況で、なかなか場所が取れない実情です。長期的な見通しの中で施設を増やす対策を求めます。また他区に比べ、施設の使用料が高いと多くの人を感じています。改善を望みます。</p>
179	<p>杉並区総合計画等改正案に対するパブリックコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉並区に住んで60年。八重洲の大企業に勤め、朝早く夜遅い生活で、休日は家族と過ごす時でも区外に出かけ、地域のことは浦島太郎。高校生まではここで過ごしたものの、生活もその範疇での記憶しかない。しかし実家、ここで骨を埋める。</li> <li>・今の杉並の認識は、会社の同僚に「杉並区に住んでいます」というと、「良い処に住んで裕福者」と言われ、少しうれしい。でも自分目線で杉並を感じているのは、高齢化してるし、駅(井の頭線)もお粗末。車でスイスイ移動できるほど道路も良くない。地価の高いのが変化を妨げているのかもしれない「東京の田舎」と思っている。小学生時代は田舎に住ませ、中学からは他地域の私立に入れ、子供の成長に有利な選択をする家庭人が多く流入してきている。</li> <li>・私が住んでいる地域の最大課題は、「老々介護」と「買い物難民」である。この平穏な東京の田舎でも、時代の進化を取り入れて、生涯より過ごしやすい地域にしていかなければならないと、日々思いを巡らしている。</li> <li>・ある人が言うには、物事を変えるには、誰もが反対できないものを軸に、現状(地域)を変えていく。その対策の中に、日常や地域を変えていく要素をしっかり含めていくんだ。それは東京大地震だ。但しそれには、それに費やす費用等の通常ではない経営資源を持つてくる必要はある。あとは知恵と覚悟である。</li> <li>・私の視点は変化への対応の一つに過ぎないが、そういう視点で杉並区が堂々と掲げている「杉並区基本構想」と今回の改定を見てみると、様々な疑問が湧き出てくる。分厚い計画書類の中から、その根幹である「区政経営改革推進基本方針」に着目し、それ以外にも及ぶ部分も見た。概念図シンボルツリーでは黒い幹の部分の指すと考えている。日本の幹は大丈夫?と叫ばれており、国際比較で劣位に低下している。私は企業の立場よりの経験で、行政機関での在り方は分らないが、分らないが故に見えることもあると、これを作成した。私のパブコメに対して、具体的に回答いただけるよう、箇条書きとしました。</li> </ul>

・また、新区長が現在の最大の課題と考えている「区民との対話」についても、私見を申し述べたいと思います。

	項目	確認及び不明点と提案
杉並区総合計画(区政経営改革推進基本方針) 令和6年度～令和12年度 改定案		
1.	序文 「最小の経費で最大の効果」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下欄の5つの方針を導き出すことを目的として、この序文が記載されていると考えているが、主に環境変化への対応は書かれているが、現状の区の業務上の問題点あまり語られず、方針ありきでの導入に感じる。中では「最小の経費で最大の効果」が眼についた。</li> <li>・確かよく言われるが、何を測るのか、その大指標が必要でないか? これにより比較、施策選択が見える。仮想(模擬)収益や財源別収支、稲盛氏が提唱して久しい「アメーバ指標」など、検討導入してはどうか</li> </ul>
	序文より類推 ※大枠 「大きな政府」か「小さな政府」のよ うな	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この前に基本構造を明確にしたい。高度化・複雑化した現代社会は、不安が全て行政に依頼してくるので、区自体の仕事の明確化とアウトソーシングの業務を分けることこそ、手段としての公民連携の目的と思う。個人と中小企業の多い区は小粒大量のそれはず。</li> <li>・AI等を駆使した全体システムを構築包含する前提での「小さな区」と総合観点での受け皿機関(全体最適)を視野に、区民との双方向のラインを創り、業務を簡素化し、小さな政府を目指すことが良いと考えるが。</li> </ul>
	方針の軽重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針が平板に書かれているが、計画終了時に、この10年で、何が変わるか、目玉は見えない。</li> <li>・ここには記載されていないが、評価方式は変わっていないのか? 相当因果関係の少ない区民意向調査での評価は疑問。</li> </ul>
	デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化が言われているが、個別課題に対するシステム化は、部分最適となり全体最適とならない。継ぎ接ぎだらけで、システムコスト軽減にもならず、ある時点でシステム全体の有り様を明確にした計画創りが必要ではないか?</li> <li>・AI等を駆使した全体システムを構築が区政の明暗を分けると考えられるが。</li> </ul>
	経営という言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営というと、企業では収益が目標となるが、行政では何を目標とするのか? 仮想収益あたりとか</li> <li>・支出ばかりでなく、儲ける柱が細い、見えない?</li> <li>・他の類似の区などとの比較論で語ると、区民に見えやすい。競争相手が見える化し、区民の意欲を煽るのも面白い。</li> </ul>
	行政階層の関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国とか、東京都とかとの連携も見えず、区が最大の受け手のような書きぶりには、区民であり、都民であり、国民である我々にとっては、ピンとこないので、全体像もどこかに書き加えてほしい。我々は区民であるが都民でもあり国民であるから。</li> </ul>
	分析論法は?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の理解では、現状総括と環境変化から、課題がでて、すぐやる課題と中期的課題に分け、それを解決する大方針、小方針がでて、具体的な目標を設定して、戦略・戦術と取組みが整理・計画される。その点で見ると、全体に同じことが繰り返されている。</li> <li>・戦略・戦術(取組み)の生み出し方のシナリオを単純化する。それによって解り易く、文章も短くなるはず。余計なお世話か?</li> <li>・取組みも、現状の延長線上の固定的なものとするようになってはいいか。取組みと言っているが、課題に見える。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度ごとの取組みも、同じ言葉並び、具体的な内容が解らない。誰に向かって見せる計画なのか?</li> <li>・見直しとか、廃止とか、何故か、何を、が見えないので、計画がいいのかどうか判断できない。通常業務の範囲内?</li> <li>・個別課題の整理だけでは、具体策がないと説明会での議論にはならないと思う。</li> </ul>
	ふるさと納税	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税の現状については被害者意識が見て取れる。しかし、これにプレミアムがついた以上、現状を変えるような魅力的な対抗策を講じる必要はある。</li> <li>・私は、区の最低限の防備提供つまり、東京大震災に備える個人世帯での防備品の一括提供である。杉並区に住む以上、これくらいは、他人に迷惑を掛けない最低スタンダードとして、最初は区から提供してはどうか?</li> </ul>
同推進計画(第2次)		
2.	区政経営改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ16の基本的な考え方が唐突にでてるのは何故か? 数式があるなら、年度ごとに実数を出す等しないと分からないのでは。(伝統だろうが自己満足的?)</li> <li>・国の交付金(デジタル田園都市構想)は頭の中に入っていないのか? 敵の敵は味方</li> <li>・利用や施策を進捗させるための経費や取組みが見えない。行政がやるのは進まなくても良いのか? マーケティング手法導入必須</li> <li>・ページ20の消費期限の迫った→ローリングストック教室での活用 ※町会やPTAで活用できると思うが。量は問題か。</li> <li>・ページ24 対話型 →現状は対話になっていない。逆に不満が募るキャッチボールが必要 →11/2の高井戸説明会で、西荻が大量にきた訳、高井戸愛として時間確保の争い →地域別取組みに分けて進めたらわかり易いの</li> <li>・ページ26の「伝わる」→双方向 ・お客様の声マネジメント (富士ゼロックス社) ・苦情マネジメント</li> <li>・通常業務も計画化しているのか ・計画が多すぎない? →最も効率化できる。 ・施策の粒の大小が見えない</li> </ul>
3.	説明会の持ち方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記で少し触れたが、高井戸地域別説明会では、計画に対する質疑はなく、出席者自身の要望に終始していたと記憶している。</li> <li>・課題の整理のような計画で、具体策や予算額が提示されていなければ、論議にならないのは当然。むしろ・・・</li> <li>・当日のスライド資料もいただいたが、まるで区長の選挙演説・公約のよう。進め方の違いで、内容の変化は少ないと感じた。</li> </ul>
4.	対話について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新区長の陣頭指揮による姿勢は、比較論で大きく評価されている。が、双方の一方通行の話となっていると見えた。</li> <li>・区長に対して要望するのは、相当な覚悟で当人は来ているはず。しかし、「受けたまわりました」だけでは、逆にストレスが溜まるだけ。要はキャッチボール(野球の基本)を望んでいる。評価を聞きたいのである。時間的問題は何かの形で解消しなければならない。</li> <li>・そこで、下表2を見ていただき、態勢構築が必要と提案します。</li> </ul>
5.	勉強したい	基本構想作成時の「区立施設再編整備計画」書のページ12-13の歳入歳出

		経過を説明していただきたい	
		ページ38の課題と再編の方向性は、区議会決議と周知されていないのか。杉並区の議会と行政の現状の関係を勉強したい。	
	※	協働推進基本方針	・まず、協働という言葉の定義を明確にすることから。お互いに都合の良いように使われている。 ・また、「共助」無給ボランティアに対して「自分の地域は自分で守る」は酷ではないか？ せめて日当ぐらいは。
	※	デジタル化基本方針	現状の進め方は、個別業務のシステム化ではないか？ DXが狙うところの全体最適とは見えない。
180	<p>施策1 強くしなやかな防災・減災まちづくり</p> <p>○目標に向けた施策指標の設定</p> <p>以下の指標の追加を検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空地やオープンスペースの確保面積、到達距離</li> <li>・水防情報システムの改修数、改修率</li> </ul> <p>○施策を構成する実行計画事業</p> <p>「4 総合的な水害対策の推進」は、気候変動が激甚化する将来に向けて、重点計画事業としてほしい。特に水防情報システムは、区民に避難行動を促す判断情報となるため、その改修は大変重要である。</p> <p>施策2 地域の防災対応力の強化</p> <p>○施策を構成する実行計画事業</p> <p>水害への対応力強化に関する事業を項目の1つとし、かつ重点事業としてほしい。</p> <p>水害は地震と違い適切に避難すれば命は助かるため、避難の判断を住民が自主的に判断できるように促すことが必要である。そのためには、気象情報の収集と読み方の習得、事前の備えも必要となる。北区では東京マイ・タイムラインの普及啓発のため、「マイ・タイムライン普及リーダー」を育成する講座を行っている。マイ・タイムラインの普及啓発を進めて頂きたい。</p> <p>また、水害で命をとりとめた後の家屋の復旧や生活再建の手法は、まだまだ普及が不十分である。復旧・生活再建の取組には、水害被災地での災害ボランティア活動での経験が大変役に立つため、社協ボランティアセンター等と連携した普及啓発を進めて頂きたい。</p> <p>特に「5 災害時要配慮者支援の推進」で作成することになる個別避難計画は、予測できない震災と予測可能な水害では避難の方法がかなり異なるため、両方の計画が必要になる。2021年災害対策基本法の改定で、避難行動要支援者の個別避難計画作成が市区町村の努力義務とされたことを機に、実行計画に位置付けて頂きたい。</p> <p>施策5 人々の暮らしを支える都市基盤の整備</p> <p>○目標に向けた施策指標の設定</p> <p>「都市計画道路（区道）完成延長」は整備ありきの指標でありふさわしくない。都市計画道路の整備には沿線住民の合意形成が前提であり、不要不急の道路計画については見直しも必要である。</p> <p>○施策を構成する実行計画事業</p> <p>「3 都市計画道路の整備」のうち補助132号線、133号線、221号線に対しては沿線住民の反対が強く、2022年度は「区民との合意形成を図りつつ事業を進める」と明記され、事業内容が見直された。（仮称）デザイン会議の開催も含めた住民との合意形成と、道路整備自体の必要性検証を今後も進めて頂きたい。</p> <p>施策6 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備</p> <p>○目標に向けた施策指標の設定</p> <p>地域交通環境の指標としてよく用いられる、以下のような指標の追加を検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通不便地域（公共交通から500m以上離れている場所等）の面積</li> <li>・バス路線の延長、輸送密度、便数</li> <li>・レンタサイクル、シェアサイクルのポート数</li> </ul>		

また、すぎ丸のような区が運営するコミュニティバスについては、路線の維持や再編の検討をする際には事業採算性だけでなく、クロスセクター効果や費用便益比の評価を行うことが必要である。

#### 施策 8 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興

##### ○目標に向けた施策指標の設定

観光に関しては、メディアや SNS での杉並区の紹介数のような指標を導入してほしい。

農業関係では、農業産出額だけでなく、農地面積も指標としてほしい。農地の減少幅を少なくするという意味で指標にする価値はあると考える。

##### ○施策を構成する実行計画事業

施策 7 の「1 良好な景観づくりの推進」は観光に大きな効果をもたらすため、再掲事業に位置づけてほしい。

#### 施策 9 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進

##### ○計画最終年度の目標

温室効果ガスだけでなく、大気や水質など生活環境全体が良好な状態に保全され、健康的な区民生活が営まれていることを目標として加えて頂きたい。

##### ○目標に向けた施策指標の設定

温室効果ガス排出量だけでなく、NOx などの大気汚染物質や、水質、土壌の環境基準達成状況等も、指標として加えて頂きたい。

##### ○施策を構成する実行計画事業

「5 区民及び事業者参加による気候変動対策の推進」にある「気候区民会議」の区民等との意見交換は、公募、無作為抽出、地区別、世代別、全区的参加など、多様で誰もが参加しやすい手法をとって頂きたい。また、「杉並区デジタル化推進計画」の意見で出した通り、オンライン併用で参加しやすい会議開催や、ペーパーレス化を図って頂きたい。

#### 施策 11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成

##### ○目標に向けた施策指標の設定

生物多様性に関する指標として、区内で確認された生物の種数、外来種・在来種の種数と割合を加えて頂きたい。自然環境調査が区で実施されているため、指標化は可能と考えられる。

また、屋敷林・民有地のみどりの保全に関する指標（面積等）を加えて頂きたい。

#### 施策 12 いきいきと住み続けることができる健康づくり

##### ○目標に向けた施策指標の設定

路上禁煙区域面積を指標に加えて頂きたい。

##### ○施策を構成する実行計画事業

「1 区民と進める健康づくりの推進」の事業の 1 つである「受動喫煙防止対策等の推進」は、普及啓発だけでなく、路上禁煙区域面積の増加と区有施設の喫煙場所の削減を進めるべきである。

#### 施策 26 多様な地域活動への支援

##### ○目標に向けた施策指標の設定

集会施設の Wifi 環境の整備率を指標に加えて頂きたい。

##### ○施策を構成する実行計画事業

「1 地域活動団体への支援」の中で「町会・自治会 ICT 活用支援」があるが、対象を町会・自治会だけでなく、市民団体（NPO・ボランティア団体）まで広げて頂きたい。

また、地域活動団体の ICT 活用で大事なインフラの 1 つが、集会施設におけるオンライン会議の可能な高速 Wifi 環境である。オンライン会議は新しい日常の手法として定着しつつあり、集会は参集・オンラインのどちらでも参加できるオンラインハイブリッド形式が誰にでも参加しやすい形式といえる。集会施設への Wifi の導入はデジタル技術活用支援の基盤となるものであり、可能な限りの導入をお願いしたい。

#### 施策 28 次世代への歴史・文化の継承

##### ○施策を構成する実行計画事業



	<p>「2 区の歴史・文化情報の発信」の中にある「歴史的資料のデジタルアーカイブ化」の対象は、過去の土地利用や景観、まちの形成の歴史、災害の履歴など、地味で目立たない郷土史的情報も含めて頂きたい。また、可能な限り昔から住んでいる区民が持つ情報も含めることが望ましいと考える。</p> <p>これらはまちづくりを行う上での有益な情報であり、特に、過去の災害の発生履歴や苦労話等の情報は、危険度の把握やとるべき対策の検討など、今後の防災対策に直接役立つものが多い。デジタルアーカイブデータは防災部署での活用の他、学校での防災教育、上記 SNS による動画教材等へ活用を進めて頂きたい。</p> <p>杉並区立施設マネジメント計画（第1期）・第1次実施プラン 第3章（2）計画の基本方針・視点 方針⑥ 他の公共機関との連携</p> <p>国や東京都との連携だけでなく、交通事業者との連携に配慮すべきである。地域公共交通の活性化及び再生に関する法律で、地域公共交通計画は立地適正化計画との連携が重要と位置付けられている。異なる機能を同一鉄道沿いに並べて相互に通いやすくするといった連携は、クロスセクター効果を生み出すことになる。</p> <p>方針⑦ 財産の有効活用</p> <p>防災やみどりの観点から、p47～48 の「(13) 公園」以外にも、跡地活用が未定で今後検討するとされている敷地を公園・オープンスペースとして活用する選択肢も検討して頂きたい。</p> <p>第5章（1）主な施設の課題と今後の方向性 12 有料制自転車駐車場、自転車集積所</p> <p>自転車駐車場は公共交通を補完する大切な交通施設である。整備に当たっては自転車ネットワーク計画に十分配慮しつつ、レンタサイクル・シェアサイクルのポートとしても機能するような施設に更新して頂きたい。レンタサイクル・シェアサイクルは、経営資源として、あるいは災害時の足としても有効と考えられる。</p>
181	<p>杉並区の総合計画を拝見いたしました。</p> <p>◆*施策 19・20・21 についてコメントさせていただきます。*</p> <p>まず少しだけ弊社の事業内容について補足させてください。</p> <p>認可外である理由には保育の理念に『自由保育』『少人数制』の確保が挙げられますが</p> <p>▶一番の理由は【*インクルーシブ保育*】を実施しているからです。</p> <p>インクルーシブとは、～保育・教育・地域の中で、どんな人でも分け隔てなく共に学ぶ機会が保障され、地域社会の中で誰も排除されない～という権利に基づいた考え方です。</p> <p>私たちが*インクルーシブ保育*</p> <p>に辿りついた経緯には先に述べた自由保育・少人数制保育の確保が土台にあります。こども家庭庁が発足されインクルーシブの流れが起きる前（遡ること9年前）から個人事業主として少人数でこどもを預かり、こども主体の居場所をモットーに活動を続けてきました。必然と幼稚園・保育園・学校などの公共の教育機関の場を行き渡るこども達が数多く集まるようになり、「なぜ彼ら彼女らは公共の教育機関の場を嫌がり、ここでは楽しく過ごせるのか」何年にも渡り心理と行動を観察してきました。</p> <p>▶一斉教育（制度）と大規模保育の難しさがその原因である事から少人数制保育・自由保育の必要性を強く感じていました（一定数において）</p> <p>公共の教育機関を行き渡るこども達の多くは療育や発達センターに通っており、そこに加えさらに私費を払ってでも弊社に通いたい！と言ってくださる親御さんの気持ちに寄り添いたいとの想いから、2020年にこども主体の居場所として施設を一から建て活動に専念してきました。</p> <p>移転前の2019年には事業内容の見直しも含め杉並区の自治体に当時の区議会議員さん交え*インクルーシブ保育*</p> <p>の運営についてのアドバイスを頂きに参りましたが、当時の政策にはインクルーシブ保育の施策案は無かった為門前払いであった事を思い出します。認可園又は発達支援事業所のどちらかを薦められました私たちが思い描く未来像は当時からインクルーシブな社会であった為、行政に頼らず自立した形で</p> <p>*インクルーシブ保育*を運営すると決意いたしました。</p> <p>そこで*専門性あるスタッフ*</p>

(発達支援アドバイザー・正看護師・作業療法士・精神保健福祉士・自閉スペクトラム支援士・モンテッソーリデュプロマ・児童発達支援管理責任者)と共にインクルージョンマインドの居場所の一つとして広まることをミッションとし、今では

\*インクルーシブ保育を実施している認証認可外保育施設として杉並区外含め多くの親御さんに通って頂いています。\*

参考資料1) \*施策19・20に基づく子ども達が弊社を利用している実績\*

▶\*直近 2023.11.28 (火) \*開所時間 9:00 -18:00 の一日

① 小学2年生女子 9:30 -18:00 (\*公立小学校の行き渋り\*の為一時預かりをご利用&\*親支援\*\*▶\*\*講座\*にご参加有り)

② 年長男子(親子見学) 10:00 -14:00 (\*私立幼稚園行き渋りのため現幼稚園から杉並区へ転園&弊社から徒歩圏内に引っ越し) \*

③ 小学2年生男子 13:30 -16:30 (\*公立小学校行き渋り\*の為一時預かりご利用&\*親支援\*\*▶\*\*個別発達相談・講座\*にご参加有り)

④ 小学1年生女子の親 14:00 -15:00 (\*親支援\*\*▶\*\*個別発達相談 \*)

⑤ ↑ ご本人 15:00 -18:00 (↑\*公立小学校で現在いじめ問題に巻き込まれ\*一時預かりご利用)

⑥ 小学1年生女子 15:00 - 18:00 (\*公立小学校で現在いじめ問題に巻き込まれ、別日に親支援\*\*▶\*\*講座・個別相談\*無料サービス)

他、11/28日は2歳~小学4年生までの9人がご利用【 \*14人中6人が施策19・20に該当】\*

参考資料2) \*施策19・20に基づく子ども達が弊社を利用している実績\*

\*▶\*\*直近 2023.11.20 (月) - 2023.11.24 (金) の一週間\*

\*毎週月曜の放課後 \*15:00 - 18:00

\*・\*中学2年生女子 15:00 - 18:00\* (公立中学校の不登校児、\*

以前弊社の月曜の放課後に通っていた事を糧に不登校が始まった時から毎週無料で遊びにきている)

\*毎週火曜の放課後 \*15:00 - 18:00

・小学2年生男子 (\*区立小学校の行き渋り\*で放課後の居場所としてご利用&\*親支援\*\*▶\*\*講座・個別発達相談\*ご利用有り)

・小学1年生女子 (\*区立小学校のいじめ問題\*で放課後の居場所としてご利用&\*親支援\*\*▶\*\*講座\*にご参加有り)

・小学1年生男子 (\*HSC\*の特性のある子が放課後の居場所としてご利用&\*親支援\*\*▶\*\*講座\*にご参加有り)

\*毎週水曜の午後 \*10:30 - 18:00

・年長女子 (\*場面寡黙\*の特性のある子が一時預かり+放課後の居場所としてご利用&\*親支援\*\*▶\*\*講座・個別発達相談\*ご利用有り)

・年中男子2名 (\*ADHD・療育\*通いのある男の子それぞれ幼稚園登園後の居場所としてご利用&\*親支援\*\*▶\*\*講座・個別発達相談\*ご利用有り)

・年中男子 (\*HSC\*傾向のある子が幼稚園登園後の居場所としてご利用&\*親支援\*\*▶\*\*講座・個別発達相談\*ご利用有り)

・年長男子 (\*発達センター\*に通う子が幼稚園後の居場所としてご利用&\*親支援\*\*▶\*\*講座\*にご参加有り)

・小学1年生 (\*療育\*に通う子が放課後の居場所としてご利用&\*親支援\*\*▶\*\*講座・個別発達相談\*ご利用有り)

\*毎週木曜の放課後 \*15:00 - 18:00

・小学2年生 (\*幼稚園の頃からの行き渋り\*で現在まで放課後の居場所としてご利用&\*親支援\*\*▶\*\*講座・個別発達相談\*ご利用有り)

参考資料3) \*施策19・20に基づく親子が弊社を利用している実績\*

▶\*直近 2023.11.24(金) 9:30 - 12:00 \*

・双子をもつ母親 (以前に長男を定期的に預かっていた繋がり) から\*親支援\*\*▶\*\*講座\*に参加され、\*産後鬱

<p>病*</p> <p>になった事を相談受け、その後居場所としてご利用（来年から双子の預かり予定）</p> <p>*◆* *参考資料1・2・3を基に施策19・20についてコメント致します*</p> <p>* [ 施策19 ] **子どもの居場所づくりと育成支援の充実～施策指標の現状と目標値*</p> <p>指標名 1. 放課後等居場所事業利用者（子ども）の満足度：94.2%（令和4年度）について現場との温度差を感じてなりません。</p> <p>施策を構成する実行計画事業1, より良い子どもの居場所作りの推進【重点】</p> <p>▶*今後のより良い子どもの居場所のあり方に認証認可外保育施設の一時預かりを含めてほしい*</p> <p>▶*小学生の放課後等居場所事業の拡充先に認証認可外保育施設の放課後の一時預かりを含めてほしい*</p> <p>* [ 施策20 ]** 安心して子育てできる環境の整備・充実*</p> <p>施策を構成する実行計画事業【重点】</p> <p>妊娠から子育ての切れ目のない支援の充実</p> <p>▶*産後ケア事業・多胎児家庭支援事業実施先に認証認可外保育施設の一時預かりを含めてほしい*</p> <p>2. 地域における子育て支援体制の充実</p> <p>*▶*一時預かり事業拡充先に認証認可外保育施設の一預かりを含めてほしい*</p> <p>4. 多様なニーズに対応した保育サービスの推進【重点】</p> <p>*▶*障害児指定園実施先に認証認可外保育施設の一時預かりを含めてほしい*</p> <p>*▶*私立幼稚園との連携による幼児期における保育の場の充実先として認証認可外保育施設の一時預かり・居場所として含めてほしい*</p> <p>参考資料4）*施策21に基づくこども達が弊社を利用している実績*</p> <p>*▶*2023.4*</p> <p>・2023.1~2023.3にかけ杉並区の障害者施策課長に働きかけレスパイト制度を改正いただき、金銭面的補助の活用ができたおかげで医療的ケア児が弊社に通えるようになる（月1回のイ</p> <p>*インクルーシブ保育*に参加）</p> <p>・*インクルーシブ保育を実施し3年半*</p> <p>、今では毎月5～10組ほどの医療的ケア児・療育が必要な児童・不登校児（早期対策含め）からのご依頼及び問い合わせや講座への参加に繋がっていますが、</p> <p>*私費である為継続して通うことの難しさに直面*、拡充させることの足枷となっている</p> <p>*◆* *参考資料4を基に施策21についてコメント致します*</p> <p>* [ 施策21 ] **障害児支援の医療的ケア児の支援体制の整備*</p> <p>施策を構成する実行計画事業</p> <p>1. 未就学児の療育体制の充実【重点】</p> <p>*▶*1</p> <p>発達の遅れや心身に障害のある未就学児に、発達を促す支援（療育）を行う、都の指定を受けた事業所先としてインクルーシブ保育の実績のある認証認可外保育施設の一時預かりを含めてほしい*</p> <p>*▶*2</p> <p>療育を受けている児童の保護者、療育に関わる関係者や支援者が、専門相談や支援講座を通じて、子どもへの適切な関わりや支援力の向上を図り、地域全体で子どもを支援する先にインクルーシブ保育の実績のある親支援*</p> <p>*▶*講座や個別発達相談（*Kids Sense 主宰）を検討頂きたい*</p> <p>*▶*<a href="https://cocoonparentssquare.net/kids-sense/">https://cocoonparentssquare.net/kids-sense/</a>*</p> <p>&lt;<a href="https://cocoonparentssquare.net/kids-sense/">https://cocoonparentssquare.net/kids-sense/</a>&gt;</p> <p>3. 地域における医療的ケア児の支援体制の整備【重点】</p> <p>*▶*1.</p> <p>障害児通所支援事業所を利用する医療的ケア児が保育園や学童クラブにも通園することで、医療的ケア児の</p>
--

	<p>受け入れを促進する取り組み先にインクルーシブ保育の実績のある認証認可外保育施設の一時預かりを含めてほしい*</p> <p>▶*認証認可外保育施設の一時的預かりでインクルーシブ保育を行うことで得られるメリット*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常発達の子ども達が小さい頃から多様な個性の子ども達と異年齢保育の中で混ざること、将来彼らが大人になった時にインクルーシブな社会を当たり前な事として創造することができる</li> <li>・通常発達の子ども達と個性豊かな子ども達が日々の暮らしのような安心した居場所（少人数制で自由を確保した場）で接する機会を持つことで、他者を認め思いやる心と対話する機会が得られる</li> <li>・認可や発達支援事業所といった線引きをすることなく境界線が曖昧な箇所を担うことで、どの時代にも対応できる仕組み作りであること</li> <li>・施設全てを国や行政に頼ることなく、一部（施策 19・20・21）に該当する資金面のみの補助で実施が可能である為サステナブルな道筋である</li> <li>・認可外保育施設であることで予測不可能な状況や時代の変化に俊敏に対応する事が可能である</li> <li>・参考資料1）の②のように、弊社のような施設をターゲットに区外から引っ越ししてくる家族が増える（これまでに5組以上の家族が近隣に越されてきた実績がある）</li> <li>・認可外保育施設である事で海外へ移住される家族が一時的に利用されることがとても多く、世界基準の保育の質の向上を目指すこととなる</li> <li>・*認証の認可外*であることで、*国や自治体と連携することが可能*である</li> </ul> <p>2023.9.10 東京大学で行われた『あたらしい保育イニシアチブ』の壇上で小倉大臣（内閣府特命担当大臣）が、</p> <p>*全ての子ども・子育て世代のライフステージに応じて切れ目なく支援する*と話されていました。</p> <p>また、*認可外で活動されている方はどうか自治体と連携*してください。そこに道筋があると壇上で公言されていました。</p> <p>以上となります</p> <p>ご一読のほどよろしくお願い致します</p>
182	<p>ゆうゆう高円寺南館の施設再編計画についての意見です。</p> <p>暫定的に「高齢者の利用ができる」ということになり、お客さま方は非常に喜んでおられます。</p> <p>その様子など見させていただいて、「この施設は皆様から本当に必要とされている」ということを再認識しております。</p> <p>コミュニティふらっとから一番近いゆうゆう館をふらっとに移行するという方針そのものを再検討するという選択はないのでしょうか？</p> <p>ゆうゆう高円寺南館は、十分きれいで耐震構造的にも建て替える必要もまったくない上に、駅からも近くゆうゆう館の中で一番条件の良い立地で、館の近くだけでなく、区内のあらゆるところからご利用されている現状は、他のゆうゆう館には代えがたい特性です。</p> <p>そのゆうゆう館をふらっとに一番近いという条件のみで、移設ということが皆様には受け入れがたいのだと思います。</p> <p>どうしてもその方針が変えられないということであれば、以前にもご提案させていただきましたが、高井戸にある高齢者活動支援センターの分室（あるいは第2高齢者活動支援センター）等として、今までとほぼ同じ使い方ができるような施設にすることも可能ではないかと思えます。</p> <p>その場合、現在も高円寺南館で行っている「シニアのための就業・起業・地域活動支援事業」も加え、杉の樹大学スマホ講座等もシニアのIT支援という側面で合わせ行うことで、特色ある高齢者活動支援センターの位置づけもできるのではないかと考えます。</p> <p>またその際の新たなふらっと高円寺南の位置づけですが、以下のような使い方はいかがでしょうか。</p> <p>ふらっと高円寺南は、若者のアート・芸術活動等支援を打ち出した施設としての積極的位置づけもあるのではと考えます。ふらっと高円寺南は、阿波踊り練習用に防音設備も充実させると聞いており、ゆうゆう館では芝居・演劇の稽古、音楽の演奏等の希望はあるものの、防音設備もなく、活動他団体との関係、近隣への迷惑と</p>

	<p>いう側面から使用をかなり制限される傾向にあり、場所探しに苦労している比較的若い年齢層の芸術関係の団体が多いと感じております。広い公園も控えた立地のふらっと高円寺南は、そのような利用を積極的に推進する方法もあるかと感じます。杉並区として区民の芸術活動支援というスタンスは、非常に喜ばれるのではないかと考えます。</p> <p>以前プロダクション人力舎の若手メンバーとゆうゆう館とのコラボを行ったことがありますが、その際練習場所探しには苦労しており、屋外、蚕糸の森公園等で練習することもあるとお聞きしました。</p> <p>日々ゆうゆう高円寺南館のお客様と接している立場から、なんとか皆様がこの快適な場所で活動が続けられることを切望しております。</p> <p>ゆうゆう館も積極的に目的外使用を取り入れており、高齢者のみの使用を考えているわけではありません。できるだけ利用率を高めるために、むしろ多世代型ふらっとと同じ方向を向いていると考えます。ゆうゆう館として残る場合も地域に根差した、多世代の受け入れを念頭に入れた活動の方向をより強化していくことは間違いないところです。</p> <p>できればゆうゆう館として残す方向、あるいは高齢者が今までと同じように使用できる施設として存続していただくよう、ご検討お願いいたします。</p>
183	<p>知的障害の子の家族です。今後親も子も高齢化して様々な緊急時が想定されます。緊急時には、慣れている通所先や移動支援の職員に関わって貰え、泊まり先で世話をしていただけると本当に安心です。障害者の地域生活支援体制の面的整備の構築には、区内の様々な通所先、移動支援事業所とおし日頃から連携してセーフティネットを構築することが重要です。より通所先がアウトリーチで手助けが可能となるよう区が中心となって、支援して欲しいです。(ただでさえ、支援者不足の事業所や、通所先も多くあり場合によっては支援してくれる登録先に日頃から金銭的な補償など)</p> <p>また、重度重複障害者が移行しようと思っても、移行できるグループホームが不足しています。区が先導して新規グループホームの事業者が重度重複障害者を1人でも2人でも受け入れる技量のある事業所を呼び込んでください。どうぞよろしく願いいたします。</p>
184	<p>子供が療育に通っている者です。</p> <p>以下を強く希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人辺りの通所日数の増加</li> <li>・療育施設の増加</li> <li>・療育に関わるスタッフの増加</li> </ul> <p>他の区は、無制限に通所できる区がある中、杉並区は制限を設けていて、かつ、日数が少ない。多くの子供に広く療育に通所できるようにするためという考えは理解できるが、療育に対する考え方は人によってそれぞれで、通所している人の中には早く辞めたいと思っている方もいる。通所日数を増やしたいと願っている人の支援の方法をもっと検討して頂きたい。例えば、通所1年目は、広く多くの子供にと月9日にし、2年目からは辞める児童も出てくることを想定して、日数を増やしたい児童には月15日にするなど。日数の増加が出来ない理由が、事業所や人員の不足なら、早急に事業所や人員の確保や育成に尽力願いたい。</p>
185	<p>日常、気づいたことお送りします。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>1. 中杉通りけやき並木の清掃について</p> <p>中杉通り（北側）に面した集合住宅の住民です。通りのけやき並木は春には優しい新緑を、夏には心地よい緑陰を作ってくれ、定期的な点検・</p> <p>枝切りに大変感謝しています。ところが、秋の落葉には例年長期間管理人さんは、掃き掃除に大変ご苦労されています。これはけやき通り南北</p> <p>共通のことではないでしょうか？</p> <p>要望としまして</p> <p>①申請式の様な方法で（必要とする申し出のあるところ）、行政からゴミ袋の配布をしていただけたらと思います。</p>

	<p>連日、落ち切るまで大量の袋が必要で費用もかさみます。</p> <p>②袋がない為か、狭い生垣に落葉を棄てている住民がいます。乾燥時期でもあり堆肥にならず風で舞い散り、結果的に良くない処理です。</p> <p>③併せて、行政の担当部署よりこの時期生垣に捨てないよう、何らかの形で注意喚起していただけたらとおもいます。</p> <p>2. ゴミ出しについて</p> <p>隣の集合住宅（エクセル阿佐谷）のゴミ出しが以前からズサンです。決まった収集日でないゴミを出す為か、いつも何らかのゴミが24時間あります。</p> <p>生ゴミはカラスが突っつきこぼれ、顔をそむけて歩かねばなりません。風の強い日は紙や軽いものが舞い散らかり、阿佐ヶ谷駅への通勤通学路で大勢の方の目にふれてます、担当部署より対応していただきたい。</p> <p>3. 阿佐谷地域区民センターについて</p> <p>①集会室、トイレ等の表示案内がわかりにくく、もっとわかりやすくしていただきたい。</p> <p>②茶室も水屋が狭く、非常に使いにくくなりました。数名が入り道具の準備やかたづけ等丁寧に扱わねばならず、又座って茶をたてる場所（茶会で裏だてします）でもあります。旧阿佐谷地域区民センターはとても使いやすかったです。</p> <p>③1階フロントに読売新聞のみ複数設置していますが、1紙だけでなく他紙も閲覧出来るようお願いしたい。</p> <p>4. コミフラ阿佐谷への備品要望について</p> <p>着物着付けの会で利用してます。</p> <p>今年5月28日、区役所にてコミフラ利用団体&amp;行政のグループ別ミーティングで「姿鏡をもう一台設置していただきたい」要望を出す機会と、</p> <p>又該当コミフラへのアンケートも求められ要望提出しました。財政を伴うことでもありますが、要望はどの様になっているのでしょうか？</p> <p>5. コミフラ館利用申請煩雑さについて</p> <p>高齢者団体利用してます。</p> <p>コミフラ館で利用申請のタイムラグあり、「阿佐谷館」は「東原館」と比べ1ヶ月ほどスタートが違い（早く）何回も足を運ばねばならず長期にわたる煩雑さです。同じコミフラ手続きなので同様に出来ないのでしょうか？</p>
186	<p>1. 【杉並区総合計画、実行計画に関して】</p> <p>施策 14 「人権を尊重する地域社会の醸成」に、新たに「人権」の項目が作られたことは とてもよかった。また、男女共同参画の推進が重点計画事業とされていることに期待する。ただ、施策の内容を見るとこれまでとあまり変わらないので、さらなる充実を求めたい。例として以下数点を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発講座の回数と予算を増やしてほしい。</li> <li>・これまで男女平等推進センターで啓発講座が開催されることはほとんどなかった。センターは男女共同参画の拠点である。その認知度や利用率を高めるために、区はもっとセンターの宣伝周知に務め、啓発講座やセンターが主催する講座等に率先してセンターを活用すべきと思う。現状は区の職員自身が「センターは不便で人が集まらないから」とイベント等での利用をあきらめているように見える。男平センターの存在を知らない或いは行ったことがないという職員が多いのも残念である。</li> <li>・センターの中心的施設は図書・資料コーナーだが、立地の不便さがあり利用者が増えにくい。解決策として、①区立図書館とのネットワークを構築して、相互検索（区立図書館の検索システムでセンターの図書も検索できる）、相互貸出（リクエストすれば区立図書館でも本を受け取れる）、相互返却（最寄りの図書館や区民施設で返却できる）を可能とする。②開館時間を延長する（現在は5時に閉館するため、仕事を持つ人は利用できない）ことが有効と考える。</li> </ul> <p>2. 【杉並区立施設マネジメント計画（第1期）に関して】</p> <p>①児童館廃止の方針を見直してください。児童館は、学校とは別の貴重な子どもの居場所、異年齢の子ども</p>

	<p>たちの触れ合い、親同士の触れ合いと学び、専門の職員による見守り、地域ぐるみのお祭りやキャンプなどのイベント開催等々、子どもたちの健全な成長に大きな役割を担ってきたことが、今あらためて認識されている。廃止された館については復活を、既存館については存続を強く求める。</p> <p>②区民施設の使用料を引き下げてください。現在の料金設定は高くなりすぎた。住民がより活発に自由に自主的活動を行え、生きがいを持って生活できるよう、料金の見直しを求める。</p> <p>③図書館や区民施設の交通の便を改善してください。区立図書館、各種区民施設は駅から遠く交通の便が悪い場所にあることが多く、特に高齢者、障がい者、子ども連れの親などが利用に苦勞している。各施設を結ぶコミュニティバスの開設、既存のバス路線の停留所増設など、何らかの対策を求める。</p> <p>④男女平等推進センターの移転を検討してください。杉並区男女共同参画の拠点施設である当センターは25年前に開設されたが、立地の不便さから認知度や利用者数がなかなか向上しない。また施設面積や用途に合わせた各種集会室も足りない。ジェンダー平等はSDGs 17の目標に共通する基本的課題と位置付けられており、まずは性別、年齢、国籍、障害の有無を問わず誰もが来やすい学習と交流の場が必要と考える。区立施設全体を見直す今回の計画の中で、ぜひ当センターの移転の可能性を検討してほしい。</p> <p>●候補として、施設マネジメント計画 64 頁記載の「旧若杉小学校」の利用（複合施設も可）を提案する。</p>
187	<p>杉並区総合計画・施設再編計画に対する私の意見</p> <p>1. 区政のあるべき姿勢について</p> <p>・区政政策立案において、民主主義が徹底される必要があります。前区政において立案施行された設備再編計画においては、施設を削減するために、将来の人口動態の見通しについて計画の裏付け理由として「急激な少子高齢化」が進み「区税収入の激減」につながるという明らかに恣意的な人口動態表が使われました。10年前もこの意図的な人口動態表の問題は指摘追求されましたが、強引にも強行されました。今日の時点では、その誤りは明確に数字として結果が出ています。</p> <p>岸本区政は、この愚を強行することなく見直しを表明していますが、一度誤った道を進んでしまった弊害は大きく、修正していくことには大変な努力と苦闘を要します。また、失った区民の財産は戻っては来ません。</p> <p>日本の政治は、明治以降一貫して「お上」の発想で上意下達が当たり前の風土でしたが、現在は住民の自治意識が強まっています。地方自治の主人公は、住民です。その声をよく聞き、政治に活かしていくことが求められています。この点でも、岸本区政は実行しつつありますが、是非この道を誤らず進み、国に対しても、都に対しても、民主主義に彩られた地域主権を発揮していくことを求めたいと思います。これは、住民の支えがあって初めて成立するものと考えていますので、私は周りの人々にその意義を伝えていく決意でいます。</p> <p>2. 「都市計画道路の拡幅・延伸計画」などの件</p> <p>・杉並区では、現在補助 132 号、133 号、221 号線の計画が進んでいますが、いずれも前区政では影響を受ける地域住民の意見を無視する形で進んできました。特に 132 号線の拡幅は東電が移転したりして拡幅の理由がなくなっているのに計画は継続しています。私たちが当初から反論してきたように、この計画の本当の理由は西荻窪駅に隣接する地域の再開発にあると思います。巨大なタワービルには、隣接する広い道路が必要だからです。そのために、長い歴史を築いてきた街並みを破壊するのは人道的観点からも間違っています。災害時における延焼遮断帯のためなどの理由もありますが、現状で十分その必要性を満たしていますし、それを持ち出すなら他の施策—難燃住宅化を進めるのが妥当ではないでしょうか。現在、デザイン会議などで住民の意見を聞く組織体が出ています。この取り組みを歓迎しますが、この場は「都、区、住民が共に道路題を考える場」にすべきだと考えます。補助 132 号線の拡幅計画は、絶対に中止すべきです。</p> <p>・まして 133 号線の延伸計画は、全くの無謀で無意味な計画です。この計画の無謀さは、まず既存の道路が全くないことです。そのため計画路線にあるすべての家屋は撤去を求められることとなります。三代以上続いた人々の暮らしが破壊されることとなります。現在の中杉通りは、かつて軍部によって強制的に接収されてきたものだと言いますが、それと同じことをいま東京都がやろうとしているのです。これほどの地域破壊と生活破壊、自然破壊はないと思います。計画自体に、何らの価値と必要性がないのです。杉並区は、こうした計画に対して、住民の暮らしを守るために住民とともに地域主権を発揮すべきではないでしょうか。是非、この</p>

地域に住む人々のことを思いやってください。説明を尽くさないままの都の強権的な推進は、地方自治権の侵害に当たらないのでしょうか。

・221号線の拡幅は、中野区の再開発の影響です。しかし、不利益ばかりで、なんらの利益も及ばない杉並区が対応する必要はないように思います。拡幅が、もし住民の安全に寄与するなどの面があるなら、それは徹底して話し合うべきです。押し付けと住民の意思を無視することは絶対にしてはいけないと考えます。

・以上のように、道路問題は住民の意見をきちんと聞き、それを反映した計画とすべきだと考えます。

### 3. 「区立施設再編」問題—児童館・ゆうゆう館の廃止問題等について

・区立施設は、すべての世代がより幅広い人々と交流し生を全うすることを保障する施設です。区の人口も増え、高齢化率もほとんど変化しない状況の下で、区立施設は大きな役割を果たしています。荻窪駅南側地域では、アンサンブル荻窪が無くなり、唯一ともいえる荻窪地域区民センターが近々大幅改修工事のため長期間にわたって閉鎖される状況があり、多くの区民サークル・グループが困難に直面します。代替として、荻窪会議室がありますが、これは部屋数も絶対的に少なく、かつ暗くて陰鬱な建物ですし、ピアノの設備もありません。これでは、生き甲斐をも奪われるに等しいことです。かほどに区立施設は大きな価値を持っています。

荻窪駅北側には、若杉小があり、その利用方法が検討中ですが、出来れば税務署をここの一部に移転させ、あんさんぶる荻窪は元の区民施設に戻すべきだと考えます。

・ゆうゆう館は、私の近所の南荻窪館ではうたう会などの日常の参加状況は大変な利用率になっています。これは、明らかに高齢者の交流の場になっていることを示しています。確かに夜間の利用は少ないと思いますが、ゆうゆう館の存続は高齢化する社会の欠くべからず施設になっていくのではないのでしょうか。そのことで、認知症などの病を防ぐことつながれば、これは区の社会保障費の大きな負担軽減につながっていくことになると考えます。ですから、ゆうゆう館の廃止は止め、その利用向上の方法こそ考えていくべきではないかと考えます。

・児童館の激減は、社会的問題だと私は考えます。この問題を考えるうえで重要なことは、現在の社会状況と人々の生活実態をよく把握して考えるべきだと思います。よく指摘されているように、日本社会は過去30年にわたって成長できない社会になっています。そのもとで働く人々の収入は減少を続け、働き方改革の下で雇用の不安さを抱えての生活になっており、結婚できず、結婚しても子育ては共働きでなければ不可能という状況になっています。現在の子どもはこうした状況下で生きることを余儀なくされています。子どもを社会全体で守る必要が増してきているのではないのでしょうか。

ですから児童館や学童クラブの必要性は増してきていると考えるべきです。その点で問題なのは、放課後等子どもの居場所事業は児童館機能を引き継いではおらず、あらたなヤングケアラーを生み出しかねないということです。児童館では、弟妹を連れていくことが出来ていましたが、居場所事業ではこれではできません。家に閉じこもるか、弟妹を連れて街中や公園をさすらうしなくなってしまう。私は、このことを危惧いたします。ヤングケアラーの取り組みをするには、まずこのことを考慮すべきです。

さらに、子どもの居場所が学校内になることで、不登校の児童の行き場所が無くなってしまう重大問題も発生します。これは、公である自治体の取るべき施策であってはなりません。児童館は、これ以上の削減は中止し、資格ある職員によって今後とも運営されるべきだと考えます。ガザの子どもたちを連想させるような施策は止めてください。

・区立保育園の、これ以上の削減は止めてください。現在、働く人々の厳しい労働・経済環境の下で、子どもたちに様々なしわ寄せが集中し、悲惨な事件も起こっています。区立保育園の維持は、子供にも、そこで働く職員にも、保育の質にとっても最良のものです。すでに民営化された保育園では、人件費率が低く抑えられ、保母などの入れ替えが激しく、保育の質の低下が起きています。子どもの保育にとって、何が重要かは言わなくてもすでに分かっていることと思います。是非、これ以上の民営化は止め、民営化してしまった園を区立保育園に戻すことを要請します。

・区立施設の利用料について、是非値下げを実施していただきたい。近隣区の2倍から3倍にもなる利用料は異常です。これでは、住民は家に閉じこもっていると言うに等しいとも思えます。杉並区は、23区内で



も財政優良区です。剰余金の積み立ても膨大になっており、これを区民生活の向上に活かすべきだと考えます。

・なお、来年度には「子どもの居場所づくり基本方針（仮称）」策定される予定とのことですが、その際これまで児童館が果たしてきた重要性をしっかりと位置付けていただきたいことと、中高生の居場所がなくなってきており、それぞれの地域で新たな居場所の創出が必要だと考えます。

#### 4. 「文化と科学の街、杉並へ」

・杉並区は、なんとなく文化あふれる街と思われています。しかし、実態はどうでしょうか。全国でも稀な存在であった区立科学館が無くなり、子どもたちの教育に影響が出ています。杉並区は、小柴さんというノーベル物理学賞受賞者を輩出した区です。にもかかわらず、その受賞後に平然と科学館を廃止しました。本来なら、その業績を顕彰して科学館は充実してしかるべきでした。こうした判断に、前区政の、教育的観点とは無縁の「投資対効果」という新自由主義的な忌むべき判断がありました。こうした考えは一掃してほしいと考えます。現在の科学技術の驚異の進展を考えれば、科学館は、是非再建すべきですし、再建していただきたいと考えます。

・杉並区には、多くの作家などの文学者が事績を残していますが、それらの展示施設もありませんし、区立美術館等も皆無です。是非とも、せめてこれらの調査だけでも進めて今後の文化政策を考えていただきたいと切に思います。

・また、杉並区には多くの若者文化や地域的特徴ある街づくりが取り組まれてきました。高円寺における衣類等のリサイクル商店や阿佐ヶ谷の街づくり、映画や文学で喧伝された純情商店街など庶民が集う街づくりが形成されてきました。これらを支援するのも区政の大きな仕事だと思います。

#### 5. 環境の保全と維持、その他のこと

・まず、街中の無電柱化を是非進めていただきたいと思います。電柱や電線が無いだけで空は広くなります。環境の変化が、一目瞭然となります。勿論、出来ればガス・水道も一緒にした共同溝方式が最良ですが、これが進めば毎年のように道路を掘り犯すことが無くなり、莫大な費用の削減にも繋がるものと考えます。

・現在、洪水対策などで西荻関根公園を中心に巨大で5.8kmにも及ぶ長大な地下調節池の建設が計画されていますが、必要性は理解いたしますが、地域住民へ多大な影響が発生しますので、住民との丁寧な協働作業が必要です。特に、外環道工事におけるシールドマシン機使用での地面陥没の問題が発生しているだけに、「ある日突然」知らされるとい進め方自体が問題であり、地方自治のあるべき姿ではありません。東京都の進め方は押し付けが基本となっています。これでは地域住民が反対するのは当たり前です。15.8kmにも及ぶ巨大な貯水槽の建設は、さまざまな影響が生ずる恐れがあり、良心的で科学的な対応が必要です。杉並区には、そのような対応を東京都に強く求めつつ、住民とともに話し合い、住民の利益を保護する立場で対応することを求めます。

#### 6. 「区政経営改革推進計画の改定」に関して

・この改定案における財政調整基金の年度末残高について、一定の説明がされていますが350億円から450億円へと維持額を増額するのは、災害対策等を考慮しても過大に過ぎると考えます。聞くところによれば、昨年度末の財政調整基金は570億円を超えているとのことですが、区は、こうした財政力を福祉・教育・区民生活のために活用すべきだと考えます。私はある病院の患者組織に関わっていますが、人々の貧困は驚くほど広がっており、受診抑制などで病状を悪化させている人が多くなっています。国民健康保険料を支払えない人も増えています。こうした状況を踏まて、活きた剰余金の使い方を実行していただきたいと考えます。コロナ禍を経ても区の財政は大きな痛手を被っていないように見えますが、庶民の財政は極めて厳しくなっているのです。ぜひ、この点を考慮されて、剰余財政の使い道を真摯に検討、実行していただきたいと考えます。

#### 7. 私が歓迎する「区立施設マネジメント計画」における区の転換姿勢について

最後になりますが、今回の「区立施設マネジメント計画」の前向きな見直し姿勢を歓迎いたします。前区政では、総てが住民の声を聴かずに「強行」することが基本でしたが、岸本区政では『検証と見直し』へと変わりました。また、前区政では反対意見は聞かないなどと言って政策の「押し付け」が当たり前でしたが、それが区民との『対話』によって方向を探る姿勢となり、さらに「削減」の強行から、状況の変化を踏まえて

	<p>『適正管理』の姿勢へと変化しています。</p> <p>これらは、今後の区政の民主主義的变化を予見するものとして大いに歓迎いたします。これを出発点にして、当たり前、みんなの区政として歩いて行っていただきたいと思います。</p>
188	<p>今回の施策改定にあたり、区長はじめ多くの職員の方々が私達区民の意見を真剣に聴き、かつ誠実に施策づくりに生かそうされている事が随所に伝わり、とても期待しております。私は以前 3 人の子どもを学童保育に預かって頂き、当区の児童館に勤務することが出来ました。</p> <p>又、学童保育を卒会後は児童館を居場所として大変お世話になりました。そして、現在は孫が利用対象です。自身の経験から、思う事は、前区政で行われた児童館の廃止と学童保育の小学校空き教室での運営と民託化の進行は子ども達の安全と健やかな成長に悪影響を及ぼすしていると思います。</p> <p>今回のマネジメント計画では廃止をストップして、子ども達含め、地域の人達の意見を聴くと表明されていることはとても重要です。</p> <p>今後の児童館運営について</p> <p>小学校内の放課後居場所事業では児童館を経験している子ども達の声が出している通り、本来の児童館の役割は果たせません。</p> <p>なぜなら、第一に、児童館は公共の施設であり、0歳～18歳までを受け入れて来ています。しかし放課後居場所事業では障がいを持つ子、学校にいけない子、中高生などこれまで児童館を利用出来ていた子ども達が殆ど利用出来ていません。利用状況等精査の上、すでに廃止された小学校区に一つの児童館の復活と質の充実を願います。</p> <p>次に久我山学童クラブの以前から生じている定員オーバー問題です。保護者の方々から不安の声が出ています。久我山小学校区域は区内唯一の児童館未設置地域です。放課後居場所事業は子ども達の保育、生活の場としては問題があります。まだ、周辺に空き地などある中、児童館を設置して学童クラブも併設できたら恒常的な解決に繋がるのでは。</p> <p>次に全ての子どもを対象としている公共の場としての魅力を高める為に。</p> <p>児童館、学童保育ともに子どもの意思で通う場所ですから、〇子ども 1 人ひとりが遊びたいもの(こと)がある。〇一緒に遊べる友達がいる。</p> <p>〇困ったとき安心して頼れる職員がいる</p> <p>事が欠かせない条件です。</p> <p>学校内空き教室、又児童館においても、小学生なのに保育園児より狭い所で過ごさざるを得なくなっている現実も子ども同士のトラブルやストレスに繋がり人権を軽んじていると思います。</p> <p>児童館、学童保育担当の職員は日常的に子ども 1 人ひとりの個別指導や、集団指導が求められます。保護者はじめ、様々な子育て機関とも連携して、幅広く子ども達を支援するのが役割なので児童心理などの知識や専門性、継続性が必要なので、非常勤でなく安定した数の正規採用が欠かせないです。コスト中心では事業そのものが疎かになるのは明白です。子ども達の居場所での成長はコストでは計れませんので。以上</p>
189	<p>総合計画</p> <p>区報にもある通り、杉並区の憲法ともいべき自治基本条例にのっとって、住民の意見が反映される施策づくりの方向を目指してほしいと思います。</p> <p>今回の 5 計画の改定作業、大変です。住民側も読みこなすが大変。</p> <p>自分たちの街は、自分たちでつくる賛成ですが情報の共有化をどうやってしていくか。区報、広報カーで宣伝する(ご意見をとか)身近な町会などの討論など相当のことをしていかないと、参加型区政運営にはならないかと。</p> <p>また区民意見を自由にせるということを浸透させる工夫が必要です。</p> <p>防災・防犯</p> <p>高円寺・阿佐ヶ谷地域だけでなく消防車が入らないだろうと思う狭隘道路はあります。電柱が歩行者にも危険を感じる狭い歩行者用道路。 区道の無電柱化と記載されているが旧早稲田通り・7 4 号線の歩行者用も狭</p>

	<p>いところがあるが、下井草駅方面の旧早稲田通りも電柱と、段差があつて非常に危険です。拡幅しなくてもせめて段差と、電柱をなくせば相当に安全になるかと思ひます。(都道なのはわかっていますが、ぜひ区からも都へ要望を)</p> <p>備蓄庫の記載がありますが、町会の担当者？がカギを持っていて高齢な方も多いことから災害時に間に合うのかの疑問も。ウエルファーム杉並のようなところにあるのは、良いのですが。障害者・高齢者への手立ても工夫が必要。どこにどのような方がいるのか、住んでいるところで共有するシステムを。</p> <p>まちづくり・地域産業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前開発ではなく、住んでいる地域で安心して生活ができるコミュニティづくり。空き家対策も。地震や強雨風で屋根が、2階が壊れて瓦などが飛んでいくのではないかと町の風景を壊してしまっている空き家。なんとか協力が得られれば、地域の中での居場所づくりや、若者たち、高齢者に低家賃での提供などできるとうれいですね。現実には難しい問題があつてなかなかですが。自転車通行帯があつても、駐車している車があつて危険な面も。何とかしてほしい。駅前に行つてにぎわいに接するのもいいかも知れませんが、地域での人との触れ合いが出歩くことに困難になつていく人々には必要です。ゆうゆう館、児童館などがありコミュニケーションがとれることと生活できる町、商店街の活性化が大事だと思ひます。</li> </ul> <p>全国どこでも同じようなまちづくりには魅力はないです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西武線の立体交差事業は、地域の声を重視して地下化の方が、その地上を有効活用でき町のにぎわいつながるのではないかと考えます。</li> </ul> <p>鉄道のホームドア設置支援に西武線が入らないのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路についても、昔の道路拡張計画は、時代にあわなくなつていのではないですか。環境負荷の低減の観点からも地域の声を大事にし、生活者の立場に立つて、それぞれの個性が生きるまちづくりを望みます。西荻も、高円寺も個性豊かな町が形成されているのですから。</li> </ul> <p>環境、良好な景観づくりと言ひながら、阿佐ヶ谷駅前開発で樹木が伐採されているのはおかしいです。また、新緑はさわやかに良いですが、秋の落ち葉の清掃を地域住民が担つたりしています。地域とも共同しての景観づくりを。</p> <p>また、東京都が進めようとしている「東京都市計画河川第8号善福寺川の変更素案」は、貴重な湧水や緑地がなくなるうえ、地域での子どもの居場所を10年間奪つてしまう。そのうえ外環道の陥没事故で安全性が疑問視されているシールドマシンで地下40mにトンネル調節池を掘る予定とのこと。完成に10年以上かかる事が予想されるが、善福寺川の緑地の環境は悪化し、陥没事故が起きかねないです。杉並区としても、善福寺川の都計画を区民の立場に立つて、立ち止まって再考するように東京都に進言してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ対策で建物の断熱化が記載されていますが、学校、区施設の改修、新規に断熱材の活用を。二重窓にするだけでも、エアコンの節約にもなるし、環境への負荷も減る。</li> </ul> <p>健康・医療</p> <p>コロナ禍での保健所の大変さをみんなが痛感しました。感染症対策の推進というなら、減らしてしまつた保健所の復活と人の配置をのぞみます。</p> <p>救急医療体制も、杉並区には、高機能救急病院がありません。対応できる病院がほしいです。</p>
190	<p>cocoon 善福寺について</p> <p>専門知識のある方が少ないなかで、こちらは知識もあり、明るく前向きに我が子に寄り添つて頂ける数少ない場所でもあります。</p> <p>こういう場所が安くしかも、たくさんあれば、こども達も健やかに育つてくれると思ひます。</p>
191	<p>児童館の整備をお願いします。</p> <p>杉並区の子どもの安心して暮らせる環境が必要です。子どもが健やかに育つためには、放課後も子どもが自分の都合で自由に移動して過ごせる場所として、児童館が最も良い環境です。そこに、区の職員として公務員の児童専門家が常駐してこそ、子どもも安心して通えますし、親も安心して送り出せます。時々しか行かなくても、そこにあるという安心感が大切です。</p> <p>また児童館を地域の拠点とした様々なイベントは、地域コミュニティを強固にします。これこそ災害にも強い</p>

	<p>街。人を大切にする杉並区には、児童館を守り育てて欲しいです。</p> <p>西荻北地域に公園を増やしてください。</p> <p>西荻北地域に公園が足りません。西荻北地域は児童館も廃止され、校庭開放も廃止され、放課後の子どもの遊び場が極端に減りました。現在は、関根公園が校庭開放のような賑わいです。この関根公園まで善福寺調節池工事と貯水棟設置で遊べなくなるそうですが、関根公園は大切な区民の憩いの場です。別の形での災害対策をお願いしたいです。透水性アスファルトは練馬区で成果を出しているそうです。ご検討ください。また武蔵野市の雨水が大量に流れ込むそうなので、武蔵野市の雨水対策を連携して勧めてもらいたいです。</p>
192	<p>食物アレルギーがある人への防災対応を強化してほしいです。</p> <p>以前、食物アレルギーの人への非常食の備蓄体制について杉並区危機管理室防災課に問い合わせたところ、「アレルギーがある人対象の食糧供給のための災害拠点（避難所など）の設定はなく、（避難所となる小中学校へはアレルギー対応非常食の備蓄を進めている段階）、災害時の避難所となる小中学校等では地域・学校・行政が協力して、避難所運営を行います。食物アレルギーの方が避難されてきた場合は、避難所運営マニュアルに従い対応に当たります。」</p> <p>ということでした。災害の混乱下でさまざまな困難に直面している人があふれることが予想され、その中できちんと対応していただくのは難しいと思います。あらかじめ対応拠点が決まっていれば、そこに行けばなんとか、きちんと対応してもらえ、ということの良いと思います。</p> <p>また、非常食以外にも何か対応があるか（アレルギー反応発症時の緊急対応など）についても問い合わせましたが、「避難所では対応できない場合、発災後 72 時間までは災害拠点病院・災害拠点連携病院等（11 か所）の敷地内に設置される緊急医療救護所にて、トリアージおよび軽症者の治療を行い、重症者及び中等症者については、災害拠点病院又は災害拠点連携病院等で治療を行います。発災後 72 時間以降については、医療ニーズが高く、かつ医療機能が復旧していない地域等の避難所に開設される医療救護所に対応することになります。」</p> <p>ということでした。アレルギーは重症度によっては素早い対応が求められると思うので、各避難所で対応できるよう、より現実的な体制を整えていただけたら有難いと思います。</p> <p>避難所のシュミレーションや訓練は実際行うとなると難しいのかもしれないのですが、どのような形になるのか、きちんと現実的に機能するのか、確認する機会があれば良いと思いますし、そのような機会があれば参加したいと思います。</p>
193	<p>2023 年「広報すぎなみ」臨時号における「まちづくり・地域産業」に関する一区民意見</p> <p>○高円寺エリアの「近隣商業地域」における騒音問題について</p> <p>1. はじめに</p> <p>40 代会社員です。2002 年に杉並区高円寺に転居。その後、子供の小学校進学を機に、高円寺エリアに住宅を購入、現在に至ります。防災活動、祭事協力、地域ボランティアなどに取り組んでいます。</p> <p>2023 年 11 月 2 日発行の「広報すぎなみ」臨時号において、「まちづくり・地域産業」に関する改定案（以下、「改定案」）について意見を募集していると知り、意見いたします。</p> <p>2. 高円寺エリアについて</p> <p>「改定案」への意見具申の前に、この高円寺エリアの地理的特殊性に触れておきたいと思います。</p> <p>住民年齢の中央値が 30 歳台半ばであることが示すように、若者に人気のある街です。「サブカルチャーの聖地」とも呼ばれ、駅前商業地では街頭パフォーマンスを行う若者の姿を多くみることができます。最近では、お笑いコンテストにおいて高円寺在住のお笑い芸人が優勝をしたことも話題になりました</p> <p>また、夏の高円寺踊りに代表されるように、商店街や商店主による祭事・行事の展開も多く、エリア外からも多くの観光客を誘引する街です。</p> <p>3. 住環境としてみた場合の高円寺エリアにおける問題点（本題）</p> <p>「若者に人気のある街」、「サブカルチャーの聖地」、「エリア外からも多くの観光客を誘引する街」ということは、「街ににぎわいと活力」を生み出す反面、「暮らしやすい住環境」と衝突する懸念があります。そして、ゆきすぎた商業活動により、その地域に暮らす住民に不利益をもたらしていることを知ってほしいので</p>

	<p>す。</p> <p>現在、私たちが最も困っていることが、「近隣商業地域」の一部店舗からもたらされる騒音です。</p> <p>3.1 「近隣商業地域」の一部店舗からもたらされる騒音被害</p> <p>騒音の苦情が、私の所属する自治会に十数年にわたり頻繁に寄せられています。騒音は「近隣商業地域」の一部店舗によるもので、大音量の人声、楽器音などを出して近隣で暮らす地域住民の静穏を害しています。イベント・ライブといった集客を伴う営業は、夕方から翌日早朝まで続くこともあります。</p> <p>4. 個人による騒音対応の限界</p> <p>騒音が発生した場合、個人ができる対策として、まず「110 番通報」、「商店街関係者に注意をお願いする」、「音を控えるよう当該店舗の責任者に言いに行く」などがあります。それでも状況に変化がみられない場合は、区役所、保健所、警察署の関連部署に相談し、注意・指導をしていただきます。しかし、こうした一連の方法が全く効果を発揮しない店舗もあり、近隣住民の健康や生活の質を長きに渡り毀損してきました。ある店舗に対しては、自治会代表者および商店街代表者が同席した会合の場を設け、騒音被害について当事者間の話し合いまで行いましたが、いまだ近隣住民が安心して暮らせる状況とは言えません。また、被害状況を正確に他者に伝えるには、連日・深夜であっても騒音の証拠や被害状況を記録・収集する必要もあり、大変な時間と労力を要します。騒音は、個人で解決するには負担の大きい問題です。</p> <p>5. 「改定案」についての提言</p> <p>問題の所在は次にあるのではないかと考えています。</p> <p>5.1 問題の所在</p> <p>① 「近隣商業地域」の用途を歓楽街と誤解し、住宅地に隣接しているエリアにも関わらず、自らの営業行為のためには近隣住民の生活の質を毀損して当然と考える店舗が一定数存在すること。</p> <p>② 区役所環境課による騒音抑止の実効力がなく、その地域に暮らす住民に対する人権侵害（生存権ほか）、同睡眠確保の侵害、軽犯罪法第 1 条 14 項違反がまかり通っていること。</p> <p>③ 近隣住民への配慮のない営業を取り締まる罰則規定を盛り込んだ区条例がないこと。</p> <p>5.2 「改定案」についての提言「改定案」についての提言</p> <p>上記「まちづくり・地域産業」に関し、ゆきすぎた商業活動により、その地域に暮らす住民が不利益を被ることなく、広く商店主が近隣住民と公正で良好な関係が維持できるよう、次のように提言いたします。</p> <p>提言① 騒音問題発生時における区による当事者間仲裁機能の確保（上記①②に対応）</p> <p>提言② 区による罰則付き騒音規制法の立案・施行（上記③に対応）</p> <p>6. 最後に（結びにかえて）</p> <p>区長の大切な仕事としまして、方針策定、予算編成、人事の区長の大切な仕事としまして、方針策定、予算編成、人事の 3 つがあるとされます。2023 年 11 月 22 日（木）発行の「広報すぎなみ」臨時号の「区立施設マネジメント計画」には、「施設や地域などの現状・課題を施設利用者や地域住民の皆さんなど共有したうえで、複数のたたき台を示しながら、皆さんとともに考えていきます。」とあります。区長自ら表明されているように、上記は区政における基本的態度として重要なことであると同時に、まちづくり・地域産業においても普遍的に成り立つ大切な態度であると考えます。</p> <p>本稿で提起したような現状・課題を認知し、方針策定、予算編成、人事においても、賢明な措置を講じていくように期待いたします。いつでも協力いたします。ご賢察を賜りますようよろしくお願いいたします。</p>
194	<p>児童館を無くさないでください！！</p> <p>減らさないでください！！</p> <p>こどもに優しくない環境は大人にとっても住みにくい環境です。</p>
195	<p>区民検診を 10 代、20 代も受けられるようにしてください。</p> <p>プラスチックの過剰使用にならなうようにリユースを進めてください。</p>
196	<p>総合計画 36 頁の「3 都市計画道路の整備」について、</p> <p>1. 2023 年度として「さとことプレスト」等、区の職員と住民が連携した運営がされなかった点について総括する」と加える。</p>

	<p>2（事業着手している西荻窪の補助第 132 号線（事業認可区間）及び高円寺の補助第 221 号線は）について、「約半数の居住者が拡張に反対している 221 号線は見直す」を加え修正する。</p> <p>3. 4 行目の（地域ごとに区民との対話）の後に「は、運営を民間委託せず、区長、職員、住民が連携して文字通り住民合意ですすめる」と修正する。</p>
197	<p>2 年ほど前に梅里 2 丁目に区外から移住しました。</p> <p>この 2 年間弱で感じていることで 3 点申し上げたいことがあります。</p> <p>1. 近所の住居解体と新築ラッシュ</p> <p>この 2 年間で自宅から 100 メートル圏内で 5 軒もの物件が取り壊され、月極駐車場と新築の 3 階建民家が建てられ、他にも 4 階建のマンションが建つ予定です。残り二軒は売地になっています。</p> <p>これほど至近距離で立て続けに工事が続いて疲弊している住民もいるのではないかと危惧しています。</p> <p>この辺は緑地があまりなく、マンションよりも木や芝生がある小さな公園になった方が住民にとってプラスなのでは？と感じています。</p> <p>2. 一般住居の断熱改修をもっと促進してほしい</p> <p>住居の断熱の可能性と重要性がまだ一般に浸透していないと感じています。冬は寒くて当たり前と、熱がどんどん逃げていく家で暖房を利用して生活が困窮するほどの電気代を請求される家庭もいるのではないのでしょうか。</p> <p>区内の物件を所有するオーナーや会社に向けて断熱リフォーム補助金の利用を積極的に促すなどしていただければ、未来のゼロカーボンシティの実現も加速するのではないかと考えています。</p> <p>3. コミュニティコンポスト</p> <p>私は自宅で有機物を LFC コンポストで堆肥にしていますが、こういったものを地域で回収したり菜園で活用できるような取り組みが増えれば嬉しいです。</p> <p>杉並区に住むだけで地球環境に貢献できる！なんてことになれば素敵だなと思っています。</p> <p>これからも胸を張って杉並区民と名乗れるようなまちづくりに参加したいです。</p>
198	<p>1 ページ本文の 3 段落目に、以下の文章を挿入する。</p> <p>自治体は個人データを守る砦です。個人データは公共財&lt;デジタルコモンズ&gt;として位置づけ、DX ビジョン、政策、インフラはそれを実現するために外の IT 企業にお任せではなく、職員と区内の専門家、事業者とともに構築します。個人データはしっかり守り、公共サービスを向上させるために、役立てます。区内の若手のイノベーション力を生かして、住民が調査や政策に参加するデジタルの政治参加手法を開発します。</p>
199	<p>132 号線道路拡張事業について</p> <p>この計画は昭和 22 年の戦後に決定された復興計画です。</p> <p>今現在、令和 5 年の西荻窪の街には戦後 75 年以上かかって作られてきた街並みがあります。私は沿道住人で、この地で店と住居を構えて家族で営業しています。古い家を借りて新しく改築してお店を始める若者も増えてきました。昔からの店舗に加え、多くの店が並び、街の繁栄を支えてきました。計画に反対の根拠は、・その必要性（車も人も減少）・法的根拠（憲法違反／住民の承諾無）・防災にならない（20 年以上続く工事／拡張道路への車両増加／神明道路にできる大きな S 字カーブ）・ゼロカーボンシティ宣言都市なのに環境破壊（ビル建設による CO2 排出量は 1 万トン／床 ha）など等枚挙にいとまがなく、未だに納得のいかないものばかりです。</p> <p>すでに更地になっている土地の狭い残地にできている建物は、幅の薄い 3 階建（木造）・5 階建のもので、延焼遮断帯として安心できる建物とは思えません。用地買収され空き地ができて、残地に建物が建ち始める頃から、すでに新しい街づくりが始まってしまっています。新しく建築される建物に不燃建材が使用されるよう、助成金なども含めた助言がなされているのでしょうか？橋のたもとの店に取り付けてある大きな看板には「事故物件」の巨大な文字が並び、街の景観を著しく壊しています。あの大きさは違法ではないのでしょうか？残地にできる建物も含め、壊されていく街の風景に対して、不安を覚えています。</p> <p>岸本区長が誕生してこの約 1 年半、情報開示が進み、さとことプレストと名付けられた対話集会も区長在席のもと何度も開催され、反対住民の声も、やっと届くようになりました。来年は、道路事業計画がある地域「西</p>

	<p>荻窪」「成田東」「高円寺」で、「デザイン会議」という名の対話集會が開かれる予定です。この會が町内會、商店會、団體に加入していない住民も自由に參加でき、行政の説明會に參加して意見を述べるだけの今年の現状から、一緒に計画を立案していく「参画」に一歩踏み出し、さらにその先には、行政、住民共に協働して、街づくりをしていく會になることを強く希望します。</p>
200	<p>子供の居場所づくり基本方針を策定することに期待します。その中で示されると思われる児童館については、区の職員の方々も子供の成長にとって大切な役割を持っていることを、あらためて認識されているように受け止めています。児童館は、やはり各地域に満遍なくあることが子供たちにとって使いやすく安心です。もちろん保護者にとっても。各地域で廃止された児童館の復活を考えてください。お隣の中野区では児童館を増やす方向になりました。杉並の誇れる財産だった児童館を全区域に満遍なく復活させることを望みます。</p>
201	<p>《成田西ふれあい農場公園の事業者の突然の変更について》</p> <p>『農にふれあう講座』全20回に娘が参加させていただき、大変感謝しております。娘は会社内での不当なパワハラからメンタルを病み休業、引きこもりでしたが、理解ある上司に農作業を勧められて偶然、参加することができました。</p> <p>参加してからは、太陽の光とスタッフの皆様のご指導、そして仲間にも恵まれ、野菜が成長する様、収穫の喜び、それを食べる子供たちの姿に手応えを見出し、徐々に病状も快方に向かっています。</p> <p>ところが10月末に来年度の事業社が突然変更になると連絡を受けたようです。本来1年間受講した生徒は2年目に手本として優先的に受講でき、その後はボランティアとして農場公園の水やり等に関わる他、市民農園や農家の手伝いとして活躍を期待されているとのことでした。</p> <p>良心的な価格で1年間農作業を学び、有機農法に近い低農薬で都市部の農業を本格的に学び大変満足しており、2年目もやる気に溢れておりましたが、突然の変更に意気消沈。</p> <p>「公募型プロポーザル選定結果」を拝見しましたが、現在の「NPO法人武蔵野ふれあい村」に比べて、新規事業社である農業の本来本元「JA」という巨大組織と太田黒公園他区内の公園管理を一手に担う「箱根植木株式会社」に有利な「経営状態」や「賠償に対する責任」「個人情報保護法」などを問う質問が多いように思われます。</p> <p>受講生の満足度などの評価は反映されず、地域住民からのアンケートも見受けられません。</p> <p>この公園は篤志家の方が、区民に農業の可能性を託して寄贈された土地とうかがっております。利益を追求する企業ではなく利益度外視で後世に農業を引き継ぐべき場所であると認識しております。</p> <p>今から事業社の変更は難しいとは思いますが、新規事業社はこれまでの運営の満足度を裏切らない経営を引き継いでいただきたいと思っております。</p> <p>来年度以降も、今年を受講1年生が今年度同様作業にかかわれますことを願うとともに、次年以降は区民の意見も反映して業社の選定をしていただき、税金が巨大企業に投資されるのではなく「NPO法人武蔵野ふれあい村」などの利益追求型でない事業社の運営を切に願います。</p>
202	<p>③環境・みどり</p> <p>1 みどりを守る</p> <p>現実問題として区の緑はどんどん少なくなっています。次の持ち主になると更地にするため、ほとんど木は伐採されます。</p> <p>先日西荻窪で御神木が伐採されるということで、署名運動などが行われました。このようなことは今後も起こり得ることです。</p> <p>現在残されている屋敷林なども、存続の危機にあると思います。区としても将来世代に引き継いでいくための対策を行なっているようですが、もっと積極的な活動が必要では。区民と一緒にアイデアを出し合うというのでも良いと思います。1日も早く勝手に切り倒される木がないように条例など作って保護してほしいと願います。現在新たに東京都からの政策で公園内の木が切られようとしています。公園もなくなるとのこと。区としても代替案がないかなど提案して欲しいです。</p>
203	<p>学びの項：図書館の整備「高円寺地域の新たな図書館の検討、ITCを使用した図書館サービスの充実」「新規利用者登録者数、貸出冊数の増加」などがあげられているが、図書館法の定めのとおり、図書館に専門職司書</p>

	<p>を配置しなければならない。専門職司書の配置によって、上記の大半のことは、整備され解決できる。</p> <p>地方公務員で図書館司書は、一般事務職員と同等の扱いで、司書職とは全く関係のない部署への配置転換が慣習化されているが、司書は専門職（国家資格）であり、教員、看護師などと同様に人事政策に相当の地位を付与すべきである。これが図書館整備のインフラのインフラである。</p> <p>東京都などの他の自治体に習うことなく、杉並区独自の政策を進めて下さい。（杉並から全国へ発信！）</p>
204	<p>【参加型予算について】</p> <p>参加型予算は今年度のテストで問題が多すぎです。</p> <p>来年度以降は廃止して頂きたい。</p> <p>2023 にテスト的に実施された参賀型予算は、投票の面でのトラブルが発覚され、反対意見が多く中止希望意見が寄せられる中、強引に実地されました。</p> <p>「参加型予算に反対」という区民の意見が排除され、はじめから賛成のみを受け付ける欠陥だらけのシステム。</p> <p>参加型予算は最終的に議会を通すと言っても、区民の希望を否定しにくいので最終的には問題があっても議会では否決しにくい構造です。</p> <p>初期段階の多数の事業者を 10 つに絞る基準もはっきりせず、区側の勝手な胸算用で選ぶのであれば問題です。</p> <p>参加型予算の来年度以降の実地は取りやめて頂きたいです。</p>
205	<p>杉一小移転改築に向けて 2024 年度から設計着手とのことですが、住民との話し合いはついておらず、学校改築懇談会が延長となった後、2016 年 10 月 28 日の「まちづくりに関する意見交換会」には少数（ほぼ仲間のような人たちだけみたいですね）での話し合いを経て、翌年 3 月にいきなり住民への移転説明会なってることから、まずは学校改築懇談会が延長となった時点で立ち戻ってほしいです。</p> <p>やはり移転は、子供たちのことを考えるとリスクが高く不安でしかありません。メリットよりもデメリットの方が高いと思われてなりません。掘ってみないと何がどれだけ出てくるか分からない有害地。気候変動が激しい世界状況の中、予想もできない甚大な災害（水害だけじゃないかも）が起きる可能性。それなりの対策をするといっても、現在も地盤沈下が進んでいる軟弱地盤であり、どれだけ効果があるのか、全く安心できません。現杉一小地は、この地域の中では強固な地盤の高い場所です。移転先の近隣住民からの騒音クレームによって、のびのびと生活できないことも予想されます。新宿で教師をした方の現実にある切実な声から想像できます。今の場所なら多少の音など気になりません。</p> <p>例えばの提案です。河北病院跡地は、掘削して有害物質を取り除き、更に掘り下げ雨水が流れ込めるようにした水害対策公園にしてはどうでしょう。周辺道路も広げることができます。公園周囲にはなるべく高木を多く植え園内にも適度に植樹し、芝生スペースを広めにとって杉一小の第 2 校庭としても使え、住民もピクニックなど自由に使えるようにする。</p> <p>雨水を溜め込むスペースを造るよりも、土地を低くした分水を貯めることができ、木が根を延ばすことで地盤も強くなり自然に地下へ雨水を浸透させます。植樹によって脱炭素効果に少しでも貢献でき防火対策にもなります。また週末には園内高木の内側辺りに、電気のエコキッチンカーや屋台などの出店を募って人を呼び込むなどすれば（その他アイデアを募って）、商店街も活性化されるのでは？</p> <p>杉一小については、外校庭をなるべく広くとる工夫としてピロティを作るなどし、1~3 階を校舎として、1 階一部と 4~6 階を施設や店舗などとし、最上階（せいぜい西友と同じ高さくらいかと）を体育館とプールなどにすればうまく共有できるのではないのでしょうか。</p> <p>まずは立ち戻って比較検討が必要ではと思います。</p>
206	<p>環境・みどり</p> <p>緑被率について</p> <p>気候変動対策やゼロカーボンシティを目指す上で重要とされるのが大きな樹木です。</p> <p>民有地での樹木保全のために、保護樹林や保護樹木への助成金を引き上げることが必要かと思います。他区の例を見ますと、杉並区より手厚い助成金が出されているところもあります。</p>



	所有者の負担を軽減し、樹木は街の財産であるという社会通念を浸透させていただきたいです。
207	<p>保育施設(Cocoon parents square)に通っている者として、インクルーシブクラスへの補助金を強く希望します。</p> <p>インクルーシブクラスには、医療的ケア児や障害を抱えた子供を持つ親が、定型発達の子供達と一緒に遊び、学んでもらいたいと願い、通わせたいと希望しているが、区からの補助金がないため、高額な支払いを自費で支払っている現状がある。</p> <p>一般的な療育施設に通っている者にだけでなく、インクルーシブクラスに通っている者にもぜひ補助金を切望します。</p>
208	<p><b>★保育 行政について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200か所に及ぶ 様々な経営形態の保育所があると知り驚きました。</li> <li>保育の質、職員処遇 などの面で不安があります。</li> <li>人件費比率50%以下は認めないという条例を制定してください。</li> <li>・民間委託、公設民営方式を出来る限り 公立保育園に戻してください。</li> <li>・夜間保育を必要とする人へのベビーシッター 利用支援 期待しています。</li> </ul> <p><b>★公園について</b></p> <p>プラスチック遊具を止めてください。</p> <p>遊具に年齢制限表示を止めてください。</p> <p><b>★インクルーシブ教育を推進し期待しています。</b></p> <p><b>★子どもの意見表明 ・参画の推進</b></p> <p><b>★学校の上位下達の生活に馴染めない子ども達の存在が認められる様になって来たことは嬉しい事です</b>が子どもが主体的に臨むわいわいと意見交換しながら進む授業がもっとあって欲しい。</p> <p>先生のゆとりがなければ難しいかもしれませんが。</p> <p><b>★科学館、プラネタリウムの建設を希望します。</b></p> <p><b>★阿佐ヶ谷北東 地域 について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉一小学校は現在のところに建て直すことを希望しています。建物自体が多少高くなっても校庭を残す。高温で使用不可になる昨今プールは屋内につくる必要があります。</li> <li>・河北跡地が盛り土を必要とする低地であること。</li> <li>・子ども達が 思いっきり声を出せる環境を残したい。</li> </ul> <p><b>★学校給食に有機食材をとり入れて下さい。</b></p>
209	<p>先日、地権者が変わったことで西荻のご神木が伐採される所でした。その危機はまだ続いており安心できません。高木や多くの緑を所有している方が、その権利を手放す状況になった時、そこにある木々や草花などを、簡単に取り壊すことができないような条例やシステムを作ってください。早急をお願いしたい。</p> <p>また、東京都では神宮外苑や日比谷公園など、再開発と称して自然と住民の財産を壊しまくる計画を進めています。善福寺川上流調節池の計画でも多くの緑や公園が無くなることとなります。ゼロカーボンを目指して緑を増やそうと言ってる時に、まちのあちこちで緑が失われていくことに、杉並区として阻止していくべきです。東京都に対しても、区として声をあげてほしい。</p> <p>世界は植樹を進める方向でどんどん動いています。パリ、バルセロナ、ニューヨークなどの都市でも木々や広場を増やし、まちからなるべく車を閉め出し、人々の往来を優先としたまちづくりが進んでいます。それらを見習って（研修に行ったり積極的に勉強して）、杉並も人にやさしいまちづくりを進めたい。</p>
210	<p>環境・みどり</p> <p>緑被率について</p> <p>樹木、とりわけ大木や高木が気候変動対策にとって重要であります、いかに保全をしていくかが問われていると思います。</p> <p>私有地では近隣からの落ち葉などの苦情により、やむを得ず伐採する持ち主もいると聞いてます。</p>

	<p>少しでもそのようなケースを減らす手段として、中野区の「みどりの保護と育成に関する条例」第8条2のように、区民の落葉の受忍義務を条例に盛り込み、みどりの効用を享受しているという区民の意識を高めて頂きたいです。</p> <p>その啓蒙にあたり、区民にわかりやすく示す「樹木憲章」などをつくり、広めていくのはいかがでしょうか。</p>
211	<p>障がいのある息子は、私がワーキングマザーだったため、小学校6年間地域の児童館にある学童クラブで育ちました。もう30年近く前の事です。</p> <p>学童クラブは、放課後の居場所＝家庭と同じ位置付けかも知れませんが、児童館の遊具を自由に使える環境や、お祭りや餅つきなどの行事への参加は、息子の日々の生活をより豊かにしてくれました。</p> <p>当時障がい児の利用枠は限られたものと記憶していますが、異年齢集団での生活の場は、まさしく「共生」の場でした。働く親が多い現代、保育園同様、学童クラブも民間委託が増えて、障がい児に特化した放課後デイサービスもあるようですが(もちろん、障がい児の親としてはとてもありがたい事で、これを否定するつもりは全くありません)、「共生」という観点から、区でこれを掬い上げ、児童館のような公的施設の中の放課後デイでこれを実現して欲しいと思っています。</p> <p>施設のニーズは多様化していると思いますが、「共生」社会の実現のためにも、まずは児童館を発展させて、地域の子どもが誰でもワクワクして行ける場、安心して遊べる場、を確保していただきたいと思っています。</p>
212	<p>日頃より大変お世話になっております。</p> <p>ゴミ収集についてのご検討のお願いです。</p> <p>現在、私の住んでいる地区では、区画毎に当番制でゴミ収集用の緑のカゴや、缶瓶の箱の出し入れをしています。昔ながらの慣習のようなもので、なんとなくそのまま続いております。</p> <p>現代では、共働き家庭も多く、毎日のゴミ当番は負担になります。また、お子さんがいる家庭などでは夏休み期間中に当番があたってしまった場合は申し訳ない思いを抱えながら、交代をお願いするなど現代の生活スタイルには程遠い習慣であると感じます。</p> <p>新しく建設された家では、家の前での個別収集が可能な地域もあつたりと、同じ杉並区内でも公平ではないなと感じています。</p> <p>収集の大変さはあるかもしれませんが、ゴミの個別収集について、ご検討いただけないでしょうか。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>他の区では個別収集を希望性で可能にしているところもありますが、以前杉並区に問い合わせたところ、個別収集は受けていないとのご回答をいただきました。</p>
213	<p>4 阿佐ヶ谷地区</p> <p>杉並第一小学校は河北病院跡地に移転改築の予定になっているが、これは決定ではないはずで、まだ話し合いの途中と認識しております。何も決まっていないのだから、2024年から設計に入るのは納得できません。しかし振り返る会のような住民のガス抜きのような会ではなく、(あれではいつまでたっても平行線です)具体的に現地建て替えの場合ではどのような作りができるのか、病院跡地の場合はどうかを、</p> <p>漠然としたものではなく具体的に数字や模型にして比べる必要があります。</p> <p>区側は、区長も含め、頑なに病院跡地ありきのように見えます。反対意見の区民をどう納得させるかだけを考えているようにみえます。頑なに「病院跡地ありき」過ぎる点も何かあるんでは、と考えますね。</p> <p>本当のところ、ひとつひとつ比べてみませんか。</p> <p>防災の面からも病院跡地の方が良いとのことでしたが、建て替えて道は広げるのですし、現地建て替えでも十分防災対策はできると思います。</p> <p>この地は商業地でもあるため、今後ますます生徒の数も減って行くと思うので、他の学校のような広い施設である必要はないと思います。</p> <p>●何にしてもこの杉一小に関しては、不透明な取り決めをつまびらかにしないことには住民は納得しないと思います。</p>

214	<p>区立施設マネジメント計画案</p> <p>阿佐谷地域</p> <p>現役時代は、阿佐谷が自分の拠点かと思っていた。そのときから北側は、杉並のチベット？と。 学童クラブの増設、東原児童館、阿佐谷図書館ができたのに。職員も頑張ってくれて子どもたちは楽しく校庭開放を含め遊んでいた。ゆうゆうハウスという大人の学習室的なものもなくなった。ぜひ、児童館の復活と、図書館はなくさないでほしい。</p> <p>杉一小が、河北病院の跡地には、納得できない。学校は本来何かあれば避難場所になる拠点のはず。駅より低地で雨水などが溜まるとなザードマップでも予測されている。3者交換などいろいろあるようだが、現在地での小学校の建替えを検討してほしい。地域住民の声を尊重してほしい。方法はいろいろあっても杉並の一番古い、伝統ある学校をその場所に残して。</p> <p>荻窪地域</p> <p>本天沼コミフラが強行され進行中。この問題も地域住民の声を十分くみ取ることなく既定のコミフラ化に進んだ。が、2回の住民説明会などがもたれ足踏みしたが、既定路線でコミフラ化に。しかしここから行政と区民との対話型が発展し、今回のマネジメントの中身になったと思っている。</p> <p>自分たちの地域に何があるのか、どんな問題があるのか、忙しい住民と、なかなか共有できないが、町会、民生委員、青少年育成委員など区とかかわりのある人たちが有効に任務を果たしているのか。高齢になると外とのつながりを持てる人が少なくなるが、これらの方々が本来は手を差し伸べることができる人たちでしょう。マンパワーという視点で検討ねがいます。</p> <p>ゆうゆう館は地域（上荻も）からなくなってしまった。機能移転と言っても、生きがいサークルなどの場所が、確保されたということで専門家などが居て相談に乗れると言うことではないですね。区内には、複合施設で高井戸に高齢者支援センターが1ヶ所あります。</p> <p>この荻窪地域にも高齢者専用施設があっても良いのではないか。例えば、旧天沼会議室別館の建て替えで。128平米ですが。</p> <p>また、旧若杉小の活用問題が調査しながら今後のことを住民参加型で検討することになっているが、その中にも一案かもしれない。</p> <p>旧若杉活用については。期待も要望もいろいろあると思うので、オープンでたのしく知恵を出し合っていくべきです。</p> <p>地域の天沼中、杵掛小改築の際に「複合化、多機能化の可能性についても」と表記されている。地域住民にしっかり説明と要望を聞いてほしい。</p> <p>今回のマネジメント案は、地域の要望を聞きますよ、自分たちで検討をと言ってるのかもしれないが、情報が正しく伝わらないとそうはならないし、住民側も忙しくなりますね。働く人々、高齢者にどう情報が伝わっていくのか。区側の情報発信の仕方も検討するとなっていますが、デジタル弱者にも伝わるような方法を期待します。</p>
215	<p>色々とアップアップと数字が並ぶが、なぜ今回の改定でそんなに数字がアップするのか、根拠に乏しい。また予算もまるで書いておらずわからない。何かがアップするなら何かがダウンするはず。その説明をしてください。ふるさと納税について年々出る金額が増加しているが改定にそれを折り込んだものなのか。ふるさと納税について流出を防ぐ具体的な施策はないのか。この頃の区長や区の施策を見ているとイデオロギーが優先していて、一部の人々しか喜ばない施策が多い。性の多様性条例など練り込み不足で制作した区長も区民も混乱している。防災、安全、子育て支援など未来を見据えた施策を強化しないと区の発展は望めない。</p>
216	<p>■児童館廃止が一方的に進められた問題</p> <p>子ども達が善福寺児童館を利用していました。突然、善福寺児童館と西荻北児童館の廃止計画が示され、一方的に廃止が強行されたことに、未だに保護者や近隣住民の不信の声が上げられています。当時、突然の廃止方針に対して住民説明会も紛糾し、60名近くの参加住民から計画中止や見直しを求める声が相次ぎましたが、その声も無視されました。児童館を残してほしいと署名も取り組まれましたが、その声も受け止められることはありませんでした。児童館は子ども達の施設なのに、子ども達の意見も聞かずに廃止が進められました。小</p>

	<p>学生にとっては、遊びの拠点となっていた児童館という居場所を失うことになりました。当時、児童館を利用して児童から「児童館から追い出された」という声も聞かれました。今後、このような乱暴な手続きで計画を進めることの無いよう、強く求めます。行政の都合だけでなく、利用者や近隣住民、子ども達の声をしっかり聞いてほしいです。</p> <p>■子ども達にサードプレイスが必要</p> <p>学校内での放課後居場所事業自体は否定しませんが、放課後を学校で過ごしたくない子どもも多く、家庭と学校とは別の居場所（第3の居場所・サードプレイス）があることが重要だと思います。学校内の放課後居場所事業では、これまでの児童館のような自由度が少なく、中・高学年になると足が遠のく傾向があるようです。子ども達からは「わざわざ放課後に学校に行きたくない」「自転車で行けない」「低学年しかいない」「ビブスが嫌」等の声や「学校とは別の場所で、ゆっくり過ごすことの出来るスペースが欲しい」との声があります。その子たちの居場所は近所の公園となっていますが、スペースが限られているため子ども同士のトラブルも頻発しています。真夏や寒い時期には遊ぶスペースも少なく、家で過ごすことも増えています。児童館のように広い遊戯室や各部屋等の様々なスペースを子ども達が自主的に選ぶことができ「活発に体を動かす子」「とのんびり過ごす子」等、思い思いに過ごせる場所が必要です。特に、学校に行きづらい子どもにとって、放課後も学校内で過ごすことは困難です。家庭と学校とは別のサードプレイスを拡充することが必要です。</p>
217	<p>■児童館廃止で遊びや過ごし方の選択肢が減少</p> <p>善福寺児童館は、規模も大きく、遊戯室（ホール）や工作部屋となる図工室、ピアノを弾ける場所、集会室等々、様々なスペースがあり、子ども達が自分たちの意思で遊びを選択することが出来ていました。学童クラブの育成室もあり、学童クラブ児童にとっても育成室以外の児童館スペースを活用することが出来ていたため、様々な遊びや過ごし方が出来ました。児童館の代替事業となる放課後等居場所事業は学校内で実施されることになるため、教育施設としての学校のルールの制約や学校施設としての制限を受けることにもなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な遊具や玩具、蔵書等、全てを学校内スペースに持ち込むことが不可能なため、遊びの幅が減少する。</li> <li>・砂場で穴掘りをしてはいけない（体育的使用のため）。どろだんごも、砂遊びも出来ない。</li> <li>・おやつを食べてはいけない。</li> <li>・自転車で来てはいけない。</li> <li>・ゲームを持ち込んではいけない。等々</li> <li>・学校のピアノは遊び目的では使えない。図書室は学校司書がいないと使用できない。図工室も使えない。</li> <li>・校庭や体育館は放課後利用団体（同小学校の子どもが使用）の活動と競合し利用時間が短い。月の利用日数が僅か、十数分しか利用できないことも。</li> </ul> <p>※放課後利用団体は多くの在校生が利用しており、それら団体の活動は、小学生が放課後を過ごす上での貴重な居場所ともなっています。居場所事業の実施により、放課後利用団体の活動場所が縮小するような事態も避けてほしいと考えています。</p> <p>上記のように、児童館での過ごし方や遊びが引き継がれていない現状があります。学校の関係者からは、児童数の増加にともない、学校内スペースが不足しており、学校内集約化は困難との意見も出されています。小学生の居場所は、学校内に集約するのではなく、学校内と学校外も含めて拡充することが必要です。</p> <p>■多世代との関わりの減少</p> <p>これまでの善福寺児童館は、乳幼児や小学生だけでなく、近隣の中高生が気軽に立ち寄り、ホールも使用して体を動かすことも含めて、一緒に過ごすこと出来ているのが魅力でした。小学生にとって中高生は憧れの対象で、かたきの強い中高生が話題になることも。児童館が無くなり、日常的な小学生・中高生の関りが減少することへの心配の声が寄せられています。児童館のような日常的な関りが必要です。</p>
218	<p>■地域の子育てネットワークの縮小</p> <p>これまでの児童館は地域の子育てネットワークの拠点となり、事務局的な役割を担ってきました。区の職員が中心となることで、児童館主催のイベント（おまつりや餅つき）の実施や、地域住民や地域行事と子ども達・保護者達をつなぐ機能を果たしていました。しかし、乳幼児親子に特化したプラザ運営によって、小学生や保護者がプラザに関わる機会が激減し、プラザのイベント等に参加する動機が無くなっています。プラザのこと</p>

	<p>を知らない小学生や保護者も非常に多く、地域イベントでも乳幼児と保護者の参加が増える一方で、小学生の参加が減少しているようです。地域住民と関わる機会の多かった小学生や保護者が地域イベントから疎遠になっていることは、子ども達のための地域づくりとして大きな課題があると感じています。</p> <p>近隣の西荻北児童館の廃止後は、もちつきやイベントの機会も減少しているとの話も聞いており、地域の事務局的な役割を果たしてきた児童館の必要性を実感しています。これ以上、児童館職員を減らすのではなく、世代継承も含めて増やすことで、地域の子育てネットワークを再構築して頂きたいです。</p> <p>■児童館スペースを活用しない学童クラブの課題</p> <p>善福寺児童館内に入っていた学童クラブは、小学校隣接にある保育施設廃止後のスペースに移設されることになりました。この施設は面積が非常に狭く、保育園だった時の乳幼児の定員は45名。現在は、110名を超える小学生が施設を利用しています。保育園の園児数の2倍以上の小学生が過ごすため、圧倒的に狭いスペースに、子ども達や保護者から「狭い」という声が相次いでいます。学校施設の利用は、道路を挟んで移動する等、自由な行き来が困難です。さらに、放課後利用団体の活動場所と競合し使用時間が短くなります。園庭の使用拡大と共に、地域特性に応じて委託事業者の職員配置を加配する補助等を検討し、近隣公園への移動やプラザ内のホールの小学生開放（タイムシェア）などを進めてほしいです。</p>
219	<p>■プラザの小学生利用の拡大</p> <p>児童館廃止後、機能移転されたプラザ善福寺は乳幼児施設となり、小学生の利用が制約されています。今後、プラザ善福寺の大きな建物と地域特性を生かして、小学生も恒常的に利用できる居場所にしてほしいです。</p> <p>平日夕方以降は全体的に利用が少なく、乳幼児が利用していない部屋も複数あるように見受けられます。2階の利用も少ないようです。建物を最大限、利用できるようにし、乳幼児が少ない時間帯は、小学生が空いている部屋をタイムシェアできるようにする等、施設を有効活用してください。</p> <p>小学生タイムの実施回数を増やしてください。この間、小学生タイムとして、週1日1時間プレイホールを利用できるようになり感謝していますが、実施日数も時間も不足しています。週に使用できる日時を増やしてほしいです。日数を増やし、小学生が遊びに来られる機会を増やさないと子ども達の居場所になりません。</p> <p>プラザ内に小学生の玩具が少な過ぎます。小学生向けの玩具を増やすなど、3階のマルチルームを充実してください。地域イベントの際、壊れたコマやけん玉が数個しか無く、小学生の保護者スタッフが衝撃を受けていました。</p> <p>乳幼児と小学生がいる家庭では、プラザに遊びに行った際に、小学生だけが隔離され、過ごす場所がバラバラとなります。プラザで遊べないため遠方の善福寺北児童館に行くことになっています。保護者が一緒にいる場合などは、小学生も一緒の場所で遊べるようにしてほしいです。</p>
220	<p>区民への施策の検討ありがとうございます。</p> <p>以下、育児・ひとり親当事者として感じていることを記載いたしますので、ご検討いただけますと幸いです。</p> <p>【施策 20 安心して子育てできる環境の整備・充実】</p> <p>・ひとり親支援の拡充について</p> <p>現状では養育費確保支援事業がありますが、こちらの利用条件が保険加入など、当事者としては利用しづらい状況です。</p> <p>中野区では、保険加入などの条件がなく、実際に利用しやすいひとり親支援の助成制度がありますので、より支援が必要な方が使いやすいような形にしていきたいです。</p> <p>また中野区では「実質ひとり親」に対しての助成制度もあり、家庭内暴力等があるが、金銭的な不安で自立ができない方へのサポートなどがあると、結果的にその家庭の子どものために良いと思うので、ご検討いただけますと幸いです。</p> <p>・学童クラブの整備・充実について</p> <p>現在施設を拡充しているかと思いますが、悪口などで行けなくなってしまった小学校2年生のお子さんが、親御様の帰りを自宅で一人で待っているという話を聞きました。</p> <p>職員の方の補充なども大変だと思いますが、学童に行けなくなってしまった、また点数的に通えなくなってしまった場合、小学校中学年ぐらいまでは例えば自宅にベビーシッターさんを呼ぶための助成などがあると良</p>

	<p>いのではないかと思いました。(来年度から始まる、ベビーシッター助成制度は未就学児の待機児童が対象だと思うので)</p> <p>・その他</p> <p>また、先日娘が小学校の入学前検診に行った際、内科検診が上半身服を脱いで裸になるということがありました。</p> <p>男女混合で、かつ簡易的な衝立なので他の並んでいる方々からも見える状態だったため、今後の性教育的にも改善されたらと思いました。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
221	<p>旧若杉小学校の使い方について、校庭を災害時に避難できることを想定した農地にして、有機栽培の畑作りに使いたい。休憩できる木の釜戸ベンチや穴を掘った緊急トイレも備えておく。校舎 1 階には農作業用に必要な道具や肥料など様々な物置き場、作業者が休憩歓談したり食事も作れるスペース、農業や自然、食物などに関する書籍コーナーも。運営自体はNPO 法人など、有機栽培に詳しいプロの力が必要ですね。畑作りを希望する住民に積極的に関わってもらい、ゆくゆくは作った食材を学校給食の一部に使えたらいいと思います。また、獲れた食材を使って食事を提供できるカフェのようなスペースや、加工して販売もできるスペースを2~3階で展開できれば更に職も増えるし楽しい。</p> <p>杉並農園ランドマーク？</p>
222	<p>日本国憲法前文には「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ平和のうちに生存する権利（平和的生存権）を有する」と述べられています。杉並区民もこの平和的生存権を享受できるようにすることを区の施策の基本においてほしいと思います。戦争や暴力はもとより、様々なハラスメントの「恐怖」から免れ、経済的な貧困だけでなく精神的、人間関係における「欠乏」（孤立、孤独やサポートの不足など）から免れ「人間としての尊厳が保たれた生存」を保障される（「人間の安全保障」）権利と考えます。さて、この視点から「総合計画・実行計画などの改定案」をみると、その「(3 つの) 基本理念」は共感できるものでした。その上で言えば、ビジョンの提示にあたって行政の果たすべき役割の第一は、現状の問題点（区民の誰が何に困っているか）を把握し、その問題点に対し行政として何ができるかを示すことだと思います。そして、より緊急、深刻なことは何か、弱者優先などのプライオリティを明確に区民に提示し、議会や区民との対話を通じて実行計画を決定すべきと考えます。これまでの行政が提示する「計画（ビジョン）」は、「この計画によってこんな“ステキ”なことになります」的なこと（計画のメリット）の強調中心だったように思います。“すてき”なことにするのは住民の役割で、行政が先に立って行おうとすると住民への「押し付け」となったり、対立や分断を引き起こしがちです。例えば施設再編においても、より効率的・機能的な施設といったメリットの強調よりも先に、現状の施設の老朽化やバリアフリー化など現状の施設のデメリットの克服の視点から区民・利用者に提示し、計画作成を始めるべきでした。道路拡張・再開発でも同じことが言えると思います。今般、「改定案」という形で改善の方向へといくらか「舵を切り替えた」ようにも感じますが、まだまだ十分とは思えません。今後に期待します。なおこの他に、今回の「改定案」の中では「平和」という言葉が出てこないことが気になりました。また計画の具体的内容は多岐にわたり詳細なため、かなり頑張っても全てに目を通すことはできませんでした。このため抽象的で期限ぎりぎりのパブコメになってしまいました。「とりあえず言いました」、「聞きました」で終わらないことを望みます。</p>
223	<p>高井戸東保育園?ゆうゆう高井戸東館の改築に関する検討につきまして、早期に改築を進めていただきたいと思っています。</p> <p>コミュニティふらっと成田を両親がよく利用しており、私も訪れたことがあります。子育て世帯や中高年?高齢者の皆様も使いやすく、とても素敵な施設だと思います。</p> <p>高井戸東保育園とゆうゆう高井戸東館の老朽化は、施設の安全性に不安を感じますし、早急に改築を進めて、新しい保育園と、高齢者の集いの場としてのコミュニティふらっとの整備を進めていただきたいです。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
224	<p>児童館の整備計画について、意見を述べます。小学生、中学生の子どもの保護者です。私の住む地域の児童館は3年前に廃止されました。</p>

	<p>これ以上児童館をなくさないでください。廃止計画は完全にストップしてください。そして、既に廃止されてしまった地域には、児童館を復活させてください。区長の公約にもありました。期待しています。</p> <p>小学校区に1つの児童館、積み重ねてきた実践、職員の存在は、杉並区の財産です。無くすのは一瞬・簡単取り戻すのは容易ではないはず。区の直営で、予算も職員も区の責任で、維持し、継承してください。</p> <p>現在児童館のある地域とない地域では、子どもたちの過ごす環境に格差が生じていると感じています。子どもが小学校入学前で金銭的にも余裕があれば、児童館があり子どもたちが自由に遊ぶことのできる公園が広くある地域に引越しをしたいという意見が保護者内です。</p> <p>廃止された地域において、すぐに児童館復活が難しい場合には、計画内で示された「児童館の特性」が発揮された「自由な遊び場、居場所の保障・手当て」を、積極的に実施してください。</p> <p>①児童館にかかわる事業の実施を望みます。区の責任で、予算・会場を確保し、児童館職員の派遣を行うような、児童館と変わらない体験・環境が実現されるよう望みます。区立施設、コミュニティふらっとなどを活用し、出前児童館を常設してください。</p> <p>子ども・子育てプラザのある地域では、定期的に午後の時間帯を小学生も使えるようにしてください。現在の小学生タイムは時間も短く、小学生の利用に適したものではありません。</p> <p>②児童館の廃止に伴い、小学校の校庭開放もなくなりました。校庭開放は、地域の乳幼児、小中高生、大人たちが、一緒に広い校庭をボール遊びやかけっこ、縄跳び、バスケットゴール利用した練習やサッカーの練習等、利用できる貴重な機会でした。現在、区内には同じような遊び、体験のできる公園や広場はほとんどありません。</p> <p>校庭開放の復活を強く望みます。高井戸三小では、児童館が廃止されても、教育委員会の責任で日曜日の半日を校庭開放実施が残っていると聞きました。児童館の廃止されたすべての地域で、週1日でもいいので校庭開放を復活させてください。</p>
225	<p>図書館のサービス機能を豊かに。</p> <p>図書館の様々なジャンルの本の背表紙を見ただけでも、知識を得たような気がします。本の値段は高く、興味を持った本もなかなか買うことができず、本は贅沢品になっています。でも本を読むのは大好きです。文字から得た知識に刺激を受け、次から次ぎへと読書内容が広がってきます。</p> <p>私にとって図書館はふっと浮かんだ疑問や、昔読んだ作品を検索する場所です。</p> <p>最近、図書館の近くに越してきました。すぐに行くことができます。この夏のような暑さが続くと図書館は多くの人が涼しさを求めてきていました。</p> <p>そんなとき、もっと楽しい交流空間を増やしてほしいと思いました。静かに本を読むコーナーとは別に、図書館で出会った人同士がコーヒー等を飲みながら交流ができる空間を、どの図書館でも作ってほしい。町内には交流する場所がありません。地域の交流施設も兼ねた地域密着のおしゃれな図書がある楽しいと思います。</p> <p>以前、杉九小の教室の一部を学習室として開放していました。机と椅子と簡単な仕切りがあるだけの部屋でしたが、夏は涼しく、冬は暖かいので、じっくり本を読みたいときに利用していました。簡単な名前を書くだけで、いつでもだれでも利用でき、受験勉強の人や、外国人の人などが利用していました。その教室が廃止となり、図書館一部に机を配置したということでしたが、好きな時に、静かに勉強できる場所がなくなりました。図書館の機能とは別に勉強するスペースを作ってほしいと思います。</p>
226	<p>岸本区長は区政を何と考えているのでしょうか？極左環境活動家のイデオロギーを、区税を使って多方面へ発信する事には熱心でも、区民の安心、安全を守ることに無関心。区議会では答弁に立たないのに、他所のイベントや講演会には東京都外へも出席する。しかも特定政党の後援に。まず足元の杉並区政を見直して下さい！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治体の「二元代表制」を理解する</li> <li>・公約にある「対話」は自分の支持者だけを選別するのは辞めて、暴力的な支援者を排除する。</li> </ul> <p>その他、4月の釘事故、6月の善福寺川冠水、委託事業者ランサムウェア感染など事故や問題が起こってもスルーを貫く姿勢には不信感しかありません。</p> <p>1日も早い辞職をお願いいたします。</p>

227	<p>■施策 19 に関して</p> <p>放課後、校庭開放はありますが、一度帰宅しなければならないのがネックで、子どもがあまり活用していないのでは？と感じます。世田谷区の BOP 制度や、杉並の桃五のスマイル広場の様なサービスを全学校に拡大してほしいです！</p> <p>メリットはたくさんあると考えます。1. 登録すれば好きな時に放課後遊べる。放課後直接行けるので、その分遊ぶ時間が増える。2. 友達と約束しなくても、そこで友達に会える。または新たに友達ができる。異学年交流ができる。3. 室内だけでなく、校庭や体育館で思い切り体を動かして遊べる。子ども達の体力向上につながる。4. 公園だとボールで十分に遊べなかったり、不審者の心配があったりするが、遊び場が学校だと安心して遊んでおいでと言える。子どもがお菓子食べすぎたり、ゲーム遊びすぎたりする心配もない。5. 帰宅しても、保護者が家にいない子の居場所になる。例えばその日だけ親が予定があつて帰りが遅いとか、学童に入っていない高学年の子とかの安全な居場所になる。6. 学校で充実した放課後を過ごせると、小学校が楽しい思い出になる。学年問わず色々な子と遊ぶことで、学ぶことも多いし、充実した時間を過ごせたら自己肯定感を上げることにもつながる。</p> <p>■施策 18？ 施策 22？ に関して</p> <p>これは文科省に関わってくるのかなとも思いますが…</p> <p>学校の行事縮小傾向を危惧しています。コロナをきっかけに、運動会で玉入れなどの団体競技やリレー、応援団を経験できていない子がたくさんいます。機会を与えてくれる学校もあれば、与えてくれない学校もあります。機会を設けてくれる学校があるのならば、全学校でもできるべきです。</p> <p>気温の危険や、準備時間の大変等も分かります。全ての競技をやれというわけではなく、なるべく多くの経験をさせることを、区から学校に伝えることはできないでしょうか。</p> <p>机上は、さいあく一人でもできます。集団生活でしかできない行事や、ディスカッション、負ける勝つの経験、目標に向かって努力すること等、もっと大切にしてほしいです。</p>
228	<p>1 外国由来の子どもに対する施策について述べる。</p> <p>各区分け、施策及び番号は「総合計画」の冊子の記述に応じている。</p> <p>【学び】 施策 22 学び続ける力を育む学校教育の推進 1 学び続ける力の育成</p> <p>【文化・スポーツ】 施策 27 多様な文化・芸術の振興と多文化共生・国内外交流の推進 3 多文化共生・国内外交流の推進</p> <p>上記の2つの区分けにまたがる事として、如何に意見を書く。</p> <p>私は現在、都立荻窪高等学校において、在校生の内外国にルーツを持つ子どもたちに向けた「日本語教室」のボランティアをしている。そこで気づくのは、生徒たちが高校に至るまで、の日本語習得の支援を本校入学までに小中学校でまともに受けて来なかった事だ。</p> <p>彼女ら彼らは、日常的に日本語が飛び交う中で育っていくため、日常に彼女ら彼らが接する学校内や生活圏での聞き取りと話す事は大方できている。しかしながら、日本語の読み書きのための支援はほとんど受けてきていない。そのために、教科書や教員の板書は十分には読めないし、日本語でノートも取れず、試験の解答に満族に答えられない。本来、各教科の理解力に問題は無いはずなのに、必要な日本語の支援を受けて来なかったがために、日本語でつまずいて各教科を更なるステップに進められずに中学までの義務教育を終えてしまっている。</p> <p>まず、日本語の読み書きを学校単位で学校と連絡し合いながら支援する必要があるが、冊子にある「杉並区交流協会等と連携して」充実させるという「子ども日本語教室」がそれを満たすものであればぜひ進めて欲しい。そうでなければ、この子ども毎に支援を考える方向にして欲しい。</p> <p>さらに、新宿区の場合、公益財団法人 新宿未来創造財団が、区立小中学校に在籍する日本語サポート指導終了後1年以内の児童生徒について、教科支援やこれに必要な日本語学習の支援及びコミュニケーション能力向上のための日本語支援を行うための支援員（以下SJSと称する）を組織し、学校・家庭と連携をとり地域一体となって児童生徒を支援する事業を行っている。</p>



	<p><a href="https://www.regasu-shinjuku.or.jp/?p=2161">https://www.regasu-shinjuku.or.jp/?p=2161</a></p> <p>杉並区でも、共に生きる社会の一員として、外国由来の子どもたちが独り立ちするための力を身に付けていくだけの施策をぜひ整えて欲しい。</p> <p>特に、母語で抽象概念を表現できるだけの力を身に付けずに日本に連れて来られてしまった子ども達(かなりの割合になると思うが)には、しかるべき年齢までにしかるべき日本語を身に付けさせることは、子どもたち自身にとっても、今後の日本社会にとっても重要な事である。</p> <p>現区長はご著書の中で「海外移民としての経験」について言及されていたと思う、区長の場合は、大人になってオランダに渡られたので、「どの言語においても抽象的なレベルの嗜好ができない」事は無いと思う。しかし、母語を十分に身に付けずに日本に来てしまった子どもの場合、しっかりした母語か日本語の教育を受け根ければ、悪くすると抽象的な気候が身につかず大人になりかねない。なぜならば人間は言語によって思考するからだ。このような事が無いように、常に言語や外国由来の子どもの教育の専門家に助言を得ながら、本施策は続け、さらに改良して行って欲しい。</p> <p>2, 負の歴史について資料館ないし資料コーナーをぜひ作って欲しい。</p> <p>【文化・スポーツ】 施策 28 次世代への歴史・文化の承継 1 歴史・文化に親しむ機会の充実</p> <p>冊子の中ではいわゆる「正の歴史」や文化についてのみ書かれている。その上、第二次大戦などにおける戦争犯罪人とも言える近衛文麿の深い陽明文庫と提携する予定と書く。彼の戦争加担責任についても必ずや展示などで明らかにして欲しい。</p> <p>それに止まらず、今年 2023 年が丁度 100 年目に当たる、関東大震災時の朝鮮人などに対する官民による虐殺(ジェノサイド)は杉並区内でも起こっており、このような事が二度と起きないようにするためにも、未来に向けた常設展示は必要である。</p> <p>その他に、杉並区内でも第二次大戦時の空襲被害は下町や山の手地域と比べて少ないが存在する。このような戦争を二度と起こさないための平和記(祈)念館は区内にも必要である。その場合に被害のみを伝えるのではなく、日本軍がアジア・太平洋地域で多くの外国人を殺し・女性たちを慰安婦として性の奴隷として従軍させた事。日本軍内部ではいじめが横行し・食料兵站などを略奪などによる「現地調達」に任せたため戦場地における略奪や強奪のための殺人・放火などが横行していた事。日本兵の死因の多くは食糧不足で餓死・病死で、戦闘による死は少なかった。こういう事も後世にはきちんと伝えるべきである。</p>
229	<p>杉並第一小学校に移転について</p> <p>河北病院跡地への移転に反対します。</p> <p>阿佐谷駅から見る景観は阿佐谷そのものです。学校があって、お寺や神社がけやき並木と一緒に景が阿佐谷らしさを作っています。再開発と称して駅前に建物をつくり、商業施設に若い客が集まる一見賑わいがあるかのようなまちづくりは、決して住む人達にとって住みよい街とは言えません。住人たちの緩やかな変化による落ち付いた街が価値をよぶ街になってきています。どこにでもあるような街ではなく、歴史を生かした阿佐谷司してください。</p>
230	<p>3 荻窪地域</p> <p>旧若杉小の利用について</p> <p>基本には防災機能を充実させた施設とし、どの年代の人でも自由に集まれる施設になると良いかと思います。防災用のかまどで料理を作ったり、いろいろなイベントや勉強会ができたり、、、</p> <p>特に荻窪、天沼地区はゆうゆう館などが遠くなるぶん、この場所が利用できるよくなるとういかに思います。畑などを作るのも面白いかもしれません。</p>
231	<p>以下の施策に関係してくるのかな? と思い、意見をお送りさせていただきました。</p> <p>施策 1 強くしなやかな防災・減災まちづくり</p> <p>5 狭あい道路の拡幅整備事業と電柱セットバックの推進</p> <p>施策 6 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備</p> <p>3 安全で快適な自転車利用環境の整備・充実</p> <p>「方南町の駅前周辺の、環七通り沿いの歩道の幅を広くしたい」です。</p>

	<p>現在、無電柱の工事が進められていると思いますが、それでも、歩道の幅が狭いと感じます。キャパを考えると、時間帯にもよりますが、歩行者や自転車がなくてぶつかりそうで危ないと感じています。</p> <p>理想は、環七通り沿いのビルをセットバックさせて、十分な歩道の幅を確保する、もしくは、環七の車線を1列無くして、歩道にすることです。</p> <p>ビルのセットバックも車線を無くすことも、容易ではないと思いますが、歩きやすい、自転車が走りやすい、歩道の整備は必要だと感じます。</p> <p>歩道が広くなれば、環七の車道の騒音対策にもなって良いです。歩道を広くして、車道と歩道の境界は街路樹や植栽で整えて、歩いて楽しい歩道、自転車で快適に走れる歩道になれば良いと思います。</p> <p>大屋敷だった敷地がマンションに建て替わり、今後ますます住民が増え、駅利用者が多くなる中で、駅前の環境が良くなれば良いと思います、意見をお送りさせていただきました。</p>
232	<p>①杉並第一小学校を病院跡地のような土壌汚染が懸念される場所に移転させないでください。今の場所のまま改築してください。</p> <p>②子どもたちが徒歩で通える範囲に児童館を配置してください。利用できる時間が夕方だけの遊び場では意味がありません。</p>
233	杉一小的移転に反対。児童館も今あるものは残してほしい。杉並区は親子世代を追い出したいのでしょうか？
234	70年前に計画された都市計画道路は廃案にしてください。国交省も時代にそぐわないので見直せと言ってるはずですが。気候変動対策の為、また、水害対策の為にこれ以上アスファルトを増やさないでください。無電柱化だけ進めてください。
235	<p><b>【まちづくり・地域産業】</b></p> <p>① 自転車専用道路の整備</p> <p>車道の幅の中に自転車ナビラインが敷かれているため車との距離が近く、路駐車を避ける時だけでなく、走行中は常時危険を感じている。子どもを乗せて自転車走行中は車体も大きく揺れやすいため特に危険。車のドライバーとしても自転車走行はフラフラ揺れがちで追い越しにくく衝突の不安を抱えている。自転車と車のドライバーそれぞれの意識の変容だけで解決できるものではなく、物理的な住み分けが必要であると日々感じている。</p> <p>② 家賃低廉化補助の実施に伴う大家さんへの補助</p> <p>専用住宅の登録は大家さんの好意によって成り立っているため登録数が少ないとのことなので登録した大家さんへも補助金が必要と考える。大家さんのメリットは空き家の減少とのことだが、それでは空き家のあるような需要の低い物件ばかりになってしまう。事故物件や住みにくい住居しか選択できないのはQOLの低下に繋がる。また、大家さんが専用住宅の登録を躊躇う理由に他の住人とのトラブルや孤独死対応等があると聞く。民生委員、シルバー人材さんなど入居者の背景に沿った見守りケアを定期的に行ってはどうか。</p> <p>③ 社員の定期健康診断費用の補助</p> <p>小規模企業を中心に、削られがちな（非正規雇用者を含む）社員の定期健康診断費用を補助し充実させることで杉並区で働く人々が健康で前向きに生活できるように支援する。毎年の充実した健診が会社全体の健康意識を高め、急な病欠・病休を減らしたり計画的な治療療養を可能にさせたりできると考える。</p> <p><b>【健康・医療】</b></p> <p>① がん対策の充実企業から積極的に社員へ情報提供を</p> <p>働きながらがん治療の両立支援を活用したくても、会社や他社員の理解不足などから当事者から会社へ申請したり掛け合ったりしにくい事がある。当事者へのがん対策支援の啓発は勿論だが、会社等企業が社員に積極的に情報提供し理解を深めさせるよう区が働きかけて欲しい。</p> <p>② 各種医療体制・支援の充実における申請の簡略化</p> <p>申請手続きの書類や内容は情報量が多い上に聞きなれない単語も多く難解である。支援が必要な方ほど疲弊しており、そういった方々にとってわかりにくさは殊更である。そのため、各種制度や支援の内容、手続き、必要書類等の簡略化を求める。</p>

236	<p><b>【福祉・地域共生】</b></p> <p>① ご長寿ポイントの使用範囲拡大 ボランティアや地域活動で積極的に活動されご長寿ポイントを活用されている高齢者の方から、ポイントを活用できるお店や場所の数が地域によってバラバラだと聞いたことがある。活用範囲の拡大や、現状活用場所の少ない地域への拡大啓発をしてはどうか。</p> <p>② 移動支援事業の対象者拡大 高次脳機能障害の他にも発達障害の追加も必要ではないか。子どもの体が大きくなったり保護者の体力が衰えてくるとケアが難しくなったりする事、目が離せない事、心身の疲労は発達障害も同様の課題と考える。</p> <p>③ 高齢者と幼保の連携 核家族化、地域の横のつながりの希薄化などから減少している多世代交流の活性化につながると考える。実際、私の子ども（0歳）と散歩中に高齢者と合うと皆さんが口をそろえて「小さな子と触れ合う機会がないので嬉しい」「励みになる」「元気になる」と前向きな感想をくださる。</p> <p>④ 医療機関等での患者会の充実 がんサバイバー等にとって患者会は大きな心の支えでありときに居場所になる。しかし、患者会がある地域ばかりではない。病気によっては患者会の存在自体を見つけることが困難なこともある。サバイバー等が今後も悩みや情報を共有し前向きに希望をもって生活できるように気軽に患者会にアクセスできると嬉しい。また、自分の病歴等センシティブな情報を共有するため、医療機関等信頼のおける団体が母体であると一層安心して活用できるのではないかと考える。</p> <p>⑤ 区議会の中継や社会科見学の受け入れ 区民のための議論は広く区民に知らされるべきであり、それが区政へ関心の高まりと投票率向上に繋がると考える。区立施設にて定例会（委員会含む）の中継をする、小中高生の社会科見学としての議会傍聴の受け入れを積極的に行うべきである。</p>
237	<p><b>【子ども】</b></p> <p>① 学校に児童相談体制のための専門コーディネーターを配置 児童相談体制の充実のためには家庭、学校、病院等との連携は必須である。そのため児相、家庭、学校、病院特との間に仲介者が必須である。学校では教員が特別支援コーディネーターや教育相談担当として窓口になる。専門の研修を受けはするが元からの専門家ではない。学校によってはコーディネーターがすぐ変わるところもあると聞く。普段の教員としての仕事にも忙殺されるなかで丁寧に扱わなければならないデリケートな案件を扱うことは難しい。そのため、各学校へ専門職のコーディネーターの配置が必要ではないかと考える。</p> <p>② 子どもの居場所の増加 産業商工会議所や区役所の一角を活用した子どもの居場所の新設を皮切りに、様々な場所で子どもの居場所の新設を求める。既存の区立施設の空き部屋（同施設内で日ごと曜日ごと部屋が変わることも有）を活用できれば経費を抑えて尚且つ施設の有効活用ができる。児童館のアウトリーチ型、職員常駐のないフリー型等その土地ごとに設置されやすい形での新設がいいのではないかと考える。各家庭、地域によって求める居場所の形は異なる。利用対象者の最大公約数的な居場所の形を求めると必ず不満が出て新設への腰も重くなる。小さくても不十分でもまずは各地域に確実に子どもの居場所を増設していくことが重要であると感じている。開設の際は是非児童館職員（元や単なる保育士等の資格所有者ではなく在職の現場の職員）の意見をメインに取り入れてもらいたい。</p>
238	<p>都市計画道路について見直しを求めます。 緑豊かな住宅街を壊す 133 号線の拡張は必要ありません。優先整備道路から外すように都に呼びかけてください。 許認可が下りてしまっている 132 号線、221 号線の計画見直ししてください。</p>

239	<p>SDGs</p> <p>今、ある緑をこれ以上無くさないでください。緑の維持は地球温暖化対策として、非常に大切です。善福寺川公園では、治水工事のために緑が除去されていると聞き、非常に危機感を持っています。治水工事はたいせつですが、必要以上に樹木を無くさないでください。</p> <p>日本全体も同じですが、杉並区でも 2035 年以降人口が激減するのは自明の事実です。そこで今から大きな道路は必要なくなります。また住宅地に高層マンションも不必要どころか、スラム化して杉並区の負の財産を増やすことになります。高井戸東 4-3 の国家公務員宿舎は古くもうすぐに取り壊すのではないのでしょうか？このはなしが区に降りてきたときに将来のことを考えて下さい。マンションにして当座の利益を得るか、長い目でみて区民により良いのはどうしたら良いのか。ある程度大きい土地ですから、公園にしたり、スポーツ施設にしたりということを考えて下さい。高層の住宅は必要ありません。駅近ではないので、将来スラム化必至です。</p> <p>災害に対して区の正規職員を増やして下さい。</p> <p>中央線沿線各駅はそれなりの歴史があり、それぞれの良い環境、街並みを保っています。これをどこの街も同じように駅前高層ビルで同じような大手の店がはいるというのは納得できません。大きな道路で分断するのは許せません。西荻北部再開発絶対に反対します。</p> <p>道路に関してですが、前述のように人口が減り、今でさえ車の数も減っています。これからの道路整備で大きい道路は必要ありません。阿佐ヶ谷から南に伸びる道路 133 号戦などは、なぜ作るのでしょうか？住民にとってメリットはありません。広げるのではなく（広げる必要もありませんが）住宅を壊し、公園の一部を壊し、緑を破壊し街を分断し、空気を悪くしてどうするのですか？全く馬鹿げたことです。前からの計画でも、これからは住民の考えにあった計画に変えるべきです。</p> <p>都市農業を守って下さい。増やして下さい。地元で農薬などを減らした農業を進めて、給食に使って下さい。地元の顔が見える人たちの作った安心できる（少なくとも農薬が少ない）給食を杉並区の子も達が食べるなんてすてきではないですか？</p> <p>平和事業の推進は是非すすめてください。</p>
240	<p>【自治の更なる発展と自治体間連携の強化】</p> <p>① 区立施設での区議会の中継や社会科見学の受け入れ</p> <p>区民のための議論は広く区民に知らされるべきであり、それが区政へ関心の高まりと投票率向上に繋がると考える。区立施設にて定例会（委員会含む）の中継をする、小中高生の社会科見学としての議会傍聴の受け入れを積極的に行うべきである。</p> <p>② 選挙における投票所の増設</p> <p>投票所が増えることは投票率向上に繋がると考える。高齢者からは体調不良や身体的理由での外出の困難さ故に投票を諦めている声を聞く。若年層では期日前投票期間は仕事等忙しくて利用できない、投票日は用事があって投票所に行けないという声を聞く。それらを踏まえ、駅前にプレハブの投票所を建てる、最寄りの投票所まで遠い地域に移動式の投票カーを配置する、マンションの集会所やエントランスを活用して投票所にする等投票所の増設を求める。</p>
241	<p>これから論議される「仮称 子どもの居場所づくり基本方針」の中心には、児童館が位置づけられるべきと考えます。</p> <p>児童館は、これまで何十年も子どもの遊び、居場所としての役割を果たしてきました。日々地域の多様な子どもたちを受け入れるなかで気づくことのできる子どもや家庭の状況、直営施設であるゆえの利点（新しく設置される児童相談所や学校との連携も期待）など、児童館であるからこそ果たせる役割は非常に多くかつ重要です。</p> <p>更に「多様な子ども・保護者（不登校児・支援の必要な家庭）の居場所」「地域の子育てネットワークの連携強化」など、発揮できる役割も増していくはずです。まさしく、現代の社会状況に合致した、子どもの権利尊重、居場所の充実のために重要な拠点として発展していくことのできる施設です。</p> <p>児童館と同様に、放課後等居場所事業と学童クラブの充実も望みます。いずれかを選択・重視するのではな</p>

	<p>く、それぞれの良さ・役割を発揮し、多様な居場所を区の責任で提供することが重要と感じます。</p> <p>放課後等居場所事業は、特に学校内施設利用の拡充、専用室の確保、正規・専門職員の配置を児童館並みに充実させるなどの課題があります。</p> <p>学童クラブの喫緊の課題は、大規模クラブの解消です。現在多くの学童クラブが定員 100 人超です。我が子の通う学童は 150 人定員です。国のガイドライン、杉並区の条例でも、支援の単位は 40 人と決められています。遵守できるよう、第二学童、第三学童の創設を求めます。さらに、正規・専門職員の配置の充実、面積基準の改善なども重要です。</p> <p>場所、遊びを提供するだけでは、子どもたちが安心して楽しめる場所にはなりません。子どもたちが安心して過ごせる場所、居場所と感じられるためには、様々な条件が必要なはずで（年齢にあった環境、アクセスのしやすさ、大人の関わり、友だちの存在）。これらについて十分に検討・検証してください。</p> <p>なかでも、子どもたちの遊びの場、放課後の居場所には、大人の関わりが重要です。子どもたちの放課後、遊びを支える大人、専門職の育成・充実を望みます。区の職員も、民間事業者の職員も、配置の改善、労働条件の改善、研修の保障・民間との連携がさらに進むよう、求めます。</p> <p>これらの視点から、児童館が、区の直営で、各小学校区に身近な施設として設置されることを強く望みます。</p>
242	<p>学びの計画事業案での質問です。特別支援教育の充実と記載してありますが、情緒学級を杉並区は作る予定は、ありますか？</p> <p>我が子は、ディスレクシアで文字を読むこと書くことを苦手としています。学校には、通えていますが文字を書けないため、成績表は全て斜線となり評価不能となっています。知的障害者には、支援学級としての居場所があるのに対し、学習障害者の居場所がないように感じています。学習支援が継続的に校内で出来る体勢を整えて頂けることを期待します。</p>
243	<p>杉並区が目指す姿として、「みどり豊かな住まいのみやこ」とされており、総合計画においても都市農業の支援についての項目もあるが、全国的にも問題となっている生産緑地に対する記述がなかった。区に対しては、杉並の環境と景観の維持のため、また子どもたちの教育のためにも、区による独自の政策による、生産緑地の維持のための、積極的な支援をお願いしたい。</p> <p>2022 年以降、区内で生産緑地が指定解除されて、宅地化された場所がいくつもあり、今後もそれが増えるだろうと聞いています。幸い、私が住んでいる地域にある生産緑地はまだ指定解除されておらず、後継者の方が日々頑張って農業を続けておられています。しかし、区内の生産緑地の多くでは、労働力や採算性の問題から農業を続けていくことが困難な土地所有者の方も多くいらっしゃるようです。区内には生産緑地が多くあり、杉並区のすばらしい景観や環境作っている大切な要素だと思います。季節によって違う野菜を収穫することができ、季節感を感じることができることは、東京に住んでいてとても貴重なことです。特に、小学校では地元の野菜を給食に使うこともあり、地域愛を育むこと、食べ物を大切にすることに寄与していると聞いています。また、災害時にはカップ麺等の保存食を補助する食材としての利用も期待できます。</p> <p>人口減少化のこれからの社会において、生産緑地を減らさないことが、杉並区を魅力的なまちとし続けるために必要ではないでしょうか？農地を宅地化することは簡単ですが、一度宅地化した土地は簡単には農地に出来ません。区としても、環境や景観を守るため、教育や防災のため、杉並区独自の生産緑地維持のための政策を推し進めて頂きたいです。よろしく願いいたします。</p>
244	<p>保護者の一人として孫が利用していた児童館の廃止（再編整備）に反対する立場で、意見を記します。</p> <p>現在小学 5 年生の孫にとって、井草児童館は学校や家庭とは違う空気を味わえ、成長の糧となった大切な居場所でした。</p> <p>5 年生になってから習い事の関係でほとんど行かなくなりましたが、保育園通園時代には私が土曜日に連れていき、夏にはエアコンが効いた 3 階の体育室で遊ばせました。</p> <p>小学生になってからは、児童館内の学童保育で 3 年生までお世話になりました。指導員の方が学童での様子を丁寧かつ親身に連絡帳に書いてくださったおかげで、孫の両親や私は安心して仕事をすることができました。</p>

	<p>孫は 4 年生になってからも、孫は利用可能時間になると行っていたようです。児童館で出会った中学生のお兄さんお姉さんの事など、楽しそうに話してくれました。児童館では年代の違う児童・生徒たちと交流することができ、少子化の現代社会の中で、孫にとっては得難い体験ができたと感謝しております。</p> <p>「児童館再編整備」とは？「課題と今後の方向性」を読んでも具体的な内容が理解できません。</p> <p>私自身、意見交換会に参加することができず、歯がゆい思いです。</p> <p>もっと具体例を示していただければ幸いです。</p> <p>「これからの子どもの居場所のあるべき姿を、子どもや地域住民と行政が手を携え、共に形作っていく、という視点に基づき、幅広い区民参画を得ながら検討を進めていきます。」は大賛成ですので、HP や広報以外にも「意見交換会」の周知徹底をご検討ください。</p>
245	<p>内容別に複数出します。</p> <p>1[意見募集について]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画・実行計画について区民に周知し、積極的に意見を募ろうという姿勢が感じられ、そこはよいと思うが、まだ不十分である。</li> <li>・HP からこのフォームのリンクについて。パブコメの募集中の一覧が「告示日」だけで、締切日が書いていないのできわめて不便。また、本フォームには字数制限はあるのか不明なので、とりあえず書いて送信しようとしたら「1000 字」という制限が表示された。先に言え、というやつだし、1000 字は少ない。最初の総合計画案への提案のときの 20000 字制限ができたのだから、毎回その程度は取るべきだし、少なくとも字数制限は最初に書いてほしい。しかたないので word を立ち上げ、文字カウントをしながら分割で送るのだが、ただできえパブコメを書くのが大変なのだから、区民にこんな手間をかけさせないでほしい。</li> <li>・[DX 推進について]区の説明会でのアンケートで使っている logo フォームは、字数制限が毎回ちがったり、一回しか出せなかったりするし、記述が一行で表示されていて、読み返すことが困難である。計画の中には区の HP の刷新が書かれているが、こうした関連のフォームの整備も早急に行ってほしい。その一方でデジタル・ディバイドに配慮し、紙ベースの戸別配布や提出フォームの入手・提出を拡げることも行ってほしい。高井戸での説明会で「区報の全戸配布」を言った参加者がいたが、検討してほしい。武蔵野市はやっている。</li> <li>・総合計画・実行計画の説明会は定員 30 人で 7 回だった。高井戸に参加したが、13 人と低調だった。あきらかに告知不足であるし、もしフルだとしても 54 万区民のうち 200 人程度で十分といえるのか。このまま策定していいのか、追加できることを検討してほしい。</li> <li>・説明会もパネルを十分見る時間がなく、説明のパワポもパネルもスタティックなつくりで、見ても表面的なところしか入ってこない印象であった。</li> </ul>
246	<p>2[総合計画全体と区の姿勢について]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区の策定が「7 地区」統合されたが、前フォームで記入した総合計画の説明会なども「7 地区」にこだわりすぎではないか。むしろもっと細かく地域ごとの特性を見るべきだと思うし、細かいエリアでの説明や話し合いを行ってほしい。計画の本題でも書いていくが、たとえば施設や公園、避難所の数、緑比率や自然保護についても、細かいエリアで見えていくほうがよい。</li> <li>・逆に交通や道路については動線に沿って検討できないか。西武線の連続立体交差が街に与える影響や、外郭環状道路の問題など、区をまたいだ考え方も必要である。</li> <li>・総合計画全体は新区長のもと、理想を掲げることが趣旨なのかもしれないが「新しく取り入れること」ばかりが目立つ。今進んでいる、これまでに作られた(旧区政の)計画を「このまま進めていいのか」「どうすればどこまで変えられるか」という視点が必要だし、変えることができるのではないかと、ということを区民に提示する必要がある。たとえば施設再編であるが、旧区政下で廃止が決まったものをそのまま実行し、新しいものを別に作るということがほんとうに利用者の希望に合致しているのか。誤った土台の上に、新しい計画を載せていくと、いずれ歪みが生じる。新しい計画と同時に、旧計画の見直し・検討を大胆に行ってほしい。</li> </ul> <p>3, [防災について]資料 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・p. 14 「強くしなやかな防災・減災まちづくり」というキーワードには特に反発もないと思うが、実態があやふやな印象を受けた。無電柱化、木密解消、狭隘道路、河川改修というのは、旧区政でもどこの自治体でも一</li> </ul>

	<p>般的なものであり、ハード面ばかりの列挙がトップに来るのはむしろ「しなやか」さを欠くと感じた。</p> <p>・「しなやか」の印象としては、ソフト面や土木工事に頼らない、コンクリやアスファルトから転換する考え方だと思ふし、時代の要請としてもその方法を検討すべき。P.20 からの「みんなで作る防災」がソフト面にあたると思われるが、いわゆる「自助」「家庭におしつけ」にならないようにしてほしい。</p>
247	<p>区立施設の予約利用時間が 2 時間ずつと非常に短くなり、予約も利用もしづらくなりました。より長い時間帯を予約することができた、以前の時間割に戻してください。</p> <p>値上げされた区立施設利用料金の値下げを求めます。登録団体の利用料金の半額割引の制度も復活してください。</p> <p>区民事務所会議室が各地で廃止されたため、区立施設が利用しづらくなりました。施設の復活を求めます。</p>
248	<p>今後の課題の解決策の一つとして行政と住民（区民）の本来の対話、協調を作り上げていくための革新的な仕組みが必要なのではないのでしょうか。そこで新たな根本的な仕組みを提案します。</p> <p>それは本来あるべき姿として行政と区民、市民を繋ぐための新しいネットワークを作ることです。今現在の区の方針もその方向に向いていると思われますが、提案というのは杉並区の行政、区民の一体化コミュニケーションと言わば、杉並一区民相互間ネットワークをネットで立ち上げ、各テーマや課題についてそれをクリアするために「相互間広報 SNS 杉並スタイル（仮称）」を立ち上げるというものです。</p> <p>趣旨は、利用者の区民、市民は行政の公共事業の懸案・課題について常に時間を割いて立ち会って討議できる環境がない中で、できうる解決法として相互間広報 SNS 的な場を使ってより良く進行するという新しいスタイルです。もちろん顔を合わせて話が必要な場合は直にあって対話、討議する機会や場があつてしかるべきです。</p> <p>現在は素案ですが、ポイントは以下の点です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 継続性…スレッドテーマ（議題）の SNS 記録は一過性で終了でなく、常に永続する（常に進行形）</li> <li>2) SNS の運営、進行、管理は行政の担当部が行う。担当者が変わったら引き継ぐ</li> <li>3) 記録性…デジタルのやりとりメッセージは長期にわたって履歴として残る</li> <li>4) 検索容易性…スレッドの目録（目次）は新しい人や時期が経過しても誰もが簡易に見られるようにし、その仕分けや履歴、閲覧はデジタル AI などを使って利便性をはかる。</li> <li>5) デジタルマナー、エチケットとして投稿は公私とも公平性、安全性は担保される</li> </ol> <p>など。</p> <p>今後は市民の声と行政の対応が過去のように齟齬したり、途中切れでおざなりになったり、また声を上げた市民が最終結果を知らないまま、つまり納得がいかないまま終わったりの不都合が生じないよう願ってやみません。</p> <p>以上、区の回答をよろしく願いいたします。なお、これは現行のパブリックコメントの行いを否定するものではありません。</p>
249	<p>子育てや子どもにまつわる環境対策も多岐にわたりご検討くださるよう期待しています。</p> <p>“待機児童 0” を掲げ保育園が増えたことで子育て世帯が増えたかと思いますが、小中高生の居場所が手薄なのではないかと感じています。</p> <p>放課後の居場所を校内にすることは移動の安全など利点もありますが、学びの場である学校ということで利用に制限があります。不登校の悩みを抱えている家庭も増加しており、学校以外のおさくても多様で自由な子どもたちの居場所の必要性を感じています。また中高生も友人と安心して過ごせる場所が少ないのではないのでしょうか。「ゆう杉並」を勧められますが近隣でない利用がしにくいのが現実です。区内複数か所への開設が難しいのであれば地域施設への出前的な取組はできないのでしょうか。中高生委員会もとてもいい活動に思えますが地域で差があり、参加しにくいエリアであることを残念に思っています。児童館職員を派遣していただけるような事業は、児童館へのアクセスが悪かったり廃止されてしまったエリアでも実施を強く望みます。今まで公園や児童館はただの遊び場だと思つていましたが、自由な遊び場や居場所がないと知っていくことで、鬼ごっこやボール・グループ遊びという日々の遊び自体が、学校では決して学べないコミュニケーション</p>

	<p>やルールを知って成長していく大切なことなのだと思うようになりました。健全な成長には自由に遊べる場所や機会はとても大事です。子どもの権利としても、大人がしっかり確保しなければと感じるようになりました。</p> <p>区立の児童相談所もできるようで虐待問題に手厚くなることはよいのですが、またひとつ児童館が無くなってしまふことは非常に残念です。児童館は親子や異学年の子どもの交流ができ、子どもの相手に長けた斜めの関係が築ける職員が気になる家庭のフォローもしてきた場所だと思っています。既存の児童館を見相の出先機関としても活用するのは難しいのでしょうか。区内に多くの児童館を抱えてきた杉並区だからこそできる、児童館が地域のハブになるような子育て世代にとって出生率もあげたい希望がある取組をぜひお願いいたします。</p>
250	<p>こども子育てプラザについて</p> <p>第一子を妊娠中にプラザの存在を知り、乳児幼児に特化した施設であること・平日土日ともに開園していて親同士のつながりをもてる場であることから、産後の育児の拠り所となっています。</p> <p>とくに対象を「乳幼児」としていることで年齢幅の広い環境下で生じるケースが多いケガや事故のリスクを少なくし、その親も気持ちのゆとりをもって過ごせることがプラザの最もよいところだとも思います。最小限の職員とその親が見守ることで安全を確保できます。</p> <p>ぜひ今後も運営を継続していただき、施設数の増加を望みます。</p> <p>なぜなら乳幼児とその親は行動範囲が広くはないからです。</p> <p>理想ではありますが杉並区内のどこに住んでいても徒歩15分圏内にこども子育てプラザがあるとさらに子育てしやすい環境整備ができるとおもいます。</p> <p>また、認知にも力をいれてほしいです。</p> <p>杉並区在住15年ですがこのような素晴らしい施設があることを妊娠するまで知らなかったです。とくに知ってほしいのはこれから妊娠出産を予定している人や希望している人です。ママ学級やパパママ学級で紹介するだけでなく、これから妊娠出産の可能性のある人々へSNSや地域イベントなどを通じて発信するとよいです。</p> <p>私が妊娠以前にプラザのことを知れていたら育児への不安を和らげることができたとおもいます。</p> <p>こどもは未来の象徴ですので、こどもとその親のための設備投資は惜しまないでほしいです。</p> <p>どうかご検討のほどよろしくお願いいたします。</p>
251	<p>「まちづくり」</p> <p>にぎわいの再生などがまちづくりと称する大型開発、スクラップ&amp;ビルドの理由にされていますがこの考え方を変更して欲しいです。</p> <p>自転車活用は進めてほしいです。それと同時に「歩きたい街」、車を排除するまち、ゼロカーボンシティへの具体的で大胆な政策を取り入れてほしいです。例えば駅前周辺の車両通行止め、週末の歩行者天国、自転車専用道路、沿道の緑地化とあわせて取り組みたいです。</p> <p>西荻、阿佐ヶ谷、高円寺のデザイン会議は12月13日から早速始まりますがとても期待しています。</p> <p>「環境」</p> <p>気候区民会議の開催を大変期待しています。若い世代の参加を促すような仕組みを作り、ジェンダーや人種、多様性を担保した会議体となるよう工夫してほしいです。</p> <p>河北総合病院の建て替えに際し森林が壊されてしまったことは大変残念でした。私有地を区が買い上げて公園にする、緑地を積極的に広げ、保全し、価値を高めることが将来の子どもたちへの新たな価値の創造になり、また区の価値も高めることになります。</p> <p>「福祉共生」</p> <p>人権尊重の項目が入ったことを大変評価しています。岸本区政らしい特徴と言えます。弱者に常に寄り添い、インクルーシブな社会を目指して全ての政策を包括的にこの価値を適応するようにしてほしいです。「福祉」「女性」「子ども」だから「人権」のではなく、総合計画全てにこの人権尊重の価値をベースラインとして捉えてほしいと思います。</p>



252	<p>・災害避難所について。阿佐ヶ谷再開発の説明会で避難所のことを意識するようになったが、ハザードマップを見てみると、ほかの地域でも避難所が浸水地域のところがある。私の場合は「井荻小学校・荻窪中学」は善福寺川沿いにあり、荻中は今でも大雨でグラウンドが浸水している。地震対策は当然必要だが、大雨は毎年、これからどんどん激化することが予想される。大雨洪水についての避難対策を急ぐべき。河川改修や貯留槽などのハードの完成を待っている場合ではなく、まずすぐにできるソフトの変更・検証を急いでほしい。</p> <p>・その上で、水害については「グリーンインフラ」の考え方が必要。ムリに地下貯水をするのではなく、浸水地帯の公園化や開渠の貯水を進める方法が現在は環境保全の上からでも重要である。本件については公園の項目で再度記述する。</p> <p>・避難所・災害計画に「女性視点」はたいせつ。これはなにかの説明会のときに参加者からも「防災対策の会議に女性を半数にしてほしい」とあり、現状は「消防署長」などの「長」がつく人が男性ばかりなので、難しい、と回答された。しかし区長からは「長」でなくても会議に入れることを検討できないか、という意見もあり、期待をしている。避難所などでのセクハラや女性向けのファシリティの貧困などは全国で指摘されている。いざ、災害になる前にきちんと体制を整備してほしい。</p> <p>・今年に関東大震災 100 年であり、朝鮮人虐殺のことが多く話題になったが、杉並区の展示に対し、レイシズムを持った区議から差別発言をとまなう質疑がなされた。また区長のツイッターで「災害時に差別的なデマを流さないようにしましょう」ときわめてまどうなことが言われたのにも、区議からの抗議があった。このような状態では誰もが安心して避難できる杉並であるとはいえない。これも災害が発生してからでは遅い。日常からヘイトやミソジニーをなくすことも、災害対策としても必要。別項で再度記述。</p> <p>・木密解消も、耐火工事の予算をつけることは当然だが、住民に対して現状変更を強いる、最悪立ち退きのようなことになる道路拡幅などは、逆に生活破壊につながりかねない。手動式のポンプの拡充など、狭隘な住宅地のままでできることを細かく積み重ねるのが現実的。狭隘道路も悪いことのように言われるが、車が入れない住宅街は交通事故や騒音から守られる。視点の転換も必要。</p>
253	<p>「こども」</p> <p>施設再編の項目でぜひ取り入れてほしい重要な基本的理念として「子どもの施設を子どもの施設で置き換えない」「玉突き施設移転はやめる」「機能移転という言葉を経々しく使わない」「こぼれ落ちる子どもたちの声を丁寧に拾う」ということをすすめて下さい。</p> <p>「区長への手紙」という仕組みがありますが、これを工夫して、子どもたちが書きやすいように簡単な言葉で、LINE やショートメッセージなどでもアクセスできるような多数のチャンネルで展開して下さい。例えば、給食の牛乳のパッケージに届いた意見と応答を掲載するとか、子どもの権利について記載するとか、子どもが政治や日々の暮らしに意見ができるという実感を持てるようにして下さい。保育の質の向上は喫緊の課題です。保育士の待遇を改善し、親（大人）の働き方改革を進め遅くとも 20 時には親が帰宅できる社会を杉並から企業と連携して作りたいです。</p> <p>「学び」</p> <p>不登校児童の増加は学校が息苦しい管理の行き過ぎた身動きが取れない環境だからです。教員あたりの子どもの数を減らし、建て替える学校は設計計画から子どもの声を聞き、多様な学びを確保して下さい。安全を確保しつつ地域に開かれた学校を目指したいです。</p> <p>教員の働き方改革といってまた教員の仕事を増やすのではなくクラス単位の子どもの数を減らせばそれだけで子どもへのケアが増えます。まず教育の質を上げるために教員が子どもに寄り添えるような時間と空間を与えて下さい。</p> <p>以上</p>
254	<p>防災対策についてです。・現在、大地震発災時の区民の避難場所は、広域避難場所は公園又は救援所は主に学校となっております。</p> <p>しかし、公園は管轄がみどり公園課、学校は教育委員会となっております行政の縦割りの構造に阻まれております。</p> <p>例えば、公園にはマンホールトイレやかまどベンチがありますが、倉庫の鍵を開け資機材を出して使えるよう</p>

	<p>にするには</p> <p>誰がどのように運営するのかの道筋が見えません。かまどベンチについては資材はあるけれど火をおこす燃料（薪や炭や着火剤）がありません。</p> <p>救済所としての学校は教育の場であるので一日も早く教育の再開を目指すとの事で、校舎の使用の制限があります。</p> <p>防災については防災課が管轄されていますが上記各管轄との溝があり遠慮を感じます。ペット同行避難についてはまた保健所が管轄となっております</p> <p>こちらも予算など別立てなのか最低限の初動の資機材の配置も数年かけてと聞いていますが、これもおかしな話だと思います。</p> <p>各々がバラバラでやっているのではなく関係管轄部署をコーディネート、統括し進めていかなくてはならないと思います。</p> <p>・救済所の連絡会役員の仕事の中に、要配慮者対応で安否確認がありますが、かなりの負担だと思います。確認する側の負担を軽減する為、無事で助けが必要でない家庭は黄色いタオル等を掲示するよう自治体で配布されている所があります。杉並区も導入して欲しいです。ギリギリになってしまいましたので、申し訳ありませんがひとまずこの2点お願い致します。</p>
255	<p>自分は幼少期から杉並区で育ちましたが、児童館にはとてもお世話になりました。</p> <p>学校帰りにふらりと行って、備品などを使っての工作や読書などが出来る場所は当時から貴重で、児童館の先生の監督の元で安全確保され遊べたりする場所は他に替えが効かなかったと思います。それに、様々な世代の児童・生徒が利用するので、学年やクラス、学校の縛りを越えた交流があり、クラスなどで行き場がない子にとって掛け替えのない居場所になる事もしばしばでした。</p> <p>また、自分の実家は決して裕福ではありませんでしたから、家庭で色々体験をさせたいとしても限界がありました。しかし、児童館という場で、工作や簡単な調理、休日には遠出しての魚釣りなど、先生方が見守る中で様々な経験が出来て、自分にとっても多くのことを身につける事が出来ました。家庭の貧しく余裕が無くとも、様々な体験をほぼ無償で提供できる場なんて他にありませんでした。</p> <p>大人がしっかり見ていながらも自由度が高く使える場所という意味では、学習が主目的になりがちな学童保育で賄えるものではなく、備品や図書の管理の点から放課後に学校の一角を使ってできるものではありません。</p> <p>かつての児童館が現在、子育てプラザとしてのみ使われているケースが多いですが、今利用している乳幼児たちが大きくなって利用できるように、多世代で使えるようやはり児童館として運用してほしいです(乳幼児向けだけでなく広すぎる建物ではないでしょうか?)。世代間での断絶をしない事によるメリットだってあるはずです。</p> <p>周辺住民から存続してほしいという意見が多数出ながらも、田中前区長時代に決まった事を理由に見直しすらされず廃止されようとしている現状を如何なものかと思えますし、かつての様に学区域に一つ(=児童が歩ける範囲)児童館がある体制にして欲しいと思います。</p>
256	<p>・総合計画バブコメが1000字ずつしか送信できず、0時をまわって締め切られてしまった。とにかくこの1000字というのはひどい。面倒だし、こんな膨大な総合計画を出しておいて、区民には1000字とは。間に合わなかった分2通をこちらに送信しますので、できればバブコメ扱にしてください。そして字数に関しては即時の改善を。</p> <p>[施策11みどりについて]</p> <p>・みどりが「減少している」とはっきり認めているのはよい。正しい現状認識からしか、改善はない。</p> <p>・p.68でみどりを増やすために「屋上・壁面緑化」を入れているが、これは樹木伐採で批判されている東京都をはじめ、再開発でよく言われる「みどりの創出」である。こうしたやり方で緑被率をみせかけだけ増やすのはグリーンウォッシュではないか。</p> <p>・もともと山林ではない杉並区において、屋敷林に着目するのは正しい。しかし阿佐ヶ谷の「櫓屋敷」伐採が大きく批判を浴びたが、数年後の現在、外苑などの問題が注目されていて、市民の意識はさらに高くなってい</p>

	<p>と思う。今なら許されることではなかった。相続対策などで屋敷や果樹園などを寄贈し「いこいの森」にするケースがあるが、これを積極的に増やしていくべきだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優先整備路線の道路事業により、大径樹の破壊が懸念されている。高円寺 221 号線は屋敷の大木が伐採予定とさく。阿佐ヶ谷の 133 号線は貴重な自然である善福寺川緑地に近接している。西荻窪 132 号線では、東京ガスの移転で大きな土地が出て、公園のない西荻北 5 丁目に防災緑地をつくるチャンスだったのに、スーパーになった。しかもその設計が緑地などを持たず、通行人や買い物客のくつろげる空間づくりをしていないため、まったく周辺環境に寄与していない。民間の事業ではあるが、こうした設計に自治体として規制をかけられないのか。</li> <li>・大規模な緑地や土地が出たときには、公園として取得できないか、あるいは児童館などの施設と公園を一体として設置できないか、積極的に検討すべき。とにかく緑も公園も足りない。旧区政では公園をつぶして保育所を建てていたが、そうした減少分も取り戻す必要がある。</li> </ul> <p>[介護について]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・p.95 の介護家族の項目がわずか 1/3 ページなのは、当事者としてがっかりしたし、不安を感じる。介護サービスだけではなく、こころのケアや経済的支援、経済面での相談窓口などを充実させてほしい。このサービスにしても定額であっても有料だし、わずかな「いきぬき」ではもう耐え難い人もいることをわかってほしい。総合計画では不十分なので、今後の施策の充実を切に求める。</li> </ul> <p>[施設再編について、施設マネジメント計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画 p.108 に「子どもの意見表明」がある。10/22 の阿佐ヶ谷の説明会で、杉一小の在校生から「その場にいない大人が決めないでください」とすばらしい意見表明があった。杉一小の移転のことだけでなく、児童館・公園についても不合理的な変化によって使いにくくなっていて、かわいそうだった。P.114 の施策 19 でも「新たな居場所づくり」とあるが、本パブコメの冒頭にも書いたが「新たな」ものの前に、今あるものをなくしていいのか、を検討しないと、現在使っている人たちが困ってしまう。施設再編は旧区政で強引に押し進められ、多くの区民がすでに集会や遊ぶところを失って、切実に再考を要求しているところである。</li> <li>・冒頭に書いたように、7 地区という大きな枠組みにこだわらず、もっと細かい地域で見てほしい。施設というものは、近くにあって簡単に利用できないと意味がない。多目的の大きな立派な施設があっても、特に子どもや高齢者には行くことができないし、勤労者も移動時間が取れないであろう。小さな施設を街ごとにたくさん。これがこれまでの施設再編などでの区民の声の結論ではないだろうか。</li> <li>・もちろん施設使用料の値下げも考えてほしい。施設をハコモノに限定せず、空き教室や空き屋・空き店舗の借り上げなど柔軟に考えることで、小さく、たくさん、は実現できるはずだ。</li> </ul> <p>[最後に]</p> <p>岸本区長は「フェミニスト・シティ」を掲げて、総合計画にも「しなやかな」といった考え方を盛り込もうとしているのはわかった。それがどこまで実現できるか、個別の施策にしっかりと反映させてほしいし、その妨げとなるような旧来の考え方や、計画をきちんと検証しながら改革していつてもらいたい。掛け声倒れにならないように。</p>
257	<p>「これまでは、区が定めた方針に沿った計画案を提示し、パブリックコメントや説明会などを行った上で計画を決定していましたが、施設利用者や地域住民の皆さんなどの参画による計画作りを推進する観点から、新たな計画の方針の下、計画案を策定する前段階で施設利用者や地域住民の皆さんなどと共に課題を共有し、どのような施設を整備していくべきかを考えていきます」とのこと、今後の進め方に期待しております。</p>
258	<p>杉並区総合計画、杉並区実行計画（第 2 次）</p> <p>①施策 4 地域の魅力あふれる多心型まちづくり では、次の二つの実行計画に問題がある。</p> <p>2 駅周辺まちづくりの推進 の 阿佐ヶ谷駅周辺まちづくり-まちづくり方針に基づく取組の推進</p> <p>3 地区計画等によるまちづくりの推進 の 阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画-取組の推進</p> <p>では、いずれも、その前提である「杉並第一小学校の現在地と河北病院の現在地などを換地する計画事業（阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業）」に、不公正な価格による換地により杉並区の財産の棄損が起る可能性があるため、この点が明確になるまで推進すべきではない。また、杉並第一小学校の保護者からも小学校の</p>

移転に反対する意見が大きいのであるから、小学校の移転に関する合意ができないまま推進すべきではない。  
②施策 5 人々の暮らしを支える都市基盤の整備 では、施策の現状と課題 で「まちづくりは、行政だけで実現できるものではなく、区、区民及び事業者の協働により実現していくものです。このため、まちづくりに関する具体的な計画段階からその実現段階まで、区民の参画を基本とし、対話を大切にしたいまちづくりが求められています。」と課題が述べられている。しかし、次の実行計画には問題がある。

3 都市計画道路の整備 では「事業着手している西荻窪の補助第 132 号線(事業認可区間)及び高円寺の補助第 221 号線は、区民との合意形成を図りながら事業を進め」と記載しながら、計画には、補助第 132 号線について、「物件調査・用地折衝」が記載されている。補助第 132 号線は、接続している事業未認可部分との整合性のある整備がなされなければ、まちづくりができず、まちを破壊する乱開発がなされてしまう。この点から、区は、接続している事業未認可部分との一体的な計画が策定されるまで、事業認可区間部分の工事を凍結することを明確に公表すべきである。いずれも「対話を大切にしたいまちづくりが求められています。」という自ら設定した課題の解決に反するものである。

③施策 11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成 では、施策の現状と課題 で「区内の公園面積は増加していますが、区民一人当たりの公園面積は横ばいとなっています。みどりを増やし、災害に備えたオープンスペースを確保するために、更に公園整備を進める必要があります。」と記載されており、

5 水辺環境の再生・創出 では、「区内河川施設を適切に管理することによって、安全で快適な河川環境を確保します。また、区民とともに多様な動植物が生殖・生育・繁殖できる潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図るため、善福寺川においてシンポジウム等の普及啓発事業を実施します。」と記載されている。ところが、東京都が進めようとしている河川第 8 号善福寺川(善福寺川上流調整池)計画案は、樹木の伐採などにより善福寺川緑地の環境を大きく破壊するものであるから、区はこの方針に基づき、善福寺川緑地を保全するために、この東京都の計画の実施に反対するという意見を東京都に提出すべきである。

④施策 24 身近に活用できる教育環境の整備・充実 の

2 区立小中学校の増改築 では、「※杉並第一小学校の改築を進めていく前提として、これまでのプロセスや今後の取組に関する情報を可能な限り提供し、区民の理解と納得が得られるよう取り組んでいきます。」と記載されている。現状では、現地での改築ではなく移転が計画されており、移転の前提である「杉並第一小学校の現在地と河北病院の現在地などを換地する計画事業(阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業)」に、不公正な価格による換地により杉並区の財産の棄損が起こる可能性があるため、この点が明確になるまで推進すべきではない。また、杉並第一小学校の保護者からも小学校の移転に反対する意見が大きいのであるから、実行計画に含めるべきではない。

杉並区協働推進計画(第2次)

方針 2 区と地域団体等による課題解決に向けた協働の取組

区民参加のまちづくりの推進

「まちの将来像の実現に向けて、まちづくり協議会・まちづくり団体等との連携・協力を図ります。また、より多くの区民のアイデア等を取り入れるために公民連携プラットフォームを活用する等、情報発信や対話を大切にしたいまちづくりに取り組んでいきます。」と記載されているが、関連する二つの実行計画に、次の問題がある。

①(実行計画)施策 4 地域の魅力あふれる多心型まちづくり

2 駅周辺まちづくりの推進 の 阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり-まちづくり方針に基づく取組の推進

3 地区計画等によるまちづくりの推進 の 阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画-取組の推進

では、いずれも、その前提である「杉並第一小学校の現在地と河北病院の現在地などを換地する計画事業(阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業)」に、不公正な価格による換地により杉並区の財産の棄損が起こる可能性があるため、この点が明確になるまで推進すべきではない。また、杉並第一小学校の保護者からも小学校の移転に反対する意見が大きいのであるから、小学校の移転に関する合意ができないまま推進することは「対話を大切にしたいまちづくりに取り組んでいきます。」という方針 2 に反するものであるから、これらの取組を推進すべきではない。

① (実行計画)施策5 人々の暮らしを支える都市基盤の整備

3 都市計画道路の整備 の

事業着手している西荻窪の補助第 132 号線(事業認可区間) の 補助第 132 号線

物件調査・用地折衝 は、接続している事業未認可部分との整合性のある整備がなされなければ、まちづくりができず、まちを破壊する乱開発がなされてしまう。この点から、区は、接続している事業未認可部分との一体的な計画が策定されるまで、事業認可区間部分の工事を凍結することを明確に公表すべきである。

杉並区デジタル化推進計画 (第2次) について

方針2 行政内部のデジタル化による効率化の推進

(3) 外部人材の活用、デジタル人材の育成

「デジタル戦略アドバイザー」だけではなく、CIO補佐官を置くべきである。三鷹市は、CIO補佐官を置いている。

杉並区区立施設マネジメント計画 (第1期)・第1次実施プラン

① 第3章 基本方針・視点 (2) 計画の基本方針・視点で、計画の基本方針として、

1 区民等との対話による取組の推進

2 まちづくり・地域づくりの視点による取組の推進

の二点が明確化されたことは評価される。しかし、具体的な計画のうち、杉並第一小学校の移転改築については、対話が不十分で、住民との合意ができておらず、それを前提とする、まちづくり・地域づくりの視点による取組とは言えないので、計画を推進すべきではない。計画に記載されている通り推進するのであれば、この基本方針・視点に従って進められない事例となってしまうと考えられる。また、第4章 検討や取組の進め方

(1) 計画策定プロセス の記載内容にも反する進め方である。現在は、杉並第一小学校の移転改築の前提である「杉並第一小学校の現在地と河北病院の現在地などを換地する計画事業(阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業)」が仮換地の状態であって、計画変更が十分可能なのであるから、計画策定プロセスの記載に沿った、最初の進め方とすべきである。

②第5章 施設の課題 (1) 主な施設の課題と今後の方向性 2 児童館、学童クラブ、子ども・子育てプラザの 課題と今後の方向性では、これまでの児童館の廃止の方針に問題があったことを認めて、「(仮称)杉並区子どもの居場所づくり基本方針」を策定することとし、「児童館等の今後の方向性についてはその基本方針の中で明らかにしていきます。」と記載しているが、区民に分かりやすいよう、「基本方針策定までは、現在の児童館は廃止しないこと」を明確に記載すべきである。

③第5章 施設の課題 (1) 主な施設の課題と今後の方向性 4 地域区民センター、区民集会所、コミュニティふらっと等 の「課題と今後の方向性」の<区民集会所、区民会館、コミュニティふらっと>では、廃止された児童館や、ゆうゆう館の「機能が概ね継承され」と記載する一方で、「高齢者にとっては、高齢者専用施設の方が気軽に利用できるなど不安 や不満の声が寄せられてきました。」とも記載している。さらに、5 ゆうゆう館、高齢者活動支援センター の「課題と今後の方向性」の<ゆうゆう館>では、今後、ゆうゆう館を廃止してコミュニティふらっとに機能継承するだけでなく、ゆうゆう館の新設なども可能であることが明確に記載されていない。これまでのコミュニティふらっとへの再編の問題点は、高齢者にとって、専用施設が必要なのか、共用施設でも十分なのか、という問題であり、地域ごとの選択に任せればよい、というものではない。子どもの居場所についての意見をまとめる必要があって基本方針を策定するのであれば、高齢者の居場所の基本方針も策定すべきであり、その策定までは、現在のゆうゆう館を廃止しないことを明記すべきである。この点から、(2) 地域ごとの施設の課題 4 阿佐谷地域 で、②ゆうゆう高円寺南館について「暫定的に高齢者の活動場所等として活用します」と記載されているが、廃止しないことを明記すべきである。

④第5章 施設の課題 (2) 地域ごとの施設の課題 4 阿佐谷地域 ①杉並第一小学校では、「杉並第一小学校等施設整備等方針」(平成29年(2017年)5月)に基づき、近隣の総合病院の移転後の敷地に移転改築する予定です。」と記載されている。しかし、その前提である「杉並第一小学校の現在地と河北病院の現在地などを換地する計画事業(阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業)」に、不公正な価格による換地により杉並区の財産の棄損が起こる可能性があるため、この点が明確になるまで推進すべきではない。また、杉並第一小学

	<p>校の保護者からも小学校の移転に反対する意見が大きいのであるから、小学校の移転に関する合意ができないまま進めるべきではない。したがって、第1次実施プランの「具体的な取組」からも削除すべきである。</p> <p>⑤第5章 施設の課題 (2) 地域ごとの施設の課題 4 阿佐谷地域 では、第1次実施プランの「具体的な取組」の④【区立児童相談所の整備】に「○阿佐谷南児童館等の建物を解体し、令和8年(2026年)11月の開設に向けて区立児童相談所を整備」と記載されている阿佐谷南児童館の移転等について、第1次実施プランを含めて、まったく記載されていない。建物の解体によって、どこに、どのように移転・改築されるのか、明示すべきである。</p>
259	<p>岸本区長の選挙公約の中に「都市農業」という文言が入っていたかと思います。Food Justiceを具現化する政策として、近年世界的に注目されているものであります。イギリスの事例ですが、トッドモーデンという小さな町でIncredible Edible Todmordenという試みがなされております。町の中の空いているスペースに野菜を育て、誰でもがそれを採取してよいという試みです。足立区には都市農業公園があります。誰でもがぶらっと訪れ、農作業を手伝うこともできる畑と田んぼがあります。日本の食料安全保障は危機的です。地方自治体から変えていく試みとして、杉並区においても都市農業を提案したいです。杉並区の総合計画・実行計画にもなじむものであると言えます。</p> <p>方針として以下を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育てるのは野菜</li> <li>・ 参加の資格は問わない</li> <li>・ 柵で囲わない</li> <li>・ お金のやりとりをしない</li> <li>・ 産物は食料に関する困難を抱える人たちへ直接、あるいはその人たちを支援する団体へ</li> <li>・ 収穫物を用いた食事会の開催</li> <li>・ 将来的には、必要とする人が直接畑から収穫できるようにする</li> <li>・ 必要な用具(手袋や長靴、スコップ、はさみ、袋等)は自分で用意する</li> <li>・ どんなに小さなスペースも活用する</li> </ul> <p>都市農業には、主として以下のようなメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境保全や食料主権の大切さについて学ぶ場になる</li> <li>・ 人が集まる場所になる</li> <li>・ 生産の場になる</li> <li>・ 生きるスキル(食や農業に関する知識、調理法など)を分かち合う場所になる</li> <li>・ 人と人をつなぐ場所になる</li> <li>・ 都市景観が整う</li> <li>・ 区政に関心をもつきっかけとなる</li> <li>・ 異世代間交流(高齢者と子どもなど)が促進される</li> <li>・ 海外からの移住者など、言葉が通じなくても参加できる</li> <li>・ 異なる年齢と背景を有する人びとが集まり、異文化を学ぶ場になる</li> <li>・ 蒔く、つくる、育てる、収穫する、調理、食べる、といった各過程の楽しみ方がある</li> </ul> <p>杉並区にできることとして、以下のことが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区内で畑として使用可能なスペースを提供する。</li> <li>・ 必要な資材(添木、ネット、ロープ等)の準備</li> <li>・ 苗や種の購入</li> <li>・ 必要な道具(鍬、ハサミ、)の貸し出し</li> </ul> <p>※以上は、年間約20万円程度の予算で十分いけるのではないかと思います。</p> <p>小さくてもできることからやってみると、大きな成果を生み出せると思います。</p> <p>以上。</p>

260	<p>以下は「杉並区立施設マネジメント計画（第1期）・第1次実施プラン」（以下、マネジメント計画）の冊子ページを示しつつ意見を書く。</p> <p>1, P.9 取組を進める上での7つの視点について</p> <p>①多様な主体との連携 について</p> <p>子どもの居場所・様々な発達支援・自主運営の支援などや、高齢者の居場所・生きがい・健康増進を図る教育と福祉に関する施設を民間に任ず場合は、常に区の所轄が、職員の雇用条件・資格を有する場合のチェック・施設に対する利用状況の把握などをすべきである。</p> <p>営利団体にはこれら教育と福祉に関する施設は運営させるべきではないのではないか。なぜならば、営利団体は営利を追求するがゆえに採算が取れない場合はすぐに撤退する。教育と福祉に関する施設は、各地域に利用者がある限り、備えるべきと考えるからである。</p> <p>2, P.11 第4章 検討や取組の進め方</p> <p>今回、計画策定の前段階から、区民参画による検討をプロセスの始めに入れた事は評価する。</p> <p>計画策定後の進め方については、従来のように「外部のファシリテーターを使って、参加者には付箋に問題点を書かせ、それをファシリテーターが分類して要約する」というやり方は見直して欲しい、何故ならば、参加者や行政担当者の中で討議を尽くすことで明らかになる対立や、理解・歩み寄り、新しい視点の発見などが生じなくなってしまうからだ。その上、ファシリテーターを使った場合は「やらされた感」が残り、主体性・自主性を感じることができない。せつかく顔を突き合わせて時間を共有しているのだから、話し合いを尽くして結論まで至る手続きを保障して欲しい。そうでなくては、改定する意味がない。</p> <p>3, P.15 (3) 地域に実情応じた解決策</p> <p>「施設の更新に当たり、現在の用途まま改築するケース」を認めた点は前区長が「児童館とゆうゆう館を廃止する」と一方的に決めた事に比べ、評価に値する。しかし、教育と福祉に関する施設を用途転用や複合化すると地域が決めた場合にもその通りに施設を変えていく場合には懸念が残る。</p> <p>ひとえに、決定のプロセスに関わるのである。つまり 2 で書いた従来のファシリテーターが進めるやり方が残り、采配を振るってある方向に誘導された場合に、件の教育と福祉に関する施設を必要とする人々の声が小さかったり、少数だったりしてその声が反映されない場合を慮る。教育と福祉に関する施設は利用者が少数であっても、それぞれの地域に必要なからだ。</p> <p>したがって、各地域でたとえ合意があっても無くしてはいけない施設を区民でこれから議論すべきと考える。</p> <p>4, P.22~23 児童館、学童クラブ、子ども・子育てプラザ</p> <p>本文中で子供の居場所に対するニーズの多様性に従来の児童館は対応できなかったというような内容が書かれている。そして、アンケートや意見交換をして、児童館機能は再編された、子ども・子育てプラザや放課後居場所、学校内学童に引き継がれたと書いているが、ベースとなったアンケートは元児童館利用者や再編後の制度を嫌って利用していない子どもには行われていない。データに不備のある物だ。</p> <p>そして、前区長の児童館廃止方針の元、多くの利用者である子どもたちや保護者が存続を切望していたにもかかわらず、有無を言わず「潰された」現実がある。今までに潰された14館は、利用者の実情に潰されたわけではない。西荻や善福寺地域では中高生の運営に携わる子どもたちが涙ながらに「潰さないで」と訴えたが全く無視して杉並区は潰した。必要な施設であるにもかかわらず。</p> <p>この現実を直視した上で、潰した児童館を必要とする地域には復活させるべきだ。「児童館ならではの特性の視点等」という「児童館機能の承継」と同じような、じどう教育と福祉に関する施設案利用者を騙すような、言いくるめるようなやり方は止めて欲しい。</p> <p>子ども・子育てプラザも放課後居場所も学校内学童も否定はしない。が、児童厚生という資格を有し「プロの目」を持って子どもたちに乳幼児から18歳まで対応する大人がいて、しかも異年齢の子ども達が一緒の場に居て小さい子の世話や運営も学んでいく児童館は、各小学校区に一つを保障して欲しい。地域によっては、児童青少年センターになっても良いと思うが。</p> <p>それと、子ども・子育てプラザは十分使われていない地域もあるとも聞く。そして、元児童館だった建物だ</p>
-----	---

	<p>ったところでは、行き場を失ったこともが地域唯一の小さい公演をめぐる争奪戦になっているとも。これらの事も調査して欲しい。</p> <p>5, P. 31 ゆうゆう館</p> <p>ゆうゆう館の夜間稼働率の低さが問題かのような書き方をしているが、知り合いの NPO 法人が管理しているゆうゆう館では、夜間を目的外使用として貸し出し、かなりの稼働率になっているという事だ。ともかく、ゆうゆう館の目的は高齢者の居場所・健康増進・生きがづくり、そして交流の場としての役割があり、昼間の利用は結構な倍率と聞く。それぞれのゆうゆう館では、利用者の多くは徒歩で訪れているようだ。</p> <p>ゆうゆう館も潰されコミュニティーふらっとに変えられてしまった。ここも、前区長が廃止方針を掲げて潰していったのであって、不要だったから無くなったのではない。ゆうゆう館設立の目的からすると「健康長寿」を維持増進することにあり、健康保険や介護保険の増え続ける支出を抑えている効果があったのではないかと思う。</p> <p>今後、独居老人が増えていく中で、高齢者施策は「誰も取りこぼさない」視点が必要となると思う。そのための拠点はケア 24 と並んでゆうゆう館がなるのではないかと思うがどうだろう。</p> <p>6, P. 64 荻窪地域施設の課題 旧若杉小学校</p> <p>躯体調査後の本格活用については、地域の意見を一方的に聞くだけでなく、地域の活用に興味のある区民を公募して活用を考える会（協議会なり委員会）で検討し、その都度公表して、より多くの意見でブラッシュアップして、どのような施設にするか決めていって欲しい。</p> <p>その時に、児童館、自動青少年センター、そして杉並区にはないがヤングアダルトの施設も備えて欲しいと思う。無くなってしまいう予定のゆうゆう天沼に代わる施設も。そして、女性施策が貧弱な当区にあっては、充実した・ゆう杉並と分け合うのでない女性センターも入れて欲しい。</p>
261	<p>① 「杉並区総合計画」等の改定等案について意見募集について</p> <p>1. 「杉並区総合計画」等の改定等案自体がそもそも何なのかわかりづらい。地域説明会に行ったが今までの区政を知らないと文脈が分からないので重要性が理解できなかった。共産党区議団の説明会に行ってやっと背景が理解できた。情報周知の方法をもっと工夫する必要があると思う。</p> <p>2. 区のウェブサイトのページ（「杉並区総合計画」等の改定等案についてご意見をお寄せください）がわかりづらすぎる。超長文 PDF をダウンロードしないと情報を得られないのは非常に不便。超長文 PDF をダウンロードという形式ではなく、ウェブサイトを見れば必要な情報が得られるようにしてほしい。このページだけではなく全体的に言えることだが、もっと見やすいウェブサイト作りを考えてほしい。PDF 書類をアップロードしただけというのは工夫がなさすぎる。せつかく広報すぎなみ</p> <p>11/2 臨時号が割と見やすいのに、同じページに載っていないのはもったいない。公式 YouTube にもせつかく地域説明会の動画がアップされているのに、同じページに載せないのはなぜなのか。</p> <p>3. パブリックコメント入力フォームも、データの意見提出用紙も、「どの計画案に対してのご意見なのかを次の中から1つ選択してください」とあるが、計画案が膨大すぎて、どの意見がどの計画案なのか判別するのが困難すぎる。一回に一つしか選べないのは煩雑すぎる。複数の項目に意見があったら何度も送らないといけないということなのか？</p> <p>4. 区がパブコメを募集していることを区民が全然知らない。SNS を活用するなどしてもっと周知徹底に努めてほしい。忙しい区民も区政に参加できるよう、とにかく情報周知と情報の分かりやすさと情報へのアクセスのしやすさに工夫をこらしてほしい。</p> <p>② 防災・防犯について</p> <p>1. 災害が起こって避難所が開設されると、性別問わず同じスペースに入れられるが、災害時は性犯罪が多発することが分かっているので、女性・子供が性犯罪から守られるようあらかじめ計画を立ててほしい。男性が入れない、外から見えない女性子供専用スペースの確保、トイレの防犯対策などをどの避難所にも設置してほしい。</p>



	<p>2.</p> <p>避難所の責任者が男性ばかりで生理用品やおむつなど女性・子供のニーズが疎かにされるケースが多発したという報告があるので、責任者のジェンダーバランスを男女同数にしてほしい。</p> <p>③ 子ども 施策18について</p> <p>1.</p> <p>教員の労働環境が悪いと子供の権利がないがしろにされかねない。教員の長時間労働、過重労働を減らしてほしい。先生でなくてもできる業務は人員増員、部活の地域移行などで簡単に対応できるはず。</p> <p>2. L G B T Q+の子供たちの権利が守られるように、教員に研修を受けさせてほしい。正しい知識がなく理解のない教員が多く子供が傷つく。</p> <p>3. L G B T Q+の子供たちのためのサードプレイスを区内に作ってほしい。</p> <p>4.</p> <p>地域説明会で教育相談にボランティアが参画するという説明を受けたが、教育相談は専門的な知識や経験が必要で下手な素人が関わると教員の負担が増える。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門性の高い人材を教育現場と保護者が活用しやすいようにしてほしい。</p> <p>④ 施策14 男女共同参画の推進</p> <p>1.</p> <p>男女共同参画という言葉が適切なのか検討してほしい。ジェンダー平等などの言葉のほうが適切なのではないか。「男女」だけに限定すると漏れるセクシュアリティの人たちがいる。</p> <p>2.</p> <p>男女平等推進センターが荻窪にあるが、駅から遠いし狭くて衝撃。開催している講座も年間5講座は少なすぎる。他の自治体の男女共同参画センターがかなり充実していて、比較すると相当遅れを取っていると思う。</p> <p>3. DV相談を拡充させてほしい。国立市みたいな総合的なDV相談施設を作ってほしい。</p> <p>以上。</p>
262	<p>施設再編</p> <p>これまでの取り組みの検証、対話による取り組みに大変期待しています。区民はこれまで行政の進める計画や施策へ意見ができなかつた思い込んでいました。しかし岸本区長になってから、「対話」「意見を自由に出す」「議論することから新しいアイデアが生まれる」という経験をしました。また、選挙を通して自分達の小さな行動が政治を変えることができると少しずつ実感しています。</p> <p>これを良いチャンスとして、これからのまちづくり、地域のことを地元の人たち、若い人たち、多様な人たちで対話や議論を通じて考え、課題を出すところから区と区民で協働で取り組みたいと考えます。</p> <p>そのはじめの一歩として「子どもの居場所」の検討会議は非常に重要な役割を果たすと思います。これまでの杉並区の大切な文化と伝統を繋いできた児童館の機能は「プラザ」「放課後事業」「学校内学童」では継承されていないということが既に多くの児童館が失われた地域の人々から訴えられています。この点をもう一度よく調査して公開し、子ども当事者の声を大切に居場所の検討を進めていただきたいです。100年先の未来のために恥ずかしくない子ども子育ての文化を残したいと考えています。</p> <p>環境やまちづくりと連携させ、グリーンで緑を大切に施設、詰め込みや時間に縛られない誰でも自分らしくいられるサードプレイスを多くの子どもたちに提供したいです。杉並区の子どもたちには子ども時代を思い切り遊び、悔いなく過ごして大人になってほしいです。</p> <p>具体的には児童館が廃止された善福寺と西荻北地区に子どもの居場所、遊び場を確保し、阿佐ヶ谷北東の開発は一旦ストップし、児童相談所は児童館で代替するのではなく他のより安全に立ち寄れる場所を買い上げて新たに計画し、高円寺の商店街は文化として保護するように若い世代をもっと管理運営に取り入れてほしいです。公園、緑をこれ以上減らさないようにして下さい。これまで保育園不足解消のため緑を犠牲にし施設を建設しましたがこの考え方はやめて下さい。</p> <p>区政経営改革推進計画 / 杉並区協働推進計画 ・デジタル化推進計画</p> <p>・情報公開をもっとスピーディに進めて下さい。総合計画の全ての横軸に明確な情報公開、デジタル化の基本</p>

	<p>原則に情報公開を明確に記して下さい。現状では（書かれています）十分とは言えず、わかりにくいため区民にアピールできていないと感じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画などこれらの政策を「やさしい日本語」表記で公開して下さい。外国にルーツを持つ人だけでなく子どもやお年寄りなどにもアクセスや意見が期待できます。</li> <li>・区立施設の利用料金をもっと安くして下さい。市民の自主的な活動、共助や地域連携などを促進させるためには地域での顔の見える関係の強化、日々のつながりの場の提供、機会の提供、機運醸成、などが必要です。区民施設などがもっと自由に使えたり地域に若い人たちがたまる「溜まり場」があることが「にぎわい」や「見守り」「誰も取り残されない」社会につながります。</li> </ul> <p>以上 よろしく願いいたします。</p>
263	<p>施策15、16について</p> <p>【計画最終年度の目標】</p> <p>○認知症の方 → 認知症等を患う方、または認知症等を患う方、障がいをもつ高齢者等も であるとより良いのではないかと思いました（施策16にも関連）</p> <p>○冒頭のご説明文にもあります通り、計画最終年度の目標にも 「高齢者自身の ICT 機器活用場面の促進等」も挙げられていると良いのではないかと思いました（想定される場面は高齢者自身の個人情報管理、提供、が自身の選択や決定に基づき行きやすくなる場面、災害時における活用等です）</p> <p>○介護者家族の居場所、集いの場の確保、他者や社会とのつながりを推進が挙げられていると良いのではないかと思いましたがいかがでしょうか。（介護者支援、両立支援、介護予防の視点から：実行計画にも重複する掲載となりましても支える家族のための場などを確保されていることがわかりやすいようにこの章にも掲載をされると良いかと思いました）</p> <p>【目標に向けた施策指標（成果指標）の設定】</p> <p>○地域包括支援センター（ケア24）で、の部分ケア24等でとした方が良いのではないのでしょうか →介護保険制度改正の方向性により、今後居宅介護支援事業所も含まれる可能性が高いことからです</p> <p>【全体を通じて】</p> <p>区民に大変わかりやすく、基本構想の実現に向けた計画等であると感じました。各職能団体、サービス事業者団体も計画と計画実現を意識した方向性をもった具体的な取り組みを行って行くことの重要性・必要性を改めて感じました。</p>
264	<p>児童館の廃止・削減・再編に反対します。現在、私の小学生の子供1人が小学校の学童クラブを1年生まで2年生からは児童館の学童クラブにお世話になっております。もう1人上の子の小学生も1年から3年生まで上記と同じ流れで学童クラブに通いました。さらにその上の中学3年生の子供につきましては最近でも友達と一緒に廃止予定の高井戸児童館で集まり遊んでいるようです。このように子供たちがいつでも気軽に行ける憩いの場所になっていて需要のある児童館を削減する意味が分かりません。また再編計画の根拠になっている人口減少につきましては、高齢化などの理由となっておりますが地方からの転入などが反映されているとは思えません。東京都の人口は増えている状況で杉並区だけ人口が大幅に減るとは考えにくいと思います。保育園・学童クラブの民営化にも反対します。民営化することにより営利目的になり子供主体で運営されなくなる可能性があります。</p>
265	<p>「広報すぎなみ、11月2日臨時号」拝見しました。「総合計画・実行計画」の中で「まちづくり・地域産業」の分野の施策5、及び6に関して別紙記載の提案書を提出致します。検討課題の一つとして取上げていただきたく、よろしく願います。なお、別紙は平成19年7月に交通対策課あて、要望したもののコピーです。その後、実現していないため、この機会に改めて、求めるものです。（別紙）H19. 7. 6杉並区役所交通対策課御中。「南北バス交通」について。先般の区報で「西荻窪～久我山」間の南北バス計画案を拝見しました。本件に関し、次の意見申し上げます。ご検討のうえ実現のほど要望致します。・意見、本ルートを上井草駅方面へ伸延するか、別途上井草～西荻窪ルートを新設する。・意見根拠1. 西武線上井草駅の西隣駅井荻駅及び本隣の上石神井駅は西荻窪への直行バス便あるが、上井草駅は西荻窪のほぼ真北に位置するも西荻窪への交</p>

	<p>通手段がない。日頃、買物や通院・通学等で西荻窪方面へ出る折大変不便を感じている。2. 逆に、西荻窪周辺、特に以南の人達が上井草スポーツ・センター等を訪れる折にはバスで上石神井へ出て、更に、西武線に乗替えて上井草へ向う。時間的にも経費的にも負担である。更に、上井草周辺の高校生徒などにも利用希望あるのではと思われる。3. ルートが長くなると運行時刻のズレが大きくなるとの意見もあるのだが、上井草～西荻窪間は終日交通渋滞はほとんどないので、時間が読める。伸延してもその部分の経費増はそれ程掛らないのではないか。南北間の交通不便解消を目的とする施策であるはずなので当地区対象住民の利便向上を是非考えて欲しい。以上</p>
266	<p>西宮中 - 単体で立替。図書館 - ゆうゆう館、さざんか教室複合。保育園 - 民営化にする。児童館 - 1 時預り所、傷害者施設と複合</p>
267	<p>多世代が利用できる地域コミュニティ施設に賛成です。高齢者と子供が交流することはすばらしいことだと思います。私自身はゆうゆう館でシニア向けの英会話クラスの講師をさせていただいており 16 人の方が参加していますが、地域のみなさんは学習意欲が高く知的好奇心にあふれていてコミュニティが生きがいとおっしゃっています。また 1 F が保育園で校庭で子供たちが元気に遊ぶ声をききながら 2 F で英会話を行っていますが、とてもいい環境だと感じます。多世代の交流は海外でも進んでおりこれからはますます多世代理解や交流をできる時代になって日本人の可能性が広がることを願っています。</p>
268	<p>・区立施設の再編計画について。区民の集会施設等が減少していくので区民が気軽に集まれる場がなくなる。ゆうゆう館は高齢者が自宅近くに歩いていける距離にあることが大切なのです。高齢者がサークル活動やレク活動で交流しあうことで運動機能や認知機能を極力維持していくことを助ける。医療面でも役立つことといえます。児童館が減らされて子どもの居場所が縮小しています。放課後の空き教室などを使った学児クラブより、独立した児童館で専門職のアドバイスなどを受け、異年齢の子どもたちが工夫して交流できることが成長期の子どもたちにとって大変貴重です。阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりについてはにぎわいのある快適なまちをめざすとしているが、駅周辺はそれだけでなく一定のにぎわいはある。阿佐ヶ谷が単なるにぎわいを求めるのでなくにぎわいと落ち着きのあるまちが理想です。駅前失われた緑回復のため移転した病院（河北）跡を緑の公園とすることを望みます。杉一小は現在より低い土地に移転させるべきではない。10年、20年いえ50年100年後でも杉並に住で良かったと言える杉並でいてほしいと思います。岸本区政になって住民の意見を聴く区政になって良かったと思っています。職員のみなさまの努力に感謝です。</p>
269	<p>私の意見。1. 久我山駅前南口に広場をくって欲しい。神田川の上にフタをして広場をつくるのが、差し当たって考えられるが。駅前にタクシーが常駐して緊急時に対応に当るぐらいの広場がほしい。又国学院大学の中学、高校生の通学路でもありますので。2. 農家との提携について。生産緑地を確保して、地産地消を復活させる。昔からの伝統を残して、街づくりに当てほしい。区の産業振興課に都市農業の振興計画を強めて下さい。3. 私のまわり（周辺）は新しい家が次から次と建っています。今迄は1軒の家が建っていたが新しく3軒から4軒建っています。今度は密集した住宅地になっています。親から子供に、世代を継いで住み続けられる住宅地。そうした街があってよいのではないかと。街と環境の良い個性のある街が杉並にあってもよいのではないかと。</p>
270	<p>私がこの土地を手放さない理由。父が赤紙招集でシベリアクリューで大変な思いをして無地帰還しました。元の家は焼失し他の人にとられてしまいました。父はブリキヤなので仕事の都合によりとてもうるさく近所めいわくなので線路の近くなると他少めいわくがかからないのではないかと今の家を大変な思いで買いました。母は私と兄をつれそぼの家秋田にそかいしお金がなかったので製材工場で賃金が高い丸田をかついで働きました。戦争がなかったら、今の土地ではなくこんな思いをしないですむと思いました。すべて戦争が悪い。今この道路を拡張すると交通事故がふえ横断するのも大変だと思います。それに大変なお金がかかるのではないのでしょうか。災害がおきた時につかってももらいたいと思います。今さら安定した生活をおくっているのに81才の年よりがどこへ行ったら良いのでしょうか。ここはとても生活がしやすく近所の人とも仲良く、病院に行くのも買物もしやすく、これからの事を考えると死にたくります。私は最後まで反対します。</p>
271	<p>浜田山会館もケア24浜田山も大事な活動の場所です。浜田山会館をコミュニティーふらっと浜田山にするためにケア24浜田山を移転させるということですが適当な移転先が提示されなくてはどうか、意見を寄せる</p>

	<p>というのでしょうか。以前に高井戸区民センターへの移転を提案されましたが私たちは反対いたしました。その後はなんの提案も区からは伺っておりません。新しく改築される高井戸東保育園にはケア24浜田山を入れる余裕はないと説明を受けているだけです。ケア24浜田山は法律で定められた支援事業です。高齢者だけではなくその介護者のための重要な支援をになっている事を忘れないで下さい。昨今は介護離職も大きな社会問題です。浜田山会館からコミュニティーふらっとへの改修にあたってはケア24浜田山と会館ホール、この二点を残すことを要望いたします。この浜田山会館の実状にあった身の丈の改修工事をしてコミュニティーふらっとになさってください</p>
272	<p>ゆうゆう上荻窪館の解体は2月で終了し、以後は更地のままとなる。一日も早く次の建物を建てて欲しい。ゆうゆう館と集会室の機能を併せた建物を待っています。更地のまま放置することは区民ファーストではない。高齢者にとって不便の限り。活動がますます弱体化している。区長の英断を期待しています。西荻地区の計画はおかしい。区民事務所を西荻南集会所に移した。西荻北児童館を廃止した。集会所の機能と児童館の役割りは全然違う。放課後子ども居場所事業は桃三小の児童の他は少ない。午後6時までたったの3～4時間。幼児はどうするのか。中学生は？児童館と全く違う。見直しを求めます。</p>
273	<p>総合計画等の都市計画道の整備に関する修正提案。今回発表された各「計画案」の都市計画道路整備・まちづくり再開発などについて「都市計画道路の整備」の項目は「区民との合意形成を図りながら」とする一方、「区民生活の防災性・利便性の向上を図るため」「整備に向けた取組を進めます」としている。これでは221号線については矛盾する。そこで以下7点の修正提案をする。(1) 都市計画道路・補助221号線拡張については、拡張対象地域の住民が住んでいる約半分の建物については「測量お断り」「拡張反対」のプレートが貼られるなど、賛否両論が拮抗している。「住民合意」は簡単にできないことを配慮して、「時間をかけ住民の意向を反映させるべく慎重に検討する」と加筆修正する。(2) 「都市計画道路のこれまでの進め方、進めてきた内容について住民、第三者も含めた集団のもとで検証をすすめる」と加筆修正する。区としては、現区長の責任で、前区長のもとで進められてきたこれまでに計画の目的、根拠となるデータ、内容などについて問題がなかったか、道路見直しを公約している区長として一歩踏み込んだ責任ある検証をすすめる。その結果を区民と共有すべきである。(3) 都市計画道路・補助221号線については住民合意で見直すとしているにもかかわらず、今年7月には電線共同溝予備設計委託として500万円で契約している。これでは区としては「計画は見直しするつもりがない」ということになる。そうではないというなら、500万円をドブに捨てることになる。そこで「電線共同溝予備設計委託の契約は留保するなど道路拡張を前提にした拡張関連工事の契約についてはなし崩し的にすすめない」と加筆修正する。(4) そもそも、都市計画道路・補助221号線拡張については住民を追い出してまでつくる必要性がどこにあるのか、その計画内容の正否も明らかになっていない。拡張ありき、ハード偏重の姿勢を改めるべきである。やるべきは「全電柱類の耐震性能を検証」「感震ブレーカーの設置状況」「耐火性能の違いによる建築状況」「消火器の設置状況等」「消火水槽の設置状況」「地域消防団の活動状況」「道路、鉄道、河川、公園などの配置状況」等の具体的な指標を上げて各地域ごとの「出火抑制度」「初期消火能力」「延焼危険度」を目に見えるようにする。その上で、さらに電線地中化はどの範囲でどう進めればその地域全体の住民の命を守る防災効果がどう変化するかを客観的に明らかにできるようにするよう加筆訂正する。(5) 「計画案」では「まちの安全性や利便性の向上を図るため、都市計画道路や区民に身近な生活道路の整備を着実に進めることが重要です」と抽象的な一般論を記述している。補助221号線は、そのような道路ではなく、中野駅周辺の再開発をすすめるゼネコン・大手ディベロッパーへ支援するものである。したがって、都市計画道路については個々の事業ごとに、「何のための都市計画道路であるのか本質的な検証を丁寧にすすめる、区の責任として検証結果を文書として残すものとする」と加筆修正する。(6) 「計画案」で、区民の権利について「施策14」の「人権を尊重する地域社会の醸成」の中に、「行政がすすめる都市計画、再開発事業によって『最期まで住み続けたい』という住民の権利までも侵害していないかどうか」をその「指標」とする加筆修正する。(7) 11月26日夜高円寺南5丁目で火災が起きた。被災者は、着の身着のまま放り出されたにもかかわらず、その夜は避難場所、衣服類、居場所など救済措置は自己責任とされ、ご近所の好意に頼るだけで行政としてケアすることはできなかった。これを教訓に、一般論の名ばかり「防災」、ディベロッパー・建設業者に頼った「まちづくり」から、火災があった場合に区が責任もつ</p>

	<p>て住民をケアできる体制、安心して落ち着ける避難場所を手立てできる体制づくりを計画に加える修正をする。教育に係わる項目に関する修正提案。(1)「さざんかねっと」導入を「学校施設を地域の公共財として一層活用」の前提としている。高円寺学園設立時の関係者による「懇談会」では、高円寺北1丁目には町会館がないことから「高円寺学園内の『開放会議室』を地域住民に活用できるようにする」という合意がされてきたことを加筆修正する。こうした合意があったことを関係者に徹底して「地域住民の活動の場」として有効に活用できるようにすべきである。高円寺北1丁目住民かどうかかわりなく「さざんかねっと」導入を「学校施設を地域の公共財として一層活用」の前提とすべきではない。高円寺学園にかかわる修正提案(1)学校について、築年経過をもって一律に「子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指す」「周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討」としている。前区長の進めた高円寺学園の施設一体型の小中一貫校したことについて、教育への負の影響が指摘されていたにもかかわらず、行政計画としてトップダウンで強引に進められた現状について、その責任を明確にすべきである。「高円寺学園についてはこれまでの計画実施後のマイナスの影響・問題がでていないかどうか、区民が参加する第三者委員会を設置して区民・関係者からの意見をもとめ、それをあきらかにする」と「計画案」に加筆修正する。早急に、施設一体型の高円寺学園内での環境が子どもたちにどのような影響・問題がおこしているのか、特に子どもたちから直接意見を広く求める必要がある。検証できた問題点については改善すべき策を具体的にとるべきである。高円寺学園も同様にすすめられて現状がどうなっているかについて、厳しく責任もってきちんと検証すべきである。</p>
274	<p>区民が健康で安心して暮らせる杉並区を実現するために2つの事をお伝えします。対話を大切にしていくことで必ずすてきな杉並区になっていくと思います。(1)子どもの居場所。子どもにとって遊びはとても大切な営みです。しかし、近所を見ても、ボールを使えない公園、校庭開放は終了してしまった。児童館はコミュニティふらっとになったなど、子どもにとっての環境はけっして良いものではありません。自由に遊べる場は大人がつくらない限りほぼ無い状況です。心が痛みます。コミふらは多世代の交流との事ですが、ラウンジ以外は有料、しかも予約が必要な施設です。子どもはどうすれば良いのでしょうか。児童館は子どもが行きたいなど思ったら、予約無し、お金も必要なく行かれます。学校に行かれていない場合も児童館には行かれる話を聞きます。障がいをもっている子どもたち、私立に通っている子どもたちも自由に遊びに行かれて交流できる場が児童館だと思えます。学校内に児童館機能を移転した放課後居場所は登録制です。学校に行きにくい子ども、他の学校の子どもたちはハードル高いと思えます。地域の子どもの交流の場はやはり児童館だと思えます。0才から18才までの子どもが行きたい時に行かれる大切な場は、小学校区に1館必要です。杉並区の宝です。是非存続、復活をお願いします。☆子どもたちの声を聞くとくみすばらしいと思えます!!(2)高齢者の居場所。ぜひ健康寿命を考えたとりくみを大切にしてほしいです。介護を受ける時期を少しでも遅くできるためには、人との交流、対話、運動などが大切だと思います。各自にできることと杉並区としてできることがあると思います。杉並区としては、ゆうゆう館を是非存続して高齢者が交流できる場を大切にしてください。杉並区として健康寿命を大切に考えて計画をもって行ってほしいです。ゆうゆう館は存続、復活をお願いします。</p>
275	<p>前区長、前々区長時、杉並の多くの施設が廃止されました。はじめて杉並に越してきた時、杉並の充実した多くの施設におどろき感動をおぼえたものです。それがどんどん削られた。いったい、何のために…と思いました。今ある施設もたいへん使いつらくなっているのもたしかです。今計画している削減案をストップし、できるかぎり復活させて下さい。前区政の抵抗もあると思いますが、多くの区民の期待があります。我々といっしょに住みよい杉並のために前に進めて下さい。区長殿</p>
276	<p>私は前田中区長の「総合計画」の強権的な実行に憤っています。区民の声を大事にするという岸本区長に大きな期待を込めて以下の要望をいたします。1. 孤独になりがちな老人が気軽に集える「ゆうゆう館」が田中区政で次々廃止されてきましたが、もうこれ以上減らさないで下さい。2. 同様に減らされてきた児童館もこれ以上無くさず、児童館空白地域に新設をして下さい。3. 西宮中と宮前図書館を一体化する計画があるとのことですが、無駄な出費になりかねません。中止して改修して下さい。4. 宮前図書館横にあった区役所出張所を復活して下さい。</p>

277	<p>私は定年まで杉並区公立保育園で働いて来ました。退職後は中野区の社会福祉法人の保育園で5年間、働きました。(現在70代) 隣区の中野区民ではあっても、岸本区長になってからは区政がとても身近かに感じられるようになり、中野区政にも参考になる施策が多々あるように思われます。山田・田中元区長の区民の権利・福祉をないがしろにして来た区政の歪みを正して行く手腕を区民と共にどのように発揮して行くのかを常に関心を持ち、学んで行きたいと思っています。◎保育行政の充実を。公的保育を守って欲しい。子どもの安全確保、権利保障をして行くためにも、行政の責任において、職員配置基準に上乗せした加配をし、人員不足が一因になって起る不適切保育をなくすよう、現場の声を聞きながら充実して欲しい。◎株式会社運営による保育園増加をストップして欲しい。このような保育園では、人件費の低さが問題になり、保育士の離職率が高く、子どもの安全確保や権利保障が守れない。これらの保育園が適切な運営がなされているのかを定期的に調査・指導を行政の責任において実施して欲しい。◎世代間の交流の場所づくり。私が現役の頃は、小学校区域毎に小学校・児童館・デイサービスセンター敬老館(ゆうゆう館)、保育園の交流が盛んでした。小学校の校庭で園児が遊ばせてもらったり、小学生が職業体験に来たり、児童館には地域の親子に保育士が子育て相談や遊び伝承に行ったり、敬老館・デイサービスセンターを園児が訪問し、ゲームや歌を一緒に楽しんだりと交流が盛んでした。保育園の4、5才児が歩いて行ける距離の所に各施設が存在していたし、併設していた所も多かった。統廃合が進む事により、子ども・高齢者にとっては通所が困難になり、自然に足が遠のいてしまいます。そして、高齢者、子育て中の世代を孤立させないためにも公共施設が寄り合い場所になり、助け合って行けるコミュニティーづくりをして行かなくてはならないと思います。そのためにも各施設の統廃合をストップして欲しい。</p>
278	<p>広報すぎなみの11/2臨時号を読みました。各計画の改定案の全文は区ホームページで見られますとありましたが紙の資料はありますか?もしあれば区役所に取りに行きます。岸本区政になってから生活と政治がつながっていると感じています。私が一番気になるのは11/2の広報9頁の子どもの件です。学童クラブや児童館が具体的にどうなるのか知りたいです。現在小学校高学年以上の子ども達は、友達と遊べる場所が少なくなり、困っているという声を聞きました。公園は幼児が多いそうです。そして、学校内にある学童クラブは、いろいろなきまりが多く、校庭で遊ぶのにも制限があり室内でも静かにと言われる事が多いと聞いています。施策18~21となっていますが何を見れば良いですか?新たな取組みの子どもの意見表明・参画の推進は至急お願いします。杉一小の移転の件ですが、北東地域をふりかえる会で説明を聞き、現在地に残すことはむずかしいとの事ですが、100年以上続いた地域の文化や歴史を継続し守るためにも地権者の方々とは十分な対話をお願いします。河北病院の跡地には絶体移転させないで下さい。</p>
279	<p>(1) 私は今は杉一小移転をどうしてもしてほしくないと考えます。先日日曜日に杉並区役所で開かれた意見はすべて移転反対でした。特に杉一小六年生の「今のところだからこそ、堂々と思切り吹奏楽が出来る。周りが住宅なら思い切り吹けない。なぜ外から来た区職員で勝手に決めるのか。使用する私の意見でして下さい。」これこそが岸本さんの言う民主主義ではないのでしょうか?(2) 本天沼集会所の工事も大反対なのにさくらはあっさり切られ悲しい状態です。ここも大反対の意見を区民が3回以上述べているのに、前田中区政が決めたまま進んでしまっています。(3) 区立天沼保育園は、民間委託されてしまい、息子はその出身だったので、本当に怒っています。これについては話せばなぐりすぎですので省きますが、すばらしい保育園だったので、*なぜ前田中区長の嫌でいやでたまらなかった施策をすべて受けつぐのでしょうか?それを変えられる希望で、岸本さんは選ばれたのです。これが前田中のおりですすんだとしたら、その絶望感-やっぱりダメだったか-は全国に波及する悪影響があります。岸本総子さん、しっかりして下さい。</p>
280	<p>東京に転居してきて10年あまりゆうゆう上荻窪館に勤務しています。私の地元にはない、ゆうゆう館という高齢者の活動の場があること、また高齢者の活動を後押しする長寿ポイントがあることは杉並区の大きな魅力だと思いました。高齢化社会から超超高齢化社会へと突入していく中で、ますます高齢者の活躍が期待され、これまでゆうゆう館が果たしてきた役割、またこれからの役割は大きいと思います。現在利用されている利用者の不安は「ゆうゆう館が無くなる」という不安があり、区民センターのような貸し館業務を主にした館になることで気軽に行くことができた居場所が無くなるという思いが強いのではないのでしょうか。私たちは利用者に安心して過ごしていただくために日々の接遇に力を入れると共に、一人ひとりでは実現できない企</p>

	<p>画を協働事業として取り組み、充実を図ってきました。利用者一人一人との関係づくりやきめ細かい配慮でサポートしながら運営をしてきました。そういったこれまでのゆうゆう館の雰囲気や職員との関係性を引き継ぎながらも、さらに高齢者にとって有益な機能を備えた施設が求められていると思います。これからは地域の中ですます世代を超えたつながりが大切になります。ただ施設を大きくして、部屋数を増やすのではなく、地域のコミュニティづくりの拠点を作る、運営できるという視点で施設の設備全般をマネジメントしてほしいと思います。もっと自由に子育て中の若い層も部屋を使えたり、障がいをもっている方も気軽に利用できることができるといいと思います。施設はユニバーサルデザインにして誰もが利用できる建物や設備にして、子どもも使いやすいトイレや手洗い、料理教室もあれば高齢者や男性に使っていただけるし、車いすでも自由に出入できるようになればいいと思います。よろしくお願いします。</p>
281	<p>生活道路等における交通安全対策の推進について。現在、区内至るところで制限速度を無視した多くの車やバイクが、歩道のない道路、道幅の狭い生活道路を我がもの顔で通り抜けています。歩行者や自転車が日夜危険にさらされており、朝夕の通学路も同様です。大事には至らずともヒヤリとさせられるケースは枚挙にいとまがありません。こうした事態が長年にわたって常態化し一向に改善の兆しが見えない中、残念ながら私達の感覚も慣れっこになってしまい、仕方のないことと諦めムードが支配的になっている現状です。交通事故は誰もがいつその当事者になるかわかりません。人の生命、人の一生にかかわる見過ごすことのできない問題であり、早急な対策が必要なのは言うまでもありません。子どもから高齢者まで誰もが安全快適に通行できる道路環境の実現は、住みよい杉並区を実現する上でも欠かせない基本的かつ緊急な行政課題です。今回の総合計画の改定を機に、東京都、警察等関係機関の協力を得てより積極的な対策を推進されることを要望します。</p> <p>〈重点的な取り組みを要望する項目〉 1 車のスピード抑制のための「ハンプ」(凸部)の随所への新設 2 歩道がない道路での歩行者防護柵の増設 3 通学路での車両規制の徹底 4 見やすく、わかりやすい制限速度標識の整備 5 「ゾーン30」エリアの増設</p>
282	<p>10月に区長への手紙を書きました。杉一小を今、阿佐谷駅あたりでは一番安心な場所(震災、火災)(水災)にあるのにわざわざ2~3mも低い、川の流れていた。今でも昭和には浸水している場所に移転するのに反対ですという事を書きました。病院跡地は汚染されていて、土地の評価もかなり低いのが世間の常識です。避難場所でもある杉一をなぜそんな危険を所に移転する計画を区民を守る責務がある杉並区がつくったのか、とっても理解できません。前区長の決めていった土地区画整理事業、個人共同施行の事業計画(区ギ会も通していない)をなぜ見なおしてできないのでしょうか?区長への手紙のお返事をいただきましたがその中にびっくりする事が書いてありました。水害発生時は自宅等の上階に避難する垂直避難が基本であり、学校においても同様です。ハザードマップで想定されているような浸水があったとしても校舎の2F以上に避難して安全が確保できると考えています。最近、世界中で大水がでたり、災害が多発しています。本当に杉並区は区民を守る立場にはいないのでしょうか?区長への手紙への返事は杉並区教育委員会事務局学校整備課長青木誠さん、政策経営部事業調整担当課長中谷友哉さんからでした。ありがとうございます。本当に岸本新区長が読んで下さったのでしょうか?みんな区民の意見を尊長するといっている岸本区長には必ず読んでほしいと思います。安全な場所にある学校をなぜ?垂直避難で2F以上に避難して安全確保しなければならない危険の多い場所に移転しなければならないのでしょうか?非常識な事を言っているのかしら?普通のこと言っているのになあ!頭が混乱しています。いろいろなグループの方がどうか見なおしてほしいと願っているように思います。保護者の方も卒業生も…私も卒業生です。岸本さんによって今までと違って区民の意見を聞く会を開催してくれています。それはそれでうれしいのですが。「杉並区立施設マネジメント計画」案には、書いてある。地図には杉一は移転、改築と書いてある。「杉一の移転、改築」移転に向けて令和6年度から設計と書いてありました。この事業を進めていく前提としてこれまでのプロセスや今後の取組に関する情報を可能な限り提供し、区民の理解と納得が得られるように取り組んでゆくと…ショックです。色々会を設定し情報を可能な限り提供して納得が得られるようにしてある。もう計画は決定しているのです。理解を得られるように何度も会を開いているのですか?計画ありきではなく、計画を修正、見なおしてほしいです。もっと良い方法が必ずあるはずです。どうか見なおして、もっと良い方法を考えてください。悲しくなってきました。どうか修正して、もっと多くの人の知恵をかりて良い方法を…必ずあるはずです。汚ない字で読みにくくてすみません</p>

283	<p>阿佐ヶ谷にある杉並第一小学校について、意見を書きます。現在地での建て替えを希望します。杉並区が2023（令和5）年3月に発行した「杉並区立施設再編整備計画（第2期）」によれば、修正後も「杉一小の移転改築については近隣の総合病院の敷地に移転改築する予定」と明記しています。何度も住民説明会を行っているが、区の方針は変わらないということでしょうか。説明会において住民から出された意見を全然尊重しない区の方針にタダタダ驚いています。10月22日の説明会では、杉一小の児童も発言していました。区主催の説明会は民間業者に対し、多額の税金を使い、ファシリテーターとして外部委託していることも疑問です。説明会で出された住民の意見を尊重して下さい。11月2日に発行された「広報すぎなみの臨時号」のP15に「区民の皆さんと共に取り組む主な検討課題」として4項目あげられていますが、阿佐ヶ谷駅北東地区の杉一小のことは取り上げられていません。区としてはもう、決まったことなので、わざわざ区民に知らせる必要はないと判断したのでしょうか。初めから結論ありきと区が判断しているように思われます。この「区民意見を募集します」という目的をはっきりさせてください。「コミュニティふらっと本天沼」の説明会では昨年11月に岸本区長が住民の意見をじっくり聞いてくれたので、感動しました。しかし、翌3月に行った説明会では住民の意見を取り入れてない前回とほぼ同じ資料がくばられました。ここでも多くの住民が発言をしました。その後、5月の懇談会で前々回とほぼ同じ資料が配られ、住民は発言しても、意見が取り入れない状態にとっても落胆しました。意見募集した後、どの程度住民の意見が反映されたのか、住民にわかるようにして下さい。</p>
284	<p>区長殿 パブコメ</p> <p>・施設再編ーコミフラ本天沼</p> <p>コミフラ本天沼は、使いやすく誰れも楽しく出来る施設にして下さい。</p> <p>商店街が活性化するようにお願いします。</p>
285	<p>〈民生委員からみたたすけあいネットワークの問題点と改善課題〉たすけあいネットワークの意義・目的は良いものだと思う。が、手段・方法については改善すべき点が大いにある。区としての目玉施策のひとつであるのに、区が直接手をくださるのではなく、個人個人の民生委員に委ねてしまっている現状は力の入れ方（予算も含む）が不十分だ。登録者数だけ増やしても、かえって、ひとりひとりに対するサービスの内容もうすくなるばかりであろう。・避難支援について具体的な検討がおこなわれていない。（誰とどういう経路で避難するのかなどが書かれていない。これで避難支援プランか！という意見あり）・作成者が福祉士などの資格もない一般人の民生委員であること。（ケアなどの人に作成してもらいたいとの要望あり）登録者の声をさらに紹介する。・登録したら、誰が助けに来てくれるのか・避難所にひとりで行かれないから困っているのに、避難所名なんて書いても意味がない・こんな書類の様式で、お薬手帳と緊急連絡先を持って避難するのと、何が違うの・避難所に行ったら透析先をさがしてくれるの、など。「避難支援」という名称だと、避難した時の支援（区役所側）と避難する時の支援（登録者側）という、理解に食い違いが生じる。「避難支援プラン」という名称をやめて、「安否確認簿」という名称に変えたほうが実態ともよく合っているし、登録者も過剰な期待を持たないはずだ。そして項目もそれに合ったものへと整理する。最後に。区役所のかたがたもテスト的に実地訪問をおこない改善点を明らかになさったらいかがでしょうか。</p>
286	<p>杉並区実行計画のまちづくり地域産業について、意見を述べます。ここで述べられている五つの施策は、多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまちづくりに不可欠な施策であると考えます。しかし、これらの施策のうち、人々の暮らしを支える都市基盤の整備において、特に、都市計画道路の整備と生活道路等の整備について、都市交通計画策定の観点からこれまでの整備の進め方を改めるべきであると考えます。第一の都市計画道路の整備は、東京都が第四次まで行ってきた「東京における都市計画道路の整備方針」に基づいており、これまでの整備実績が主に住民の反対運動により芳しくないことから、住民説明に用いようとして考えられたと思われる、いろいろな指標により整備効果を述べて、整備優先度を示したに過ぎない報告書となっています。道路計画を策定するにあたって、最も重要な将来交通量の需要予測が上記の報告書には示されていませ</p>



	<p>ん。2018年に行われた「第6回東京都市圏パーソントリップ調査」の交通実態調査によると、1968年以降、約50年にわたり継続してきた東京都市圏パーソントリップ調査において、東京都市圏の人の移動回数が、調査開始以来、初めて減少に転じたと、報じられています。東京都市圏交通計画協議会は、この調査結果を東京都市圏の都市交通の転換点と捉え、量的対応を重視してきたこれまでの都市交通施策の見直し、今後の都市交通施策の在り方について検討を進めています。こうしたことから、杉並区においても東京都と協働して都市計画道路の整備を見直すべきであると考えますので、よろしく検討をお願いいたします。第二の生活道路の整備等は、杉並区都市計画マスタープランの道路整備方針の中に述べられている体系的な道路網の整備の考え方が、ここでも需要予測も考慮しなければならないと考えます。ここで示された道路ネットワーク図は、どこかの交通計画書のコピーのようなもので、基本姿勢で述べられた地域特性を生かした計画を策定することと反しています。生活道路は、まさに、地域特性を生かし住民が望む道路とすべきです。マスタープランの中に示されている生活道路を整備しようとする、住民から大半の生活道路が反対されるであろうことは、容易に想像されます。よって、杉並区のようにすでに開発された市街地においては、生活道路の整備は都市計画図から削除して、骨格となる道路のみを都市計画図に示せば十分であると考えます。以上</p>
287	<p>旧若杉小跡地の活用について。現状について（1）旧若杉小を囲む地域は、住宅密集しておりアパートも多い。（2）道路が狭く区画が複雑で整形されていない。（3）公園のような公共の空間が旧若杉以外になく緑が少ない。活用の方向について（1）貴重な公共の場所として公園化し緑を増やす。（2）構造物は防災の拠点となるものに限り、極力空間を残す。（3）駅周辺で生活する人の避難場所となるようにする。（4）青梅街道等を災害時に使って帰宅する帰宅困難者の待機所とする。</p>
288	<p>総合計画、実行計画、区立施設マネジメント計画に主に関わるもの。◆児童館。全館廃止方針が検証され、廃止予定だった阿佐谷児童館などがいったん休止されたことは大変重要です。阿佐谷南児童館についても、代替施設を検討し区が子どもたちの居場所を保障することが大事。子どもの権利条例との関係では、子どもたちからの意見聴取が行われることに期待します。中高生の居場所や自習室については、ゆう杉並だけでなくたとえば地域単位で保障できないかなど、しっかり検討することを求めます。◆ゆうゆう館。児童館と比較して、課題と今後の方向性の部分で分析が薄い印象です。高齢者の居場所として活用されているゆうゆう館の廃止は見直すべきです。補聴器購入費助成制度などと合わせ、高齢者のいきがい・健康増進の取組を多方面から拡充できると良いと思います。コミュニティふらっと整備のために地域や高齢者に説明しなければならなかった区職員の労力を、もっと本来の重要なところで使って欲しいと考えます。◆天沼・本天沼地域の区立施設。本天沼区民集会所の改修工事が始まり、住民や利用者から地域で利用できる集会施設が本当に少なくなったとの声があり、私自身も一利用者として痛感している。コミふら本天沼の地域懇談会では天沼会議室別館などの活用を求める声があったと思うが、計画案では「老朽化への対応を…」との記載がある。このエリアはゆうゆう天沼館や天沼区民集会所などの廃止で集会施設が極端に減少しているため、天沼会議室別館の効果的な活用を住民とともに検討していただきたい。旧若杉小跡地に対する天沼周辺地域の住民の思いは大変強く、前区政は本格活用に向けて何もやらなかったと言われる。防災、文化芸術の拠点など既に様々な意見が出されているが、建物状況調査が終わり次第すぐに地域懇談会など住民意見の聴取に取り組んで欲しい。◆区立施設の使用料。近隣自治体に比べ高額な区立施設の使用料について、引き下げを強く要望する。また、団体割引の復活も求める。施設の統廃合が進み高額な使用料で住民の文化・グループ活動などが制限される事態となっている。コストの問題を納税者である利用者や住民にそのまま説明して負担を強いるやり方は納得できない。◆保育料。前区政時代に保育料の値上げの検討がされていたと思うが、今回の改定案に記述がないが据え置きと考えてよいのか？◆平和事業について。平和資料館の創設に向けた署名活動に取り組んでいる住民グループがある。イスラエルのガザ攻撃やウクライナ戦争、国内でもオスプレイ墜落という平和を脅かすような昨今の情勢のなか、原水爆禁止署名運動発祥の地の住民として誇り高く尊い活動であり、実現に向けて区は努力すべきだと思う。核兵器禁止条約に背を向け、2度目の締約国会議にもオブザーバー参加さえしない日本政府の態度に対して、ヒロシマやナガサキなどと一緒に杉並区も声を上げ具体的な行動を迫っていく必要性が高まっているのではないかと。引き続き、子どもたちや住民に向けた被爆・戦争体験を聞く機会や平和教育も充実させてほしい。◆阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり。説明会や情報公開の努力が始まったことは評価するが、換地のた</p>

	<p>めの土地評価の問題では結局数字をオープンにできないなどの矛盾がある。問題が複雑なため、住民が過去についてどこまで理解し、未来についてどこまで関わるができるのかが不明瞭。前区政時代の決定事項とはいえ、今のままでは杉一小の移転は大きな禍根を残すことになると思うので、国のいいなりでなく極力住民意見を取り入れながら杉並区らしい住民自治のもとでのまちづくりを求めたい。◆気候危機について。温暖化対策実行計画が策定されたばかりではあるが、COP28での国連総長の切迫した訴えに呼応した取り組みが求められる。環境部署の職員体制の充実をはじめ、全庁的な理解・認識を深める政策に期待したい。新規事業である気候区民会議の内容や討議（特に子どもや若者の意見）に注目している。今回の計画改定が区民本位のものとなるよう、引き続き私たち区民も区の前向きな動きについては応援し協力できるよう努力したいと思う。</p>
289	<p>杉並第一小学校の河北総合病院移転後の跡地に移転改築する計画を一時棚上げしてください。本計画につきましては、これまでに「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを振り返る会」等を通して、杉並区と地域住民との間で意見交換がなされてきました。先ず、申し上げたいのは、これらの意見交換の結果を集約していただき、それを踏まえた区の考え方を整理していただきたいと存じます。意見交換を踏まえ、それが、どのような到達点をもたらしたのかを明らかにして欲しいのです。杉並区は岸本区長が推し進めている「区民の意見に耳を傾ける」という大方針が実践されています。この方針に沿って本件計画をすすめてください。その上に立って意見を申し上げます。結論として、本計画を一時棚上げすべきではないでしょうか。現在計画のままに進行しますと、2024年度は杉並第一小学校の移転改築に向けての設計が始まります。しかしながら、現時点で、この計画をそのまま実行することが適切でしょうか。甚だ疑問を持たざるを得ません。それは、岸本新区長のもとでの本計画の区民合意ができていないからです。区民の意見を優先し、区と区民との合意形成を基本とする区の姿勢に照らすなら、この問題での合意形成が絶対に必要です。本問題を現時点で概括すると区と住民との意見にかなりの相異が見られ、合意形成には至っていないと思料いたします。そこで、合意形成ができていない状態では、計画をそのまま執行するのではなく、一時、棚上げにしてはどうかという意見です。区民との合意形成ができて、初めて計画をすめるという考え方です。その上に立って、本計画の問題点を列挙します。1. 2017年5月に杉一小学校の現在地での建て替えから一転して病院跡地に移転するという計画変更過程が解明されていない。2016年3月に、杉並第一小学校を現地で建替える基本構想が区から示されましたが、同年8月に、河北総合病院のけやき屋敷への移転の意向が区に示したことをきっかけに、2017年5月に、突如、区が杉一小学校を病院跡地に移転する構想を示しました。これが、本計画の発端です。そして、本計画は区民の意見が反映できない個人施行の「土地区画整理事業」によって推し進められたため、計画に区民が参加できないスキームとなったという大問題が起きてしまったのです。いまだにこの計画が一転して変更になったことの原因が十分に解明されていません。田中前区長トップダウンによって決められたのではないかとこの疑惑は拭い去れません。2. 土地の換地の公平性・等価性の疑問が解消されていない。土地区画整理法89条の「換地の照合の原則」に照らして「公平性・等価性」が担保されているか検証する必要があります。（1）現在地と移転地の土地及び土質に公平性・等価性が担保されていない。病院は、昭和3年に建築されたもので、医療廃棄物の処分の厳格なルールがない時代を経ており「体温計・血圧計」などの水銀化合物、「レントゲン現像液」などのフッ素化合物、「眼科の洗浄剤」などのホウ素化合物などの特定有害物質の廃棄物が埋蔵されている可能性がある土壌である。（2）杉一小学校用地は用途変更により容積率が200%から500%に2.5倍に増えたのに評価は1.3倍であり等価性が担保されていない。（3）路線価は都道に面している杉並第一小学校は病院用地の2倍以上なのに評価は1.6倍としている。実勢価格はそれ以上の倍率であるので、等価性が担保されていない。（4）病院用地は、杉一小学校より3メートルも下がった土地で、しかも、かつての湿地帯。ハザードマップでも水害が予測される低地で、高台にある杉一小学校に比べ評価額が下がることは必然であり、この点の公平性が担保されていない。</p>
290	<p>阿佐谷南児童館の代替施設として産業商工会館を活用してください。阿佐谷南児童館は、同所に区立児童相談所が設置されるため、2024年3月末をもって閉館となります。区立児童相談所設置は歓迎すべきことですが、そのために子どもたちにとってかけがえのない存在の児童館がなくなることは看過できません。阿佐谷南児童館閉館によって阿佐谷南地域には児童館がゼロになってしまいます。これは阿佐谷南地域の問題だけでは</p>

	<p>ありません。成田地域に児童館がなくなり阿佐谷南児童館を拠り所としている成田地域の子どもたちの問題でもあるのです。そのために、阿佐谷南地域に児童館に替わる代替施設を設置することが喫緊に求められております。「阿佐谷南に児童館に替わる施設をつくって欲しい！」というこの声は阿佐谷南地域を超えた住民の願いです。こうしたなかで、区は、阿佐谷南地域の子どもたちのための居場所づくりを検討し、4月～9月までのトライアル実施として、「乳幼児の居場所を区役所に設置する」「小学生の居場所を産業商工会館の和室に職員を配置し月2回設置する」ことを明らかにしました。これは、阿佐谷南児童館代替設備設置実現に向けての貴重な第一歩として歓迎いたします。しかしながら、「小学生の居場所としての産業商工会館和室利用月2回」は、極めて限定的なサードプレイスで、果たして、子どもたちは利用するでしょうか。この案を立案していただいたことに敬意を表すると同時に、せっかくなら使い勝手がいいものにしてはどうでしょうか。そこで、具体的な提案です。産業商工会館の旧「ゆうゆう阿佐谷館」スペース（現在は「杉並協働プラザ」が利用）を活用できないかということです。小学生の居場所として最適な立地であり、恒常的利用が可能です。「杉並協働プラザ」は現在地でなくてはならない理由は見当たりません。一般的な事務用途なので代替場所への移転が可能と思料いたします。本案を是非ともご検討くださいますようお願いいたします。</p>
291	<p>阿佐谷地域区民センター及び隣接の阿佐谷けやき公園の改善について。1. 阿佐谷けやき公園について、(1) 公園内に水場を設置することを要望します。今夏の暑さは異常で、記録的な熱波が日本列島を襲いました。阿佐谷にあった「けやき公園プール」は阿佐谷区民センター建設のために廃止されてしまいました。また、「けやき公園プール」の隣にあった「けやき公園」には常時水が流れている水場があり、真夏は多くの親子連れが水遊びをしていました。そこで、要望です。けやき公園内に子どもたちが安心して水遊びができる設備を設置することを要望いたします。この声は、夏の炎天下で悲鳴をあげている阿佐谷地域で子育てをしている親御さんたちの共通した要求ではないでしょうか。是非とも実現させてください。(2) 公園内に遊具を充実させてください。阿佐谷けやき公園内に設置されている遊具は、現在、滑り台は一台あるのみです。そこで、同公園内に、鉄棒、登り棒、雲梯、ジャングルジムなどの遊具を設置することを要望いたします。公園内の遊具は発育段階にある子どもたちにとって重要な役割を果たす道具です。子どもの筋力アップや体のバランス感覚や協応動作醸成に役立ちます。是非とも実現させてください。2. 阿佐谷区民センターについて。(1) 植栽の充実と遊具の設置について、屋上庭園の緑があまりにも貧弱です。夏場に木陰ができるくらいの植栽を充実させてください。併せて、子どもたちが安心して遊ぶことができる遊具も設置してください。3. 屋上に太陽光パネルの設置について。屋上の一部に太陽光パネルを設置して区民センターの電力が賄えるようにしてはどうでしょうか。区がすすめるゼロカーボン戦略にも合致します。再生可能エネルギーの導入・推進は区立施設から始めるべきではないでしょうか。</p>
292	<p>西原公園及び馬橋児童遊園の遊具を充実させてください。西原公園及び馬橋児童公園内の遊具はブランコが設置されているのみです。子どもの発達にとって、公園の遊具は大切な役割を果たします。子どもの筋力アップやバランス感覚・協応動作醸成に役立ちます。そこで、同公園内に、鉄棒、登り棒、雲梯、ジャングルジムなどの遊具の設置を強く要望するものです。是非とも実現させてください。</p>
293	<p>・阿佐谷南児童館の代替施設を作ってください。・代替地として産業商工会館の活用を求めます。阿佐谷南児童の閉館は阿佐谷南地域だけの問題ではありません。成田地域の児童館が既にゼロになっているため、成田の子ども達も阿佐谷南児童館を利用しています。阿佐谷南児童館がなくなれば阿佐谷南地域や成田地域の子ども達の居場所がなくなります。そのため緊急で阿佐谷南児童館にかわる代替施設を設置することを求めます。区は、阿佐谷南地域の子ども達のための居場所づくりを検討し、トライアルで乳幼児の居場所と小学生の居場所を作る方針を示しました。このことは大変すばらしい取り組みだと受け止めています。しかしながらトライアルの日数が限定的であり、子ども達の利用につながりにくいことを憂えています。そのためトライアルをより良い方向に進めるために、産業商工会館の旧「ゆうゆう阿佐谷館」スペースを小学生の居場所として活用することを提案します。</p>
294	<p>・阿佐谷南児童館に替わる施設をつくってください。区立児童相談所ができることは良いことだと思います。しかし、そのために児童館がなくなることは理解できません。阿佐谷南児童館は、阿佐谷南地域だけでなく成田地域の子どもたち利用する子どもたちの大切な居場所です。今般、子どもたちの居場所づくりを検討してく</p>

	<p>ださったことは歓迎します。しかしながら、産業商工会館の和室を月2回利用する案を子どもたちは歓迎するのでしょうか。子どもの立場に立って再度検討していただけないでしょうか。産業商工会館内の「杉並協働プラザ」には移転していただき、そこを「子どもの居場所」にしてはどうでしょうか。ご検討をお願いいたします。</p>
295	<p>すぎのき生活園の長寿命化改修工事は反対です。既に工事期間中の移転先となる土地の取得、及び工期中2年間のみ使用のプレハブ建設費などを考慮すると長寿命化改修で高々30年問題を先延ばしするだけで容積もアップできないのに費用対効果が悪すぎると思うからです。そもそも同じ場所に存続させる必要があるのかどうか？区内唯一の重度知的障害者通所施設が杉並の北の果てに在るが故に地域割りでJR南側の住人の新規受け入れがなされない等の問題を抱えているのだからこの際転居すれば二年しか利用しないプレハブ建設費用は削減できる。しかし、どうしても同じ場所を死守しなければならないなら解体改築すべきだと思います。それはすぎのきの立地が一部高さ規制のない(隣は6階建てビル)好立地であるのに、躯体温存の長寿命化改修では現状の2階建のままで、貴重な土地が最大限活用されないからです。新築ならば地下を掘ることで容積率を最大1.5倍に出来るし、耐震性も増し、地域の防災拠点としての価値が増します。当然工事費は倍増するでしょうが耐久年数も80年見込め、有形固定資産もアップする。重要なのは現状抱えている重度対応の緊急時ショートステイや余暇活動の場としても容積が広がれば提供でき、さらにその現場を利用して福祉事業従事者の指導育成事業だって可能になる。人手不足でヘルパーの確保自体が困難な重度の障害者にとって、通所先が緊急時のショートステイであったり、余暇活動の場であったなら移動の手間が省けるので正に一石二鳥です。昭和の建造物の老朽化で苦慮している令和に長寿命化改修でコストを4割削減し時間稼ぎをした建物が30年後以降続出し、今度は全て建て替えを余儀なくされる時の財源を考えるとゾッとします。長寿命化改修の全てを否定するつもりはありませんが、長寿命化判定フローは単にコンクリートの中性化だけで判断されるべきではないと思います。すぎのき生活園に既に我が子を通所させられている親の立場では、どのような改修であったとしても正直有難いですが、一区民としては、少子高齢化に逆行するように障害者の出生率が増加して様々なニーズが増しているのに、それを知る私達が40年前の施設を使い勝手の悪いまま次世代に引き継ぐのを容認するのは未来に対して失礼だと思いこの場を借りて発言させて頂きました。二条城ではないのですから、やるからには現在の英知を集結し可能な限りアップデートすべき施設だと思います。</p>
296	<p>壁打ち庭球練習場設置のお願い。都立高井戸公園(をはじめとして、区内各地)に、短時間無料で気軽に利用できる壁打ち庭球練習場をつくって頂きたいと思います。社会人や高齢者が気軽にできる運動のひとつにテニスがあります。仲間とテニスコートを貸りてゲームをするだけでなく、軽目のショートルーや壁打ち練習等は、体調にあわせて、自分のペースで練習できるので、その様な練習場所を求める声は、私だけでなく、仲間からもよく聞かれます。野球のキャッチボールやサッカー等は、芝生の公園等、区内のあちこちに、練習可能な空間があります。一方テニスのショートルー等は、平らな地面のところでないといけない為、公園内で隅っこの方や、人通りの少ない通路等で軽く打ち合いをするだけでも、公園管理者から注意され、止められ、その様な練習ができる場所が、久我山周辺に皆無なのが現状です。民間のテニスクラブは、費用も高く、一定レベル以上の人でない、仲間にも入れてもらえないのが実態です。都や区のテニスコートの利用については、特定のグループに所属し、多人数でエントリーして、誰かが当てた場合に利用可能で、個人的に申し込むには、倍率が高く、なかなか利用できません。民営のテニスコートは1時間単位ですが、高額な費用がかかります。我々草テニス愛好家が、気軽に短時間ちょっとした基礎練習のできる様な場所が、全くと言って良い程ありません。現在杉並区内には、和田堀調節池壁打ち場がありますが、最寄駅から遠く、自軽車又はバスの利用となっています。地理的に、一部の人のみが利用可能な状況です。今、都立高井戸公園内にテニスコートの新設工事が進んでいます、この周辺地域に練習場所が無いことも考えて公園内に、無料壁打ち練習場の併設を、切に希望します。工事は地盤整備の段階のため、早急に検討して載くことを重ねて切に要望するものです。</p>
297	<p>ゆうゆう館については「コミュニティふらっとに機能を継承した上で廃止する取組を計画的に進めてきたところですが」とのことですが、根本的に機能を継承できていないという点があると思います。ゆうゆう館はそもそも、高齢者が徒歩で行ける圏内に設置するという考え方でしたが、コミュニティふらっとに継承というと、2館を1つのコミュニティふらっとに統合ということも起こり、高齢者が徒歩で行ける圏内に施設がないと</p>

	<p>ということが生じたりはしないのでしょうか。ゆうゆう館は「イキイキ元気に、生涯現役」を謳った施設です。高齢者が元気を保てるよう活動の場所を提供するというのですが、高齢者がイキイキ元気であるためには、心の元気も必要です。ゆうゆう館では、受付職員が来館するご利用者に声をかけ、会話をしながらその方の現況を把握しようと努め、何か、不安なことがあれば、近隣のケア24につなぐという対応を基本と考えています。ゆうゆう館がコミュニティふらっとになり、受付職員がゆうゆう館のときのような考え方でご利用者である高齢者に接していく事は可能なのでしょうか。ぜひ、可能としていただきたいと思います。「コミュニティふらっとに機能を継承」ならば。それから、ハードの面については、新しく建てるコミュニティふらっとには、調理室をつくってほしいです。地域での交流ということを活発にしていくには、「食」は重要だと思います。それは、高齢者にしても子どもにしても。その「食」を準備するには調理室が必要です。家庭的に厳しい状況にいるかもしれない子どもを子ども食堂で把握し、少しでも寄り添える活動をしようという動きに期待が寄せられています。コミュニティふらっとで子ども食堂が開催されるにも、調理室が必要だと思います。</p>
298	<p>「ゆうゆう高井戸東館」を利用している一人として、「第1次実施プラン(案)」を見て、検討にあたって、考えていただきたいことなどを意見として申し上げます。先に持たれた説明会の時にも申し上げましたが、高齢者の活動場所については、可能な限り地域に広がりを持つこと、できれば丁目単位に一つ以上、大きな丁目では複数の居場所が望まれます。いまのゆうゆう館のように、3つも4つもスペースがなくても、極端に言えば一部屋でも集まれるところが数多くあることが大切です。自転車に乗れなくても、車いすでも寄り合える場所が、高齢者の活動場所としては極めて大切です。いまの高井戸東館が存続されればいいというのではなく、もっとニーズに合った施設配置を検討すべきだと考えます。大勢集まったり、ホールのな利用が可能な多目的スペースとか、音出しが可能な施設は、どの程度の地域に必要なとか、10人、20人が寄り合えるような居場所はどの程度の範囲に配置したらいいかなど、検討していくべきです。その際、地域の空き家の借り上げなど、工夫すれば可能な施策があるのではないかと思います。この地域は、かつては社会教育施設としての青年館があり、2年前までは浜田山ゆうゆう館がありました。このうえ、老朽化による改築でゆうゆう高井戸東館までなくなり、浜田山会館のふらっと化で代替ということは、地域の高齢者の活動の場を極端に狭めることとなります。ゆうゆう浜田山館のふらっと成田西への移管が、この地域の高齢者活動に与えた影響を見ると、そのことはあまりにもはっきりしていると思います。不十分ではあっても、これまでのゆうゆう館の館としての事業があるかないかは、地域の高齢者にとっては大きなものがあります。以上のようなことから、ゆうゆう高井戸東館の改築にかかわって、以下のことを要望したいと思います。(1) この地域の高齢者の活動センターとしてのゆうゆう館事業の存続と、可能な限りの活動場所の一つとしての存続を図ること。保育施設の確保については、青年館跡に開設されている保育園など、近隣の保育移設による調整なども行ってすすめること。(2) 現在ある4つの活動スペースが確保できない場合には、高井戸東3・4丁目、浜田山3・4丁目に、分散されたとしてもその代替スペースを配置すること。(3) したがって浜田山会館のふらっと化はとりやめ、改築するとすれば、井の頭沿線地域全体の文化交流施設的な役割をより発揮できるようなものをめざすこと。(4) 長期的には、すでに廃止してきたゆうゆう館の地域も含め、地域の高齢者の活動センターの再配置を検討すること(活動場所の確保だけでなく、館事業の拡充強化を図ること)。以上</p>
299	<p>兵庫県明石市で「誰一人取り残さないやさしいまちづくり」を实践して高い評価を受けている、前明石市市長の泉房穂氏は、近著「政治はケンカだ！明石市長の12年」(講談社、2023年)で、岸本聡子さんの政治姿勢に言及されている。そこでは、実際に岸本さんと接した感想として、声の大きなマイノリティや既得権益層そして自治体職員の官僚体質に取り込まれてしまい、区政を改革するという初志を貫徹できなくなりそうなことへの危惧が赤裸々に綴られている。同じく自治体の首長として成果を残された泉氏の言葉は重い。今回、提示された改革案を見て、意見提出者が先の区長選挙後に岸本さんに手紙を通じて提言した内容が全く反映されていなかったのも、「泉氏の危惧は当たっているのかな」とも思う。しかし、大学生だった頃に環境活動を頑張っていた岸本さんと接点のあった一区民としては、先の区長選挙で岸本さんが示した市民のための区政改革への情熱を信じたい気持ちがまだ強く、区民意見の筆を執った。意見提出者が取り上げるのは、第一に区立施設マネジメント、就中、庁舎、より具体的に言えば、区民事務所についてである。岸本さんは区長選挙の際に民主主義の推進を掲げておられたと記憶しているが、そのために区役所と住民をつなぐ重要な役割</p>

を担っているのが区民事務所なのは、本改定案に関する説明会が幾つかの区民事務所で開催されたことから明らかである。広大な面積と多数の人口を抱える杉並区の特性を考慮すれば、全区民がアクセスし易いように区民事務所を適切に配置することが望ましいのは明白である。広大な面積にも拘わらず、杉並区には南北を貫く鉄道が存在せず、東西を走る複数の鉄道路線毎に生活領域が分断されている。従って、主要な鉄道路線から簡便にアクセスできる位置に区民事務所が配置されて然るべきである。しかしながら、現状はそうっていない。各鉄道会社が公開している鉄道利用状況から、路線別の区民事務所等の配置をまとめると以下のようになる。コロナの前後で在宅勤務の増大等により鉄道利用状況がかなり変化したので、以下ではコロナ前の2019年度のデータを用いる。区北部を走る西武新宿線は、下井草駅・井荻駅・上井草駅の一日の乗降人数平均が合計66041人に対し、区民事務所が一つ配置されている。(但し下井草駅と上井草駅は区境の駅であり、区外在住の利用者も相当数居られると推測される)。区中部を走る中央線は荻窪駅で丸の内線と乗り入れていることもあり、単純計算が難しいが、高円寺駅・阿佐ヶ谷駅・荻窪駅・西荻窪駅の一日の乗降人数平均が合計467552人に対し、二つの区民事務所が配置されている。同じく区奥部を走る丸の内線本線では、東高円寺駅・新高円寺駅・南阿佐ヶ谷駅・荻窪駅の一日の乗降人数平均が合計195601人に対し、区役所本庁舎と分庁舎そして一つの区民事務所が配置されている。区南部を走る井の頭線は、永福町駅・西永福町駅・浜田山駅・高井戸駅・富士見ヶ丘駅・久我山駅の一日の乗降人数平均が合計182338人で区境に位置する明大前駅と三鷹台駅の乗降人数69835人の半数が区内からの利用と想定して更に34918人を加えた総計217256人に対して、区民事務所が二つ配置されている。同じく区南部を走る丸の内線有楽町線は、方南町駅と区境に位置する中野富士見町駅の一日の乗降人数平均が合計59971人に対し、区民事務所はないが、保健センターと教育センターが一箇所ずつ配置されている。これに対し、区最南部を走る京王線は、代田橋駅・明大前駅・下高井戸駅・桜上水駅・上北沢駅・八幡山駅・芦花公園駅の一日の乗降人数平均が合計240380人でほぼ全ての駅が区境に位置するため区内からの利用を約半数と想定した総計120190人に対し、区民事務所のみならず何らの施設も配置されていない。意見提出者は、京王線沿線住民であるが、住んでいる地区がこのような区政サービス空白地帯にされている現状に強い憤りを覚える。この現状は、区政経営改革推進基本方針案の方針2の第3項に掲げられている「負担の適正化」に明確に反する。同じ区内で同じ税負担を課されているにも拘わらず、比較的人口が多いエリアの住民が、均等な行政サービスを受けられないという現状は異常である。「負担の適正化」を方針とするならば、行政サービスが欠如しているこの地域の区民税は著しく引き下げられるべきである。それが出来ないというのであれば、他のエリア並みの行政サービスを提供する義務が杉並区にはある。しかも、このような異常な状態は従来からずっと続いていた訳ではなく、暫く前までは京王線にも区民事務所が一箇所配置されていただけに、後者の選択肢を実現することは容易である筈だ。そもそも、区政の私物化を批判されて区長選で岸本さんに敗れた前区長が、民主主義的なプロセスを経ずに一方的に区民事務所を図書サービスコーナーに用途変更してしまったことが、この不条理な現状を生んだ。この「税負担の適正性」を無視した前区長の独断専行により、京王線沿線住民は、均等な行政サービスを受ける権利を剥奪され、税負担に見合わない差別的な扱いを受けるようになった。岸本さんは前区長の利権問題を追及することにより当選したと認識しているが、まだ初志を貫徹する覚悟があまりなら、京王線沿線に区民事務所を再設置することにより、このエリアの行政サービスの質を少なくとも従前のレベルまで戻すと共に「負担の適正化」を実現していただきたい。尚、区民事務所を再設置し、地区住民と区役所の円滑なコミュニケーションを図ることは、岸本さんが掲げる民主主義に基づく区政にとっても大切である筈だ。例えば、最近、渋谷区を始めとする、東京各地で周辺住民に十分な説明を行わずに行政が樹木の伐採を強行することが社会問題となっている。実は京王線沿線でも、約40年前の落雷から再生した地域の再生と活力の象徴のような桜の木を伐採する告知が突然行われ、長年の住民の間には困惑されている向きも多いと思われる。しかし、そうすべき理由があるのであれば、再開した区民事務所で説明会を開催するなどして、区役所と地域住民のコミュニケーションを図ることにより、社会問題化することを防げるのではないだろうか？このような観点からも、岸本さんには前区長の悪政を改め、京王線沿線住民のために区民事務所を再設置することによって、選挙公約の民主主義に基づく区政を推進していただきたい。第二点目として、第一の問題と関連する問題として、意見提出者は、岸本さんが南北の交通網の一層の改善に取り組みされるよう求めたい。これは今回の意見提出の区分では、

	<p>恐らく総合計画の「環境・みどり」に分類されるであろう内容になる。二代前の区長の山田宏氏が、南北の交通経路の整備に取り組みられた成果が、区営バスのすぎ丸である。導入当時はかなり先見の明のある取組であられたと思うが、現在は中央線～井の頭線間に比して、井の頭線～京王線間は一時間当たりの本数が二分の一しかない。このことは、二路線の乗り継ぎを大変不便なものにしており、南北間の移動交通網の整備という趣旨が十分に実現されているとは言い難い。そこで、岸本さんには、両路線の一時間当たりの本数を揃えて、利便性の向上を目指していただきたい。すぎ丸が導入された当時と現在の、社会情勢上の最も大きな違いは、公共交通網を充実させることによって自動車利用を抑制することが環境政策の一つの柱として広く認知されたことにある。杉並区は不幸にも光化学スモッグで有名であり、自動車由来の排ガスの総量規制が上手く機能していないことから、近年に光化学スモッグ警報が発令される頻度は、最悪の状況であった1980年代と比肩し得る程度に増えてきていると感じる。杉並区に住む子供たちの健康を守る上で、光化学スモッグの主要原因である自動車からの排ガスを減らすことは、区の環境政策上極めて重要な課題と云える。この観点からも、すぎ丸の系統間の乗り継ぎ問題を解消して利便性を高め、比較的人口が多いエリアである京王線沿線から区央部への移動手段を自家用車から区営バスに切り替えることを推進することは、理に適っている。たしかに短期的には本数増加によるコストが生じるかもしれないが、現在は利便性が低いから利用されないという悪循環に陥っているように見える。長期的な視野から、環境と子供たちの健康を守るために、利便性向上を図ることにより、トータルのすぎ丸利用者を増やす方向へ舵を切っていただきたい。最後に第三点目として、意見提出者は、区政経営改革推進基本方針の財政運営に関して、申し上げたい。岸本さんは区長選において、中央線沿線部の過剰開発中止を訴えて当選なさったが、前区長の利権政治に本格的なメスを入れられている姿勢が見えてこないのは遺憾である。安定した財政基盤の構築を掲げられても、前区長が主導した無駄遣いを改める具体策がなければ、画餅に終わるのではないかという危惧がある。この点、他の先進的な自治体が行われているような、事業仕分けで過剰開発の予算を凍結し、上述したような地域間の行政サービス格差解消に資する諸施策へ予算を振り分けていただきたい。また、利権政治により区役所が財政的損害を被ったのかを調査し、必要とあれば、その再発防止策を講じることも重要であろう。もし調査の結果、区長選挙で争われたような事実があるのであれば、前区長の下で機能不全に陥っていた監査制度を改め、再発防止のために、先進的な自治体が導入して成果を上げている自治体オンブズマン制度の導入も検討していただきたい。</p>
300	<p>・ロビーの冷暖房ができるとうれしいです・自転車、坂をのぼらないで下で駐輪できるといいです・他の点はまだまだあまり利用していないのでよくわかりません</p>
301	<p>ロビーに冷暖房が入るように。ゆうゆう館下の保育園に関しては分からないので意見はありません。</p>
302	<p>コミュニティフラット高円寺とゆうゆう高円寺南館の共存を希望します。(ゆうゆう高円寺南館を残してほしいと思う理由) (1) 駅から近い高齢者のための施設は必要だと思います。当館はゆうゆう館の中でも特に利用者さまの多いゆうゆう館です。もちろん、皆様に楽しく気持ちよくすごしていただくために館スタッフとして努力をしていますが、何よりの理由は駅から近いということだと思います。駅から近いから、電車やバスを利用して、杉並区のいろんな地区からの方にご利用いただいています。「コミュニティふらっとからの距離」ということではなく皆さまに必要とされている施設を残していただけたらと思います。(2) コミュニティふらっと高円寺とゆうゆう館との共存は無理なのか？私は、ふらっととゆうゆう館の共存は可能だと思います。ゆうゆう館の高齢者団体には厳密なルールがあります。(構成員の8割が区内在住のシニアであること e t c)、ゆうゆう館で活動をされたりシニア中心のグループでも、そこにひっかかってしまって登録をお断りするケースもあります。なので、例えば、・講師が区内在住60才以上ならOK・50代からメンバーとして認める・在住のシニアが6割でOK等、ゆうゆう館より少しルールを緩めれば、シニア枠もゆうゆう館と共存できると思います。(もちろん、シニアに限らず、高円寺で演劇やダンス等をされている方にも魅力的な施設だと思います。)(3) ふらっとにない「ゆうゆう館の良さ」もあります。・ゆうゆう館には協働事業というプログラムがあります。体操、歌、パソコンなど館によって色々な講座があるのですが、これは、例えば自分でグループを作るほどのパワーがなかったり、近所に同じ趣味の同世代の仲間が見つけれなかったりする方の活動の場として多くの方にご参加いただいています。この充実した「高齢者のためのプログラム」は、ゆうゆう館の大きな魅力だと思います。・ゆっくり安心してすごせるロビーもゆうゆう館の魅力のひとつです。ふら</p>

	<p>つとには設置されないマッサージチェアやスカイウエルは、団体活動を卒業された80代後半以上の年齢の方の外出するきっかけ作りにも大いに役立っていると思います。(4)「同世代交流」の大切さを見直してほしい。これは、高円寺南館に限らず、ゆうゆう館を異世代交流型の施設にしていくという流れに対する私見です。異世代と交流して、若い世代から刺激をもらい、交流を深めていくことはもちろん大切だと思います。でも、それと同じ位「同世代交流」の場を大切にしてほしいのです。当館に来る利用者さまは70代～80代が中心です。当然、世の中の的には「お爺ちゃん、お婆ちゃん」です。でも、ゆうゆう館は、集まってくる仲間もスタッフも、同じ目線で物言を見られるシニアの方中心です。つまり、その中にいる時は「お婆ちゃん役」から解放されるのです。例えば、私は40代ですが、10代、20代の中に入れば普段以上に自分の年齢を感じ、自分を「オバサン」呼びすると思います。だけど、同世代の中に入ればその「オバサン役」から解放されるのです。当館で年に1回、活動されている団体さんの合同発表会をやるのですが、70代、80代、なかには90代の方まで、綺麗にお化粧して可愛い衣装で踊り、若い時に流行した歌を歌い、大いに盛りあがっています。一度、見ていただきたい位、みなさん「お婆ちゃん」ではなく「娘さん」になっていて、その姿に同世代は元気をもたらすのです。そして、その「お婆ちゃん役」を忘れられる場の存在こそがシニアの方の心身の若返りに大いに役立っている。15年、受付としてゆうゆう館に関わってきてそのような場面を多々見ました。シニアの方にいつまでも若々しく元気でいていただくために、異世代交流の場と同じ位、この「同世代交流の場」の役割について理解していただけると嬉しいです。「シニアのシニアによるシニアのための」ゆうゆう館。その重要性をもう一度見直していただけないでしょうか。近隣の区の方(中野区、世田谷区など)の方からもうらやましがられている素晴らしい施設です。</p>
303	<p>「暫定的ゆうゆう高円寺南館」活用に関しての区民としての意見・要望書。過日「ゆうゆう高円寺南館をご利用の皆様へ」なる書類を拝受。個人名宛だった為同館利用者の中から無作為にピックアップされたのか?若しくは定例会で月1回同館利用の「どきどきハートの会」が児童館に「折り紙教室」として参画している関係からかな?と想像し乍らもフラットな私見&amp;会の代表としての個人的意見・要望を述べさせていただきます。予てより『仮称コミュニティふらっと高円寺南』に機能を集約・継承される計画は聞き及んでおりましたが、敢えて端的に申し上げますと、現在地はとても足場の良い場所で、利用者の中の高齢者は移転先のアクセスが今より数段不便になる事が最大のネックで、個人及び会の動向すら検討せざるを得ないと思います。当会も御多分に漏れずゆうゆう高円寺南館閉館と共に会の解散止む無しが会の皆の衆日の一致した意向です。(1)高齢者と雖も個人あるいはグループとして社会参加し、杉並区に少なからず寄与されている筈です。(2)高齢者に長寿・健康の為、外に出て人との触れ合いを持つ事を提唱されながら、先に箱もの有りきの施策は、血が通った施策とは言い難し。(3)区民からの意見・要望の募集をされるなら、せめて1か月の期間猶予を頂けていたら、個人の意見・要望のみならず、会としての意見・要望を集約出来た筈です。*因みに我が会の次回定例会は12月6日です。各自の意見・要望を個々に応募するよう伝えてあります。(4)一番の要望は折衷案?代替案?として、旧杉並第八小学校の跡地に当該設備の総てを集結するのではなくて、ほんの少し区民の利便性を考慮して欲しいのが本音です。</p>
304	<p>まずはこの資料の作成はとても大変だったと思います。お疲れさまです。読むのも同様にとても大変です。もっと読みやすく工夫して欲しかったです。</p> <p>本題です。現在行われている久我山駅付近の宮下橋公園の工事はこの計画に基づくものと思います。撤去された設備は新しくはないものの、少なくとも今後数年は利用可能と近隣住民として感じていました。このような喫緊でない事に使う予算は、喫緊の課題である公立校の教員増のための予算に回して欲しいと思います。</p>
305	<p>「杉並区総合計画」等の改定等案についてのパブリックコメント</p> <p>●本コメント者による提案内容の構成趣旨 (時間切れにより個別題材のパブリックコメントの省略部分あり)</p> <p>★総合計画/実行計画のp58-60</p> <p>の気候変動危機対策に対して、より積極的に踏み込んだ、(世界市民でもある地域行政による)世界提案型の構成的内容があってもよいのではないかと思われた。その場合、(交通機関ビジネスには申し訳ないが)通勤・通学ボリュームによる《交通消費の抜本的縮減》と、職住近接型の、自立的収益基盤がより強力な、高付加価</p>



値まちづくりが両立できる、(エネルギー量ではなく)《質的消費に重点的な求心性のあるような地域経済モデルへの転換の提案》が世界提案型の構成的内容として、効果的な選択肢と思われた。

さらに、高付加価値経済ベースのまちづくりのコアに、(アニメや飲食業などの競争飽和フェーズに入った守るべき回遊コンテンツとは別に) 競争的価値として、グローバルなインバウンド・アウトバンドの人材とハブ獲得に向けた高度領域での「教育」「研究」「大学」産業の形成可能性を上記の構成に含めた。

★もう1点だが、ベーシック・インカム&コンサンプション(基礎的経済参加に関わる収入と消費の権利)について、ワーク権利とのセット(就労とは限らないような、ワーク権利、よってプロシューマ型:権利行使者=生産者=収入者=消費者)とすることの提案と、さらに、ローカルおよびグローバルな機会配分と生態系型の経済振興に適した、地域通貨(また地域連帯通貨:健全な生活維持の基礎消費のみに重複なく使えるようなインテリジェント・デジタル・マネー)によるベーシック:インカム→消費→ワークのサイクルを稼働・波及させる仕組みの提案を組み合わせた。この提案には、価値交換媒体としてのマネーのスマート化、インテリジェント化が公共性・市民性の参加領域にも足場を置くファイナンス・テクノロジー・ビジネスとして形成される企図を含む(与信クレジットカードビジネスではない、基本的権利配分の領域での準銀行券として)。

★さらにもう1点、その他グローバルな移民入管や在住生活者の人権環境に関連することとして、施設収容者、例として障害者や高齢障害者についての日本における一般的な状況についても含めた。たとえば些細だがわかりやすい例ではナースコールのベッドへの設置を意図的に相互の応答が聞こえない位置(ベッド下や、障害や麻痺のある側)や虫の鳴き声ほどの小ボリュームに設置することの常套化なども、現代の収容施設や「ナーシング:介護」職に人材の適職的な選好手段となるような(事業とヒト人材とのマッチングの)トレンドもある。ウィシユマさまの死亡事件について、ある程度、行政側が自己弁護を行うのは、実態として、の施設運営者の運用姿勢や水準は、日本における高齢者向けホームや高齢者向け病院における状況としては(滝山病院ほどではないにせよ)一般的な採用人材・運用人材の標準から外れていないレベル相当だからである。つまり、そのような人材や運用の実態は、日本における多様な収容施設運用における、あえて明示的に言及されないような、日常の範囲と見てよい面もある。杉並区内の各所においても、そこまで問題なのである。また、いわゆる「ひきこもり」の引き出し屋ビジネスや更生ビジネス、生活保護者などがある種の低廉賃貸に囲い込む貧困ビジネスなどもビジネス⇄人材の間の役割構成の面での類似性があるだろう。

●項目事項に対応づけたコメント:

関連

●「総合計画/実行計画(第2次)」

- └ 施策1~3 (防災・防犯 みんなでつくる、災害に強く、犯罪を生まないまち)
- └ 施策4~8 (まちづくり・地域産業 多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち)
- └ 施策6 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備
- └ 施策7 暮らしやすい住環境の形成
  - └ 3 住宅確保要配慮者の居住支援の充実 【重点】
  - └ 2 ユニバーサルデザインのまちづくり推進 【重点】
- └ 施策9~11 (環境・みどり 気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち)
- └ 施策22~26 (学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち)

●「杉並区立施設マネジメント計画(第1期)・第1次実施プラン」(旧「杉並区立施設再編整備計画」)

※これら上記の施策についての、マクロに横断的・連鎖的な、目標や指標や対応手段についても、立体的またはグラフ・ノード的にマッピングできるデータ記録の可視化や確認運用ができるとよい(オープンソースでの多様なデータ表現アプリケーションがあると思われる)

※なお、横断的な目標が、他の目標の手段となる場合もあるし、目標の手段の一つが、別の横断的目標になりうるなど、目標と手段には多様な関係性が考えられる。

【横断目標の例:交通エネルギーを削減】

- 1. 地球環境の激甚変動を防ぐための炭素排出ゼロを目指すには、地球・各地域規模での、特に【物流・交通エネルギーの削減】が必要。

→この状況では代替エネルギーシフトだけでは間に合わずエネルギー消費総量を減らす必要。原子力は生態系生存へのリスクが大。

【手段の例（コンセプトレイヤー）：市街・住環境↔交通・物流システム間の関係性の再構成】

- 2. 上記1を変革するには、都市環境のつくりについて、市街・住環境の土地建物（現状：ひとつひとつが蝸壺型に分離されている） ↔

交通・物流システム（現状：車やトラックで乗りつける、バスや電車での中長距離移動が生活の制度として確立されている）の関係性の【短期的には実現可能かつ長期的には根源的（ラディカル）な変容につながるデザイン変更、リバーシ/オセロのようなしかけ】が必要。

20世紀的な工業化の結果として、近・現在の都市エネルギーの本質的な形態は、ヒトに不自然な移動のエネルギーと移動時間の消費を強いるような《交通生産》を消費の駆動とした、拡大リミットコントロールを外した消費スプロールを前提としている。エネルギー消費の総量を減らしエネルギーの最適配分効率を総量から見るには、《市街・住環境↔交通・物流システム間の関係性の再構成》が必要だろう。

【手段の例（土地建物・土木・商業インフラ）：戸別の囲い塀のない、地続きのコミュニティ回廊型・スローモビリティ・ランドスケープ】

- 3. 例として、施策11にあるグリーンインフラと施策6のグリーンスローモビリティに対して、生活インフラやコンテンツとして、たとえば戸別の囲い塀のない、防犯セキュリティ監視回廊（兼低速自転車・宅配専用路）のある住宅街、コミュニティ茶屋・グロサリー・交番・助け合いステーションなどの、地域ミクロ的生活レベルが多様な事態を想定して安全担保しやすい戸別住戸の連携ハブとネットワークなど。古い広めの邸宅地などの維持などもそうだが、20世紀型の交通・物流システムが続くことを前提とした蝸壺型の区分利用となるような建物としての商業ビルや分譲マンション化するのではなく、ある種のクロスオーバーな生活テーマの拡張性が、地域の居住付加価値を高め、新時代のモビリティにも対応しやすいのでは。

- 囲い塀で分断されない、戸別および、多様な所得層や障害の有無や程度関係なく入居できるが経済サポート機能を含むインクルーシヴかつユニバーサルなコーポラティブ・ハウジングなどが、スローモビリティ回廊でつながり配置されるランドスケープは、震災時の脱出ルートや延焼などの防災性にも優れる設計が可能。

- スローモビリティ回廊と、広域モビリティ回廊が効率的に分離できるため、居住市街への要所要所への、必要時の一般車両や大型の緊急車両のアクセスを迅速化する設計が可能。

- また、コーポラティブ・ハウジングでは、キッチン・ケア・ラーニング・セキュリティ等の多様に渡るシェアインフラが、コミュニティの戸建て住民にも開放、または戸建て群とはじめから共有され、コミュニティ単位での省エネルギーや顔の見える安全性・可視的なオープン性による適切な対人距離の選択自由も設計しやすい。

- 生態系計画性（当該のPDCA/環境学習サイクルや修復・修正・認知のデザイン性）に基づき、かつ生態環境的な部分での自律復元性（生存レジリエンス）を織り込んだ、土地建物↔交通・物流間の関係性のデザイン再構成となる。

【手段の例（マクロ的な地域経済開発による職住近接）：「教育」「研究」の産業化】

他方で、よりマクロな質的消費の競争的な経済訴求レベルでは、グローバルレベルでの高度教育・研究のハブとしての大学がよいのでは。「すぎなみ地域大学」といった従来のボランティアワークもよいが、実際に、現在地球に喫緊に必要とされるワークと人材は、ハブとしての地域経済（それ自体は移動しなくてもよいし、物流も地産地消を重視してよい）に加え、南北・東西のグローバルな地域ハブを（省力で）エネルギー効率的にグローバルに連携させる、付加価値創出型のワークと人材だろう。そこでは、高度な情報なやり取りにより（原始的な情報の非対称性などによる時間差異の機会主義的価値創出ではなく）、創発的協業による、量の誇示のためのエネルギー消費ではない、質的な構成のリファインなどだろう。そういった領域でのボランティアワークもよいが、経済的な（量的ではなく質的対価の）利益配分のための競争的・対価的ワークについての構成も、含めたいので、「教育」「研究」の産業化（後述するが英語圏などのグローバル言語圏に対応した研究型大学やインバウンドアウトバウンドの人材とネットワーク化との関係において）が伸びしろがあるものと思われた。東京エリアが、現在、ある程度グローバルでも人気の都市圏であることを最大限活用するという点に

においてもである。地域圏内での、脱エネルギー消費型のビジネスモデル形成、高度質的価値消費産業—グローバル高度教育・研究のハブの形成というテーマである。

※以下、本コメント者が、本年10月に後援会等の別機会にて投稿したもの。上記と内容重複あり。

市民型公共経済圏として、杉並区自体が主体的に産業事業者となって競争的な経済活動を行い、市民の働く機会配分を、杉並区内の産業の先駆的な発展とともにバランスよく発達させることができるのではないかと。

杉並区住民の場合、都心への通勤通学者の割合が高く、杉並区内での就業や事業主体への課題着眼への配分が薄くなりがちだと思われる。

しかし、社会経済構造の脱・大量消費・大量廃棄型サイクルが求められるなか、必要となるコンパクト消費・生活や就業への質的高付加価値型の変革の実現には、大量移動（という物理的・時間的・ネットワーク的）のエネルギー消費のムダをカットしていくことも重要だろう。

つまり、自然生態系同様に、経済システムの地産地消の循環があつて、ロバストかつグローバルな地域間・地域横断も大局的には安定してくるという考えもできる。杉並区に、職住が近接しワークライフバランスの良い、未来生活提案型の重点的な産業拠点を形成することが重要である。

事業コアとしては、地域や、行政で既に実績があり、かつ、区外からの消費を呼び込めるような新たな先駆的な産業機会の開拓となりうる産業がよいだろう。たとえば、市場の先駆的開拓の対象として、「教育」「研究」の拠点化事業を検討してはどうだろうか。対象分野は、大量生産・浪費型産業の浸潤を回避し、人類の産業の方向性に本質的な変化をもたらすものが、よりよいだろう。

具体的には、杉並区に高度な教育・研究を行う、グローバルスタンダードの大学・大学院、かつ、「東京科学大学」が目指すように、英語等のグローバル言語を第一言語の一つとするような学校を設置することを目指すなど。

その際、外国人インバウンド（技能実習制度の廃止への上振れ型の代替受け皿）・日本人アウトバウンド（グローバル人材の裾野の拡大需要）の交差するような環境を、高度専門教育のグローバル言語化のスキル形成市場として訴求できるかもしれない。

（日本語翻訳のための語学学習や観光に役立つ程度の英会話の市場は下火であり、世界的に必要とされるのは、対象分野を必要なグローバル言語の環境で習得しその専門のグローバル・コミュニケーションや交流ができること。また、そのハブが、それぞれのスキルを持って日本中世界中に散らばったローカルエコノミーの地産地消の間のネットワーク化や相互創発の機会を増やしていく）

なお、行政をコストセンターと位置付けてコストカットを目的とした民営化でありイギリスでは廃止の決まったPFIのような形ではない、（計画経済の国営企業という趣旨ではないが）行政をプロフィットセンターとして競争的に再構築するには、行政のみならず、広く、民間の事業者との連携を、PFIの逆コース（ノウハウ蓄積型の行政から→民間事業への、人的含む資源の供給や投資、ただし天下りという意味ではなく）を含めて工夫するべきではないだろうか。

そこで重要となるのは、「カンパニー」の在り方の、新しいゴールとしての再定義だろう。既存枠組みの私有民営 privatized

enterprise（公開株式市場に上場する事業もあれば、既存米制度でのベネフィット・コーポレーションやその前段階のb認証事業も、権益私有を保持しうる点では私有事業者に含まれる）に限定されるのではない。

市民民営 civil enterprise

の観点であり、前者のような私有企業や個人事業者も参加できるような、より広範に事業ネットワークの中で自律分散した市民の主体的意思による、事業創出と運営、ひいては市民経済から出発した公共へのガバナンス、そのような構成で「カンパニー」の社会関係性資本・social capital 的な未来を考えることができるのではないだろうか。

【基礎的経済参加に関わる収入と消費の権利とワーク権利のセット化 および配分機能としての地域通貨】  
関連：

● 「総合計画／実行計画（第2次）」

↳ 施策4～8 （まちづくり・地域産業 多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち）

・総合計画／実行計画の p6, まち・ひと・しごと創生法に基づく「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略」  
・平成二十六年法律第百三十六号 まち・ひと・しごと創生法 (  
[https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=426AC0000000136\\_20210901\\_503AC0000000036](https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=426AC0000000136_20210901_503AC0000000036)  
)

↳●「杉並区協働推進計画（第2次）」

↳●「杉並区デジタル化推進計画（第2次）」

構想：

前節の【横断目標の例：交通エネルギーを縮減】～【手段の例（マクロ的な地域経済開発による職住近接）：「教育」「研究」の産業化】の一連の提案項にも関係するが、過剰奪取を除外する生態系型の経済振興を指向する場合、その経済《循環》基盤のサイクルの構成要素だけでも存続サイクルが自律的に回り始める、または、回り始めやすい仕掛けが重要となる。

地域通貨（また地域連帯通貨：健全な生活維持の基礎消費のみに重複なく使えるようなインテリジェント・デジタル・マネー）によるベーシック：インカム→消費→ワークのサイクルを稼働・波及させる仕組みとなるには、インカム→消費→ワーク→インカム→・・・といったそれぞれの（生活）エネルギー形態のフェーズが、それぞれに（連鎖する行為）約束的な価値を、交換発生の連鎖確率として持つ必要があるだろう。その事態を主観的な期待としてではなく、約束が履行される信頼度合の高い確率として保証するには、それぞれのインスタンスを一過性の償却なり一過性の使役として計量化するのではなく、基本的な主体行動の権利連鎖としてとらえることで、連鎖における価値アイデンティティの同一性を、（動機づけなりナッジの観点から）維持しやすいだろう。そのための、奢侈貨幣や奢侈消費との不兌換性なり、経済における交換の系の多相なり多層性（システム多様）と、境界の多様による価値交換での情報価値混線（輻輳）の除外である。また（任意の）ワーク権利＝インカム通貨であり、ワーク自体は、それが適切に（スマートに）動機づけ設計されればエンタテイメントと概念的な差がなくなる場合もあるだろう。

また、たとえばあるヒトが100円のハムチーズトーストを1億枚買えるベース・マネーを所持していても、ベース・マネーの所持者はそれを100億円の外洋ヨット（それには奢侈消費マネーが必要となる）と交換できないし、そのベースマネーでは生存の必要が発生しなければ一度に100枚のハムチーズトーストも、1億枚のハムチーズトーストも購入できない。1億枚買えるベース・マネーを所持していてもである。スマートなマネーが、不要な交換を受理しないのである。他方、当該の主体が1億枚のハムチーズトーストを購入して世界各地で食に困っている家庭に（適切な消費タイミングで）ギフトしようと企図した場合、スマートなベースマネーはその消費をギフトとして受理する、という設計も可能だろう。

ここから見るように、スマートなベース貨幣を生存超過消費となるような奢侈経済（＝付加価値ではない）貨幣と切り離すことにより、窃盗や転売や投機といった、別用途への転用が発生しづらい安全性・安定性を設計に組み込むことができることも特徴となるし、また、生態系的な経済振興に必要な消費行動や学習行動、ワーク権利の行使の促し（ナッジ）として設定することもできるだろう。逆に奢侈マネーがいくらあってもファミレスや日常の光熱費や家賃につかえない、という経済系の不兌換性が成立する。このことが、奢侈の概念を、競争奪取的な支配よりもより趣味的なものに転換することにもつながるだろう。むろん、カジノのように投機的かつエクスルーシヴな奢侈圏に入りびたり、投機ないしギャンブル依存症が継続する、という个体ケースも考えられる。その場合も、当該個体のヒトはベース・マネー圏が侵食されないという安全は担保されるだろう。

つまりは、安定的な等価性を安全に保証された連鎖サイクルとして、インカム→消費→ワーク→インカム→をセット化することにより、一定の暴走の次元を除外した、発展の促しのデザイン・シナリオを織り込んだ、地域通貨「経済圏」を、（一定のシミュレーションの実践範囲においては）スマートに設計しやすい。その経済規模が、目指すべき経済振興の財源をどの程度カバーできるかは、ワーク権利のナッジがどの程度効果を発揮するかによるだろう。それにより、この地域通貨システム自体の、生産価値との兌換性の割合が上下する、という仕組みでもある。

目的や概念背景：

先述で、地域圏での競争的事業としての高度水準での「教育」「研究」「大学」の産業について言及した際、《経済的な（量的ではなく質的対価の）利益配分のための競争的・対価的ワーク》という表現を使った。

これは多分に投機性・市場拡大性を本質とする（所持獲得拡大の攻撃的期待の心理をルールとするタイプの）ゲームのメカニズムがもたらすような《量的（エネルギーの拡大）消費のサイクルから独立した、または安全のために切り離されたような、自然環境制約的・生態系的に適正な対価の循環圏が、基礎経済の維持に必要と思うから》である。またそのような生態系型のゲームおよびツールの設計である。

西洋の大航海時代から拓けた古典派経済システムを元とする近代資本の経済システムは、貨幣を媒介した統一市場のため、交換に関係するすべてが相互に連動し、ばね圧が何らかの方法でかかる。人為的・行動心理的な想像期待により、多様な系の交換物の価値が一つの度量衡により単純化されているからである（期待自体であるから実態以上に価値を無限化できる）。ここでは、そのような自我ないし間主観的共有自我の膨張や奢侈的な競争消費などを、すべて排除することは想定しない。

そのような投機的な競争消費の領域は、ある種の経済実態とは離れたところでの、イレギュラーなカンフル剤として、奢侈を競争するものどおしで実物経済から切り離されてカジノ型の独立市場を（例えば火星の裏なり）実態的な自然生態系とは切り離されたバブル内の次元で独立して存立すればよいと考える。ある種のエンターテインメントなりショービズとして、他の消費とは別次元の奢侈消費を、基礎生存経済のファンダメンタルズへのスパイスなりガーニッシュとして位置づけ、ときに活用し、ときにそれについて考える必要ないと思えばよいのである。そのような力と量的奢侈拡大の期待の（また契機から単純化される人間行動心理の）市場と、持続的相互作用バランスの質的な精緻を期待とする（高度な複雑系メカニズムを持つ生態系型）市場とを（ヒトの社会経済においても）分離するのである。

さて、実際の自然界では多様な交換（経済）系は、そのすべてが同じ尺度で交換可能なのではない。多層かつ多相の経済システムにより、多次元的な相互作用が相互に交換の暴走が制約される（複雑系を維持しない例としては、ウイルスや悪性新生物、プリオン等は同一種で増殖する）。つまり、特別な増殖を発生または期待しない限り、生態系的な経済は、環境自体はパイがひとつであるため、多層かつ多相の系の間により、それらの系の多様どうしの協調と競争の配分の連続により、一定のバランス（やバランスの変容のバランス）により、連続性や持続可能性が維持されるということになる。

また、価値交換媒体としての（与信クレジットカードビジネスではない、基本的権利配分の領域での）マネーのスマート化、インテリジェント化が

-----ヒト類の行動則の過去統計の機械学習に依拠する従前のヒト・シミュレーション型生成AIが飽和した後の段階では、再び論理配分型の計算機知能の次世代フェーズが控えていると予想するため-----

それらの新世代マネーが、公共性・市民性の参加領域にも足場を置くファイナンス・テクノロジー・ビジネスの形成の可能性や動向にも影響を持つだろう。デジタル人民元が今後内在するかもしれない《知能＝消費》連接場面でのコントロール・リスクもあるだろう。そうならないためにもハイエクが希望的に期待したようにフィアットカレンシーの発行主体は分散させたほうがよいという考えかたもできるだろう。

関連（2023. 10. 27 に杉並区の令和5年度参加型予算制度モデル実施～投票～のフォームにて当方にてアンケート回答した内容から）：

>Q10. 令和6年度以降は令和5年度とは別のテーマで、提案を募集することを検討しています。どのようなテーマがあると良いか、あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

回答：「地域おこし・商店街振興、まちづくり、その他：

用途分離型地域（または地域横断型）通貨によるベーシック生活経済の下支えと活性拡大、および、ラグジュアリー経済の分離と別次元でのフィアットカレンシー市場化による別経済圏並立。」

>Q11. 参加型予算の取組に関するご意見がありましたら、入力してください。

回答：「市民参加型予算は、規模が限られたものなので、事業形成のフック hook・関心の契機となるような、事業検証・企画型のプローブ予算とする方向性がよいのでは（そのような選択肢を一定割合応募する動機づけもよいのでは）。私案例：用途分離型地域（または地域横断型）通貨によるベーシック生活経済の下支えと活

	<p>性拡大、および、ラグジュアリー経済の分離と別次元でのフィアットカレンシー市場化による別経済圏並立。などの、経済・信用・流動貨幣財のサイクル構造の抜本変革のようなデザインングも面白いはず」</p> <p>【高齢型障害者の権利はく奪が著しく不可視化されている収容施設型「老人ホーム」ビジネスへの改善対策の必要】</p> <p>被施設収容者全般の背景に関係するが、高齢型障害者の権利はく奪が著しく不可視化されている「老人ホーム」ビジネスへの改善対策の必要、障害者権利の地域モデルの本質的な改善の必要がある。</p> <p>入管管理施設でのウィシユマさま死亡事件の件、八王子市犬目町の滝山病院での暴力事件や、(古くは宇都宮精神病院でもハイライトされた状況や、現在まで続く精神科や医師一般の薬学知識の不足および意図的なファーマ業界との共有利権、また薬物影響や長期依存を利用した管理モデルなども含め) 精神医療施設での高齢者の長期施設収容、療養介護モデルのクローズアップなどに見られるように、より構造的に権利状況のモデルを継続検証する必要があると思われる。</p> <p>つまり、基本的人権に行動自由(freedom of movement, assembly, speech)を含める観点を重視した視座を採用するならば、年齢・若齢に限らず、《日本における管理「介護」モデルそのものが極めて重大な人権侵害である》。</p> <p>※ただし、ナーシングに関しては(例としてナースによる十数～数十年に渡る連続多数殺人が発覚するのが極めて遅いケースが欧米でも見られるように、またカナダや米などでのファーストネーション年少者のナーサリ型寄宿収容による、きわめて多数、すなわちジェノサイドレベルの年少者の「始末」の実態が、暗に認識されていながらも、ごく近年になって公的に認知されるようになったように)、</p> <p>対象を広げるならば、広くは日本に限らない。なお、欧米においては「反精神医学」運動が70年代に盛り上がりを見せ、やや下火となった近年においても、「精神医療」に限らずより広く「医療」そのものの制度のあり方についての見直しが見られるように、一定の反省的な動きが継続する土台があるが、日本やアジア圏においては、「人権」概念がそれ以前の一般的な生活者の困窮多様な状況においても困難がある。</p> <p>また、ナーシング・「介護」すなわち、何らかの優越的な疑似または施設親権的な役割により介入して「護」(面倒を見る)、収容サービスなりビジネスが、(栄)養者・被養者の権利の非対称を前提とするモデルに依拠する文化背景が、より強く作用する社会においては、異民族でなく同族の他属性(例えば年齢や障害、容姿や性格等)のグループに対してより強く作用することもあるだろう(異民族が身近に少ない場合など)。</p> <p>また、少なからずの高額有料老人ホームの事業モデルなどでは、数千万円～億円レベルの早期価値償却型不動産・会員権ビジネスによる、高齢者の不動産売却→早期刈取り型の営業モデルの利益構造があることも、各種の大手グループの高齢ビジネスへの参入を促している面もあるかもしれない。</p> <p>関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>└ 施策14 人権を尊重する地域社会の醸成 <ul style="list-style-type: none"> <li>└ 4 障害者の権利擁護と共生社会の推進 【再掲】(施策17-6)</li> </ul> </li> <li>└ 施策17 障害者の社会参加と地域生活の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>└ 5 高齢の障害者等への支援の充実、6 障害者の権利擁護と共生社会の推進、ほか全般</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">— 以上 —</p>
306	<p>I. 総合計画・実行計画に関する意見</p> <p>① 気候変動対策について</p> <p>C02 排出量削減に向け、車両の電動化などを進めるとあるが、ごみ収集に使用する車両としてEVはまだ能力不足の感が否めず、こうした実態を踏まえずに仮に車両の電動化などを民間に求めるようなことがあるならば、区による導入支援など対応が必要と言える。</p> <p>また、上記に関連して環境配慮優勝事業者認定制度を導入するのであれば、業務そのものが電動化等にそぐわない事業を行っている事業者が不利益を被ることのないよう十分な配慮が必要である。</p> <p>加えて、C02の排出削減を進めるのであれば、ごみ集積所の増加・分散化を防ぐ取り組みを計画に盛り込むべきである。理由としては、集積所が増えれば、その分車両のストップ&amp;ゴーの機会が増加し、燃費(EVならば電費?)の悪化につながるためである。</p>

	<p>②循環型社会の実現について</p> <p>上記項目内に集団回収の支援とあるが、少子高齢化が進み町会等の果たせる役割が縮小しているなかで、集団回収実施団体数も減少していかざるを得ないことから、集団回収の支援よりも行政回収における集積所分散化を防止するような集積所管理の支援を実施すべきと考える。</p> <p>また、一部団体による持ち去りとも言われかねない不適切な集団回収が行われている実態もある。こうした点も踏まえ、集団回収の支援を行うのであれば、同時に団体の適切な管理も必要である。</p> <p>Ⅱ．区政経営改革推進計画に関する意見</p> <p>① 事業系有料ごみ処理券貼付の適正化について</p> <p>上記については、資源も含む相当量の事業系一般廃棄物が事業系有料ごみ処理券の貼付がなされない状況で排出され、回収されているのが実態である。また、明らかに事業系ごみであると分かっても、排出者より「これは自分の家庭から出したものだ」と言われれば、「区民はお客様」という考え方の下で、最終的に現場は回収せざるを得ないというのが実情である。</p> <p>こうした問題の適正化は容易ではないが、一つの意見としてまず区政側の「区民はお客様」という考え方を改める必要があるのではないかと考える。また、この問題は事業系ごみだけに限った話ではなく、負担の公平性を謳うのであるならば、事業者だけでなく区民も含め「区政共同運営者」として取り扱い、事業系ごみだけを対象とせず一般家庭からのごみについても、排出ルールの遵守などを全体として徹底すべきと考える。</p>
307	<p>ゆうゆう高井戸東館について 1. 浜田山会館への機能移転に原則賛成です。(老朽化のため) 2. 浜田山会館の改修については、高齢者の活動を容易にするため、次のことを希望します。1) 活動の場(部屋)を今まで通り、スペース・使用頻度等で十分確保すること。2) エレベーター、多目的トイレ等設置して、高齢者の受け入れ施設を確保すること</p>